

笠 岡 市

市民意識調査報告書

平成26年10月

笠岡市政策部企画政策課

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査方法と回収結果	1
II. 満足度・重要度調査結果	2
1. 満足度調査の結果	2
2. 重要度調査の結果	6
3. 重要度・満足度からみた分析	10
4. 居住地域ごとの重要度・満足度	14
5. 笠岡市の住み心地ごとの重要度・満足度	21
6. 笠岡市への定住意向ごとの重要度・満足度	24
III. 施策指標値調査結果	28
1. 施策名ごとの指標値	28
IV. 質問項目の分析	30
1. 回答者の「居住の経緯」による分析	30
2. 個別分析及び回答者の属性による分析	32
V. 回答者の属性	126
VI. ごみに関するアンケート	140

I. 調査の概要

1 調査の目的

笠岡市では、地域の課題に対する市民のみなさまの重要度や満足度、市の提供するサービスや施設の満足度についてご意見をうかがい、今後の市政運営に役立てることを目的としてこの調査を実施しました。

2 調査方法と回収結果

(1) 調査地区

岡山県笠岡市全域

(2) 調査対象

市内在住の18歳以上の男女3,000人

(3) 抽出方法

平成26年6月1日現在 満18歳以上の市民から無作為抽出。

(4) 調査方法

調査票を郵送にて配布し、郵送にて回収。

(5) 調査期間

平成26年6月27日～7月18日

(6) 回収結果

抽出数	有効回答数	有効回答率
3,000人	1,501人	50.0%

(7) 留意点

- ① 結果は百分率で表示しました。百分率は小数点第2位を四捨五入したため、比率の合計が100%と一致しない場合があります。
- ② 一部の人を対象とする質問では、質問該当者数を分母にして算出した。
- ③ 複数回答の百分率の合計は、100%を超える。
- ④ 二重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めている。

II. 満足度・重要度調査結果

1 満足度調査の結果

満足度調査（問1「次に示す項目について、笠岡市の現状をどのように思われますか。項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。」）では、満足度スコア（満足率－不満率）が最も高かった項目は「ごみの減量化・資源化・省エネとリサイクル推進」で50.9%、最も低かったものは「企業誘致・雇用創出」で-39.6%となった。

※満足度：「満足率（「満足」、「まあ満足」と回答した人の割合）」から「不満率（「やや不満」、「不満」と回答した人の割合）」を控除した数値（以下「満足度スコア」という。）

満足率	順位	項目	満足度	不満率
59.9%	1	ごみの収集・減量化・資源化・リサイクル	50.9%	9.0%
51.2%	2	カブトガニの保護	46.5%	4.7%
40.2%	3	消防体制の充実	34.7%	5.5%
44.2%	4	上水道の整備と供給	27.9%	16.3%
35.9%	5	市民の健康づくり	24.8%	11.1%
37.7%	6	職員の対応	19.3%	18.4%
34.3%	7	救急体制の充実	18.0%	16.3%
28.9%	8	地域福祉活動の推進	16.3%	12.6%
22.4%	9	平和の取組	16.1%	6.3%
26.0%	10	スポーツの振興	15.6%	10.4%
27.9%	11	防犯・交通安全・消費者保護	15.2%	12.7%
23.7%	12	文化・芸術の振興	12.5%	11.2%
28.8%	13	自然環境・景観の保護	11.8%	17.0%
18.3%	14	人権尊重・男女共同参画の推進	9.4%	8.9%
23.7%	15	学校教育の充実	7.1%	16.6%
28.8%	16	市役所からの情報提供	6.6%	22.2%
21.3%	17	生涯にわたって学習できる環境づくり	6.2%	15.1%
18.2%	18	環境保全・省エネ	5.9%	12.3%
20.6%	19	地域情報化への対応	5.4%	15.2%
22.9%	20	子育てしやすい環境づくり	5.3%	17.6%
30.1%	21	医療・保健の充実	5.3%	24.8%
31.0%	22	下水道の整備	4.2%	26.8%
17.9%	23	障がい者福祉の充実	3.7%	14.2%
24.3%	24	高齢者福祉の充実	2.9%	21.4%
15.2%	25	港湾・漁港の整備	2.5%	12.7%
18.2%	26	定住促進の取組	1.3%	16.9%
9.8%	27	国際交流・都市間交流の促進	-0.5%	10.3%
11.2%	28	生活困窮者への福祉の充実	-3.1%	14.3%
16.7%	29	自然災害への対策	-4.2%	20.9%
13.0%	30	市民と行政の協働	-6.3%	19.3%
6.6%	31	水産業の振興	-7.1%	13.7%
27.9%	32	道路の整備	-8.8%	36.7%
10.4%	33	離島の振興	-9.6%	20.0%
20.9%	34	社会保険制度の充実（国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険、年金等）	-11.1%	32.0%
10.4%	35	調和のとれた土地利用（都市計画など土地利用の制限）	-14.6%	25.0%
5.1%	36	農林業の振興	-14.8%	19.9%
11.7%	37	観光の振興	-16.7%	28.4%
5.4%	38	商工業の振興	-17.1%	22.5%
6.5%	39	市の財政状況	-27.5%	34.0%
13.3%	40	干拓地の有効活用	-30.1%	43.4%
14.1%	41	公共交通の利便性の向上	-30.1%	44.2%
4.1%	42	企業誘致・雇用創出	-39.6%	43.7%

《参考》前回（平成24年度）実施した満足度調査結果

満足度調査（問1「次に示す項目について、笠岡市の現状をどのように思われますか。項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。」）では、満足度スコア（満足率－不満率）が最も高かった項目は「ごみの減量化・資源化・省エネとリサイクル推進」で33.9%、最も低かったものは「企業誘致・雇用創出」で-50.4%となった。

満足率	順位	項目	満足度	不満率
49.4%	1	ごみの減量化・資源化・省エネとリサイクル	33.9%	15.5%
44.5%	2	カブトガニの保護	31.0%	13.5%
47.7%	3	上水道の整備	30.4%	17.3%
38.4%	4	消防体制の充実	27.8%	10.6%
38.0%	5	市民の健康づくり	24.2%	13.8%
35.7%	6	救急体制の充実	18.2%	17.5%
22.2%	7	平和の取組	15.1%	7.1%
28.1%	8	スポーツの振興	13.4%	14.7%
26.9%	9	文化・芸術の振興	12.2%	14.7%
36.6%	10	職員の応対	11.2%	25.4%
18.1%	11	人権政策・男女共同参画の推進	7.9%	10.2%
25.7%	12	防犯・交通安全・消費者保護	5.9%	19.8%
26.9%	13	自然環境・景観の保護	5.8%	21.1%
20.4%	14	環境保護の対策	4.1%	16.3%
22.5%	15	生涯にわたって学習できる環境づくり	3.6%	18.9%
23.9%	16	地域福祉の推進	2.0%	21.9%
16.3%	17	港湾・漁港の整備	1.7%	14.6%
19.2%	18	定住促進の取組	-1.5%	20.7%
21.7%	19	学校教育の充実	-1.9%	23.6%
18.1%	20	地域情報化への対応	-2.0%	20.1%
23.8%	21	高齢者福祉の充実	-2.2%	26.0%
17.0%	22	障がい者福祉の充実	-2.3%	19.3%
9.4%	23	国際交流・都市間交流の促進	-3.4%	12.8%
16.2%	24	社会保険制度の充実	-5.1%	21.3%
19.9%	25	子育てしやすい環境づくり	-5.6%	25.5%
24.4%	26	市役所からの情報提供	-5.9%	30.3%
10.3%	27	生活困窮者への福祉の充実	-5.9%	16.2%
24.9%	28	医療・保健の充実	-6.5%	31.4%
28.0%	29	下水道の整備	-7.0%	35.0%
10.8%	30	離島の振興	-11.3%	22.1%
5.8%	31	水産業の振興	-12.0%	17.8%
28.5%	32	道路の整備	-13.7%	42.2%
12.3%	33	自然災害への対策	-16.6%	28.9%
9.9%	34	市民と行政の協働	-18.5%	28.4%
10.1%	35	調和のとれた土地利用	-19.7%	29.8%
5.0%	36	農林業の振興	-21.0%	26.0%
3.7%	37	商工業の振興	-28.4%	32.1%
8.0%	38	観光の振興	-31.2%	39.2%
14.3%	39	公共交通の利便性の向上	-34.0%	48.3%
5.0%	40	市の財政状況	-38.9%	43.9%
9.3%	41	干拓地の有効活用	-47.4%	56.7%
2.6%	42	企業誘致・雇用創出	-50.4%	53.0%

年齢別満足度調査の結果

年齢別に満足度が高い上位5項目をみると、「20～29歳」から「50～59歳」で「カブトガニの保護」が最も満足度が高い項目となった。また、「18・19歳」で「スポーツの振興」「定住促進の取組」「人権尊重・男女共同参画の推進」、「20～29歳」「70歳以上」で「救急体制の充実」、「20～29歳」で「地域福祉活動の推進」、「30～39歳」で「自然環境・景観の保

項目	全体		18、19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳	
	順位	満足度	順位	満足度	順位	満足度	順位	満足度	順位	満足度
ごみの収集・減量化・資源化・リサイクル	1	50.9%	1	45.8%	2	34.7%	2	40.3%	2	36.8%
カブトガニの保護	2	46.5%	2	41.7%	1	38.7%	1	54.8%	1	58.9%
消防体制の充実	3	34.7%	7	20.8%	3	25.3%	3	33.3%	3	31.9%
上水道の整備と供給	4	27.9%	6	20.9%	12	1.4%	13	13.2%	5	13.5%
市民の健康づくり	5	24.8%	18	12.5%	6	9.3%	5	25.0%	4	19.0%
職員の応対	6	19.3%	25	4.1%	17	-5.3%	20	6.9%	7	12.3%
救急体制の充実	7	18.0%	31	-4.2%	4	12.0%	25	1.4%	22	-1.2%
地域福祉活動の推進	8	16.3%	16	12.5%	5	9.4%	10	18.0%	12	6.8%
平和の取組	9	16.1%	10	16.7%	11	2.7%	7	22.2%	9	11.0%
スポーツの振興	10	15.6%	3	29.2%	7	8.0%	6	22.3%	11	9.8%
防犯・交通安全・消費者保護	11	15.2%	22	4.2%	9	6.7%	12	15.3%	10	11.0%
文化・芸術の振興	12	12.5%	26	4.1%	13	1.4%	14	13.2%	8	11.7%
自然環境・景観の保護	13	11.8%	11	16.7%	8	6.7%	4	25.7%	6	12.8%
人権尊重・男女共同参画の推進	14	9.4%	5	25.0%	16	-2.7%	16	11.8%	18	2.4%
学校教育の充実	15	7.1%	32	-8.3%	29	-12.0%	11	16.6%	19	2.4%
市役所からの情報提供	16	6.6%	30	-4.2%	38	-22.7%	23	2.8%	31	-13.5%
生涯にわたって学習できる環境づくり	17	6.2%	33	-8.4%	25	-8.0%	21	6.9%	16	2.5%
環境保全・省エネ	18	5.9%	12	16.6%	15	0.0%	15	11.8%	20	1.3%
地域情報化への対応	19	5.4%	21	8.3%	24	-8.0%	22	6.3%	17	2.5%
子育てしやすい環境づくり	20	5.3%	29	-4.1%	28	-10.6%	8	18.8%	13	6.7%
医療・保健の充実	21	5.3%	24	4.2%	18	-5.4%	9	18.7%	24	-4.2%
下水道の整備	22	4.2%	9	16.7%	14	1.3%	35	-5.6%	14	3.7%
障がい者福祉の充実	23	3.7%	17	12.5%	20	-6.6%	19	8.3%	15	2.5%
高齢者福祉の充実	24	2.9%	13	16.6%	10	4.0%	18	10.4%	25	-4.3%
港湾・漁港の整備	25	2.5%	35	-12.5%	33	-16.0%	24	2.1%	21	1.2%
定住促進の取組	26	1.3%	4	25.0%	27	-9.3%	17	11.8%	23	-1.8%
国際交流・都市間交流の促進	27	-0.5%	27	0.0%	22	-8.0%	26	1.4%	26	-4.3%
生活困窮者への福祉の充実	28	-3.1%	14	16.6%	21	-8.0%	27	0.7%	27	-4.9%
自然災害への対策	29	-4.2%	34	-8.4%	32	-13.3%	29	-0.7%	29	-10.5%
市民と行政の協働	30	-6.3%	36	-12.5%	30	-12.0%	34	-4.9%	34	-14.7%
水産業の振興	31	-7.1%	8	20.8%	23	-8.0%	28	-0.7%	28	-5.5%
道路の整備	32	-8.8%	28	0.0%	31	-13.3%	31	-2.7%	35	-15.4%
離島の振興	33	-9.6%	37	-12.5%	34	-16.0%	30	-2.1%	32	-13.5%
社会保険制度の充実（国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険、年金等）	34	-11.1%	40	-16.7%	26	-8.0%	36	-8.3%	33	-14.1%
調和のとれた土地利用（都市計画など土地利用の制限）	35	-14.6%	19	8.4%	35	-17.3%	37	-8.3%	37	-25.8%
農林業の振興	36	-14.8%	15	16.6%	19	-6.6%	32	-2.8%	30	-11.0%
観光の振興	37	-16.7%	38	-12.5%	37	-18.7%	33	-4.8%	38	-31.9%
商工業の振興	38	-17.1%	23	4.2%	39	-24.0%	38	-11.2%	36	-21.5%
市の財政状況	39	-27.5%	42	-37.5%	40	-40.0%	40	-23.0%	40	-42.3%
干拓地の有効活用	40	-30.1%	20	8.3%	36	-17.3%	39	-20.2%	41	-44.8%
公共交通の利便性の向上	41	-30.1%	41	-25.0%	41	-41.3%	41	-25.7%	39	-37.4%
企業誘致・雇用創出	42	-39.6%	39	-16.6%	42	-46.7%	42	-32.6%	42	-49.7%

護」が市全体の順位より満足度が高い項目となった。

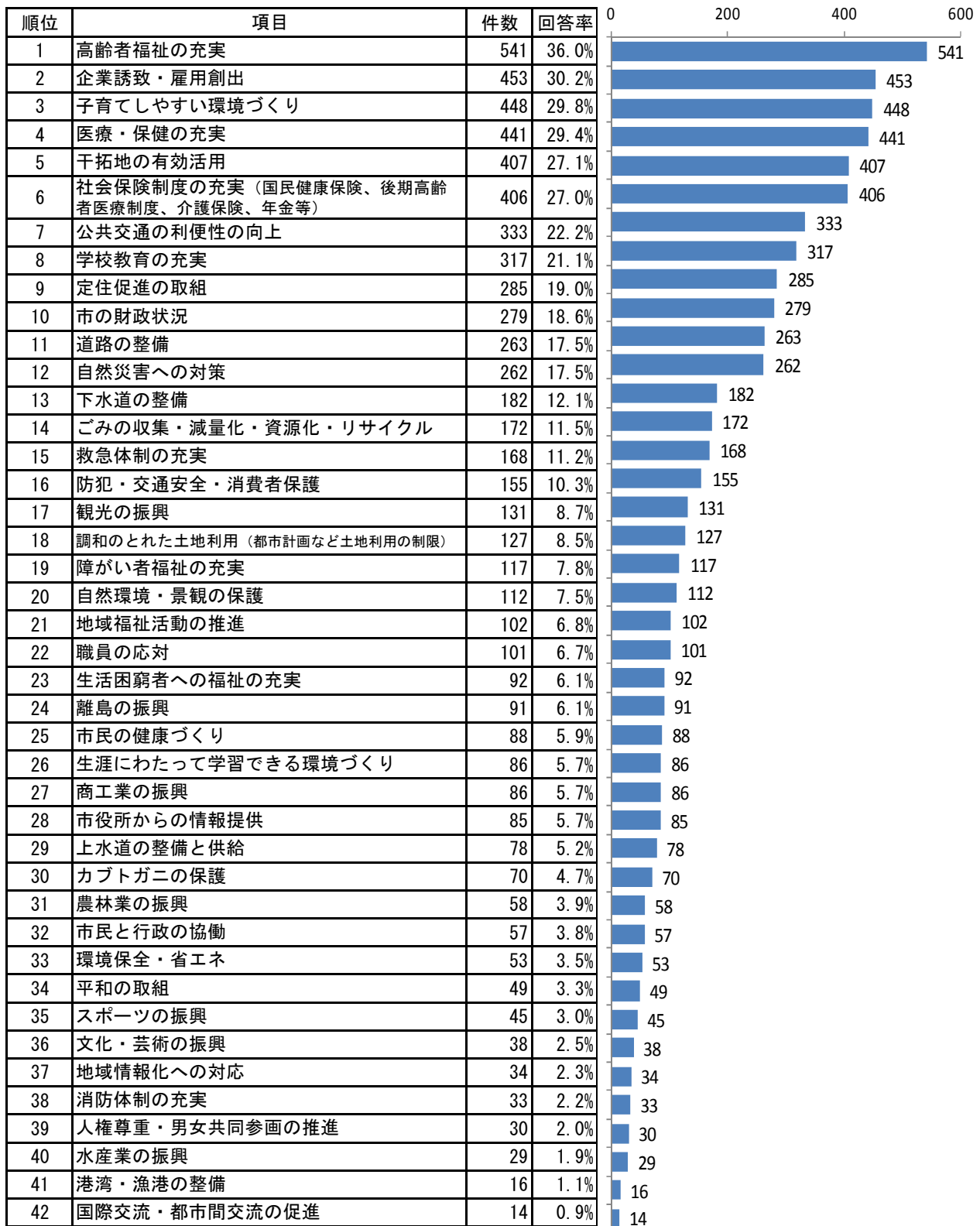
一方、満足度が低い下位5項目をみると、特に「20～29歳」で「市役所からの情報提供」が市全体の順位より満足度が低い項目となり、59歳以下の年齢層でも市全体の順位より低くなっている。

50～59歳		60～69歳		70歳以上		全体		項目
順位	満足度	順位	満足度	順位	満足度	順位	満足度	
2	41.7%	1	56.5%	1	63.7%	1	50.9%	ごみの収集・減量化・資源化・リサイクル
1	44.4%	2	47.9%	2	44.5%	2	46.5%	カブトガニの保護
3	24.2%	3	38.7%	4	41.0%	3	34.7%	消防体制の充実
5	19.3%	4	32.5%	3	43.5%	4	27.9%	上水道の整備と供給
4	19.7%	5	26.4%	7	30.4%	5	24.8%	市民の健康づくり
9	8.0%	6	23.9%	6	32.1%	6	19.3%	職員の対応
15	1.8%	7	22.3%	5	36.9%	7	18.0%	救急体制の充実
8	8.5%	9	17.4%	10	22.2%	8	16.3%	地域福祉活動の推進
7	12.5%	8	17.8%	12	19.0%	9	16.1%	平和の取組
6	13.9%	11	15.0%	14	17.4%	10	15.6%	スポーツの振興
12	5.4%	10	16.5%	8	22.9%	11	15.2%	防犯・交通安全・消費者保護
10	6.7%	14	11.7%	13	17.8%	12	12.5%	文化・芸術の振興
13	2.7%	15	9.5%	16	14.1%	13	11.8%	自然環境・景観の保護
11	6.3%	13	12.3%	19	11.7%	14	9.4%	人権尊重・男女共同参画の推進
21	-3.1%	23	3.7%	15	16.9%	15	7.1%	学校教育の充実
26	-7.6%	12	13.2%	9	22.3%	16	6.6%	市役所からの情報提供
16	1.4%	16	7.6%	20	11.4%	17	6.2%	生涯にわたって学習できる環境づくり
17	1.3%	19	5.5%	22	8.8%	18	5.9%	環境保全・省エネ
20	-3.1%	18	6.1%	18	12.3%	19	5.4%	地域情報化への対応
19	-2.2%	20	4.6%	24	7.8%	20	5.3%	子育てしやすい環境づくり
28	-10.3%	29	-6.2%	11	22.1%	21	5.3%	医療・保健の充実
24	-6.7%	22	4.0%	17	12.7%	22	4.2%	下水道の整備
18	-0.4%	21	4.0%	26	5.3%	23	3.7%	障がい者福祉の充実
23	-5.4%	26	-1.2%	23	8.2%	24	2.9%	高齢者福祉の充実
14	2.2%	17	6.1%	25	5.3%	25	2.5%	港湾・漁港の整備
30	-12.1%	27	-2.8%	21	9.2%	26	1.3%	定住促進の取組
22	-3.6%	24	1.2%	28	1.4%	27	-0.5%	国際交流・都市間交流の促進
25	-6.7%	28	-4.6%	30	-1.1%	28	-3.1%	生活困窮者への福祉の充実
29	-10.3%	25	0.6%	31	-1.9%	29	-4.2%	自然災害への対策
34	-16.6%	32	-11.3%	27	4.9%	30	-6.3%	市民と行政の協働
27	-9.0%	31	-10.8%	35	-7.1%	31	-7.1%	水産業の振興
31	-13.9%	30	-9.5%	33	-4.7%	32	-8.8%	道路の整備
32	-14.3%	33	-12.0%	34	-6.7%	33	-9.6%	離島の振興
35	-19.3%	37	-23.3%	29	1.0%	34	-11.1%	社会保険制度の充実（国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険、年金等）
38	-26.9%	34	-19.3%	32	-4.3%	35	-14.6%	調和のとれた土地利用（都市計画など土地利用の制限）
33	-15.3%	35	-19.9%	39	-18.3%	36	-14.8%	農林業の振興
37	-24.6%	36	-22.1%	36	-8.5%	37	-16.7%	観光の振興
36	-19.8%	38	-23.3%	37	-12.3%	38	-17.1%	商工業の振興
39	-38.6%	40	-34.1%	38	-12.4%	39	-27.5%	市の財政状況
40	-39.4%	41	-38.7%	41	-22.3%	40	-30.1%	干拓地の有効活用
41	-41.2%	39	-31.6%	40	-21.3%	41	-30.1%	公共交通の利便性の向上
42	-50.3%	42	-48.1%	42	-29.4%	42	-39.6%	企業誘致・雇用創出

2 重要度調査の結果

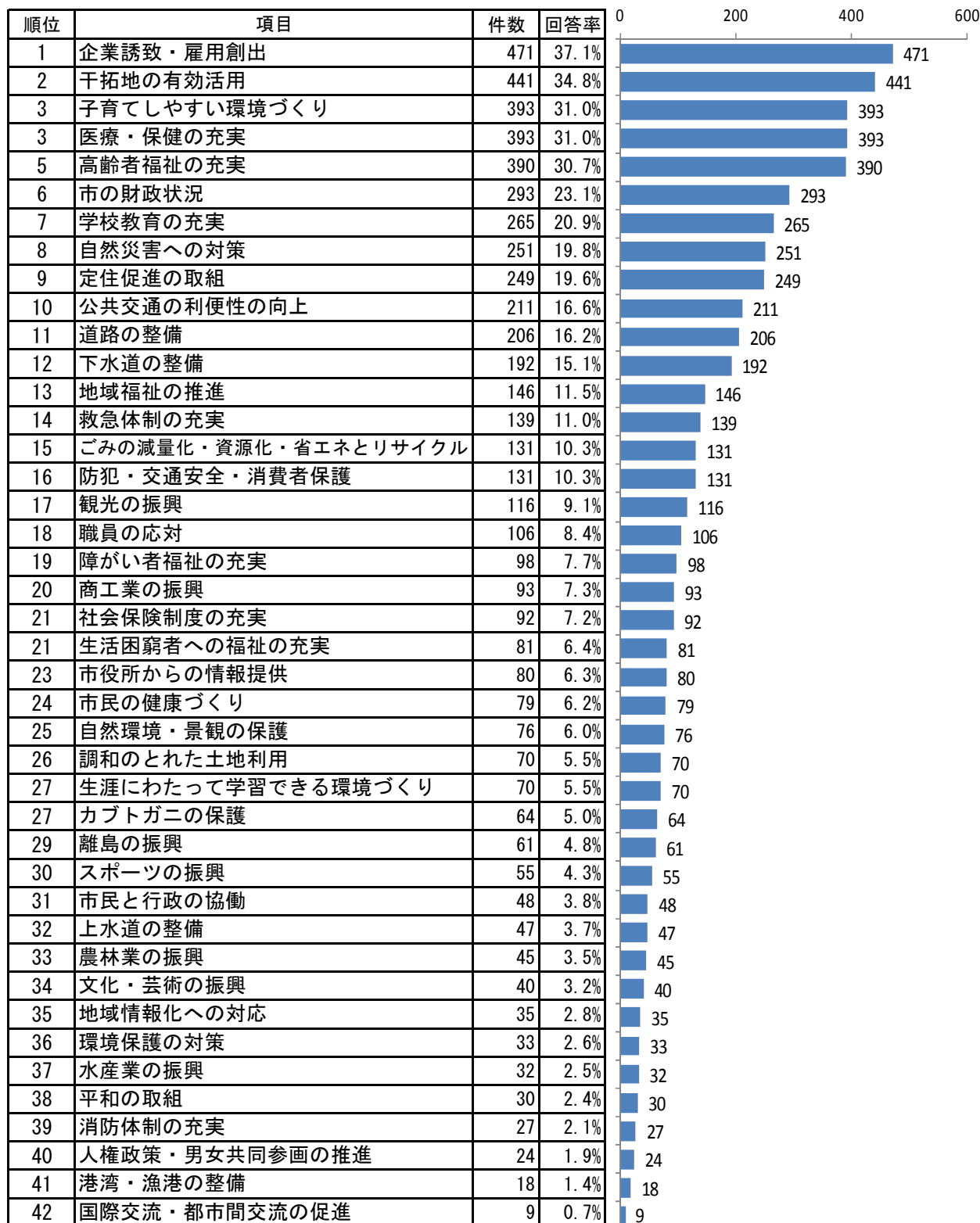
重要度調査（問2「あなたは、笠岡市にとって、次に示す項目のうち何が重要な課題だと思いますか。あてはまる項目を5つまで選んで、番号に○をつけてください。」）で最も重要度が高い結果になった項目は「高齢者福祉の充実」541件（36.0%）、次いで「企業誘致・雇用創出」453件（30.2%）、「子育てしやすい環境づくり」448件（29.8%）となった。

※重要度：当該項目が重要であると選択した人の割合（選択件数／有効回答者1,501件）



《参考》前回（平成24年度）実施した重要度調査結果

重要度調査（問2「あなたは、笠岡市にとって、次に示す項目のうち何が重要な課題だと思いますか。重要だと思うものを5つまで選んで、番号に○をつけてください。」）で最も重要度が高い結果になった項目は「企業誘致・雇用創出」471件（37.1%）、次いで「干拓地の有効利用」441件（34.8%）、「子育てしやすい環境づくり」「医療・保健の充実」がともに393件（31.0%）となった。



年齢別重要度調査の結果

年齢別に重要度が高い上位5項目をみると、「20～29歳」から「40～49歳」で「子育てしやすい環境づくり」が最も重要度が高い項目となった。また、「60～69歳」「70歳以上」で「社会保険制度の充実」、「18・19歳」と「70歳以上」で「公共交通の利便性の向上」、「20～29歳」から「40～49歳」で「学校教育の充実」が市全体の順位より重要度が高い項目

項目	全体		18、19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳	
	順位	回答率	順位	回答率	順位	回答率	順位	回答率	順位	回答率
高齢者福祉の充実	1	36.0%	4	29.2%	6	21.3%	6	22.2%	5	23.9%
企業誘致・雇用創出	2	30.2%	5	29.2%	2	33.3%	3	27.8%	2	32.5%
子育てしやすい環境づくり	3	29.8%	10	20.8%	1	52.0%	1	53.5%	1	47.2%
医療・保健の充実	4	29.4%	2	33.3%	5	24.0%	2	35.4%	3	32.5%
干拓地の有効活用	5	27.1%	3	33.3%	7	21.3%	4	27.1%	7	23.3%
社会保険制度の充実（国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険、年金等）	6	27.0%	12	16.7%	8	18.7%	9	18.1%	13	14.7%
公共交通の利便性の向上	7	22.2%	1	37.5%	12	14.7%	10	17.4%	10	20.9%
学校教育の充実	8	21.1%	8	25.0%	3	26.7%	5	27.1%	4	28.2%
定住促進の取組	9	19.0%	22	4.2%	9	17.3%	8	20.1%	8	22.1%
市の財政状況	10	18.6%	6	29.2%	4	26.7%	11	17.4%	9	21.5%
道路の整備	11	17.5%	9	25.0%	13	13.3%	13	12.5%	11	16.6%
自然災害への対策	12	17.5%	7	29.2%	14	13.3%	12	15.3%	6	23.9%
下水道の整備	13	12.1%	13	16.7%	15	9.3%	17	8.3%	17	11.0%
ごみの収集・減量化・資源化・リサイクル	14	11.5%	32	0.0%	21	5.3%	18	8.3%	20	8.6%
救急体制の充実	15	11.2%	11	20.8%	19	8.0%	7	22.2%	12	15.3%
防犯・交通安全・消費者保護	16	10.3%	15	12.5%	16	9.3%	14	11.8%	16	11.7%
観光の振興	17	8.7%	18	8.3%	10	16.0%	16	10.4%	14	13.5%
調和のとれた土地利用（都市計画など土地利用の制限）	18	8.5%	23	4.2%	22	5.3%	24	4.9%	18	9.8%
障がい者福祉の充実	19	7.8%	24	4.2%	20	8.0%	15	11.1%	15	12.9%
自然環境・景観の保護	20	7.5%	25	4.2%	33	2.7%	19	8.3%	22	6.7%
地域福祉活動の推進	21	6.8%	26	4.2%	25	4.0%	30	2.8%	26	4.3%
職員の応対	22	6.7%	27	4.2%	11	16.0%	26	4.2%	19	9.2%
生活困窮者への福祉の充実	23	6.1%	19	8.3%	35	1.3%	29	3.5%	25	4.9%
離島の振興	24	6.1%	20	8.3%	17	9.3%	20	8.3%	27	4.3%
市民の健康づくり	25	5.9%	28	4.2%	26	4.0%	31	2.8%	31	3.7%
生涯にわたって学習できる環境づくり	26	5.7%	33	0.0%	23	5.3%	25	4.9%	23	6.1%
商工業の振興	27	5.7%	34	0.0%	27	4.0%	22	6.9%	28	4.3%
市役所からの情報提供	28	5.7%	35	0.0%	34	2.7%	33	2.1%	32	3.7%
上水道の整備と供給	29	5.2%	16	12.5%	28	4.0%	23	6.3%	21	8.0%
カブトガニの保護	30	4.7%	17	12.5%	18	9.3%	21	8.3%	29	4.3%
農林業の振興	31	3.9%	36	0.0%	29	4.0%	35	1.4%	37	1.8%
市民と行政の協働	32	3.8%	37	0.0%	30	4.0%	27	4.2%	34	3.1%
環境保全・省エネ	33	3.5%	29	4.2%	36	1.3%	32	2.8%	24	5.5%
平和の取組	34	3.3%	38	0.0%	41	0.0%	39	0.7%	38	1.2%
スポーツの振興	35	3.0%	14	16.7%	31	4.0%	28	4.2%	33	3.7%
文化・芸術の振興	36	2.5%	39	0.0%	37	1.3%	36	1.4%	35	3.1%
地域情報化への対応	37	2.3%	40	0.0%	38	1.3%	37	1.4%	30	4.3%
消防体制の充実	38	2.2%	30	4.2%	42	0.0%	41	0.0%	41	0.6%
人権尊重・男女共同参画の推進	39	2.0%	31	4.2%	32	4.0%	40	0.7%	39	1.2%
水産業の振興	40	1.9%	41	0.0%	24	5.3%	38	1.4%	36	2.5%
港湾・漁港の整備	41	1.1%	42	0.0%	39	1.3%	34	2.1%	40	1.2%
国際交流・都市間交流の促進	42	0.9%	21	8.3%	40	1.3%	42	0.0%	42	0.6%

となった。

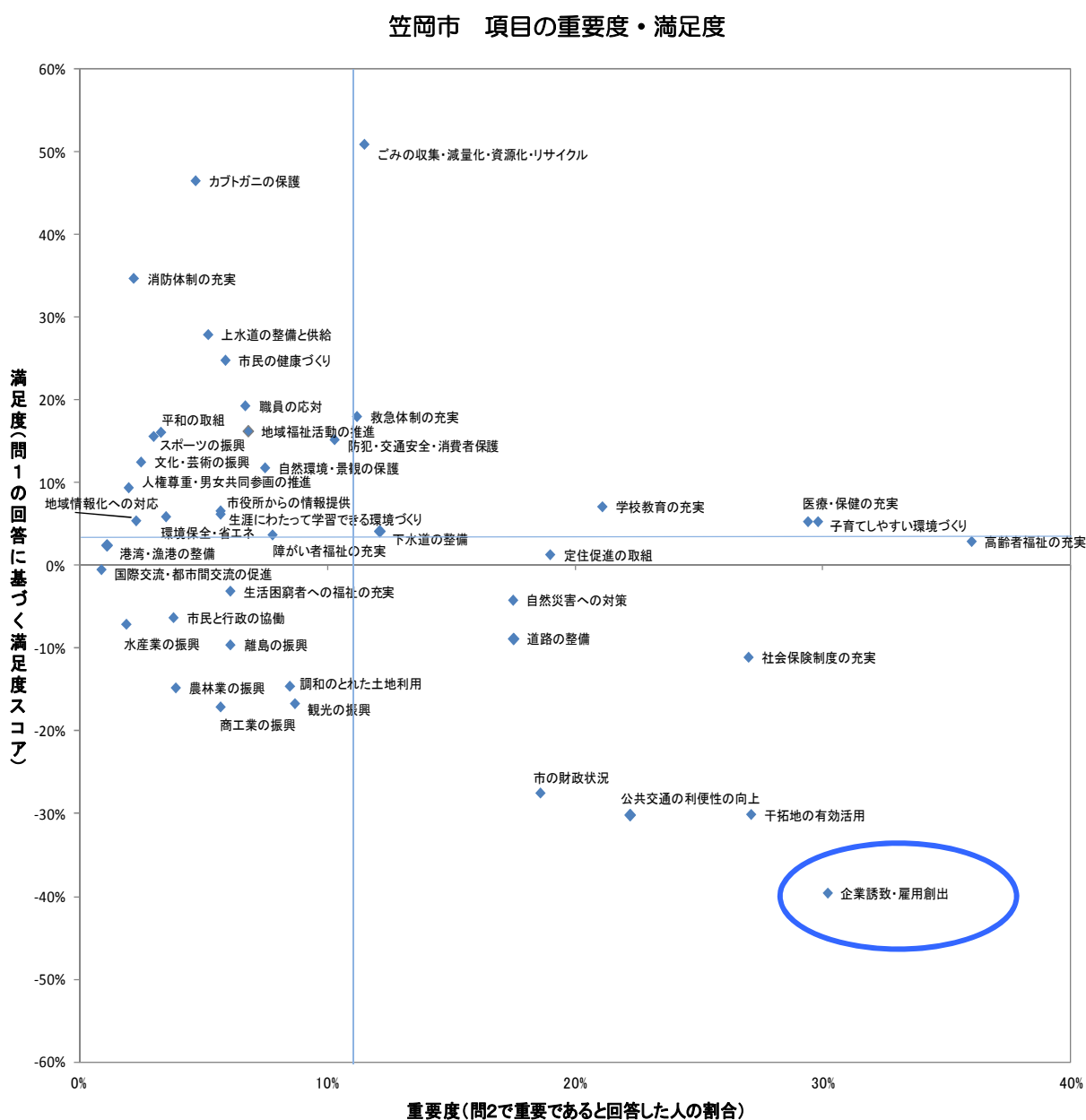
50～59歳		60～69歳		70歳以上		全体		項目
順位	回答率	順位	回答率	順位	回答率	順位	回答率	
2	31.8%	1	36.5%	1	49.6%	1	36.0%	高齢者福祉の充実
1	40.8%	2	35.0%	6	23.5%	2	30.2%	企業誘致・雇用創出
3	29.6%	6	24.8%	8	18.4%	3	29.8%	子育てしやすい環境づくり
5	26.0%	4	33.4%	5	26.9%	4	29.4%	医療・保健の充実
4	28.3%	5	29.4%	4	27.1%	5	27.1%	干拓地の有効活用
7	25.6%	3	33.7%	2	33.3%	6	27.0%	社会保険制度の充実（国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険、年金等）
8	22.4%	11	17.8%	3	28.0%	7	22.2%	公共交通の利便性の向上
10	21.1%	9	19.9%	9	17.8%	8	21.1%	学校教育の充実
9	22.4%	8	20.2%	10	17.1%	9	19.0%	定住促進の取組
6	26.0%	7	20.6%	15	12.0%	10	18.6%	市の財政状況
12	18.4%	10	18.4%	7	19.2%	11	17.5%	道路の整備
11	20.2%	12	17.8%	11	15.7%	12	17.5%	自然災害への対策
13	12.1%	13	13.2%	13	13.1%	13	12.1%	下水道の整備
18	8.1%	14	12.9%	12	14.5%	14	11.5%	ごみの収集・減量化・資源化・リサイクル
14	12.1%	16	8.9%	19	7.8%	15	11.2%	救急体制の充実
19	8.1%	19	7.4%	14	12.4%	16	10.3%	防犯・交通安全・消費者保護
15	12.1%	20	7.4%	28	5.5%	17	8.7%	観光の振興
16	10.3%	15	11.0%	21	7.3%	18	8.5%	調和のとれた土地利用（都市計画など土地利用の制限）
22	7.2%	23	6.7%	23	6.5%	19	7.8%	障がい者福祉の充実
17	8.5%	18	8.0%	22	6.7%	20	7.5%	自然環境・景観の保護
23	7.2%	21	7.4%	16	9.0%	21	6.8%	地域福祉活動の推進
25	6.7%	28	5.2%	24	6.3%	22	6.7%	職員の対応
32	3.1%	17	8.3%	18	8.0%	23	6.1%	生活困窮者への福祉の充実
27	5.4%	24	6.1%	27	5.7%	24	6.1%	離島の振興
20	7.6%	26	5.8%	20	7.6%	25	5.9%	市民の健康づくり
29	3.6%	22	7.1%	25	6.1%	26	5.7%	生涯にわたって学習できる環境づくり
21	7.6%	25	6.1%	29	5.3%	27	5.7%	商工業の振興
26	5.8%	27	5.5%	17	8.6%	28	5.7%	市役所からの情報提供
30	3.6%	30	4.9%	31	4.7%	29	5.2%	上水道の整備と供給
24	7.2%	34	3.1%	36	2.7%	30	4.7%	カブトガニの保護
37	1.8%	29	5.2%	26	5.9%	31	3.9%	農林業の振興
28	4.9%	32	4.0%	33	3.3%	32	3.8%	市民と行政の協働
33	2.7%	33	4.0%	35	2.9%	33	3.5%	環境保全・省エネ
34	2.7%	31	4.3%	30	4.9%	34	3.3%	平和の取組
35	2.7%	35	2.8%	38	2.2%	35	3.0%	スポーツの振興
31	3.6%	36	2.8%	37	2.7%	36	2.5%	文化・芸術の振興
38	1.3%	39	1.5%	34	3.3%	37	2.3%	地域情報化への対応
39	1.3%	37	2.5%	32	3.5%	38	2.2%	消防体制の充実
36	2.2%	38	2.1%	40	1.8%	39	2.0%	人権尊重・男女共同参画の推進
40	1.3%	40	1.5%	39	2.0%	40	1.9%	水産業の振興
41	1.3%	41	0.9%	42	0.4%	41	1.1%	港湾・漁港の整備
42	0.4%	42	0.9%	41	0.8%	42	0.9%	国際交流・都市間交流の促進

3 重要度・満足度からみた分析

横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、重要度の平均値（11.0%）と満足度スコア0を交点としたグラフに、各アンケート項目をプロットする形式で示した（なお、満足度スコアの平均値は3.2%）。重要度、満足度の算出方法は以下のとおりである。

重要度: 当該項目が重要であると選択した人の割合（選択件数／有効回答者1,501件）

満足度: 「満足率（「満足」、「まあ満足」と回答した人の割合）」から「不満率（「やや不満」、「不満」と回答した人の割合）」を控除した数値（以下「満足度スコア」という。）



重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」という結果になった。

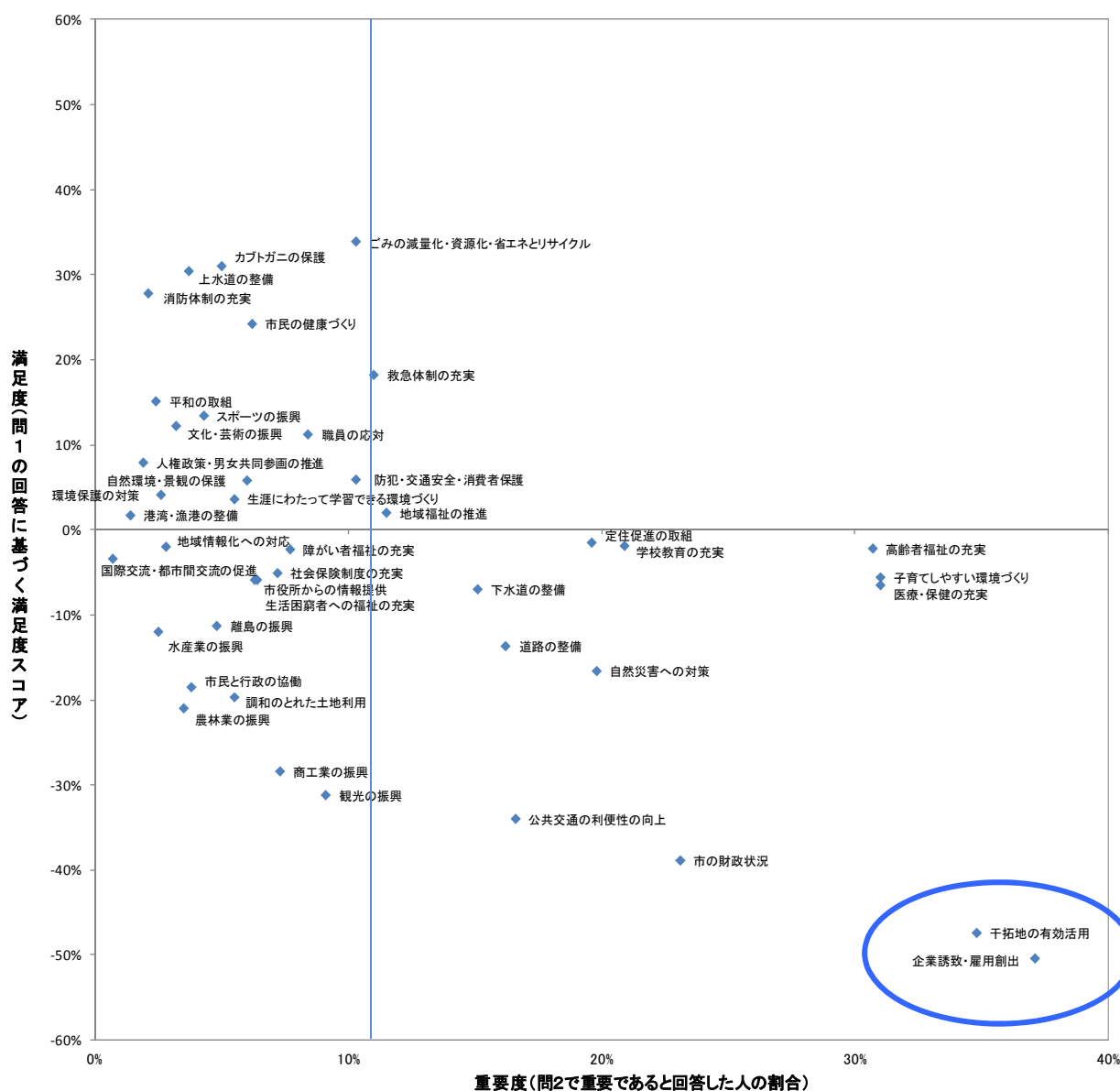
《参考》前回（平成24年度）実施した調査の重要度・満足度調査結果

横軸に重要度、縦軸に満足度をとり、重要度の平均値（10.9%）と満足度スコア0を交点としたグラフに、各アンケート項目をプロットする形式で示した（なお、満足度スコアの平均値は-0.3%）。重要度、満足度の算出方法は以下のとおりである。

重要度: 当該項目が重要であると選択した人の割合（選択件数／有効回答者1,269件）

満足度: 「満足率（「満足」、「まあ満足」と回答した人の割合）」から「不満率（「やや不満」、「不満」と回答した人の割合）」を控除した数値（以下「満足度スコア」という。）

笠岡市 項目の重要度・満足度



重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」「干拓地の有効活用」という結果になった。

項目ごとの重要度（問2で重要であると回答した人の割合）、満足度（問1の回答に基づく満足度スコア）は以下のとおりである。

重要度・満足度欄の左側の数値は今回調査の数値、右側の数値は平成24年度の数値である。

総合計画大綱	項目	重要度		満足度	
定住促進	定住促進の取組	19.0%	19.6%	1.3%	-1.5%
安全で 快適な まちづくり	調和のとれた土地利用（都市計画など土地利用の制限）	8.5%	5.5%	-14.6%	-19.7%
	自然環境・景観の保護	7.5%	6.0%	11.8%	5.8%
	公共交通の利便性の向上	22.2%	16.6%	-30.1%	-34.0%
	道路の整備	17.5%	16.2%	-8.8%	-13.7%
	港湾・漁港の整備	1.1%	1.4%	2.5%	1.7%
	上水道の整備と供給	5.2%	3.7%	27.9%	30.4%
	下水道の整備	12.1%	15.1%	4.2%	-7.0%
	自然災害への対策	17.5%	19.8%	-4.2%	-16.6%
	消防体制の充実	2.2%	2.1%	34.7%	27.8%
	ごみの収集・減量化・資源化・リサイクル	11.5%	10.3%	50.9%	33.9%
	防犯・交通安全・消費者保護	10.3%	10.3%	15.2%	5.9%
	地域情報化への対応	2.3%	2.8%	5.4%	-2.0%
	環境保全・省エネ	3.5%	2.6%	5.9%	4.1%
	カブトガニの保護	4.7%	5.0%	46.5%	31.0%
心豊かな 人づくり	学校教育の充実	21.1%	20.9%	7.1%	-1.9%
	文化・芸術の振興	2.5%	3.2%	12.5%	12.2%
	生涯にわたって学習できる環境づくり	5.7%	5.5%	6.2%	3.6%
	スポーツの振興	3.0%	4.3%	15.6%	13.4%
	人権尊重・男女共同参画の推進	2.0%	1.9%	9.4%	7.9%
	平和の取組	3.3%	2.4%	16.1%	15.1%
安心して 暮らせる まちづくり	地域福祉活動の推進	6.8%	11.5%	16.3%	2.0%
	子育てしやすい環境づくり	29.8%	31.0%	5.3%	-5.6%
	市民の健康づくり	5.9%	6.2%	24.8%	24.2%
	高齢者福祉の充実	36.0%	30.7%	2.9%	-2.2%
	障がい者福祉の充実	7.8%	7.7%	3.7%	-2.3%
	生活困窮者への福祉の充実	6.1%	6.4%	-3.1%	-5.9%
	医療・保健の充実	29.4%	31.0%	5.3%	-6.5%
	救急体制の充実	11.2%	11.0%	18.0%	18.2%
	社会保険制度の充実（国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険、年金等）	27.0%	7.2%	-11.1%	-5.1%
活気ある まちづくり	企業誘致・雇用創出	30.2%	37.1%	-39.6%	-50.4%
	農林業の振興	3.9%	3.5%	-14.8%	-21.0%
	水産業の振興	1.9%	2.5%	-7.1%	-12.0%
	商工業の振興	5.7%	7.3%	-17.1%	-28.4%
	観光の振興	8.7%	9.1%	-16.7%	-31.2%
	離島の振興	6.1%	4.8%	-9.6%	-11.3%
	干拓地の有効活用	27.1%	34.8%	-30.1%	-47.4%
人と人が つながる まちづくり	市民と行政の協働	3.8%	3.8%	-6.3%	-18.5%
	国際交流・都市間交流の促進	0.9%	0.7%	-0.5%	-3.4%
計画実現に 向けた取組	市の財政状況	18.6%	23.1%	-27.5%	-38.9%
	市役所からの情報提供	5.7%	6.3%	6.6%	-5.9%
	職員の応対	6.7%	8.4%	19.3%	11.2%

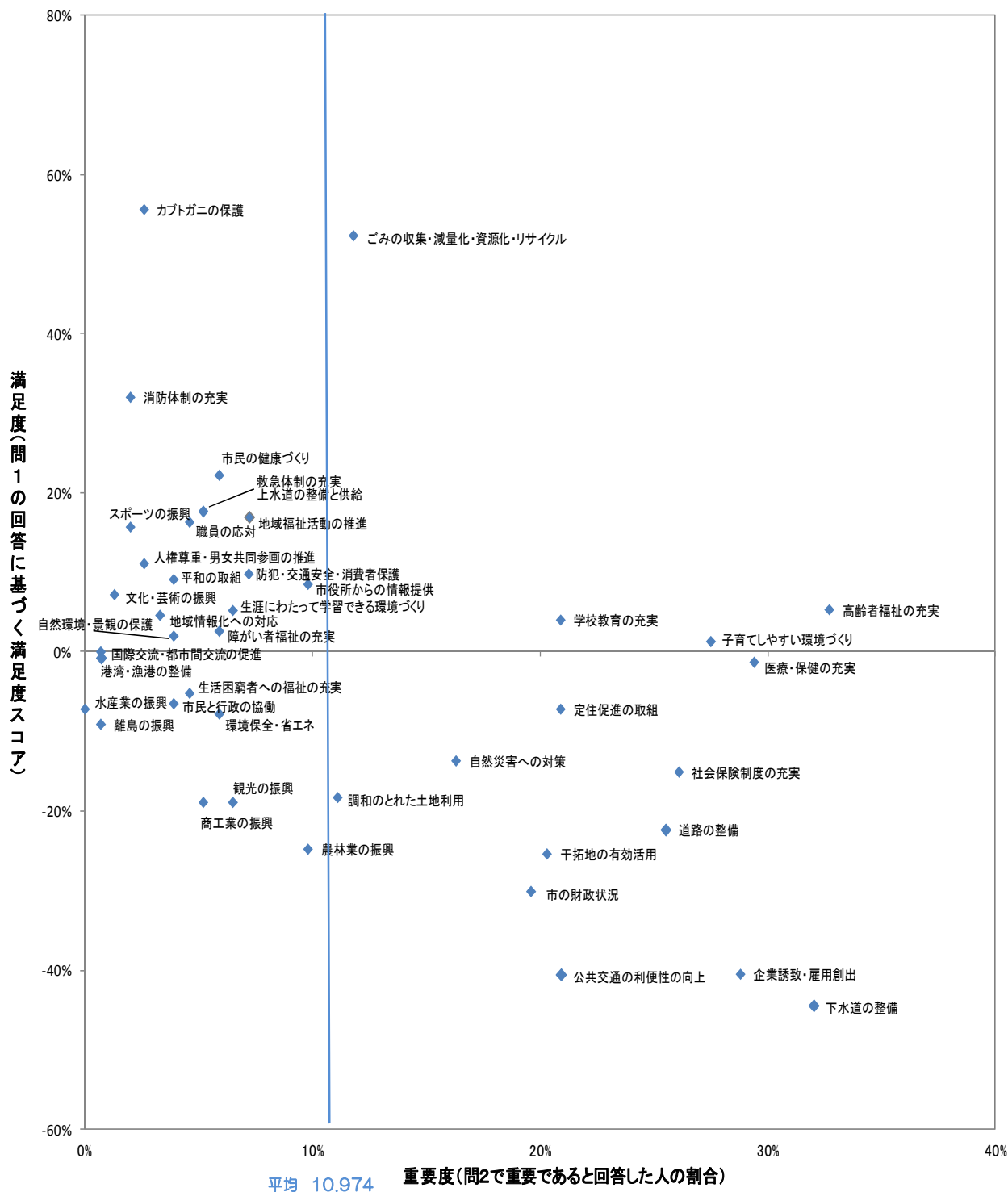
《参考》前回（平成24年度）実施した調査の重要度・満足度

（問2で重要であると回答した人の割合）、満足度（問1の回答に基づく満足度スコア）は以下のとおりだった。

総合計画大綱	項目	重要度	満足度
定住促進	定住促進の取組	19.6%	-1.5%
安全で快適なまちづくり	調和のとれた土地利用（土地利用の制限）	5.5%	-19.7%
	自然環境・景観の保護	6.0%	5.8%
	公共交通の利便性の向上	16.6%	-34.0%
	道路の整備	16.2%	-13.7%
	港湾・漁港の整備	1.4%	1.7%
	上水道の整備と供給	3.7%	30.4%
	下水道の整備	15.1%	-7.0%
	自然災害への対策	19.8%	-16.6%
	消防体制の充実	2.1%	27.8%
	ごみの減量化・資源化・省エネとリサイクル	10.3%	33.9%
	防犯・交通安全・消費者保護	10.3%	5.9%
	地域情報化への対応	2.8%	-2.0%
	環境保護の対策	2.6%	4.1%
	カブトガニの保護	5.0%	31.0%
心豊かな人づくり	学校教育の充実	20.9%	-1.9%
	文化・芸術の振興	3.2%	12.2%
	生涯にわたって学習できる環境づくり	5.5%	3.6%
	スポーツの振興	4.3%	13.4%
	人権尊重・男女共同参画の推進	1.9%	7.9%
	平和の取組	2.4%	15.1%
安心して暮らせるまちづくり	地域福祉活動の推進	11.5%	2.0%
	子育てしやすい環境づくり	31.0%	-5.6%
	市民の健康づくり	6.2%	24.2%
	高齢者福祉の充実	30.7%	-2.2%
	障がい者福祉の充実	7.7%	-2.3%
	生活困窮者への福祉の充実	6.4%	-5.9%
	医療・保健の充実	31.0%	-6.5%
	救急体制の充実	11.0%	18.2%
	社会保険制度の充実	7.2%	-5.1%
活気あるまちづくり	企業誘致・雇用創出	37.1%	-50.4%
	農林業の振興	3.5%	-21.0%
	水産業の振興	2.5%	-12.0%
	商工業の振興	7.3%	-28.4%
	観光の振興	9.1%	-31.2%
	離島の振興	4.8%	-11.3%
	干拓地の有効活用	34.8%	-47.4%
人と人がつながるまちづくり	市民と行政の協働	3.8%	-18.5%
	国際交流・都市間交流の促進	0.7%	-3.4%
計画実現に向けた取組	市の財政状況	23.1%	-38.9%
	市役所からの情報提供	6.3%	-5.9%
	職員の応対	8.4%	11.2%

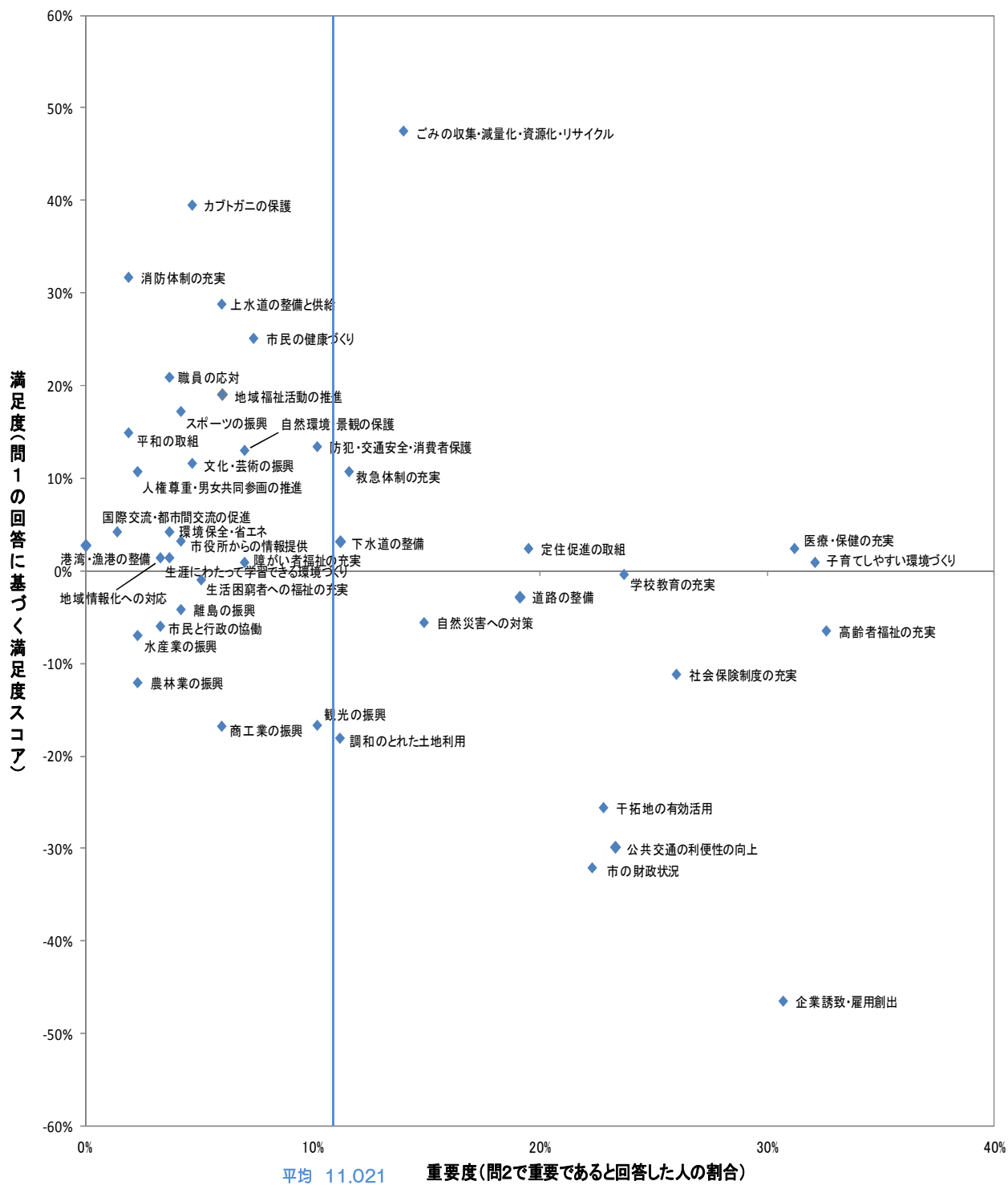
4 居住地域ごとの重要度・満足度

(1) 北川、新山、吉田地域の重要度・満足度



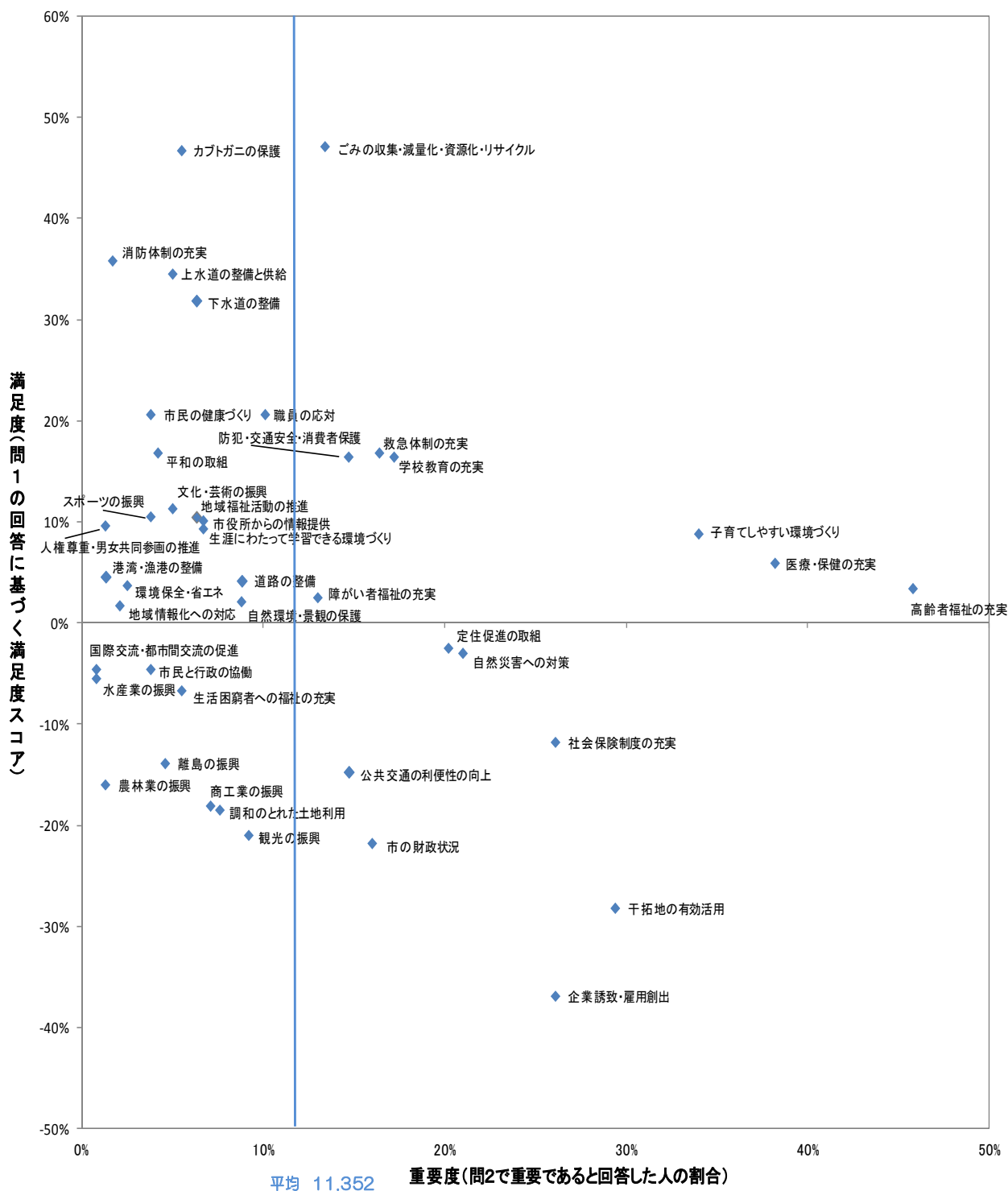
重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「下水道の整備」「企業誘致・雇用創出」という結果になった。

(2) 大井、今井地域の重要度・満足度



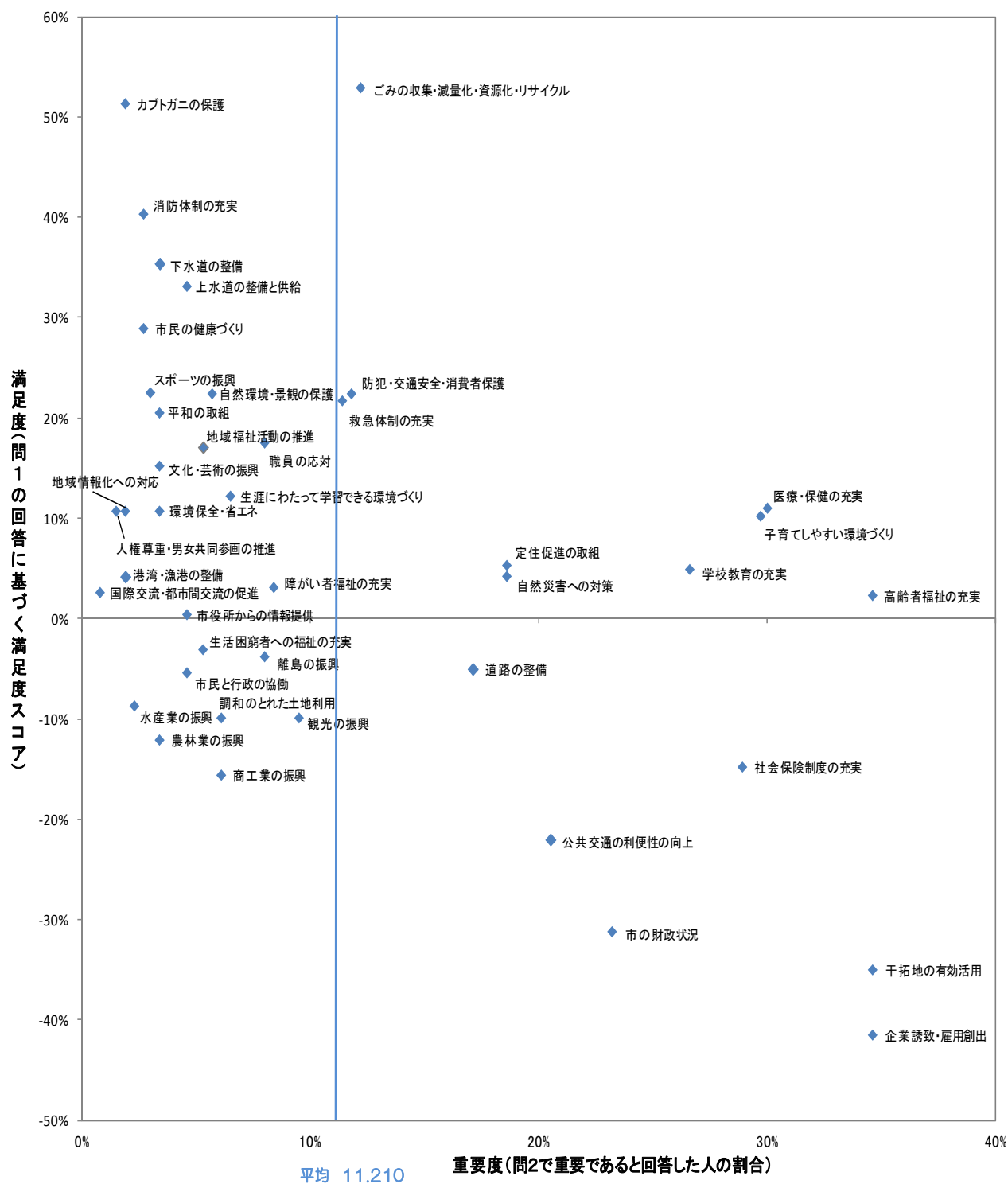
重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」という結果になった。

(3) 笠岡地域の重要度・満足度



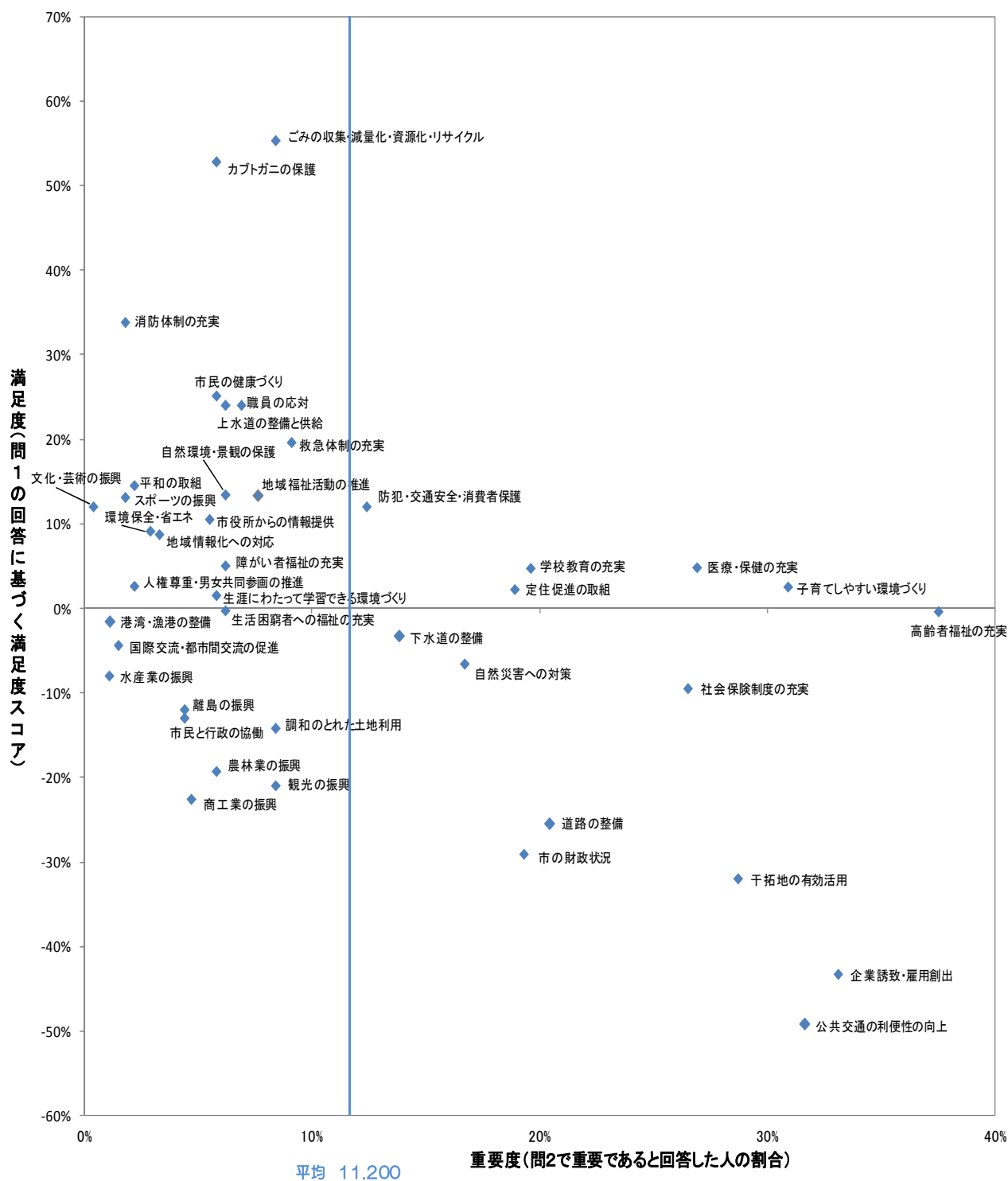
重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」という結果になった。

(4) 富岡、番町、新横島、緑町、横江、美の浜地域の重要度・満足度



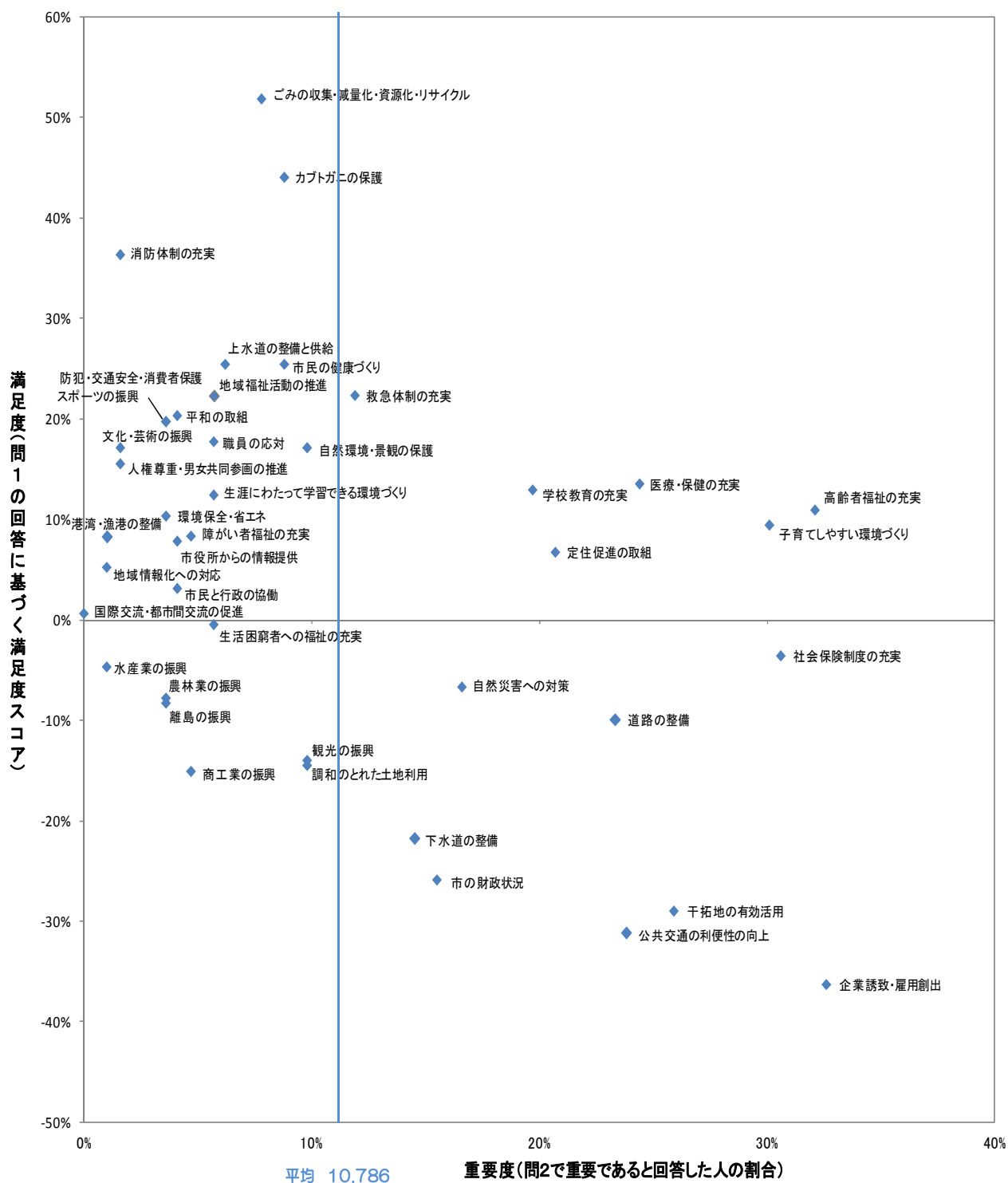
重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」という結果になった。

(5) 金浦、城見、陶山地域の重要度・満足度



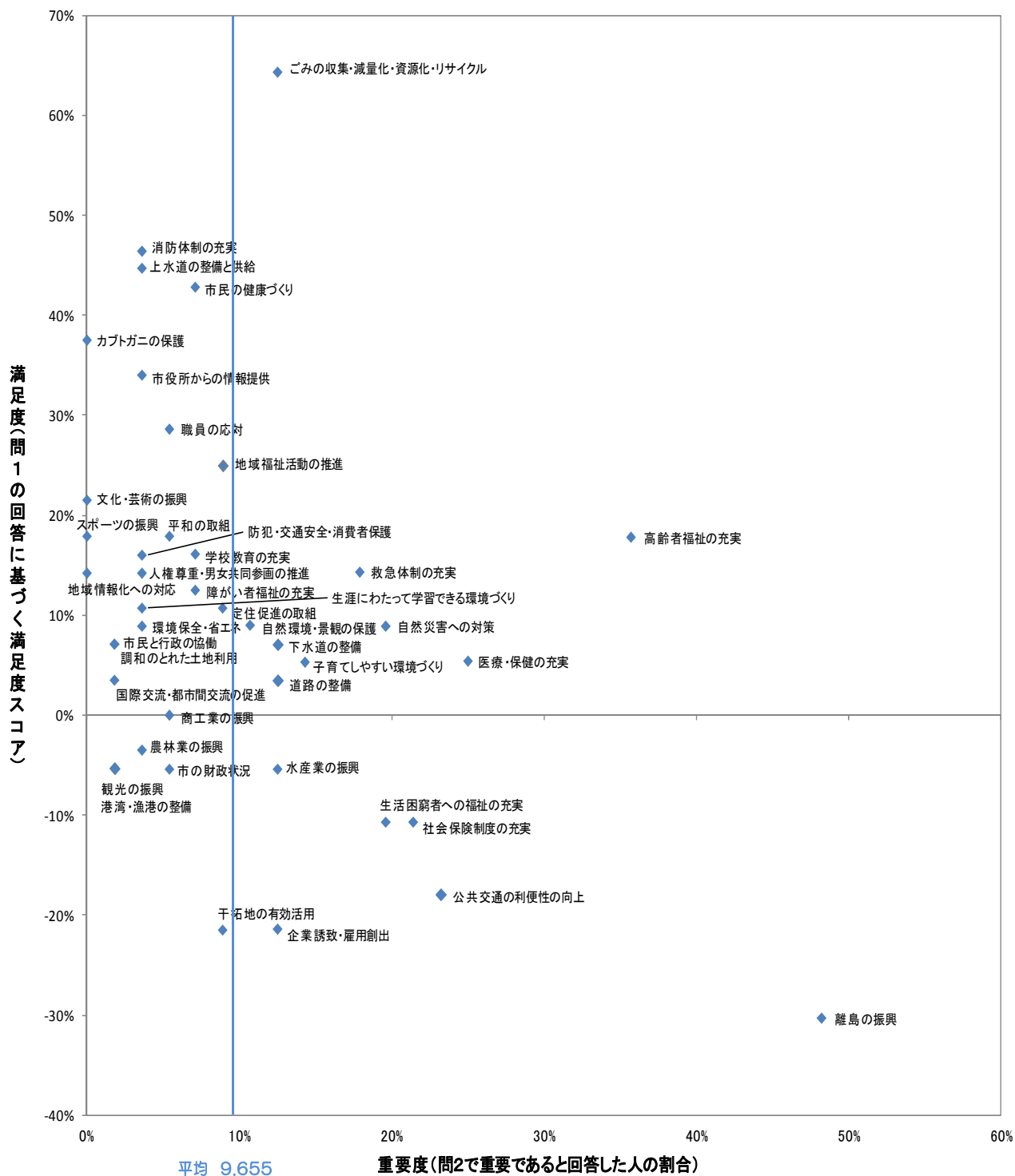
重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「公共交通の利便性の向上」という結果になった。

(6) 大島、神島、神島外、干拓地地域の重要度・満足度



重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」という結果になった。

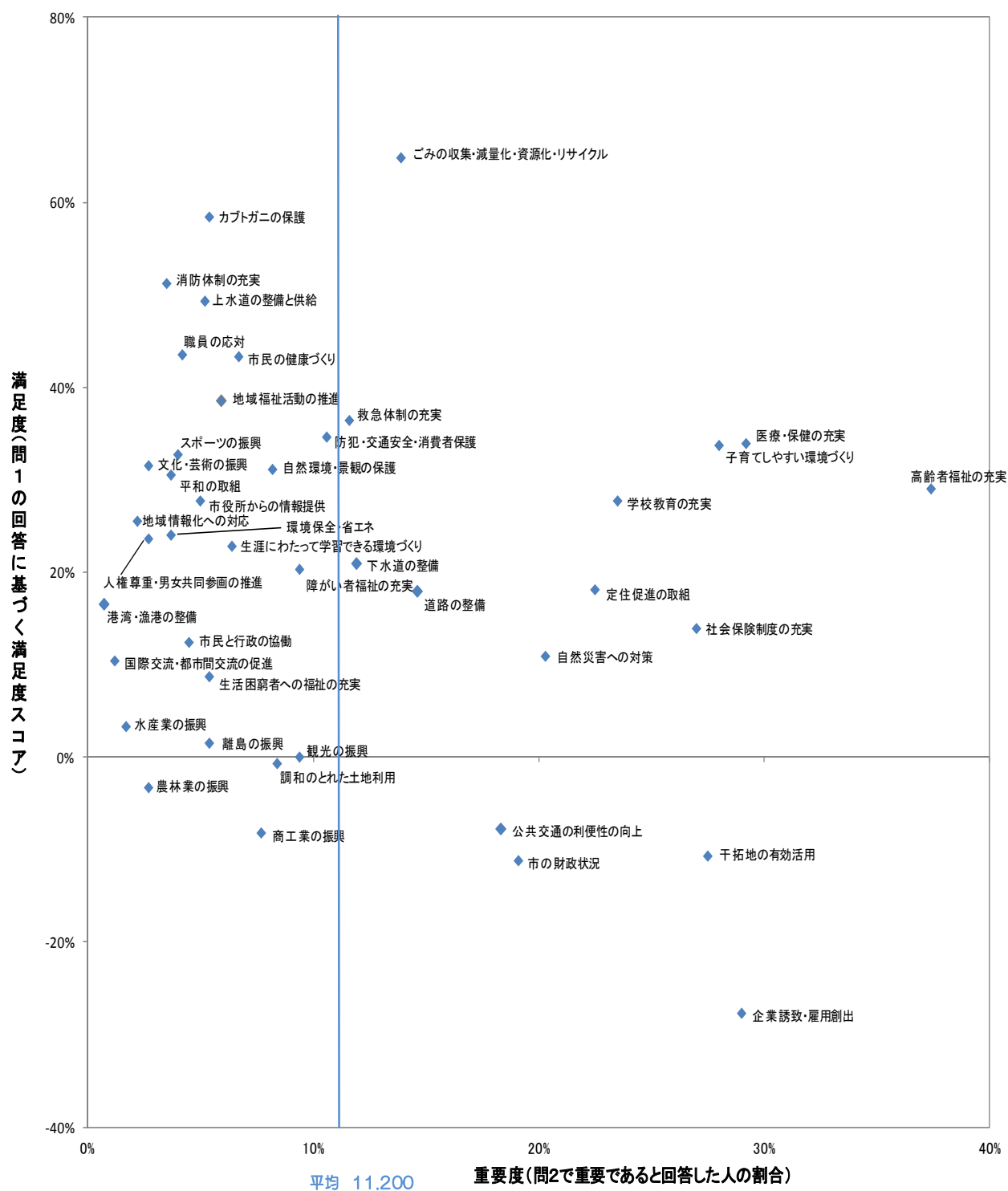
(7) 高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島地域の重要度・満足度



重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「離島の振興」という結果になった。

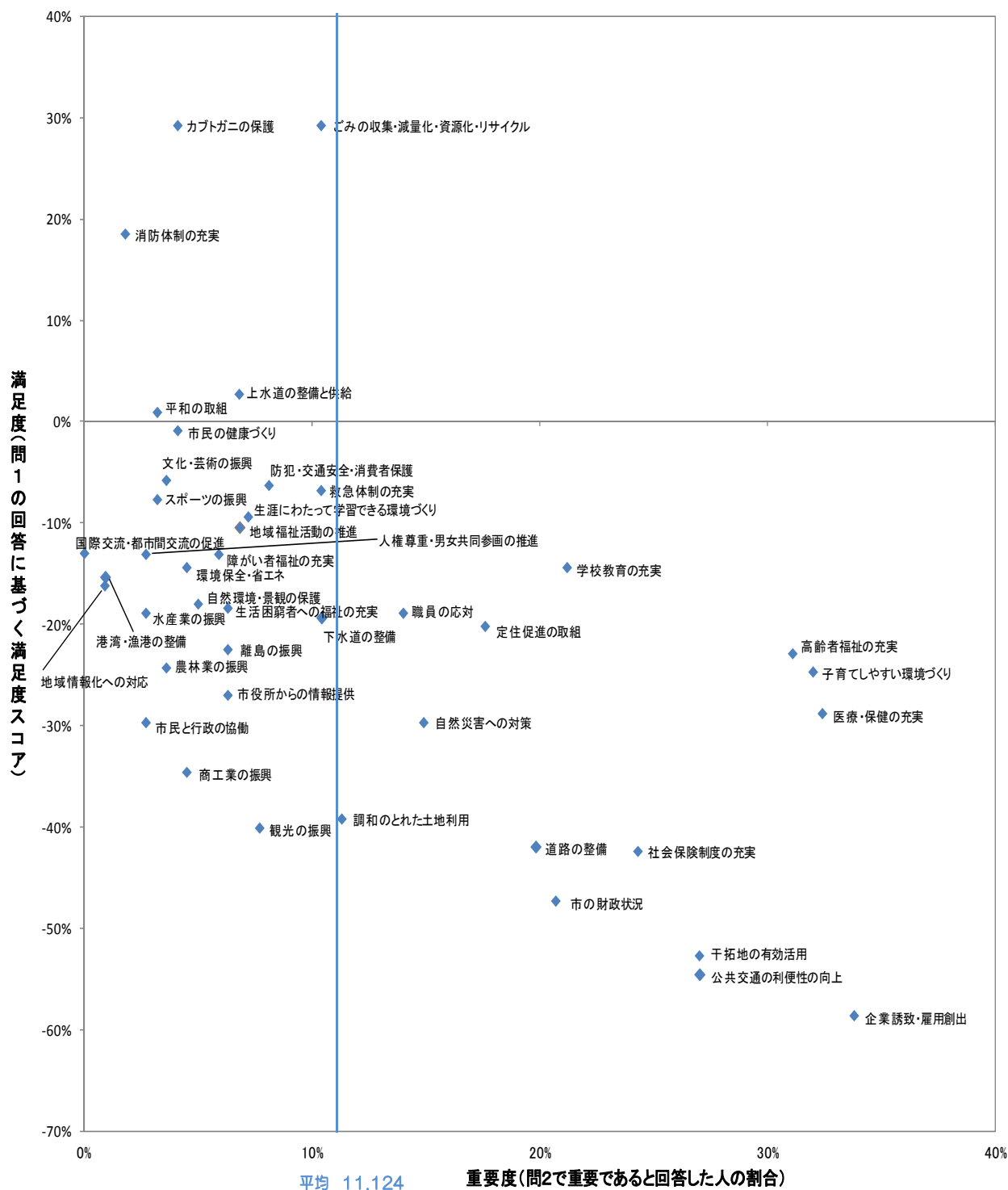
5 笠岡市の住み心地ごとの重要度・満足度

(1) 「住みよい」と思っている市民の重要度・満足度



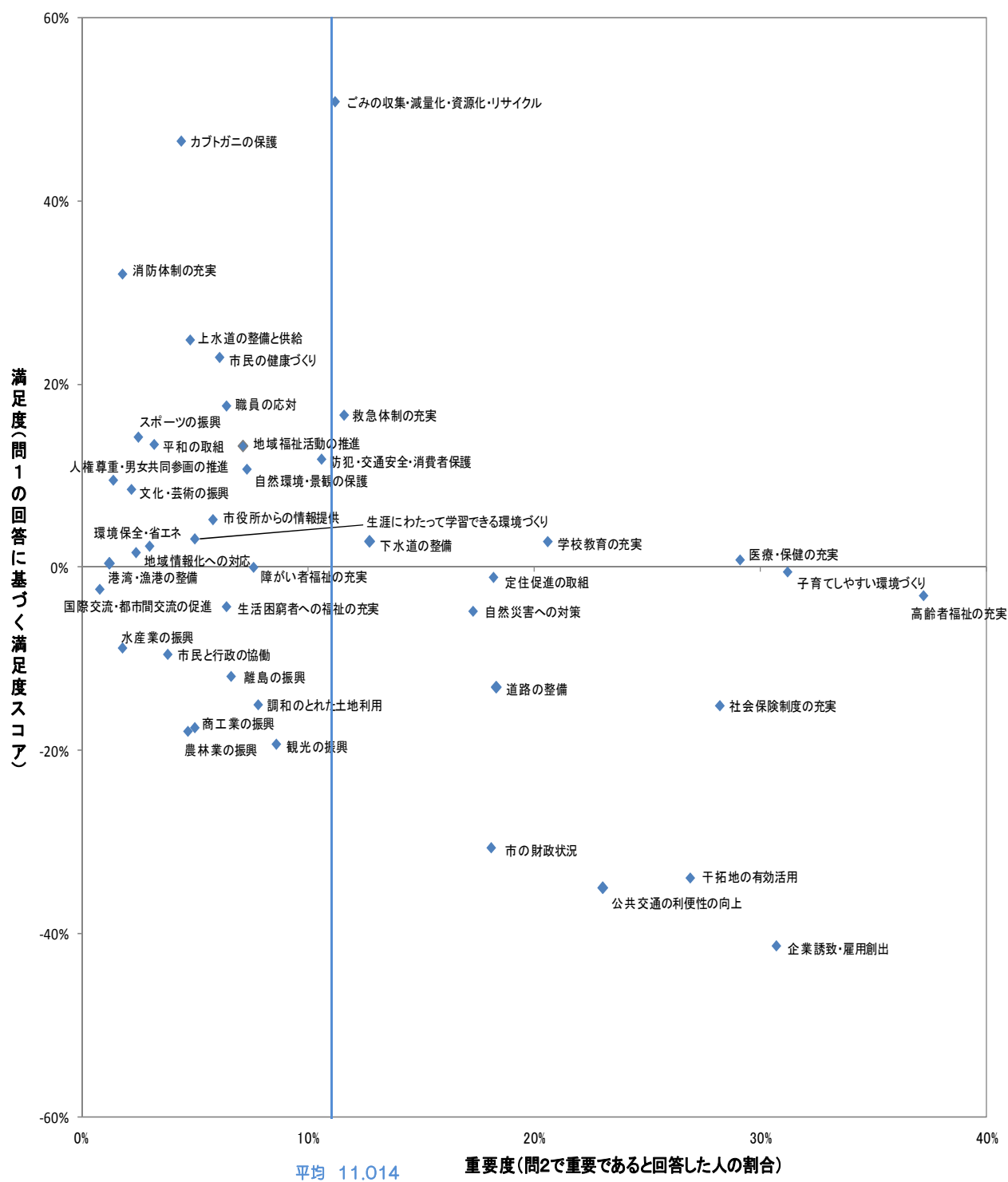
重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」という結果になった。

(2) 「住みにくい」と思っている市民の重要度・満足度



重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」という結果になった。

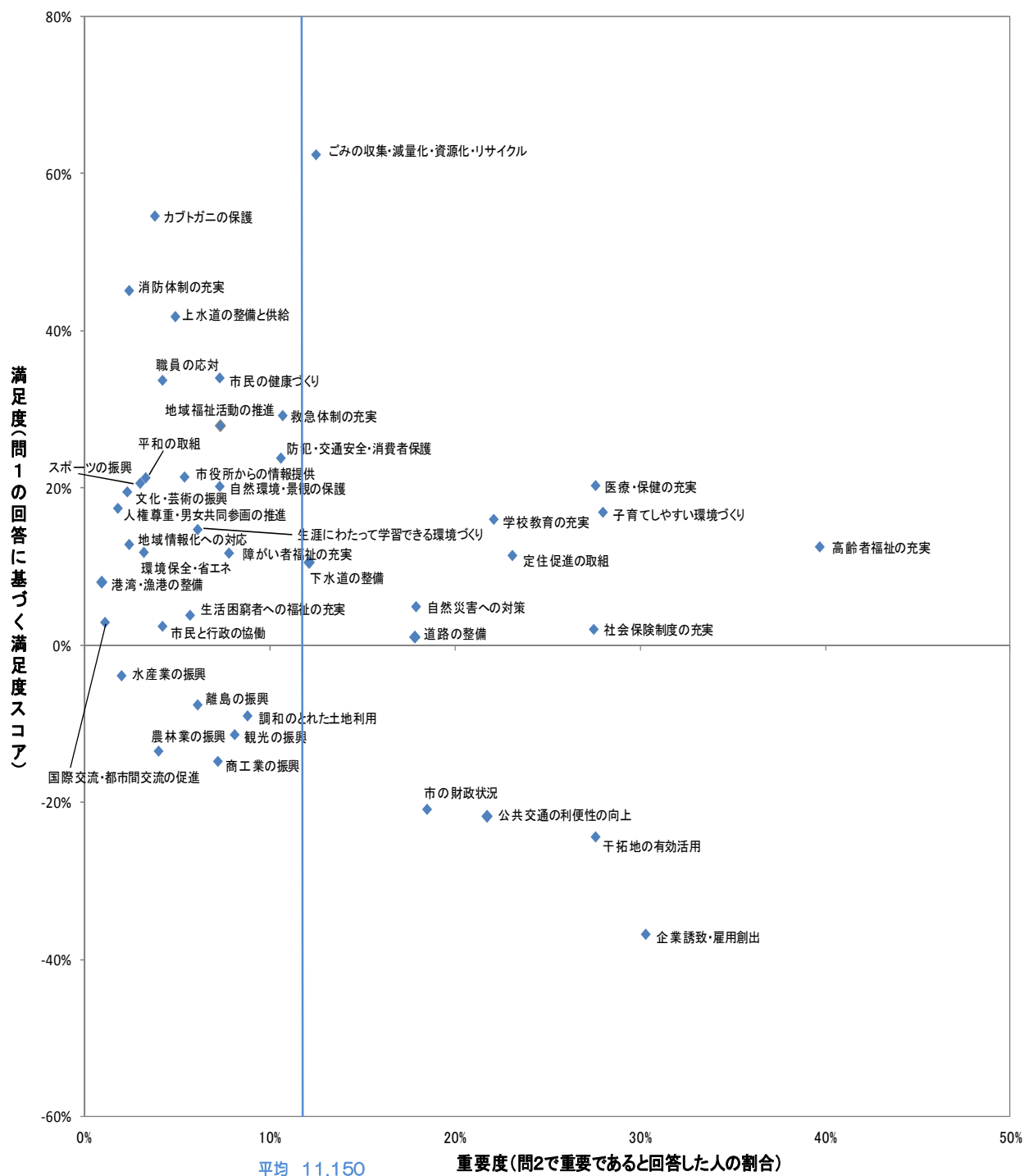
(3) 「特に気にしていない」市民の重要度・満足度



重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」という結果になった。

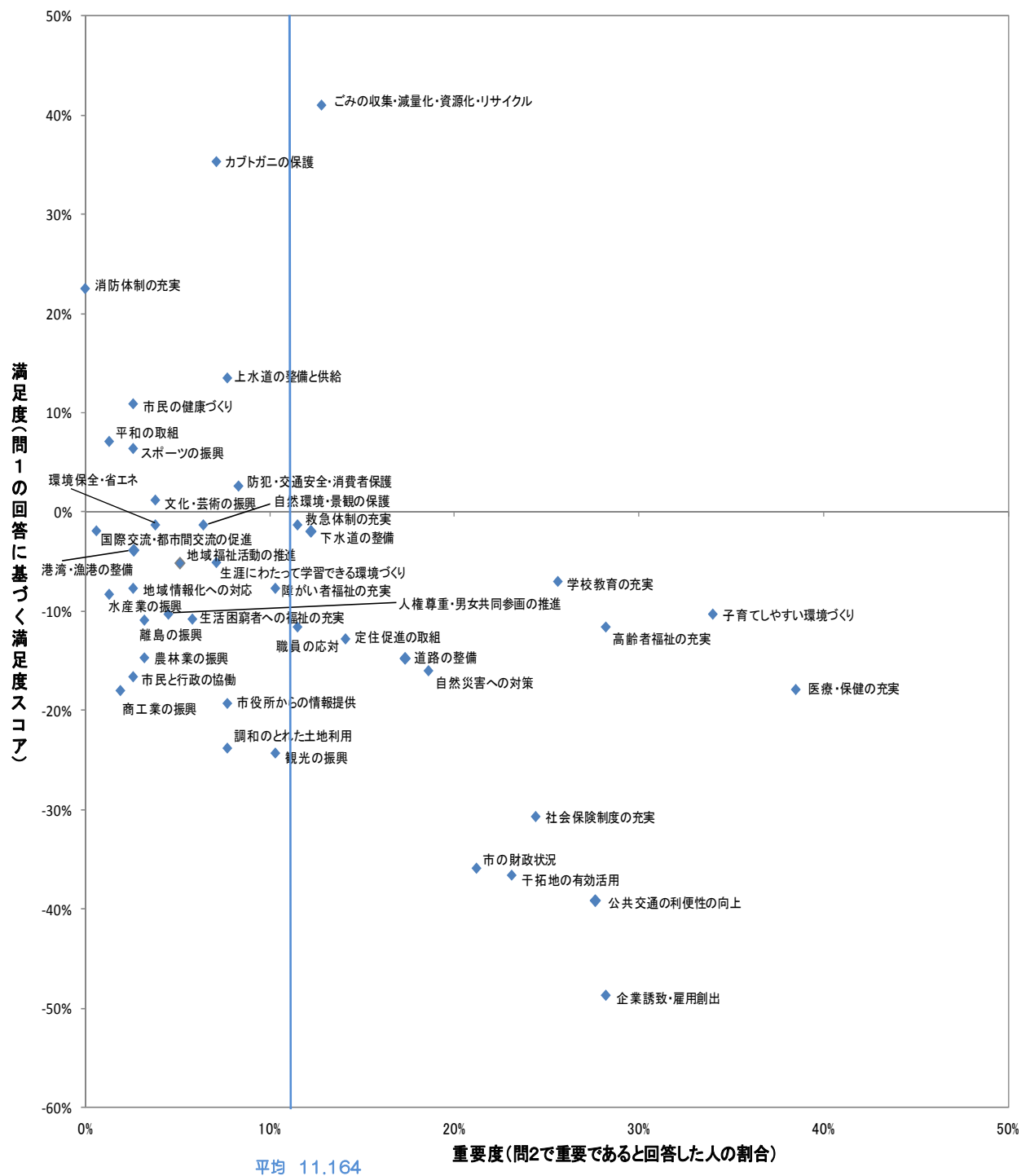
6 笠岡市への定住意向ごとの重要度・満足度

(1) 「住み続けたい」と考えている市民の重要度・満足度



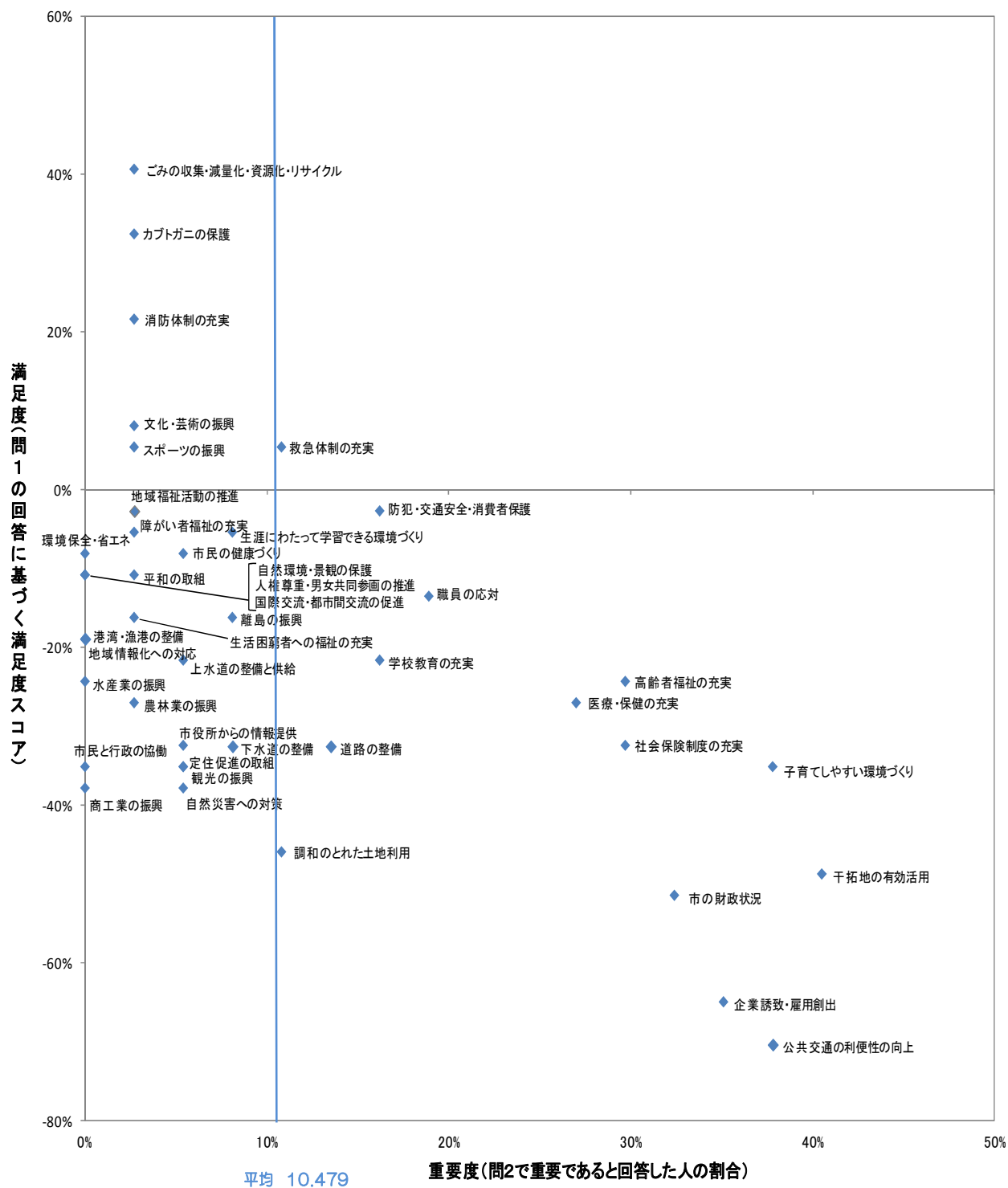
重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」という結果になった。

(2) 「よいところがあれば移住したい」と考えている市民の重要度・満足度



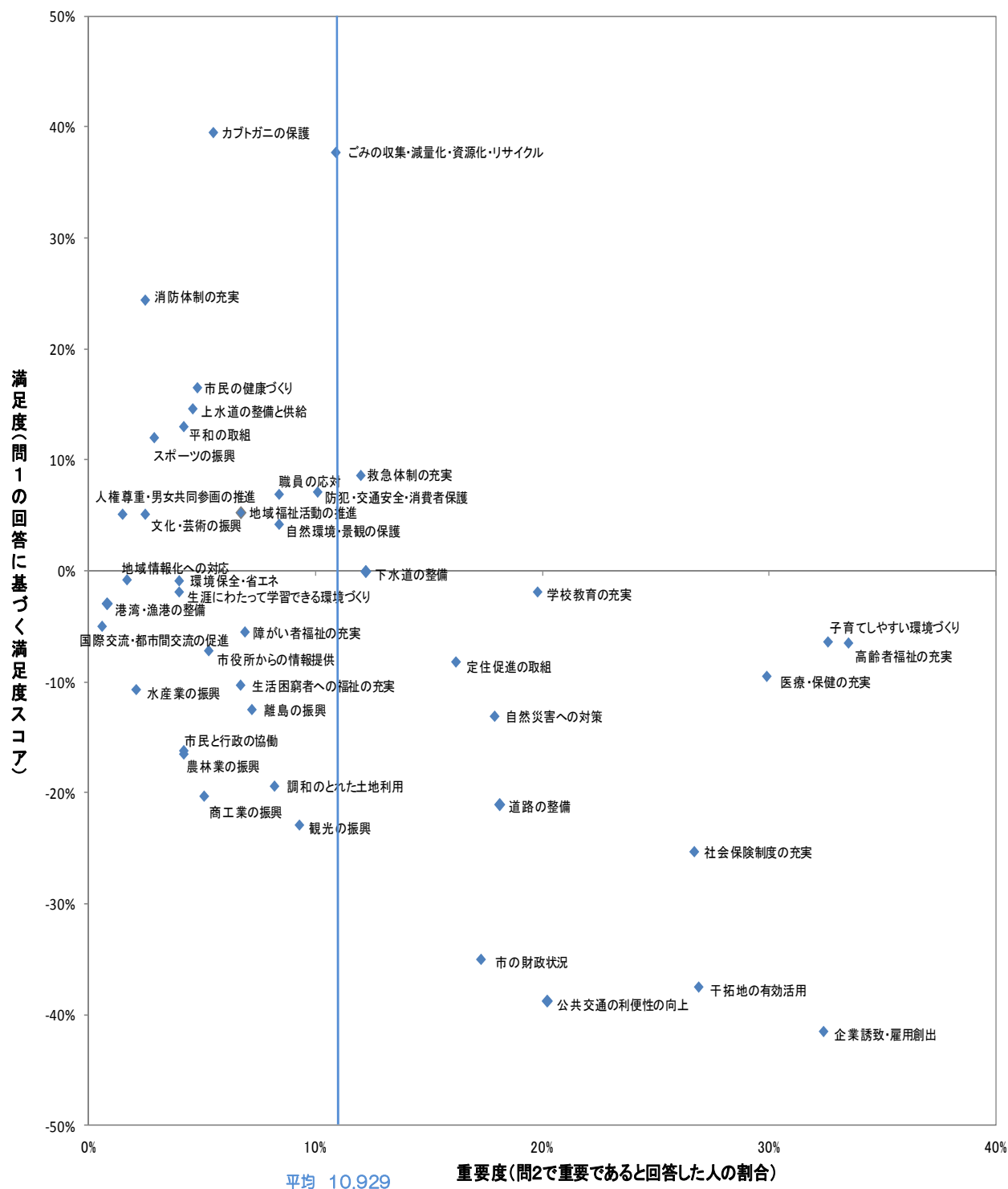
重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」という結果になった。

(3) 「移住したい」と考えている市民の重要度・満足度



重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「公共交通の利便性の向上」という結果になった。

(4) 「特に考えていない」市民の重要度・満足度



重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」という結果になった。

Ⅲ. 施策指標値調査結果

1 施策名ごとの指標値

市民意識調査の質問項目で第6次笠岡市総合計画の指標となっている指標名を抜き出し、指標ごとの目指すべき方向性を矢印で示している。

（ ）は前回（平成24年度）調査結果の指標値である。

「結果」欄は、前回調査の指標値と比較した結果を矢印で示している。

施策名	指標名	指標値	方向性	結果
ずっと住みたいまち	笠岡市に住みたいと答えた市民の割合	52.8%	↗	↗
		(48.2%)		
調和のとれた土地利用に取り組むまち	土地利用の制限に満足している市民の割合	10.4%	↗	↗
		(10.1%)		
	住環境の整備に満足している市民の割合	29.3%	↗	↗
		(22.9%)		
良好な景観と憩いの空間があるまち	自然環境・景観の保護に満足している市民の割合	28.9%	↗	↗
		(26.9%)		
	公園・緑地の整備状況に満足している市民の割合	47.1%	↗	↗
		(44.5%)		
公共交通を利用しやすいまち	公共交通の利便性の向上に対する満足度	-30.1%	↗	↗
		(-34.0%)		
	公共交通を利用している市民の割合	18.5%	↗	→
		(18.5%)		
便利で安全な道路があるまち	道路の整備状況に満足している市民の割合	27.9%	↗	↘
		(28.5%)		
安心の水が潤うまち	水道水を安心して使用できると感じている市民の割合	60.7%	↗	↗
		(52.7%)		
危機に備えみんなを守るまち	非常時の持出品（食飲料）を準備している市民の割合	12.7%	↗	↗
		(11.6%)		
	家具の転倒防止やガラスの飛散防止などの防災対策をしている市民の割合	13.5%	↗	↘
		(13.6%)		
ごみを減らし資源を大切にすまち	ごみの減量化・資源化に取り組んでいる市民の割合	83.4%	↗	↘
		(89.8%)		
地球にやさしい環境を守るまち	エコ（節約・省エネルギー）を実施している市民の割合	82.1%	↗	↘
		(85.2%)		
学びが人を育てるまち	過去1年間に公民館を使用した市民の割合	34.5%	↗	↘
		(36.9%)		

施策名	指標名	指標値	方向性	結果
人権を尊重するまち	人権を尊重しながら生活していると感じている市民の割合	69.9%	↗	↗
		(66.3%)		
	地域や職場で男女が対等に活躍できていると感じている市民の割合	38.2%	↗	↘
		(39.6%)		
平和の大切さを伝えるまち	非核平和都市宣言を知っている市民の割合	62.9%	↗	↘
		(67.3%)		
安心して子どもを産み育てられるまち	安心して子どもを産み育てられると感じている市民の割合	46.5%	↗	↗
		(39.2%)		
離島で安心して暮らせるまち	離島振興に対する満足度	-9.6%	↗	↗
		(-11.3%)		
市民とともに協働で進めるまち	まちづくり協議会の認知率	54.6%	↗	↗
		(48.1%)		
全庁的な市民対応の向上	過去1年間に窓口を利用した市民のうち職員の対応に満足している市民の割合	42.3%	↗	↗
		(40.9%)		
	過去1年間に窓口を利用した市民のうち職員の対応に不満を持っている市民の割合	19.4%	↘	↘
		(25.8%)		
情報公開・文書管理	市役所からの情報提供に満足している市民の割合	28.8%	↗	↗
		(24.4%)		

IV. 質問項目の分析

1 回答者の「居住の経緯」による分析

以下では、問3の回答と回答者の「居住の経緯」をもとに集計した。

Uターン：笠岡市で住んだあと、他の市町村に引越し、再び笠岡に戻ってきた市民

Iターン：他の市町村から笠岡市に引っ越してきた市民

「生まれてからずっと笠岡に住んでいる」では、「観光客にとって魅力的」「テレビ広報かさおかを見たことがある」「これからも住み続けたい」と回答した割合が他と比較して高く、「住環境の整備状況」「公園・緑地の整備状況」「非常時の持ち出し品（食飲料）を準備している」「防災対策をしている」「非常時の集合場所や連絡網を家で決めている」「ごみの減量化・資源化に取り組んでいる」「エコ（節約・省エネルギー）を実践している」「新エネルギーに関心」「太陽光発電システムを導入」「人権」「男女が対等に活躍」「笠岡市子ども条例の認知」の割合が他と比較して低くなっている。

「Uターン」では、「公共交通機関の維持」「最近1年間に公民館を利用」「最近1年間に自治会・町内会活動や市民活動に参加」「最近1年間に市役所（窓口）を利用」と回答した割合が他と比較して高く、「路線バスを利用」「笠岡市のホームページの閲覧」「今の笠岡市の住み心地が良い」の割合が他と比較して低くなっている。

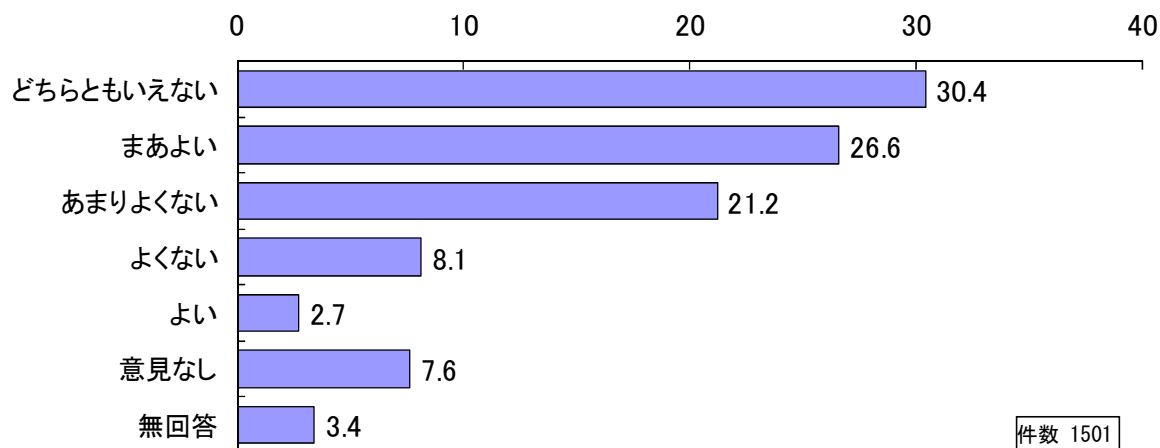
「Iターン」では、「安心して子どもを産み育てられる」「家族と同居」「道の駅ベイファームを利用」「最近1年間に市役所（電話）を利用」と回答した割合が他と比較して高く、「公共交通機関を利用」「海上交通機関を利用」「水道水を安心して使用できる」「非核平和都市宣言」「まちづくり協議会の存在」「市民の意見や提案が市政に反されている」と回答した割合が他と比較して低くなっている。

質問項目	全体	生まれてから ずっと笠岡に 住んでいる	Uターン	Iターン
「住環境の整備状況」（宅地の供給、街並みの整備等）に満足している市民の割合	29.3%	29.8%	30.7%	30.8%
「公園・緑地の整備状況」に満足している市民の割合	47.1%	44.2%	50.5%	51.1%
「公共交通機関を利用」している市民の割合	18.5%	21.3%	22.5%	13.4%
「路線バスを利用」している市民の割合	16.0%	16.2%	15.4%	16.7%
「海上交通機関を利用」している市民の割合	13.1%	15.2%	20.5%	7.7%
「公共交通機関の維持」をしていくことが必要だと感じている市民の割合	82.5%	81.4%	87.2%	84.3%
「水道水を安心して使用できる」と感じている市民の割合	60.7%	63.3%	66.3%	56.6%
「非常時の持出品（食飲料）を準備している」市民の割合	12.7%	12.0%	12.7%	13.8%
「防災対策をしている」市民の割合	13.5%	11.1%	16.5%	15.8%
「非常時の集合場所や連絡網を家族で決めている」市民の割合	27.3%	26.7%	27.7%	28.6%
「最近一年間で公民館を利用した」市民の割合	34.5%	32.4%	37.8%	34.9%
「ごみの減量化・資源化に取り組んでいる」市民の割合	83.4%	80.5%	85.4%	87.4%

質問項目	全体	生まれてから ずっと笠岡に 住んでいる	Uターン	Iターン
「エコ（節約・省エネルギー化）を実践している」市民の割合	82.1%	78.2%	85.4%	86.4%
「新エネルギーに関心」がある市民の割合	73.1%	70.7%	77.9%	76.5%
「太陽光発電システムを導入」している市民の割合	8.9%	7.5%	11.6%	9.7%
「人権」を尊重しながら生活していると感じている市民の割合	69.9%	66.6%	71.1%	74.9%
地域や職場で「男女が対等に活躍」できていると感じる市民の割合	38.2%	36.2%	41.2%	39.2%
「非核平和都市宣言」をしていることを知っている市民の割合	62.9%	66.7%	64.0%	60.0%
「安心して子どもを産み育てられる」と感じている市民の割合	46.5%	45.7%	43.1%	51.2%
「笠岡市子ども条例」を知っている市民の割合	43.0%	42.2%	43.1%	43.4%
「家族と同居」している市民の割合	79.1%	77.6%	76.4%	84.0%
笠岡市は「観光客にとって魅力的」だと感じている市民の割合	16.0%	17.1%	15.7%	15.0%
「道の駅笠岡ベイファームを利用」したことがある市民の割合	77.7%	77.6%	76.4%	82.2%
「最近一年間に自治会・町内会活動や市民活動に参加」した市民の割合	61.3%	62.0%	64.8%	60.6%
「まちづくり協議会の存在」を知っている市民の割合	54.6%	59.2%	54.7%	49.1%
「笠岡市のホームページを見たことのある」市民の割合	39.9%	40.9%	37.3%	39.9%
笠岡放送の「テレビ広報かさおか」を見たことのある市民の割合	46.0%	52.2%	36.4%	42.0%
「今の笠岡市の住み心地が良い」と感じている市民の割合	26.9%	27.8%	25.8%	27.2%
「これからも笠岡市に住み続けたい」と感じている市民の割合	52.8%	58.9%	50.9%	44.8%
「最近一年間に市役所（窓口）を利用したことがある」市民の割合	65.7%	64.7%	74.9%	63.5%
「最近一年間に市役所（電話）を利用したことがある」市民の割合	18.0%	18.2%	18.4%	18.9%
「市民の意見や提案が市政に反映されている」と感じている市民の割合	16.7%	17.7%	17.2%	16.2%

2 個別分析及び回答者の属性による分析

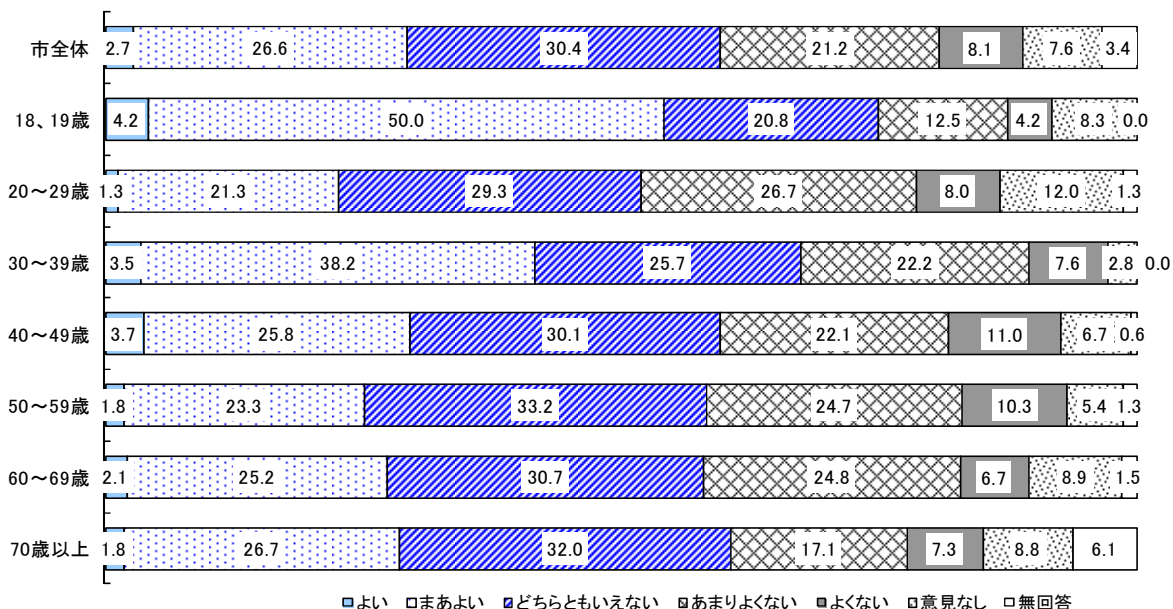
(1) あなたは、笠岡市内の住環境の整備状況（宅地の供給、街並みの整備等）についてどのように思われますか。



笠岡市内の住環境の整備状況について、「どちらともいえない」と回答した割合が30.4%と最も高く、次いで「まあよい」（26.6%）、「あまりよくない」（21.2%）、「よくない」（8.1%）の順となっている。

また、【よい（「よい」「まあよい」を合わせたもの）】では29.3%、【よくない（「よくない」「あまりよくない」を合わせたもの）】では29.3%となっている。

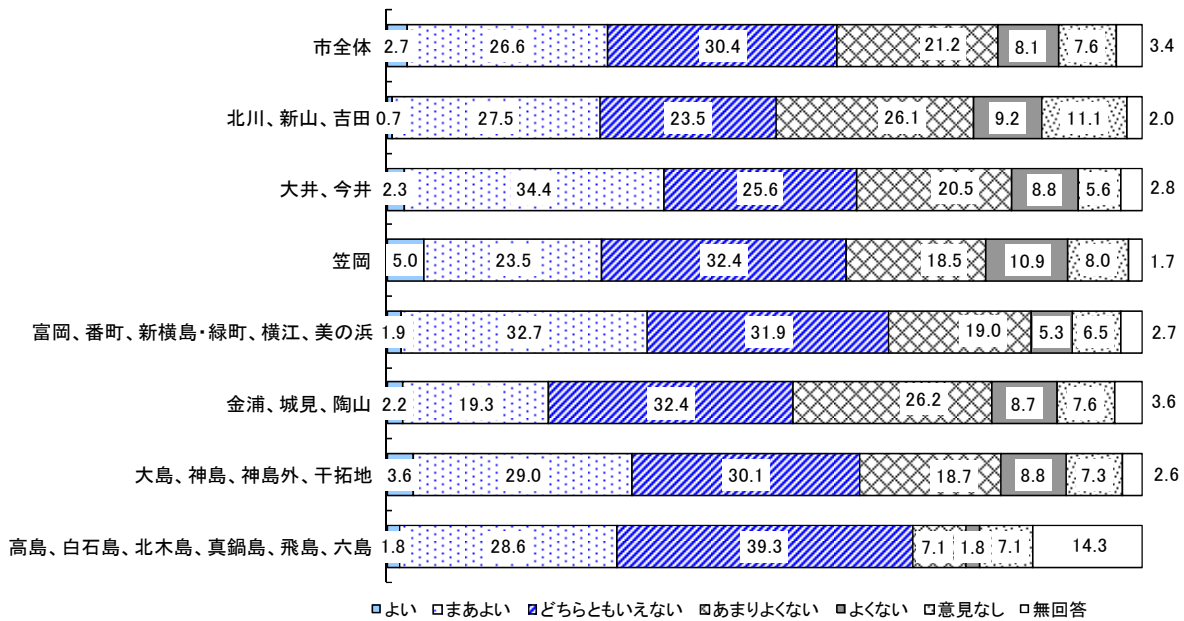
【年齢別】



年齢別にみると、「40～49歳」で「よくない」と回答した割合が11.0%と高くなっている。

また、【よい（「よい」「まあよい」を合わせたもの）】と回答した割合は、「18, 19歳」で54.2%と高く、【よくない（「よくない」「あまりよくない」を合わせたもの）】と回答した割合は、「50～59歳」で35.0%と高くなっている。

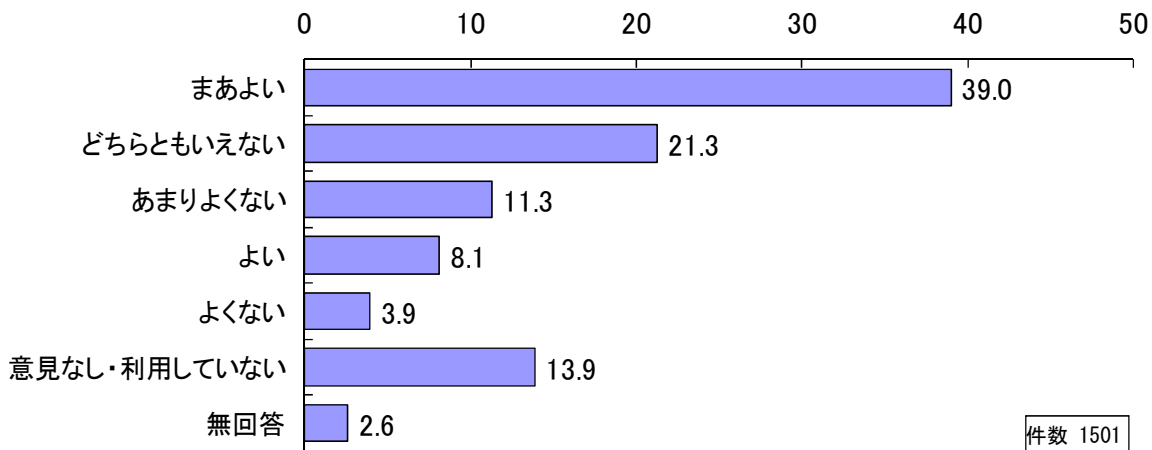
【地区別】



地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で「どちらともいえない」と回答した割合が39.3%と高くなっている。

また、「金浦、城見、陶山」では【よい（「よい」「まあよい」を合わせたもの）】と回答した割合が21.5%と低くなっている。

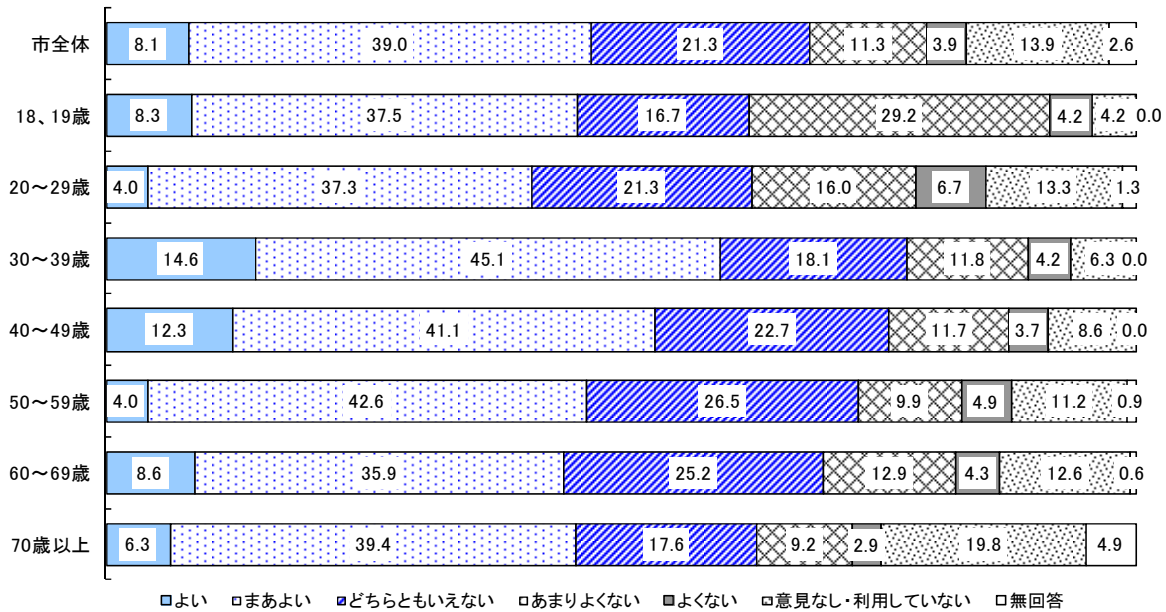
(2) あなたは、笠岡市内の公園・緑地の整備状況についてどのように思われますか。



笠岡市内の公園・緑地の整備状況について、「まあよい」と回答した割合が39.0%と最も高く、次いで「どちらともいえない」（21.3%）、「あまりよくない」（11.3%）、「よい」（8.1%）の順となっている。

また、【よい（「よい」「まあよい」を合わせたもの）】では47.1%、【よくない（「よくない」「あまりよくない」を合わせたもの）】では15.2%となっている。

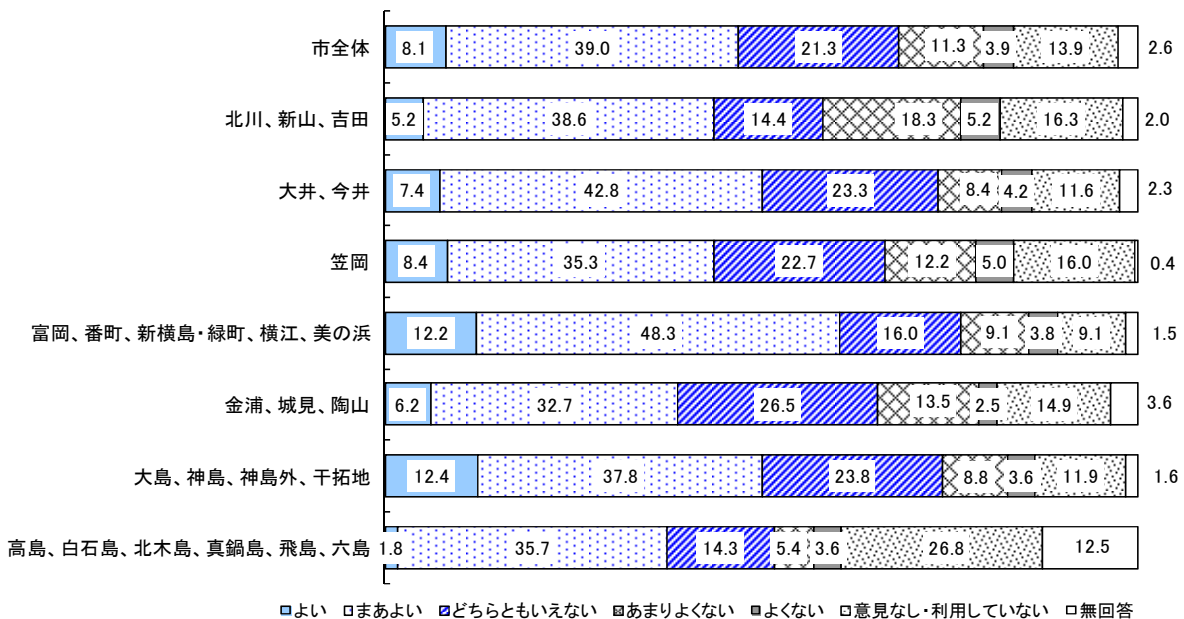
【年齢別】



年齢別にみると、「18、19歳」で【よくない（「よくない」「あまりよくない」を合わせたもの）】と回答した割合が33.4%と高くなっている。

また、「30～39歳」では【よい（「よい」「まあよい」を合わせたもの）】と回答した割合が59.7%と高くなっている。

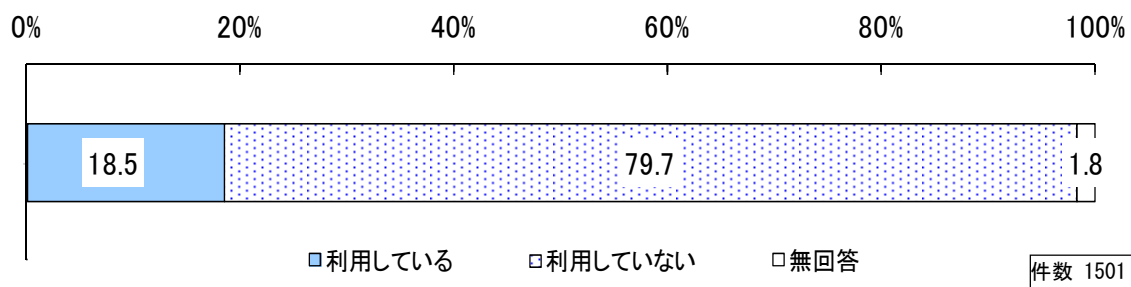
【地区別】



地区別にみると、「富岡、番町、新横島、横江、美の浜」で【よい（「よい」「まあよい」を合わせたもの）】と回答した割合が60.5%と最も高く、次いで「大井、今井」「大島、神島、神島外、干拓地」（ともに50.2%）、「北川、新山、吉田」（43.8%）の順となっている。

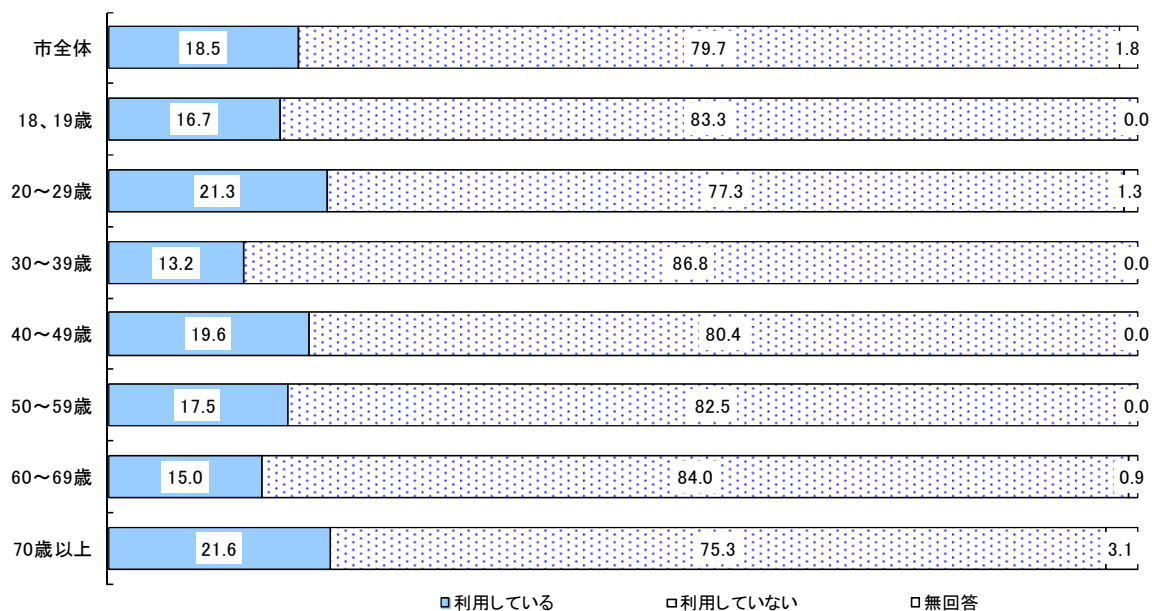
また、「北川、新山、吉田」では【よくない（「よくない」「あまりよくない」を合わせたもの）】と回答した割合が23.5%と最も高く、次いで「笠岡」（17.2%）、「金浦、城見、陶山」（16.0%）の順となっている。

(3) あなたは、笠岡市内の公共交通（路線バス、デマンド型タクシー、旅客船、フェリー）を利用していますか。



笠岡市内の公共交通機関の利用について、「利用している」が18.5%、「利用していない」が79.7%と、「利用していない」と回答した割合が高くなっている。

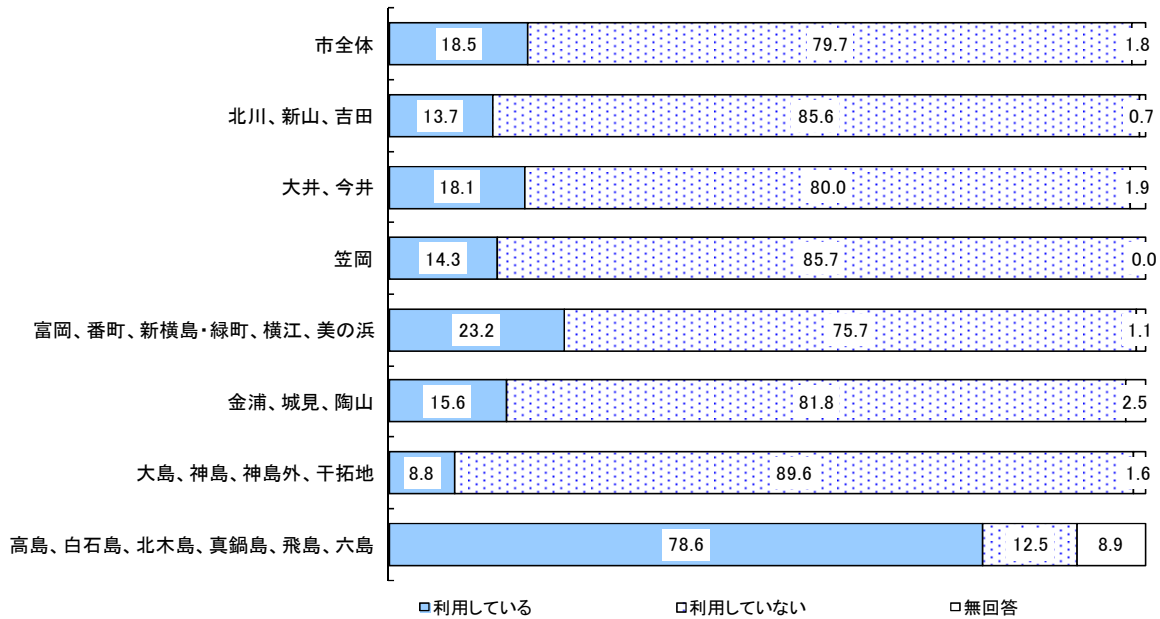
【年齢別】



年齢別にみると、「70歳以上」で「利用している」と回答した割合が21.6%と高くなっている。

また、「30～39歳」では「利用していない」と回答した割合が86.8%と高くなっている。

【地区別】

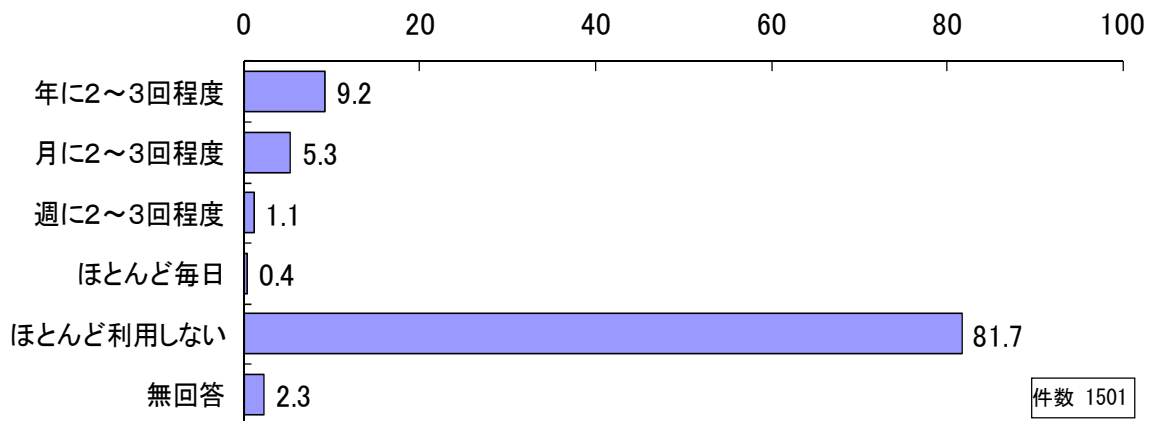


地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で「利用している」と回答した割合が78.6%と最も高く、次いで「富岡、番町、新横島、横江、美の浜」（23.2%）、「大井、今井」（18.1%）の順となっている。

「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で、「旅客船、フェリーの利用」の回答が多かったと思われる。

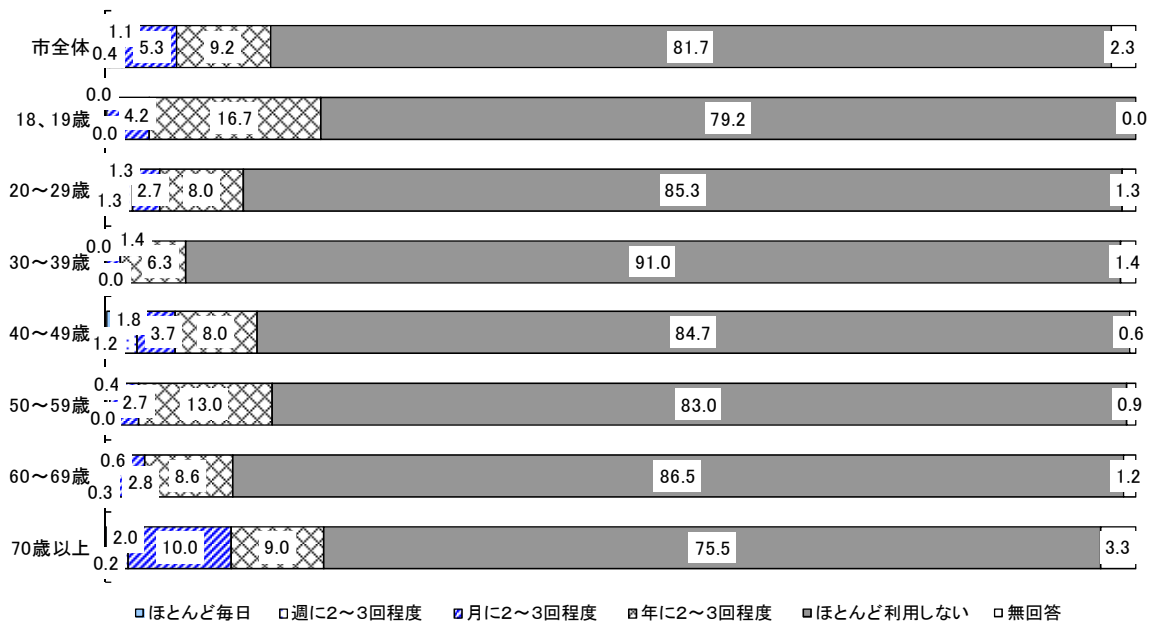
また、「利用していない」と回答した割合では、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」を除くすべての地区で8割程度となっている。

(4) あなたは、笠岡市内の路線バスをどのくらい利用していますか。



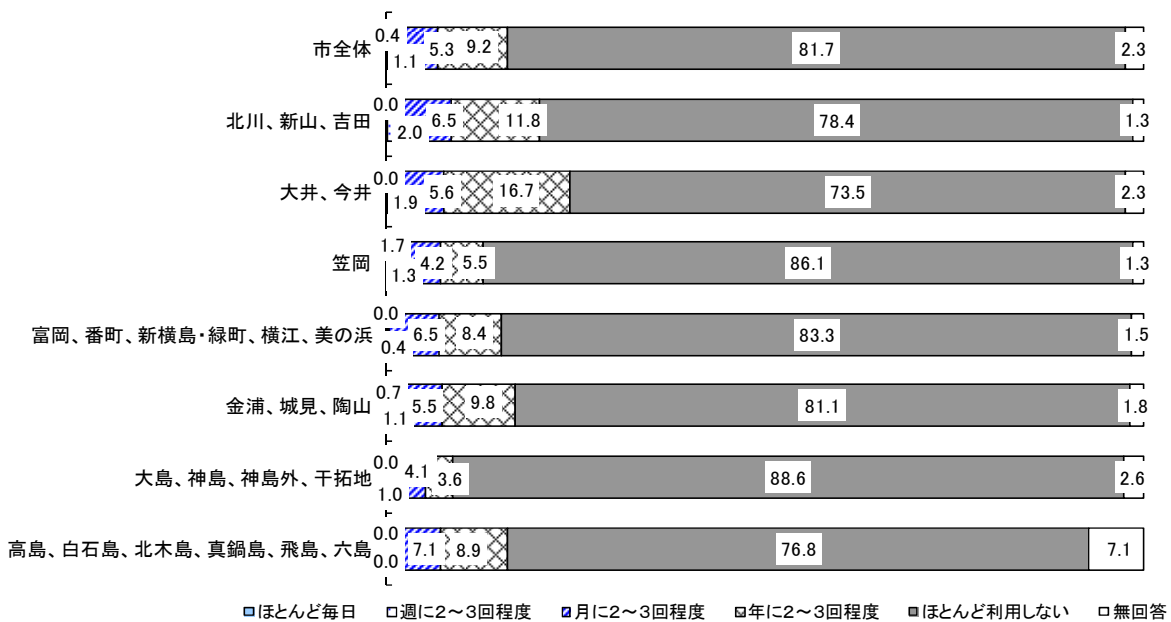
笠岡市内の路線バスの利用について、「ほとんど利用してない」と回答した割合が81.7%と最も高く、次いで「年に2、3回程度」（9.2%）、「月に2、3回程度」（5.3%）、「週に2、3回程度」（1.1%）の順となっている。

【年齢別】



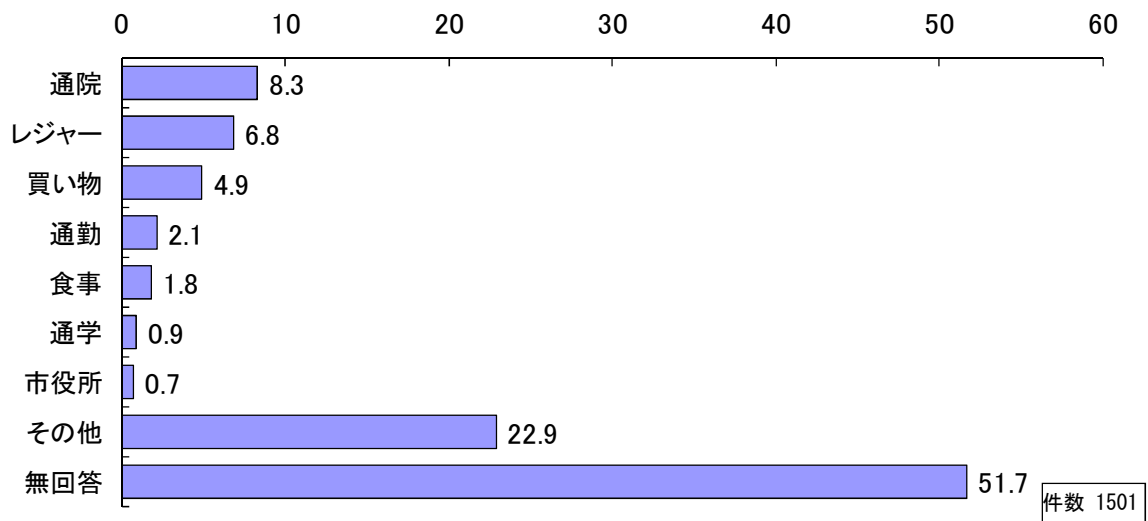
年齢別にみると、どの年齢においても「ほとんど利用しない」と回答した割合が最も高くなっている。
 また、「18、19歳」では「年に2〜3回程度」と回答した割合が16.7%と高くなっている。

【地区別】



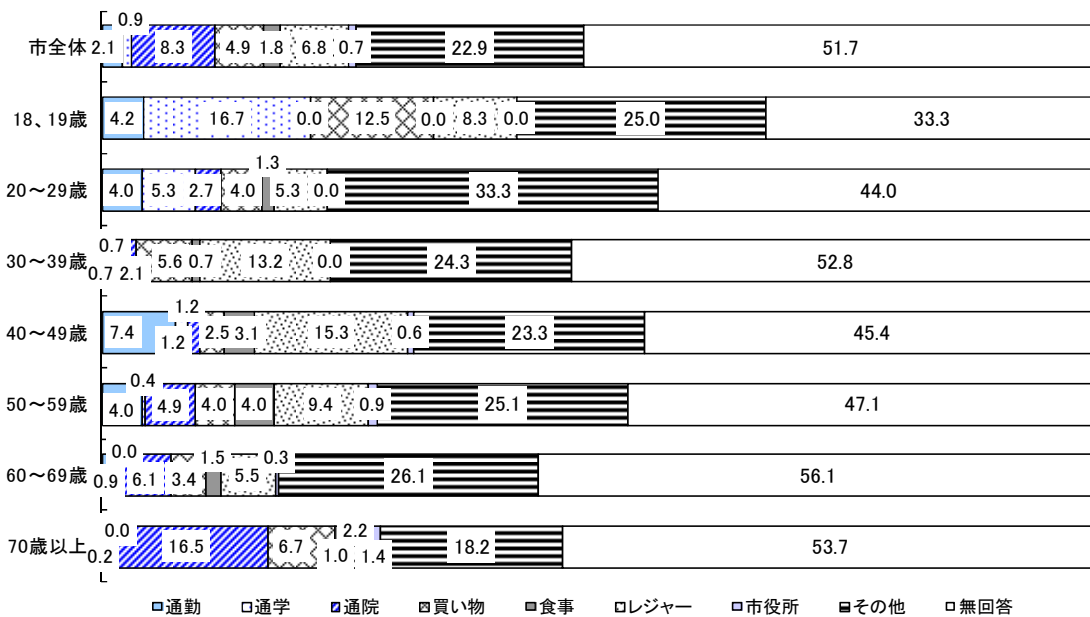
地区別にみると、どの地域においても「ほとんど利用しない」と回答した割合が最も高くなっている。
 また、「大井、今井」では「年に2〜3回程度」と回答した割合が16.7%と高くなっている。

(5) あなたが、笠岡市内の路線バスを利用する主な目的は何ですか。



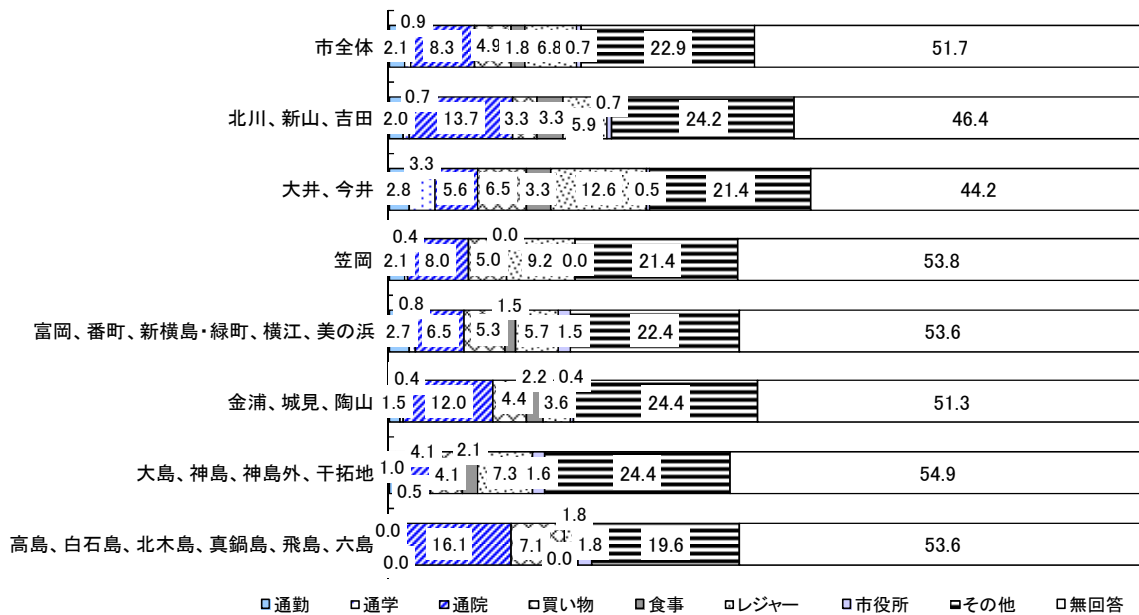
笠岡市内の路線バスの主な利用目的について、「通院」と回答した割合が8.3%と最も高く、次いで「レジャー」（6.8%）、「買い物」（4.9%）、「通勤」（2.1%）の順となっている。

【年齢別】



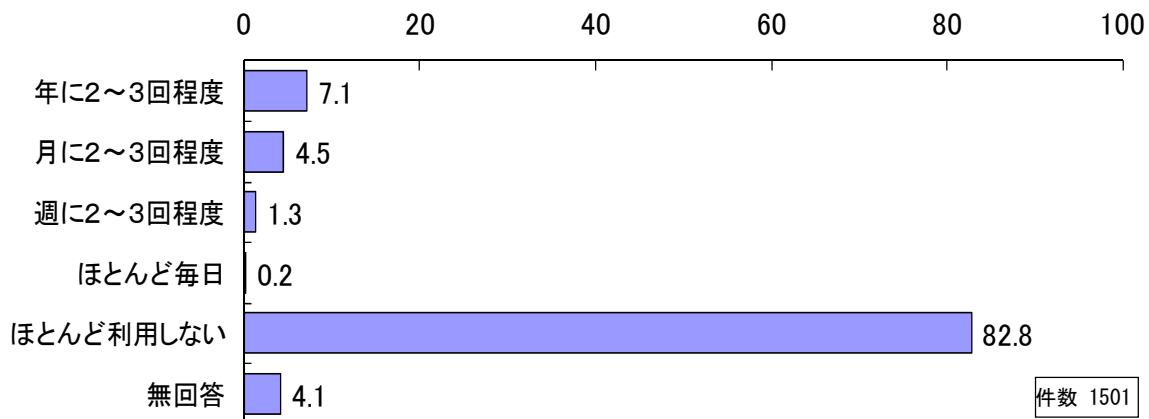
年齢別にみると、「18、19歳」で「通学」と回答した割合が16.7%、「70歳以上」で「通院」と回答した割合が16.5%と高くなっている。

【地区別】



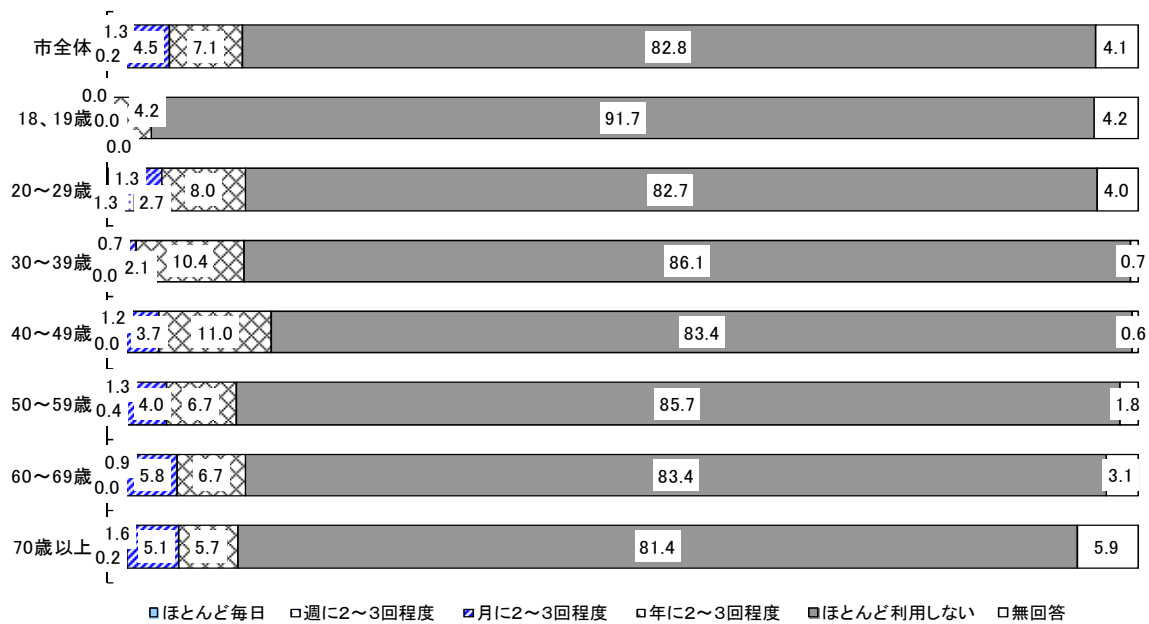
地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で「通院」と回答した割合が16.1%と高くなっている。

(6) あなたは、笠岡市内の海上交通（旅客船、フェリー）を利用していますか。



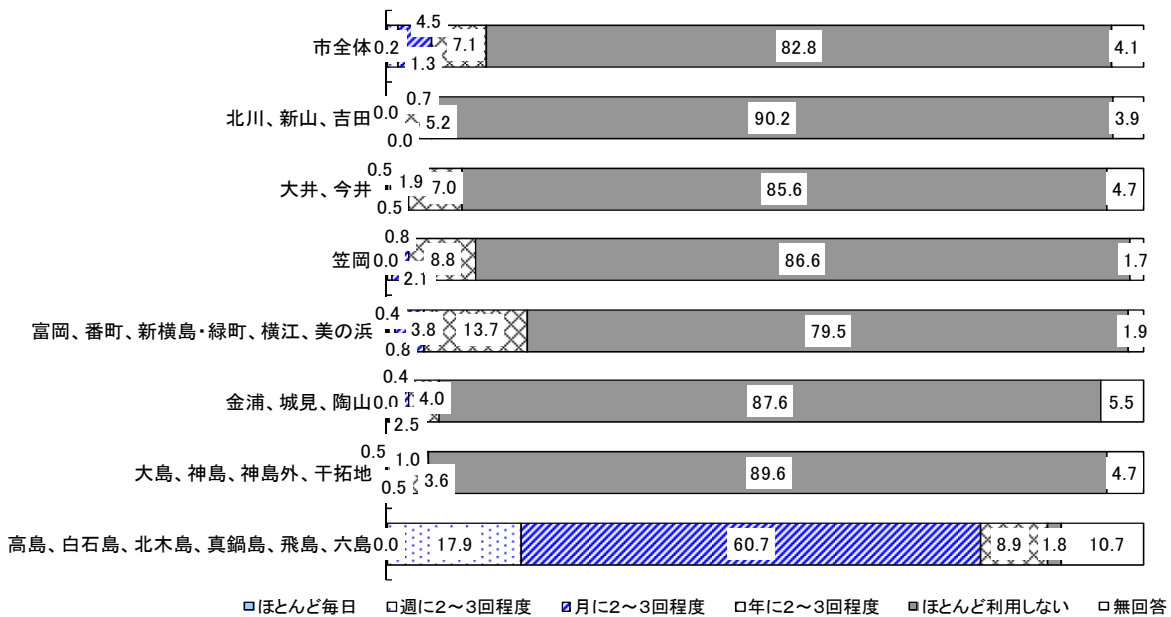
笠岡市内の海上交通の利用状況について、「ほとんど利用しない」と回答した割合が82.8%と最も高く、次いで「年に2、3回程度」（7.1%）、「月に2、3回程度」（4.5%）、「週に2、3回程度」（1.3%）の順となっている。

【年齢別】



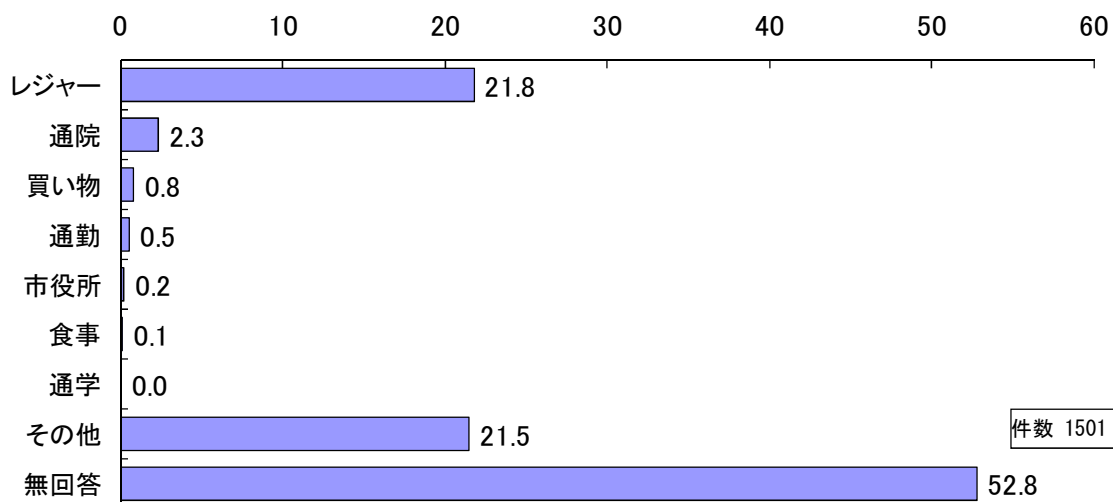
年齢別にみると、どの年齢においても「ほとんど利用しない」と回答した割合が最も高くなっている。

【地区別】



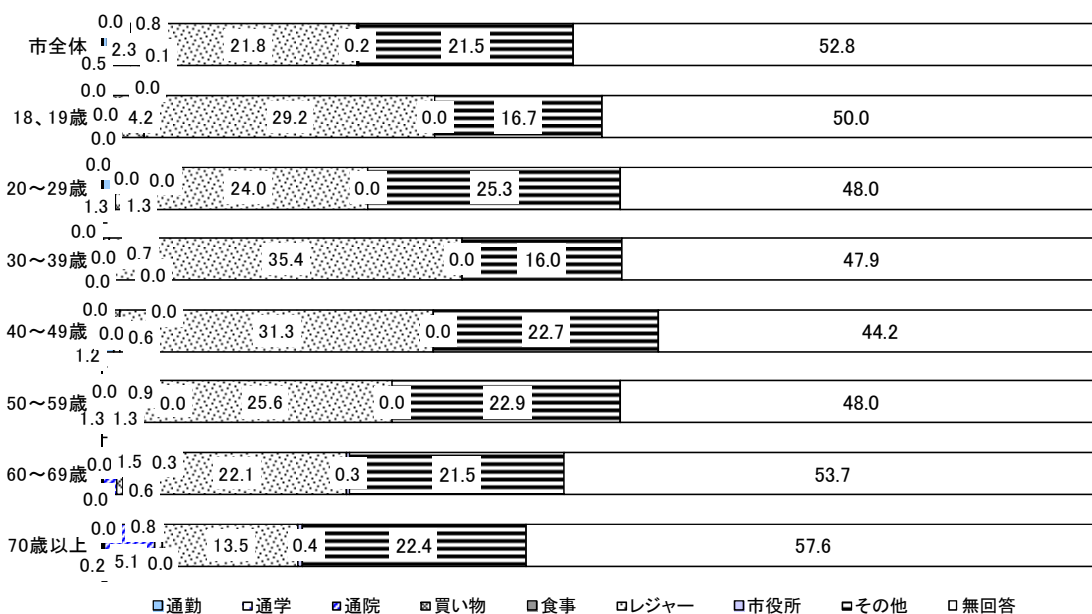
地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で月に2、3回以上利用していると回答した割合が高くなっている。

(7) あなたが、笠岡市内の海上交通（旅客船、フェリー）を利用する主な目的は何ですか。



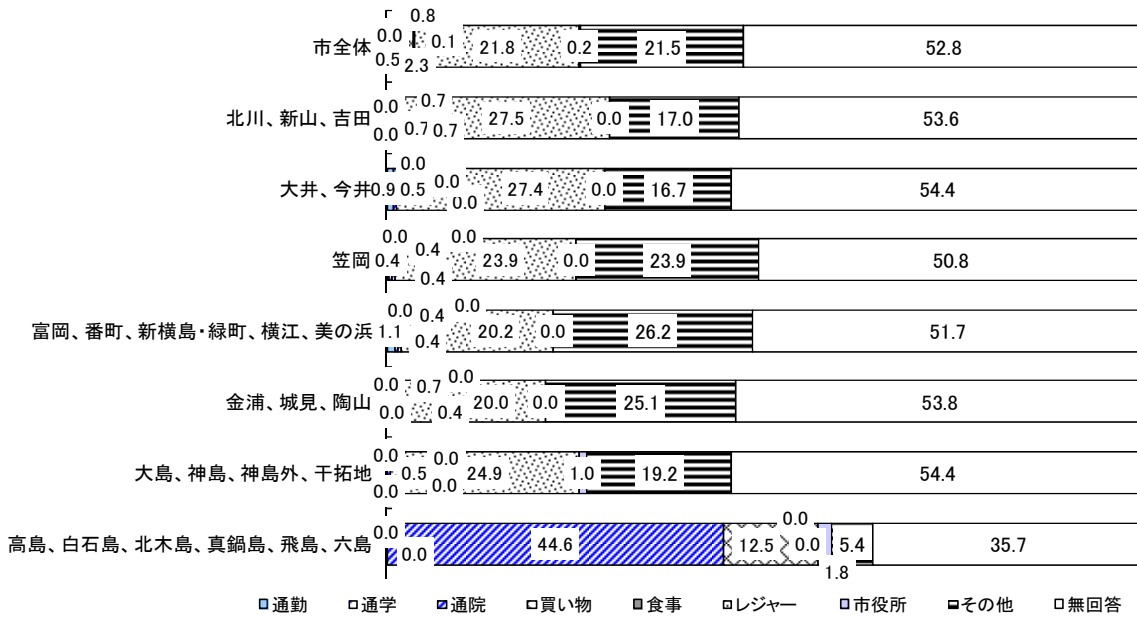
笠岡市内の海上交通の主な利用目的について、「レジャー」と回答した割合が21.8%と最も高く、次いで「通院」（2.3%）、「買い物」（0.8%）、「通勤」（0.5%）の順となっている。

【年齢別】



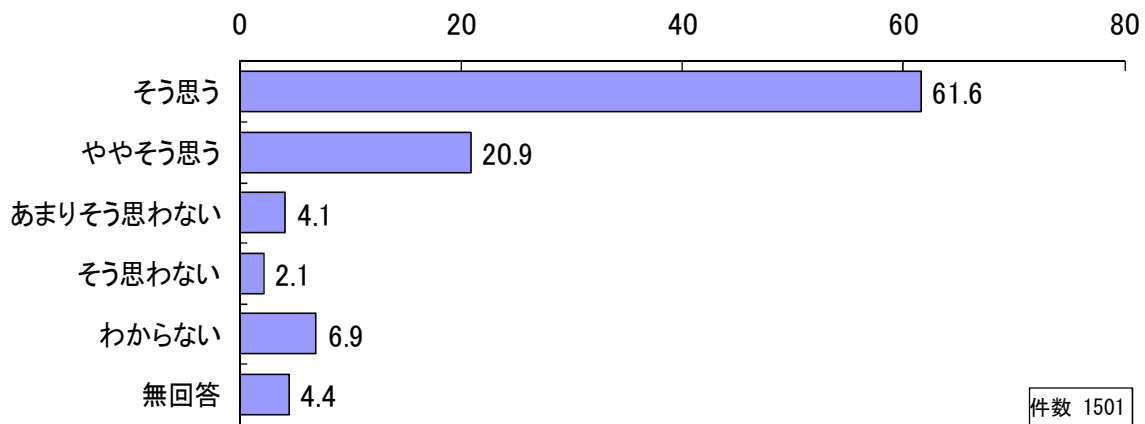
年齢別にみると、「30～39歳」で「レジャー」と回答した割合が35.4%と他の年齢層に比べ高くなっている。

【地区別】



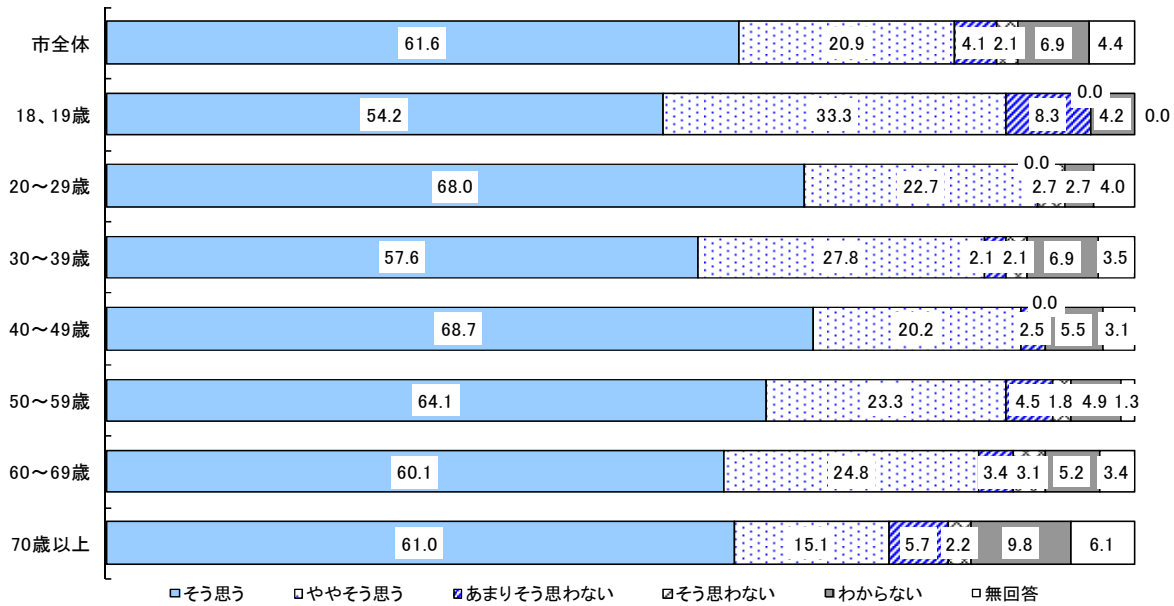
地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で「通院」と回答した割合が44.6%と他の地区に比べて最も高くなっている。

(8) あなたは、公共交通（路線バス、旅客船、フェリー）を維持していくことは必要だと思いますか。



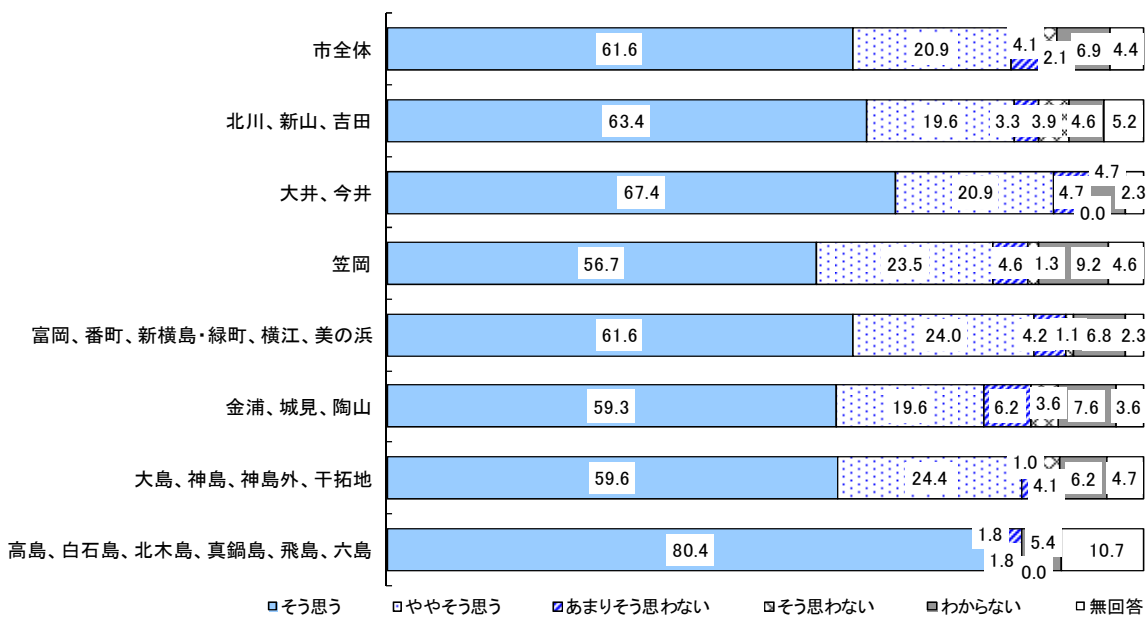
笠岡市内の公共交通の維持について、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合が82.5%、【思わない（「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせたもの）】と回答した割合が6.2%と、【思う】と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



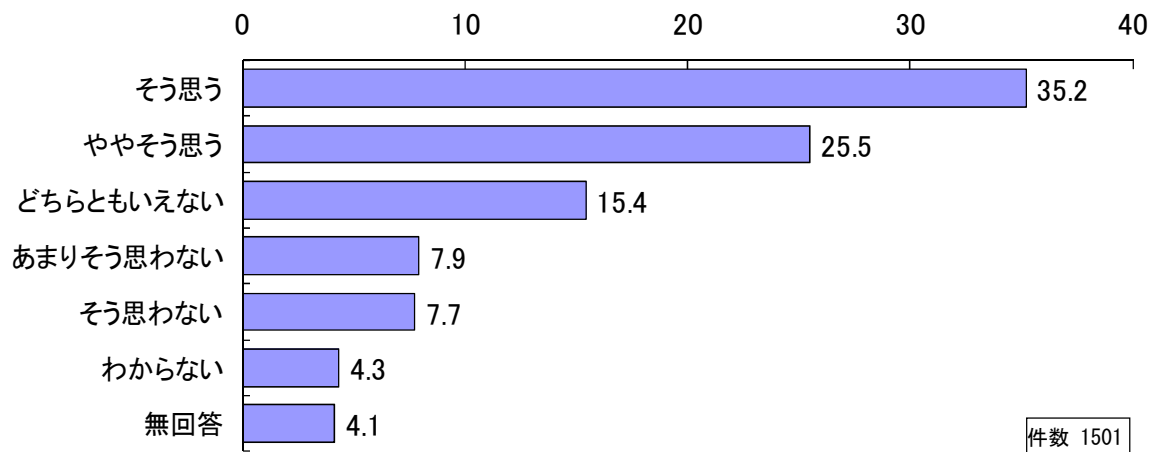
年齢別にみると、「40～49歳」で「そう思う」と回答した割合が68.7%と高くなっている。
また、「20～29歳」では【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合が90.7%と他の年齢層に比べて高くなっている。

【地区別】



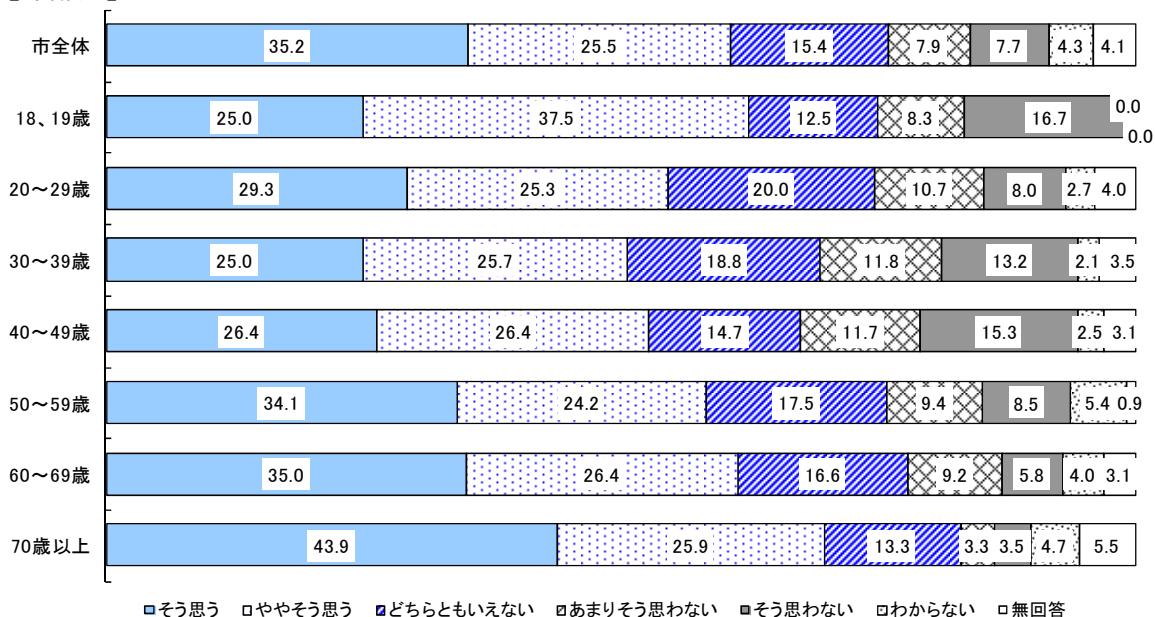
地区別では【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合が「大井、今井」で88.3%と最も高く、次いで「富岡、番町、新横島、横江、美の浜」（85.6%）、「大島、神島、神島外、干拓地」（84.0%）、「北川、新山、吉田」（83.0%）の順となっている。
また、【思わない（「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせたもの）】と回答した割合では「金浦、城見、陶山」が9.8%と最も高くなっている。

(9) あなたは、笠岡市内で水道水を安心して使用できると思いますか。



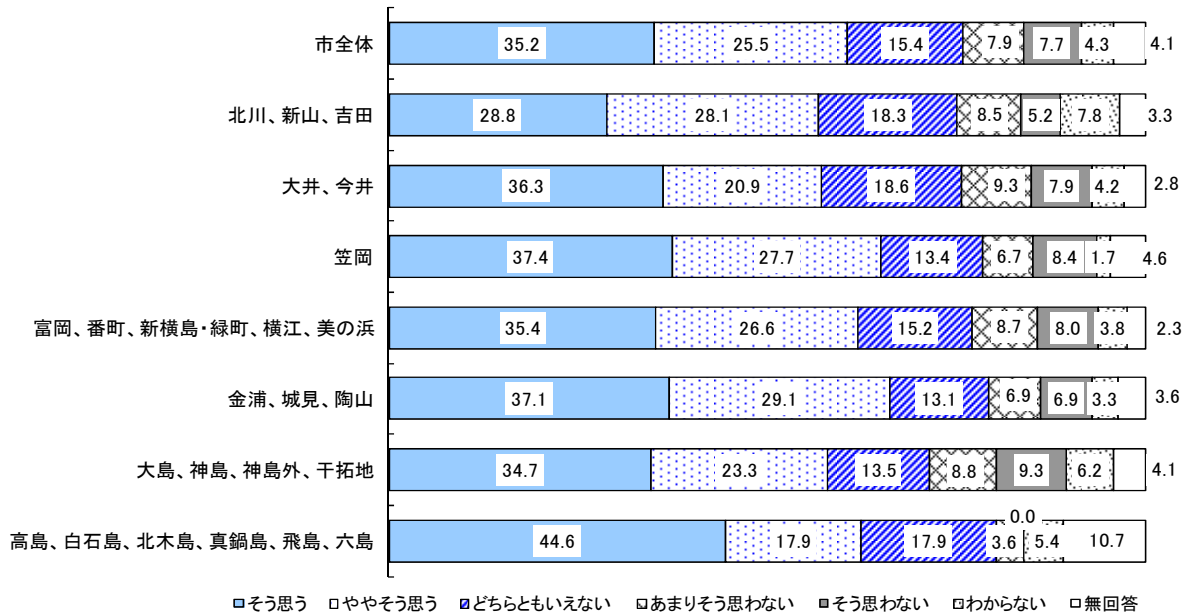
笠岡市内の水道水を安心して使用できるかについて、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合が60.7%、【思わない（「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせたもの）】と回答した割合が15.6%と、【思う】と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



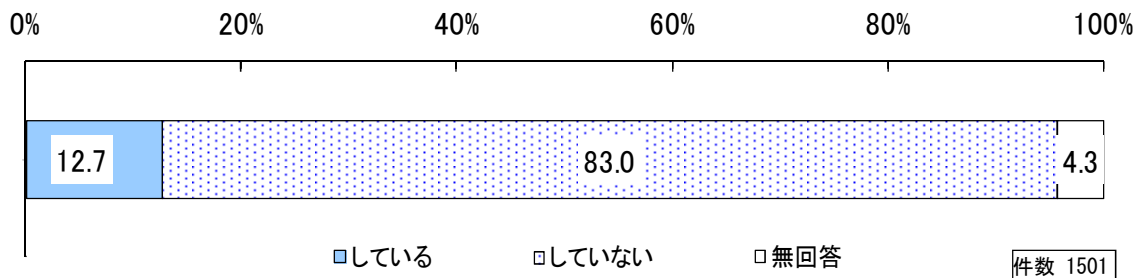
年齢別にみると、「70歳以上」で【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合が69.8%と高くなっている。

【地区別】



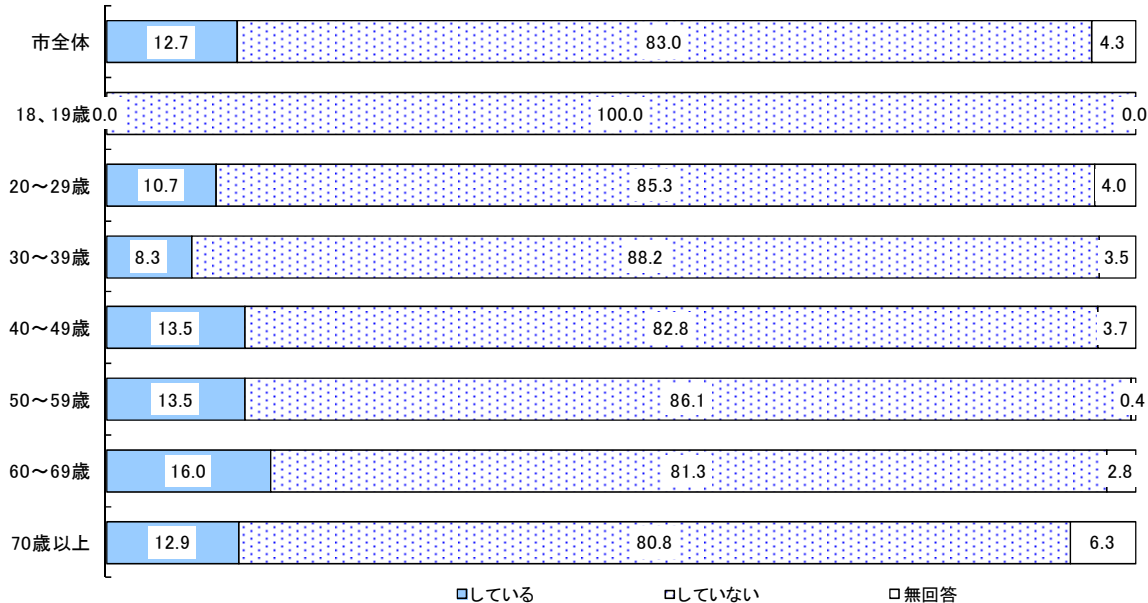
地区別にみると、「金浦、城見、陶山」で【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合が66.2%と高くなっている。

(10) あなたは、災害などの非常時の持出品（食飲料3日分）を準備していますか。



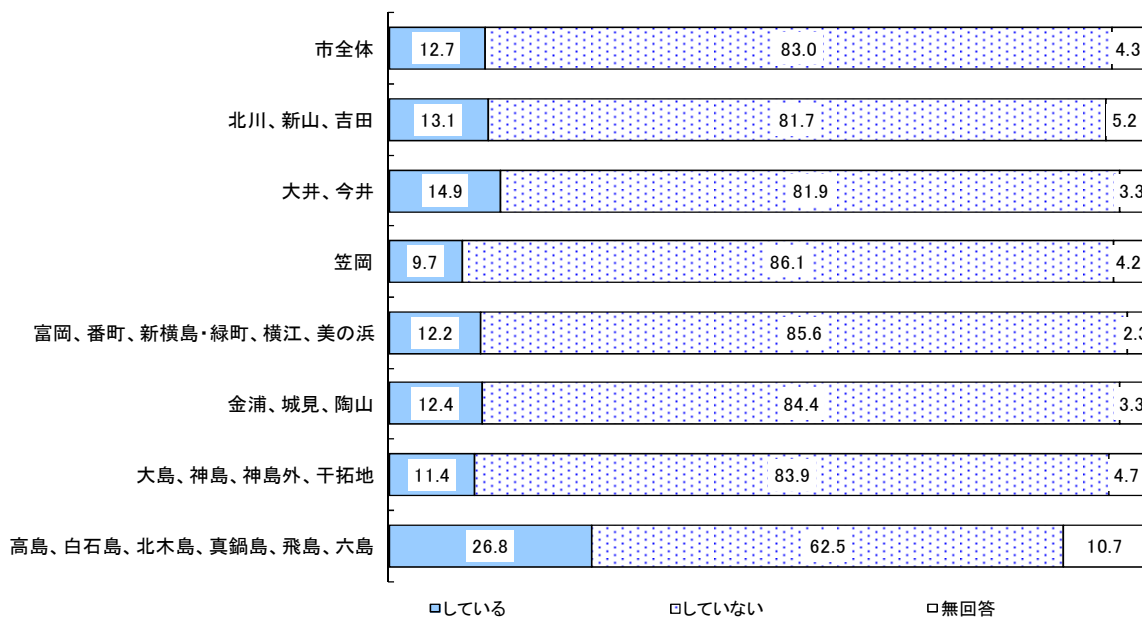
災害などの非常時の持出品の準備について、「している」が12.7%、「していない」が83.0%と、「していない」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



年齢別にみると、「している」と回答した割合が「60～69歳」で16.0%と高くなっている。
また、「していない」と回答した割合は「18、19歳」が100.0%と最も高くなっている。

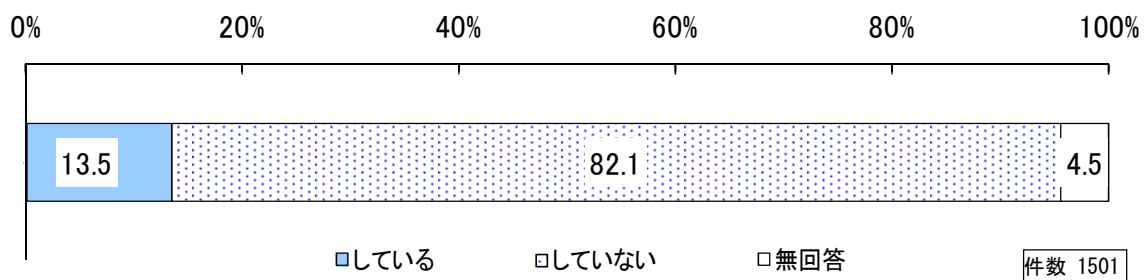
【地区別】



地区別にみると、「している」と回答した割合が「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で26.8%と高くなっている。

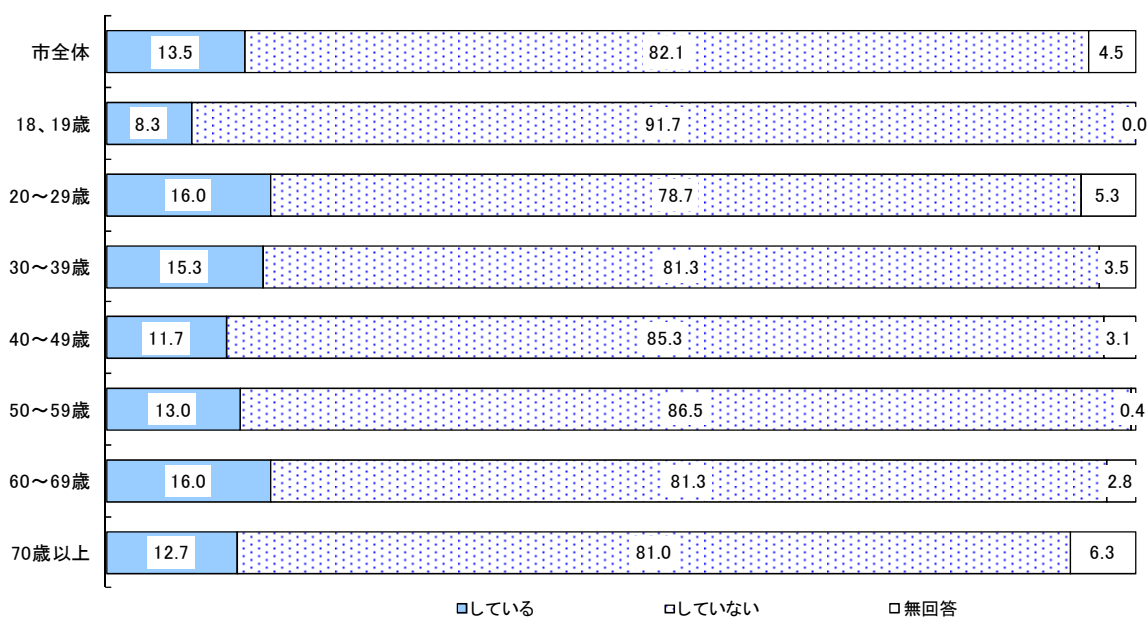
また、「していない」と回答した割合は「笠岡」が86.1%と最も高くなっている。

(11) あなたは、自宅で家具の転倒防止やガラスの飛散防止などの防災対策をしていますか。



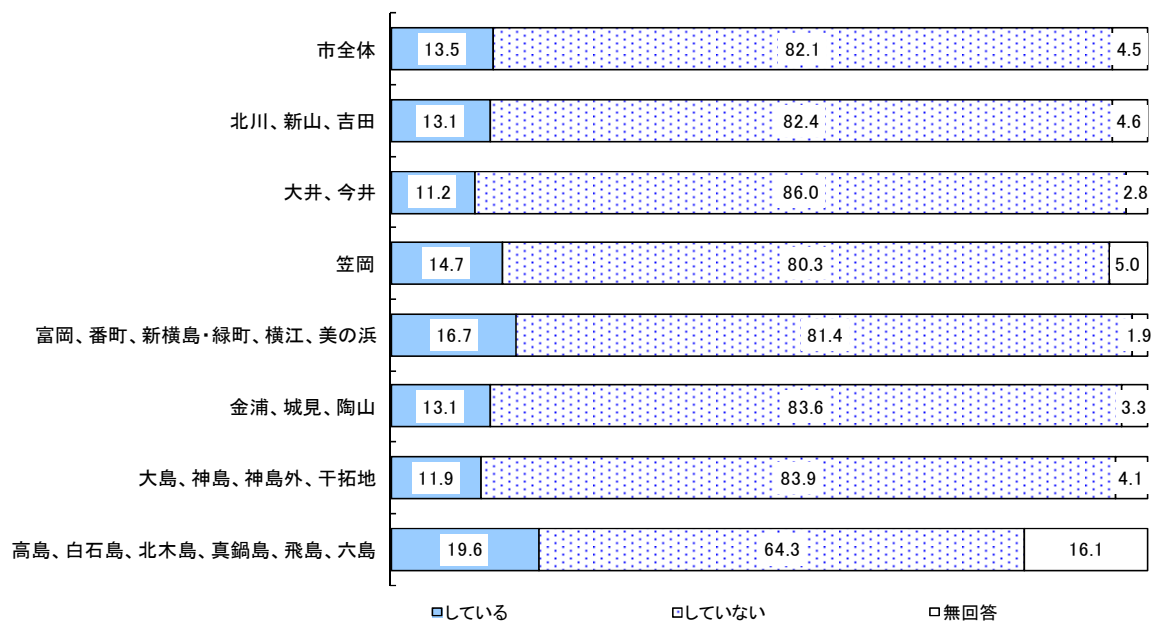
自宅での防災対策について、「している」が13.5%、「していない」が82.1%と、「していない」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



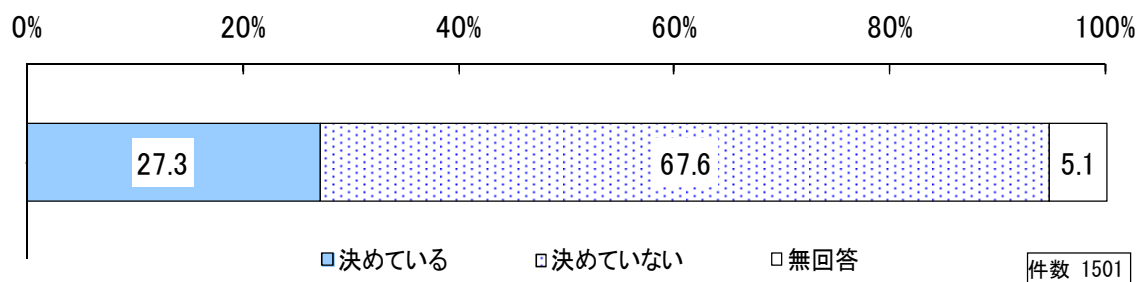
年齢別にみると、「している」と回答した割合は、「20～29歳」「60～69歳」でともに16.0%と高く、「18、19歳」で8.3%と低くなっている。

【地区別】



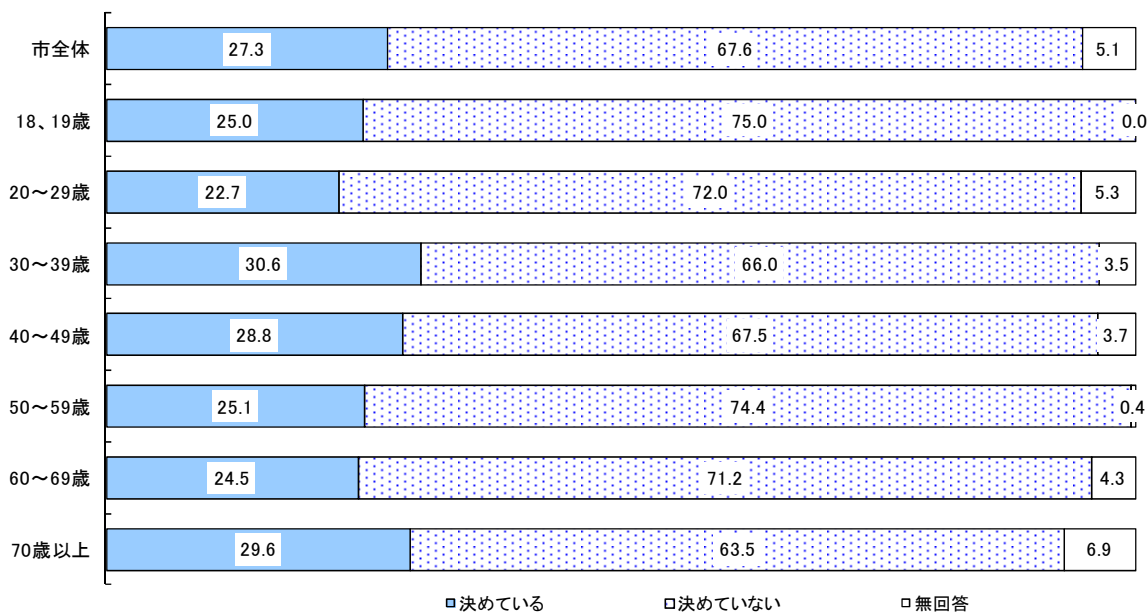
地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で「している」と回答した割合が19.6%と高くなっている。

(12) あなたは、ご家族で防災について話し合い、非常時の集合場所や連絡網を決めていますか。



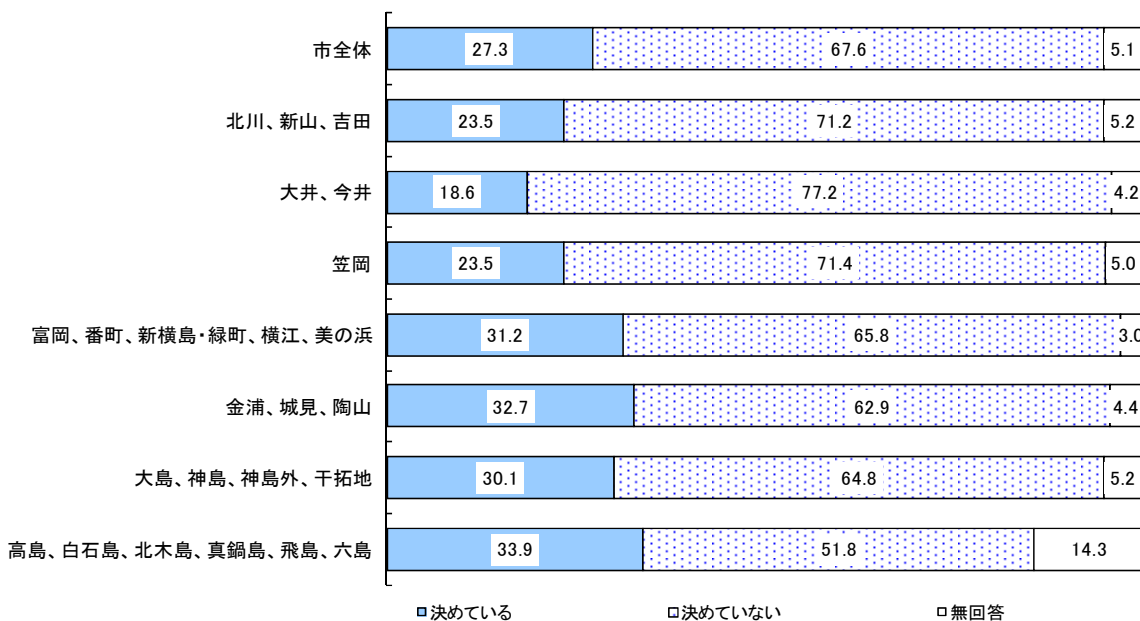
非常時の集合場所や連絡網について、「決めている」が27.3%、「決めていない」が67.6%と、「決めていない」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



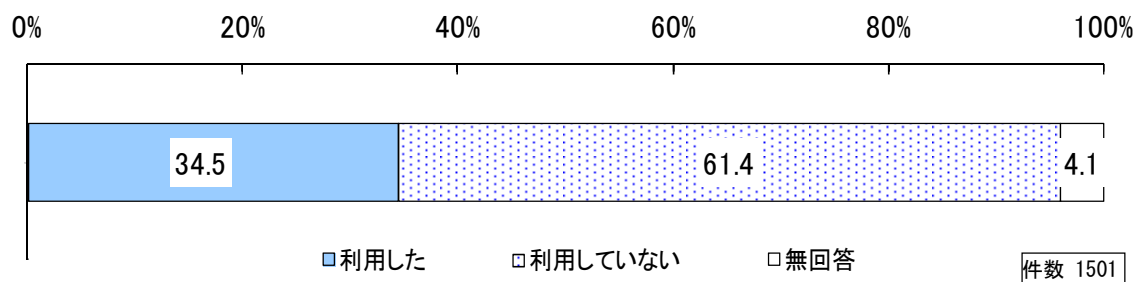
年齢別にみると、「決めている」と回答した割合は、「30～39歳」で3割以上と他の年齢層と比べて高くなっている。

【地区別】



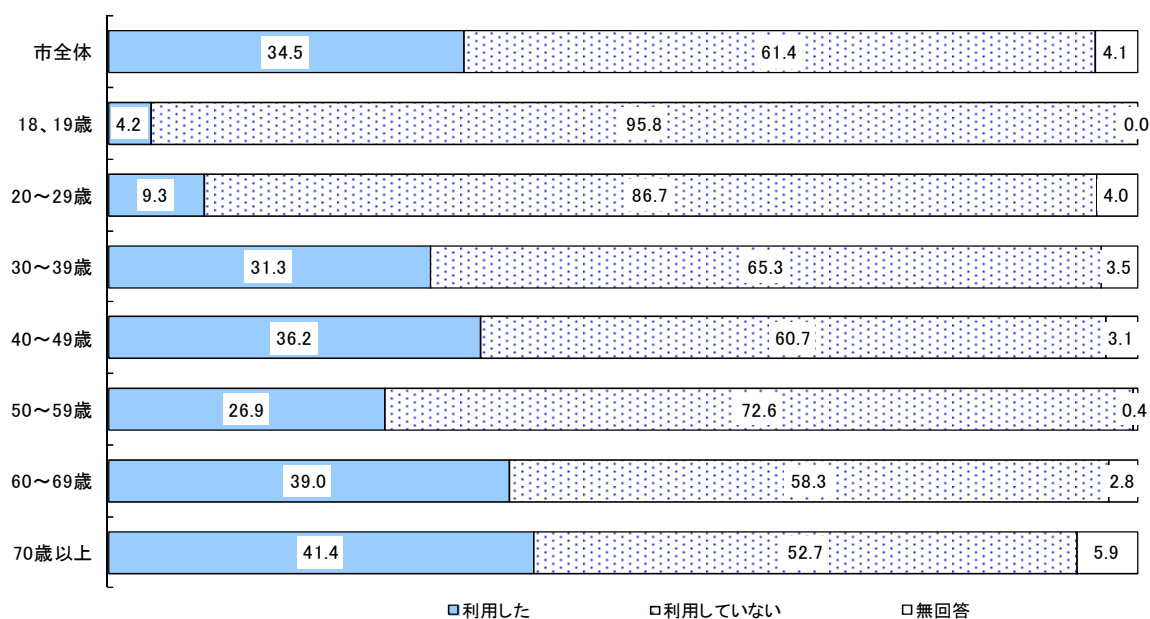
地区別にみると、「決めている」と回答した割合が「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で33.9%と高く、「大井、今井」では18.6%と低くなっている。

(13) あなたは、最近一年間で公民館を利用したことがありますか。



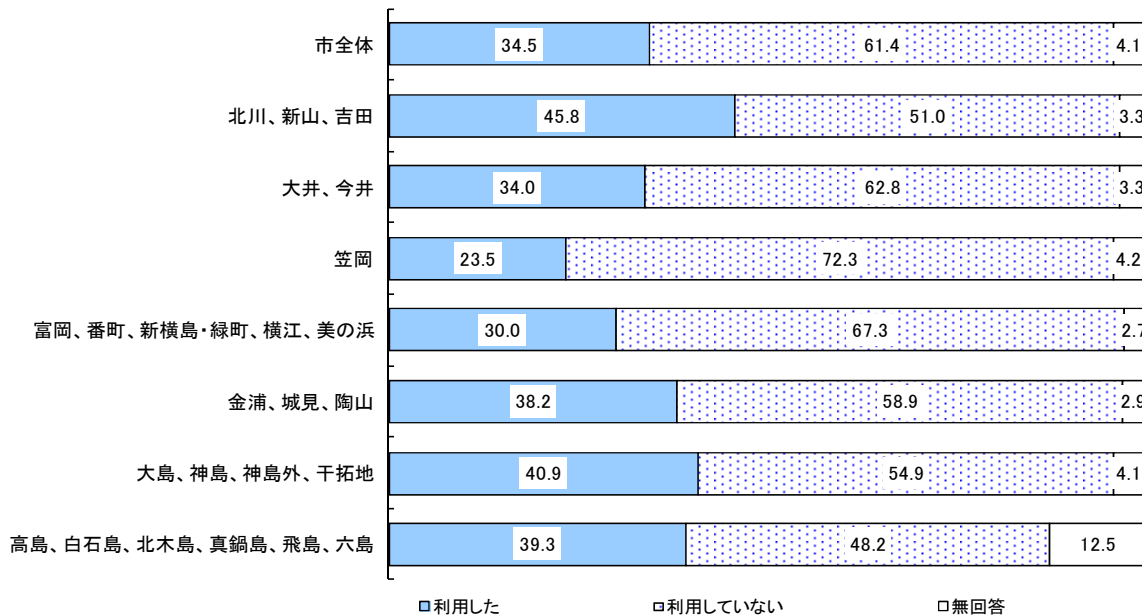
最近一年間で公民館を利用したことの有無について、「利用した」が34.5%、「利用していない」が61.4%と、「利用していない」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



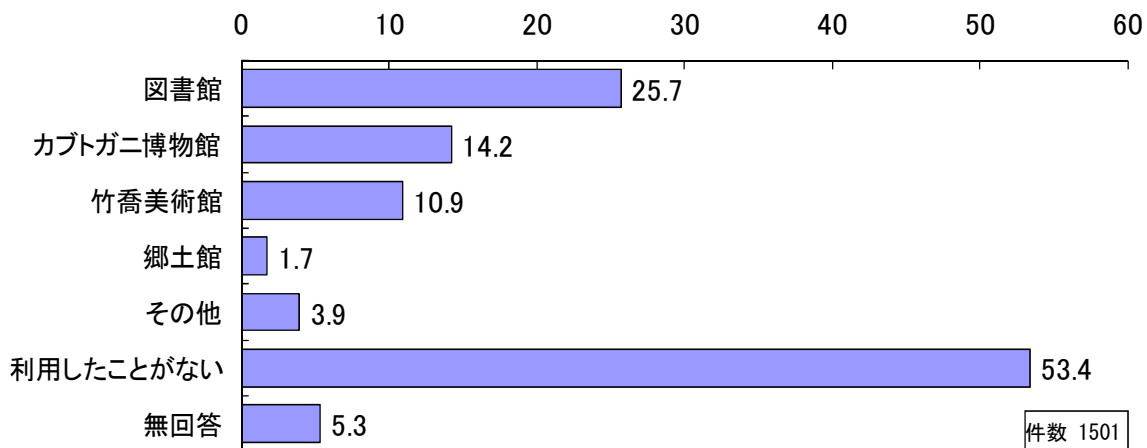
年齢別にみると、「利用した」と回答した割合は「70歳以上」が41.4%と最も高く、次いで「60～69歳」（39.0%）、「40～49歳」（36.2%）の順となっている。

【地区別】



地区別にみると、「利用した」と回答した割合は「北川、新山、吉田」が45.8%と最も高く、次いで「大島、神島、神島外、干拓地」（40.9%）、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」（39.3%）の順となっている。

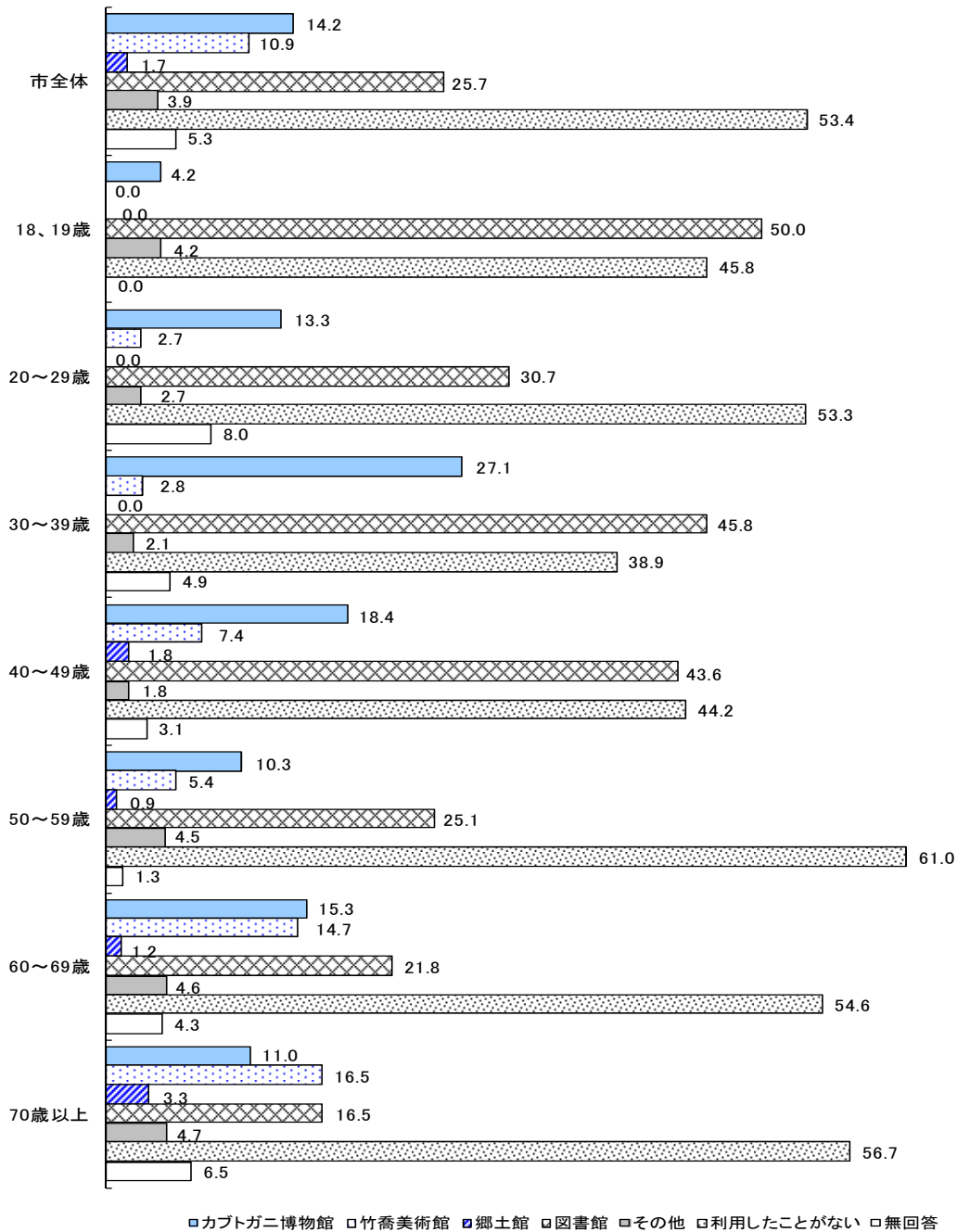
(14) あなたは、最近一年間で市内のどの文化施設を利用したことがありますか。
該当する番号全てに○をつけてください。



最近一年間で市内のどの文化施設を利用したことがあるかについて、「図書館」と回答した割合が25.7%と最も高く、次いで「カブトガニ博物館」（14.2%）、「竹喬美術館」（10.9%）、「郷土館」（1.7%）の順となっている。

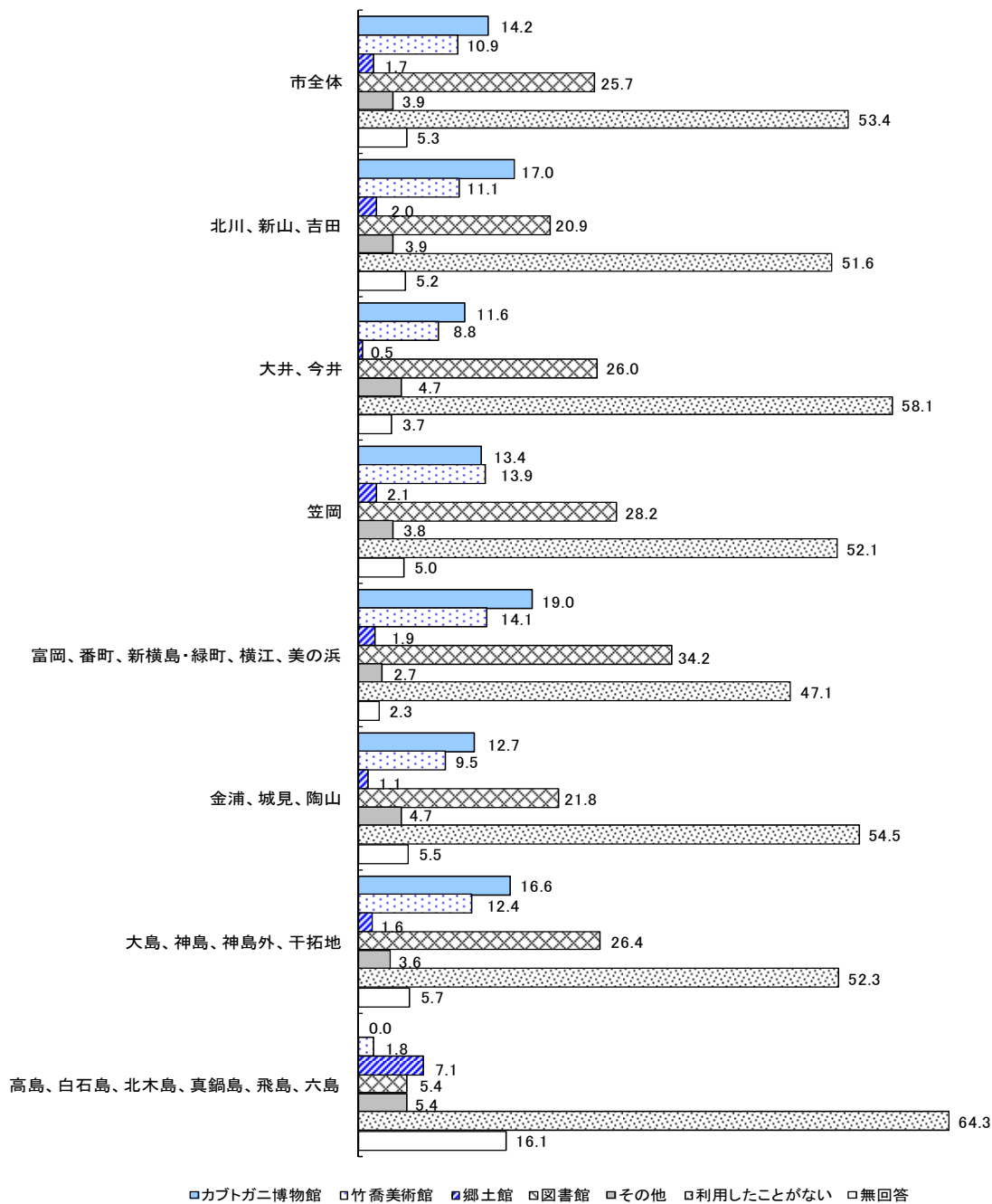
また、「利用したことがない」と回答した割合が53.4%と半数程度と高くなっている。

【年齢別】



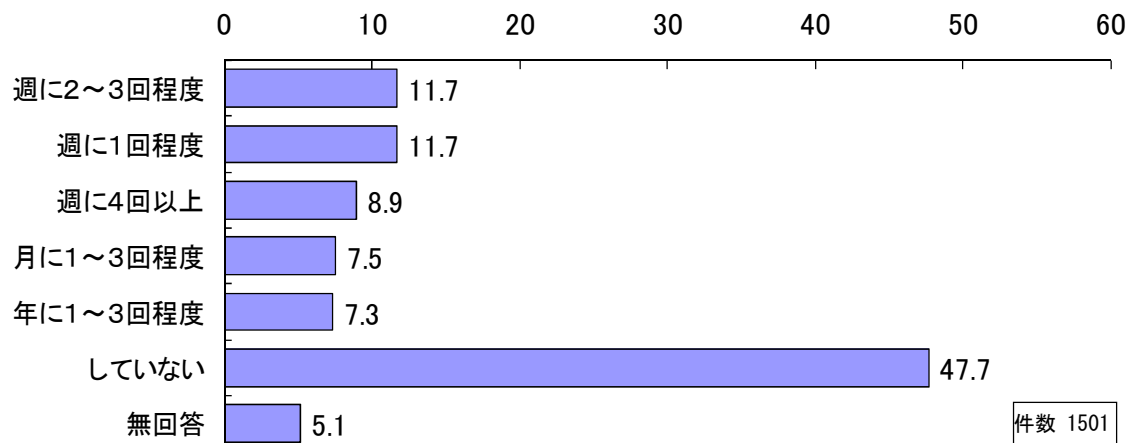
年齢別にみると、「利用したことがない」と回答した割合は「20～29歳」「50～59歳」「60～69歳」「70歳以上」で5割以上と高くなっている。
また、「図書館」と回答した割合は「50～59歳」「60～69歳」「70歳以上」では2割程度と低くなっている。

【地区別】



地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」では「利用したことがない」と回答した割合が64.3%と他の地区に比べて高くなっている。

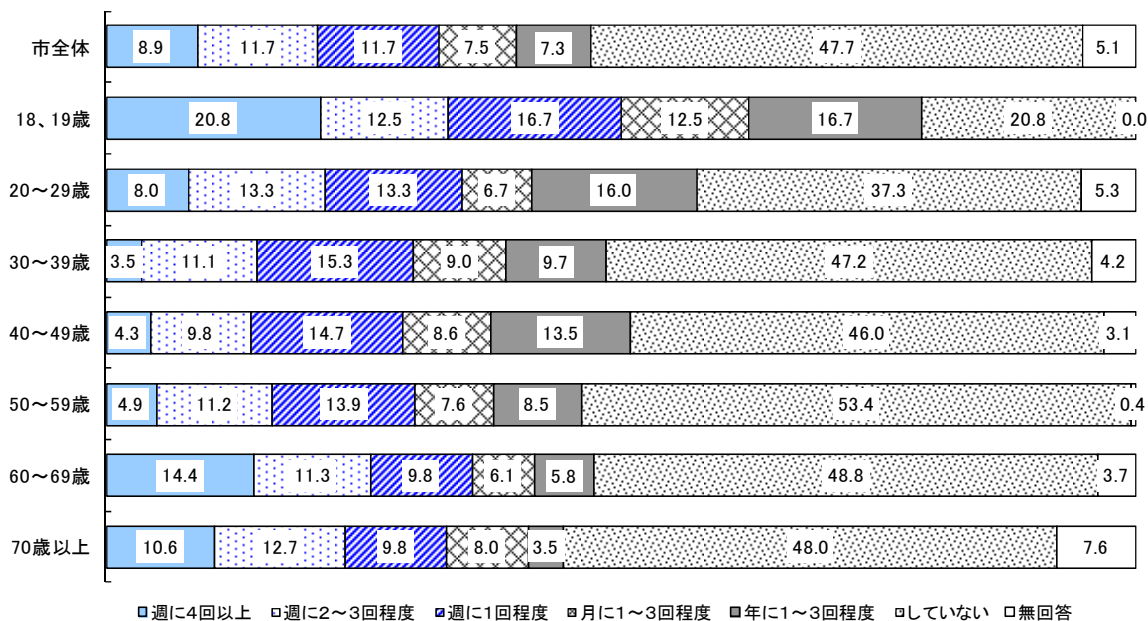
(15) あなたは、どのくらい運動やスポーツをしていますか。



どのくらい運動やスポーツをしているかについて、「週に2～3回程度」「週に1回程度」と回答した割合がともに11.7%と最も高く、次いで「週に4回以上」(8.9%)、「月に1～3回程度」(7.5%)、「年に1～3回程度」(7.3%)の順となっている。

また、「していない」と回答した割合が47.7%と半数程度と高くなっている。

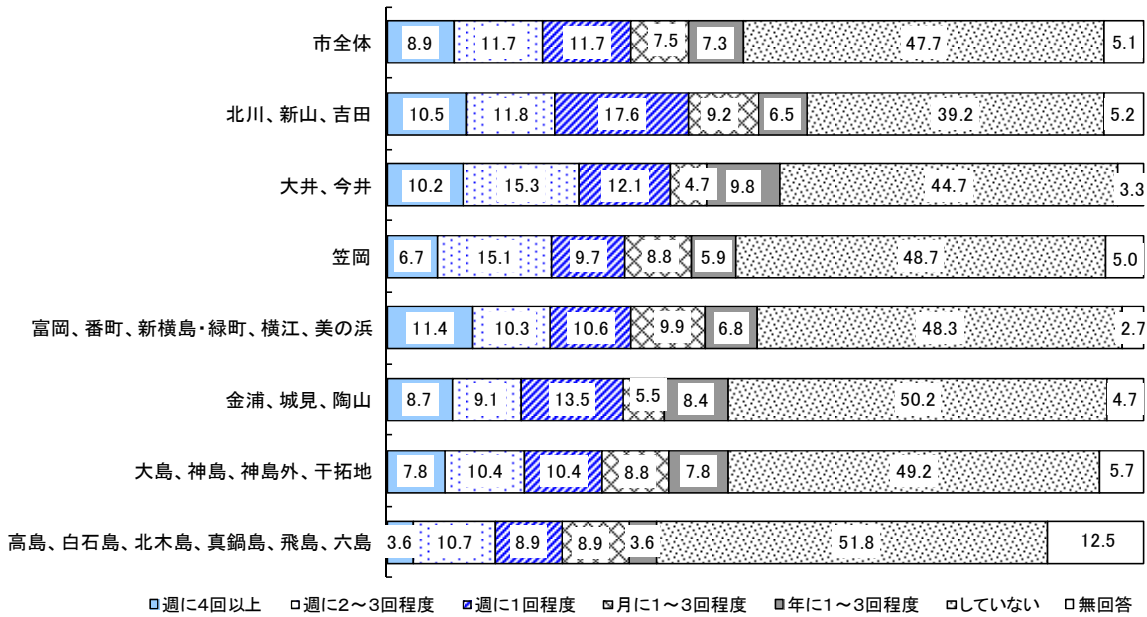
【年齢別】



年齢別にみると、「18、19歳」で「週に4回以上」と回答した割合が20.8%と高くなっている。

また、「50～59歳」では「していない」と回答した割合が53.4%と高くなっている。

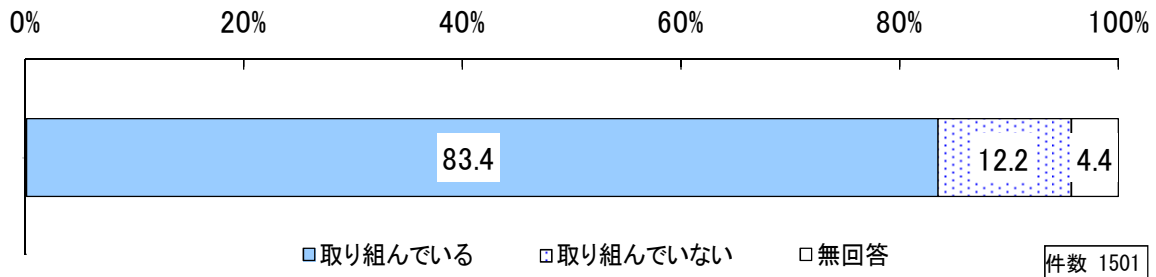
【地区別】



地区別にみると、「北川、新山、吉田」で週に1回以上運動やスポーツをしていると回答した割合が39.9%と高くなっている。

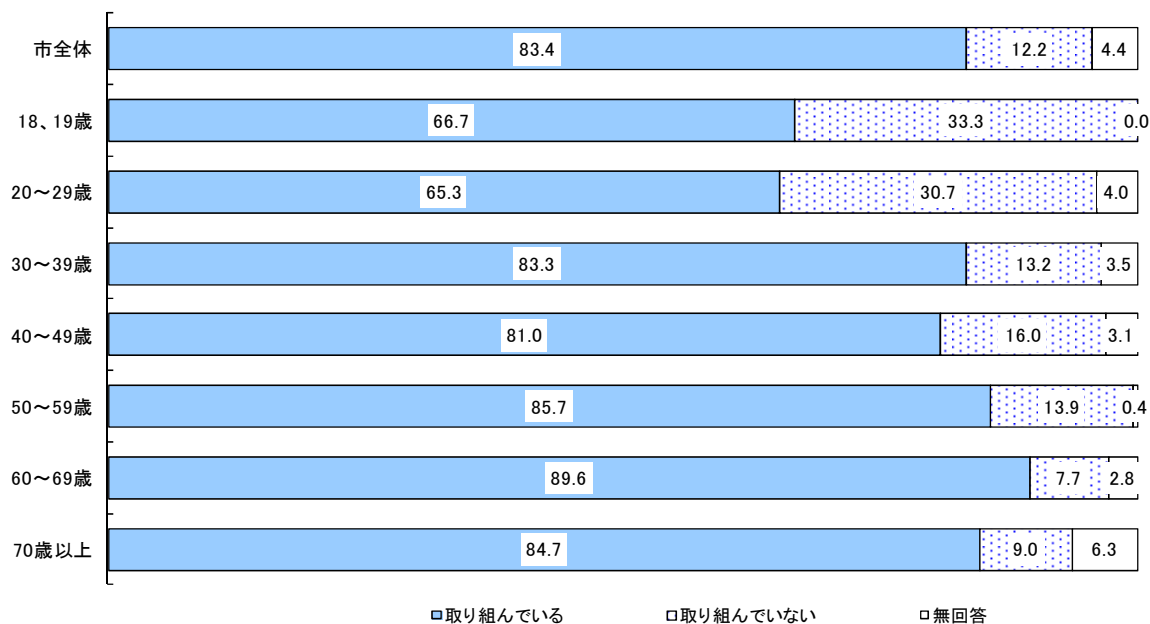
また「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」では「していない」と回答した割合が51.8%と他の地区に比べて高くなっている。

(16) あなたは、ごみの減量化・資源化に取り組んでいますか。



ごみの減量化・資源化に取り組んでいるかについて、「取り組んでいる」が83.4%、「取り組んでいない」が12.2%と、「取り組んでいる」と回答した割合が高くなっている。

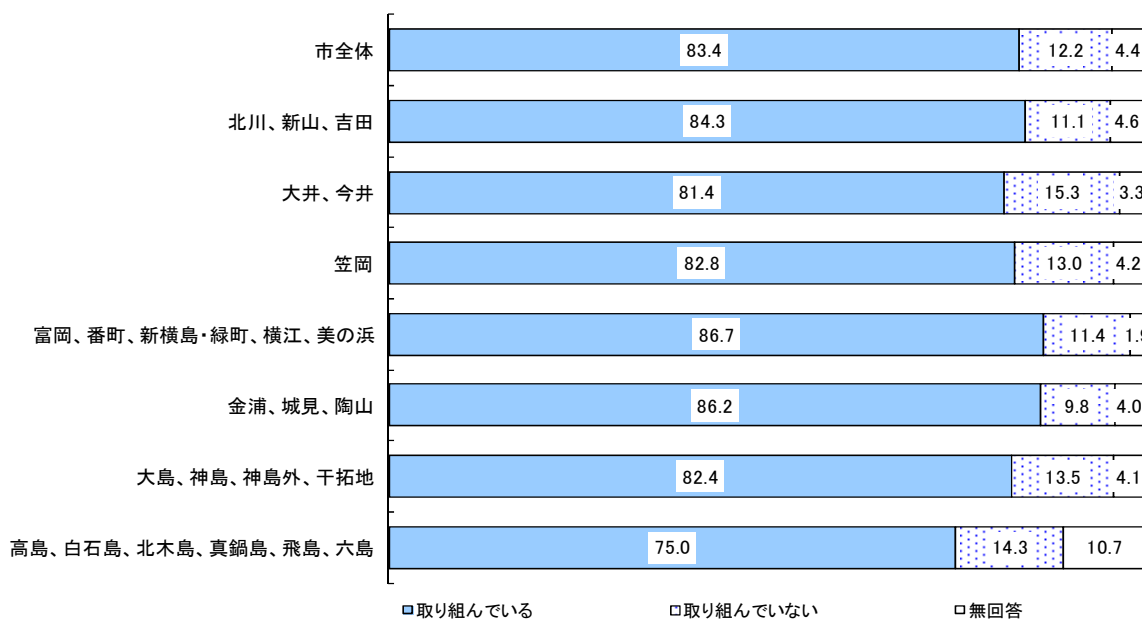
【年齢別】



年齢別にみると、「参加している」と回答した割合は、「60～69歳」が89.6%と最も高く、次いで「50～59歳」（85.7%）、「70歳以上」（84.7%）の順となっている。

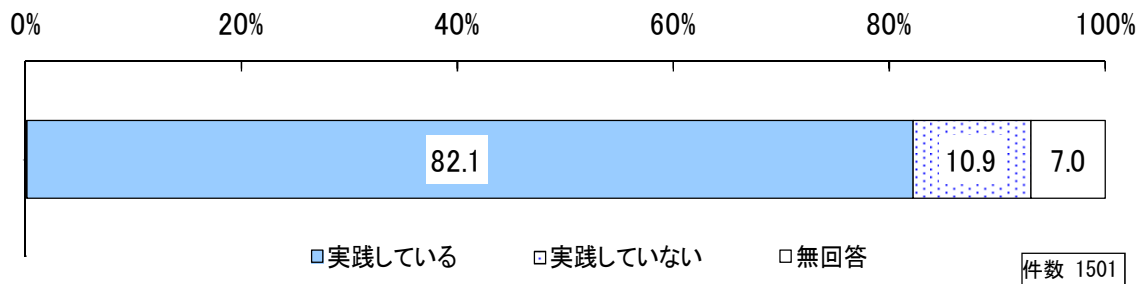
また、「18、19歳」で「参加していない」と回答した割合が33.3%と高くなっている。

【地区別】



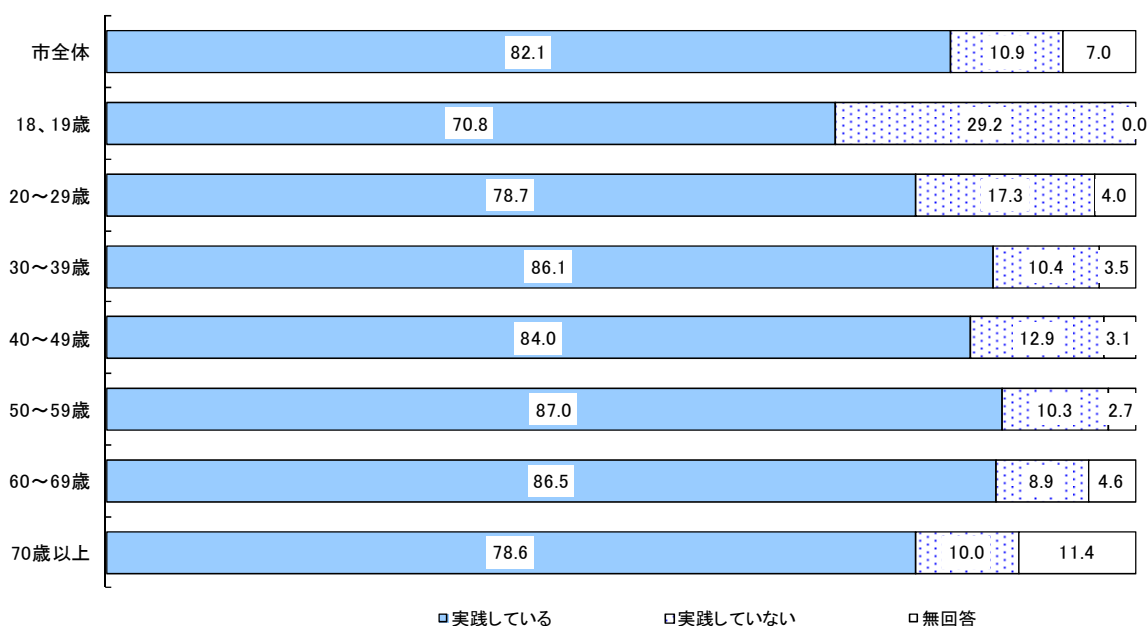
地区別にみると、「参加している」と回答した割合は「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」が75.0%と他の地区に比べて低くなっている。

(17) あなたは、日常生活の中でエコ（節約・省エネルギー化）を実践していますか。



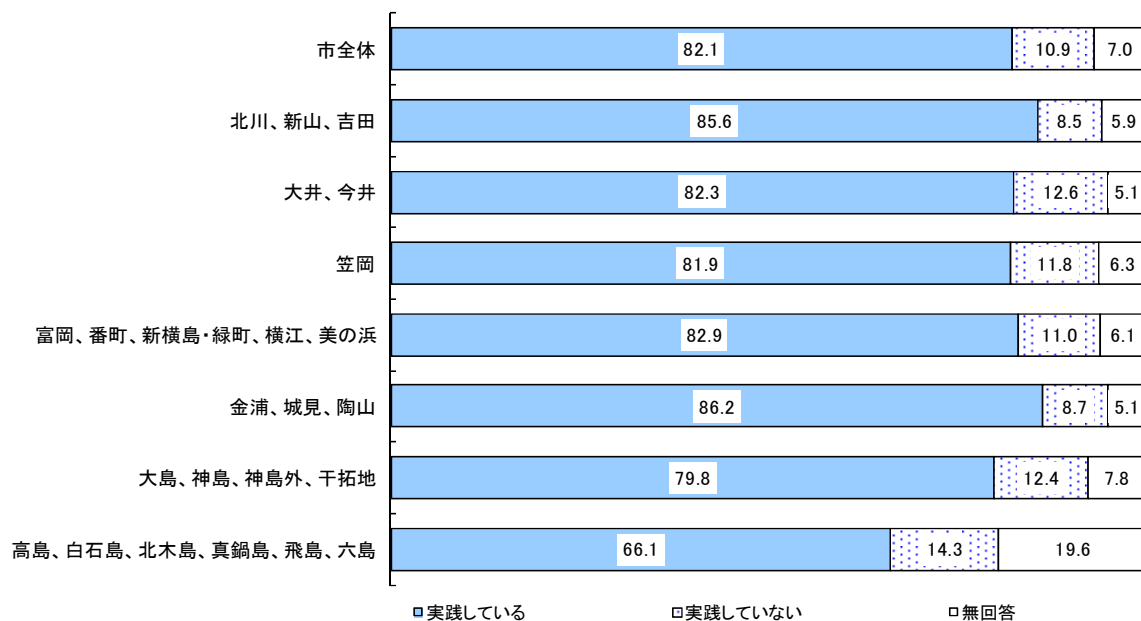
日常生活の中でエコ（節約・省エネルギー化）の実践しているかについて、「実践している」が82.1%、「実践していない」が10.9%と、「実践している」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



年齢別にみると、「実践している」と回答した割合が「50～59歳」で87.0%と最も高く、次いで「60～69歳」（86.5%）、「30～39歳」（86.1%）の順となっている。
また、「18、19歳」では「実践していない」と回答した割合が3割程度と高くなっている。

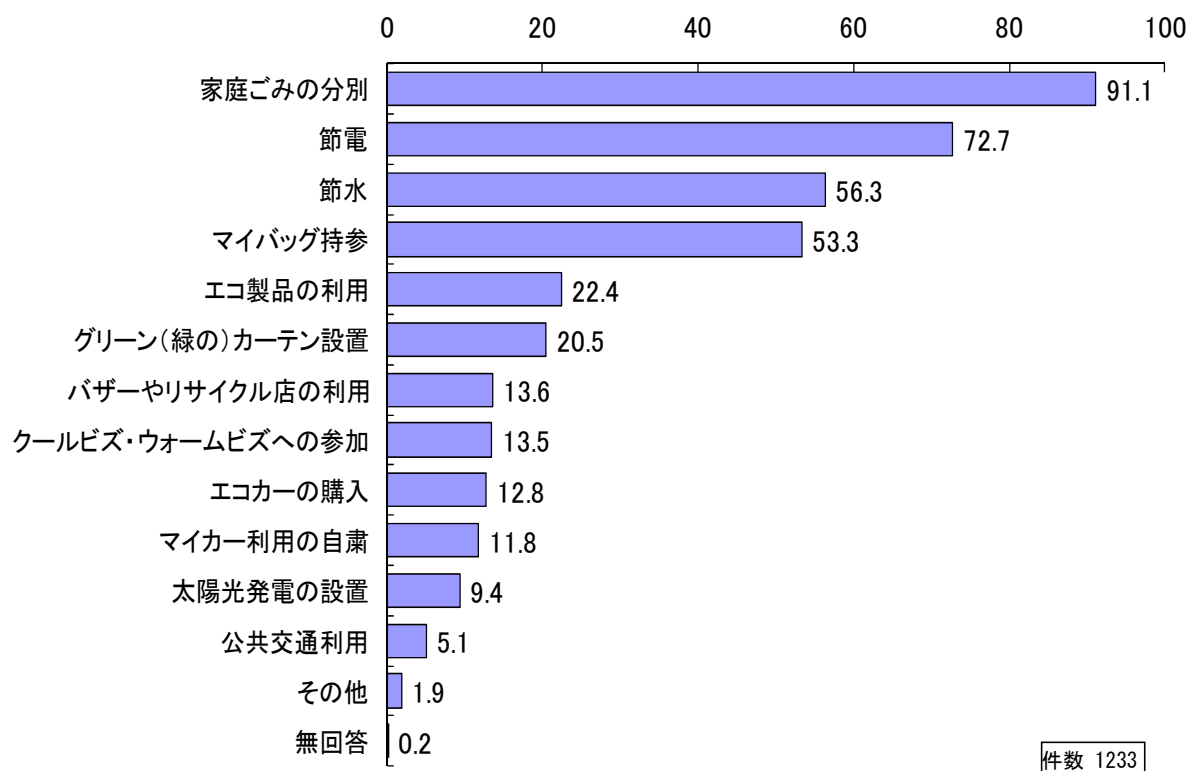
【地区別】



地区別にみると、「実践している」と回答した割合は、「金浦、城見、陶山」で86.2%と最も高くなっている。

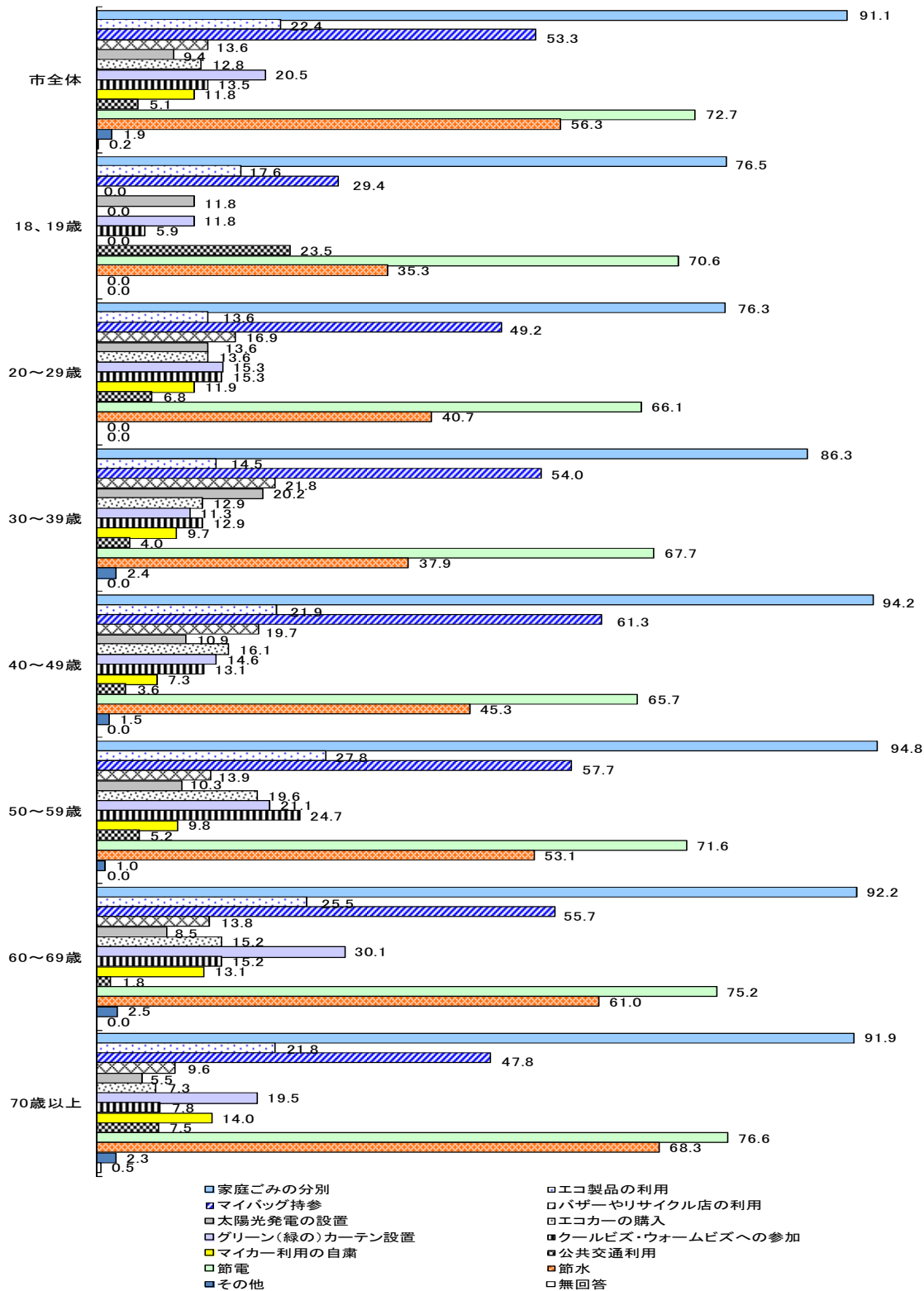
(17)で「1. 実践している」を選んだ方に伺います。

(17-2) どのようなことを実践していますか。該当する番号全てに○をつけてください。



前の設問で日常生活の中でエコを実践していると回答した人で、どのようなことを実践しているかについて、「家庭ごみの分別」が91.1%と最も高くなっている。

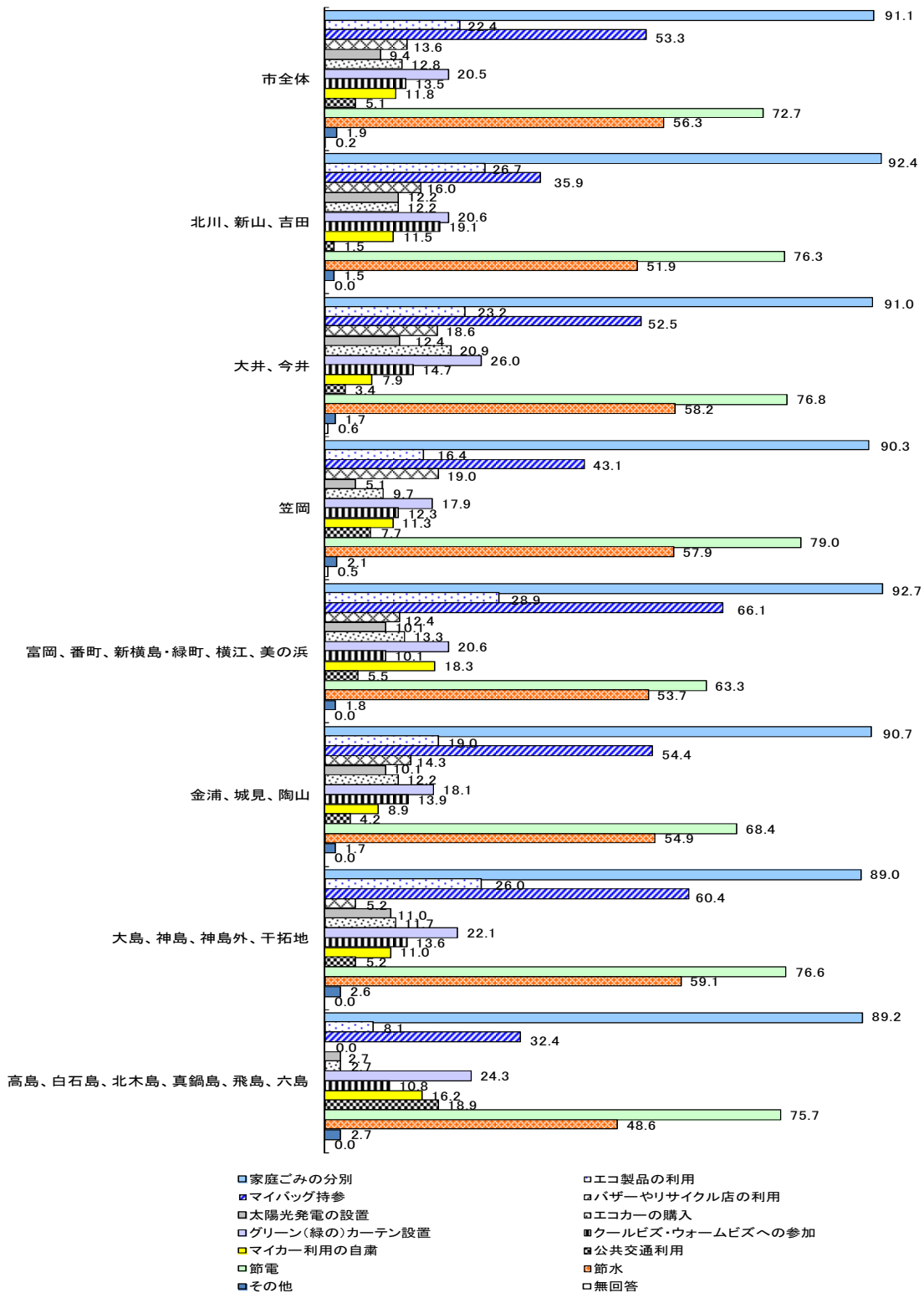
【年齢別】



年齢別にみると、「50～59歳」で「家庭ごみの分別」と回答した割合が94.8%と最も高く、次いで「40～49歳」（94.2%）、「60～69歳」（92.2%）の順となっている。

また、「18、19歳」「20～29歳」では「家庭ごみの分別」と回答した割合が8割程度と低くなっている。

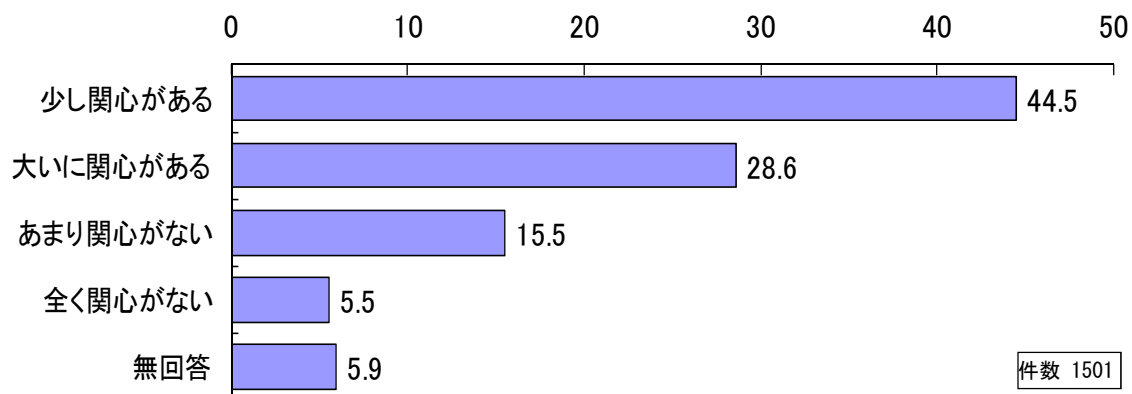
【地区別】



地区別にみると、「富岡、番町、新横島・緑町、横江、美の浜」で「家庭ごみの分別」と回答した割合が92.7%と最も高く、次いで「北川、新山、吉田」（92.4%）となっている。

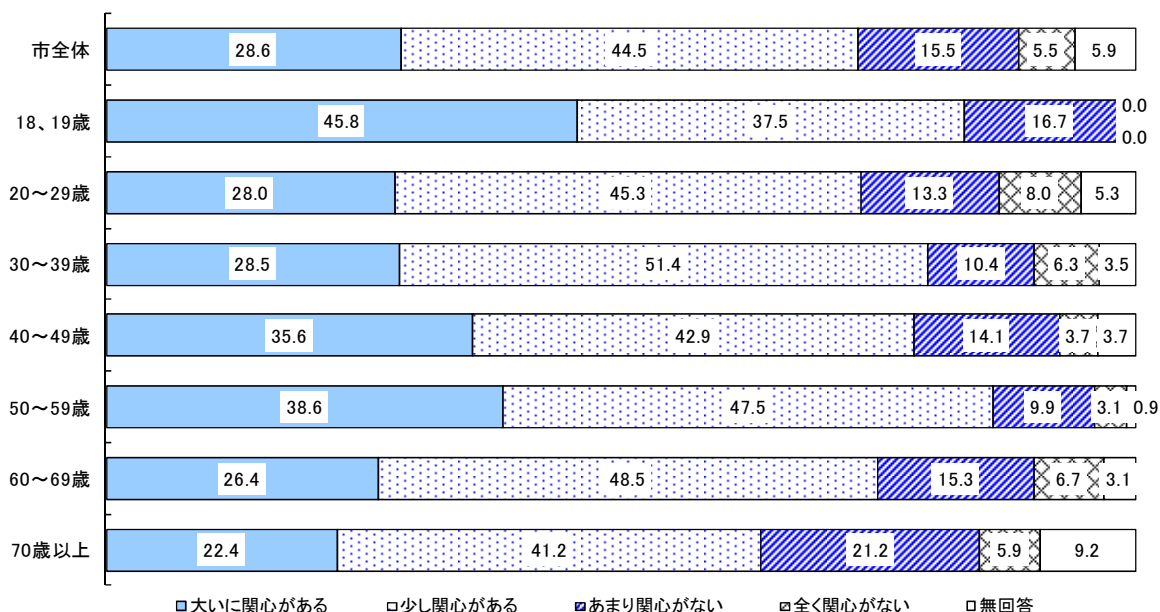
また、「富岡、番町、新横島・緑町、横江、美の浜」では「節電」と回答した割合が63.3%と最も低くなっている。

(18) あなたは、新エネルギーに関心がありますか。



新エネルギーについて、「少し関心がある」と回答した割合が44.5%と最も高く、次いで「大いに関心がある」（28.6%）、「あまり関心がない」（15.5%）、「全く関心がない」（5.5%）の順となっている。

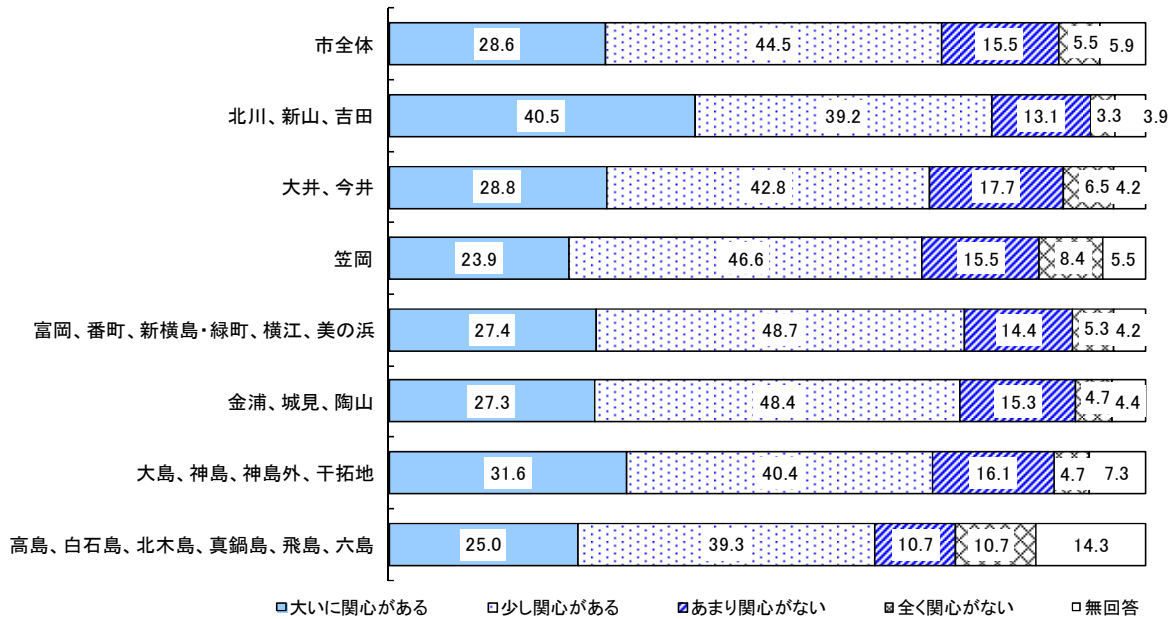
【年齢別】



年齢別にみると、【関心がある（「大いに関心がある」「少し関心がある」を合わせたもの）】と回答した割合は「50～59歳」が86.1%と他の年齢層に比べて高くなっている。

また、【関心がない（「全く関心がない」「あまり関心がない」を合わせたもの）】と回答した割合は、「70歳以上」が27.1%と他の年齢層に比べて高くなっている。

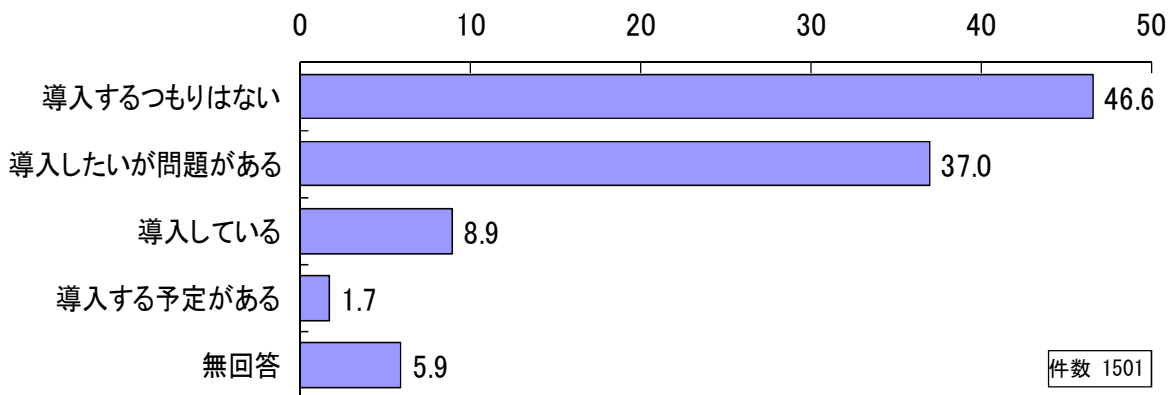
【地区別】



地区別にみると、【関心がある（「大いに興味がある」「少し興味がある」を合わせたもの）】と回答した割合は、「北川、新山、吉田」が79.7%と他の地区に比べて高くなっている。

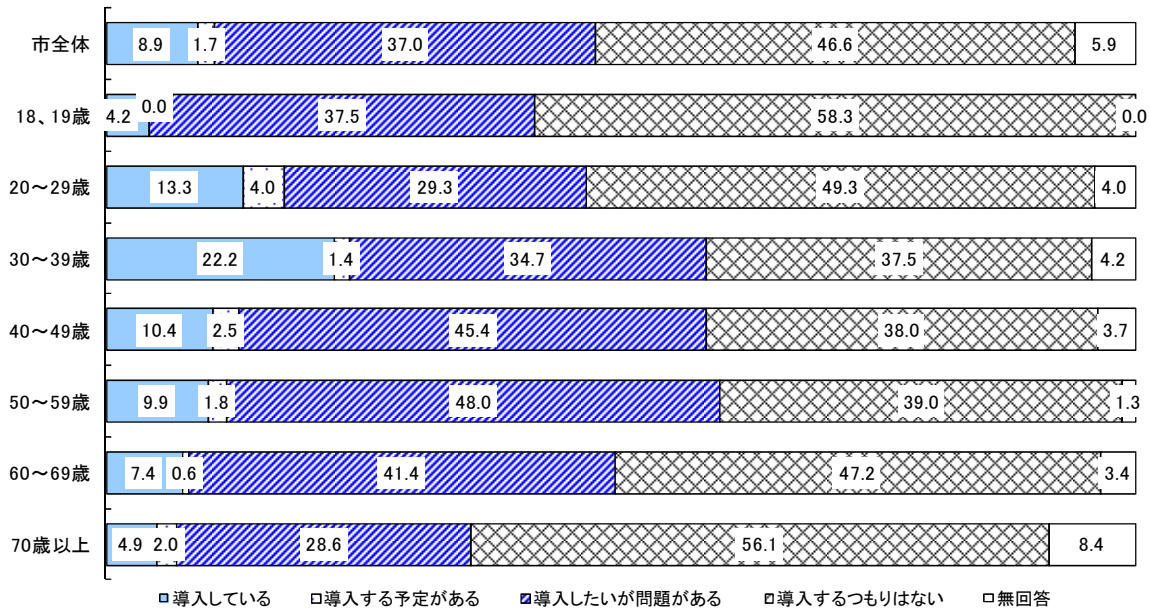
また、【関心がない（「全く興味がない」「あまり興味がない」を合わせたもの）】と回答した割合は、「大井、今井」が24.2%と他の地区と比べて高くなっている。

(19) 太陽光発電システムの導入状況について、あなたの自宅は次のどれにあてはまりますか。



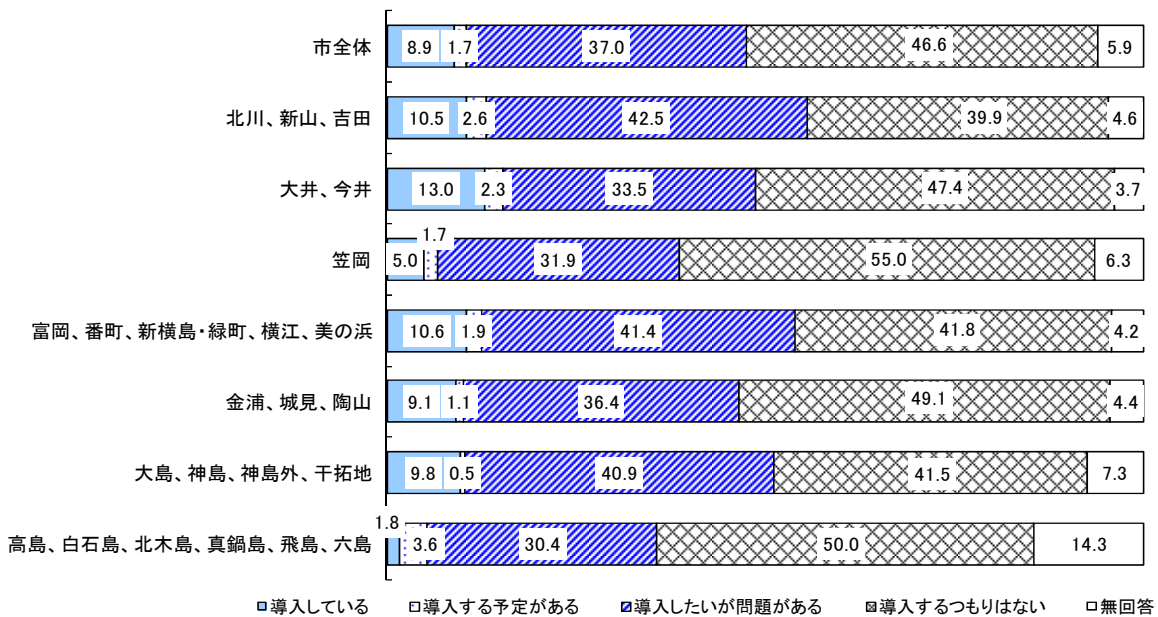
太陽光発電システムの導入について、「導入するつもりはない」と回答した割合が46.6%と最も高く、次いで「導入したいが問題がある」（37.0%）、「導入している」（8.9%）、「導入する予定がある」（1.7%）の順となっている。

【年齢別】



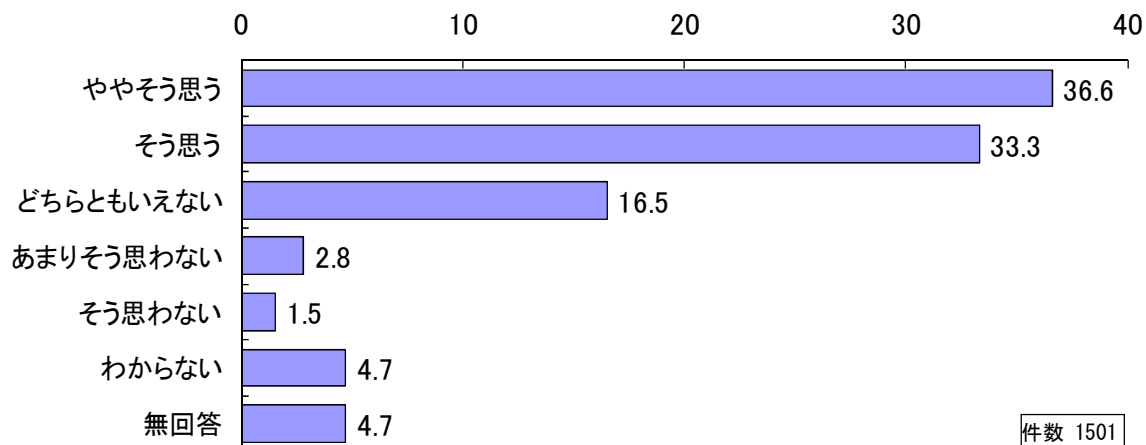
年齢別にみると、「導入している」と回答した割合は「30～39歳」が22.2%と最も高く、次いで「20～29歳」（13.3%）、「40～49歳」（10.4%）の順となっている。

【地区別】



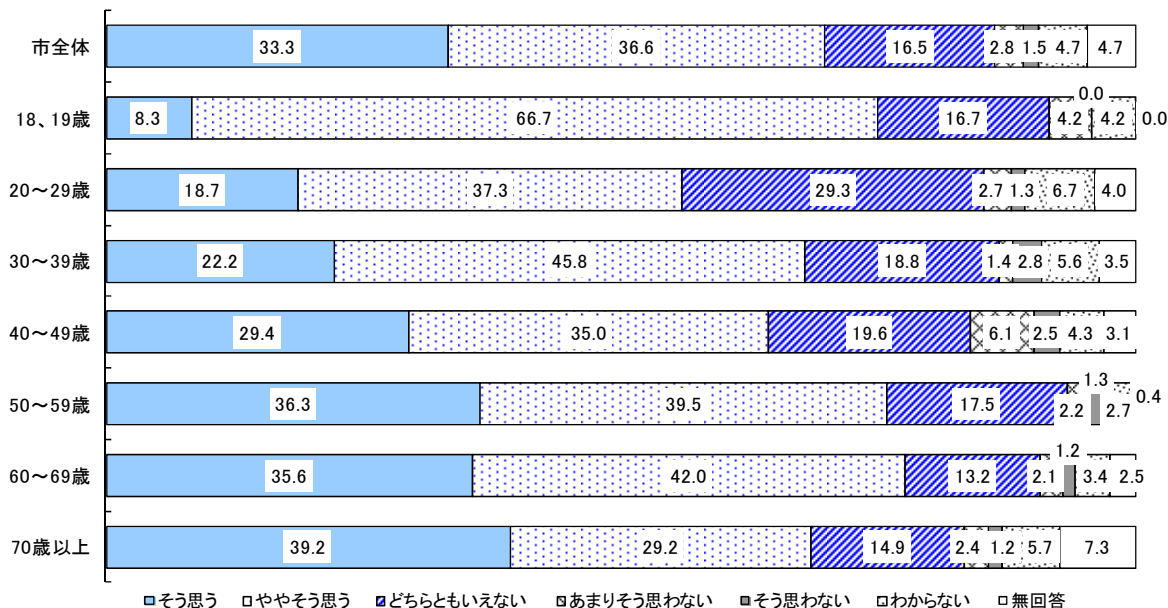
地区別にみると、「導入している」と回答した割合は「大井、今井」が13.0%と最も高く、次いで「富岡、番町、新横島・緑町、横江、美の浜」（10.6%）、「北川、新山、吉田」（10.5%）の順となっている。

(20) あなたは、互いの人権を尊重しながら生活していると思いますか。



互いの人権を尊重しながら生活していると思いますかについて、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合が69.9%、【思わない（「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせたもの）】と回答した割合が4.3%と、【思う】と回答した割合が高くなっている。

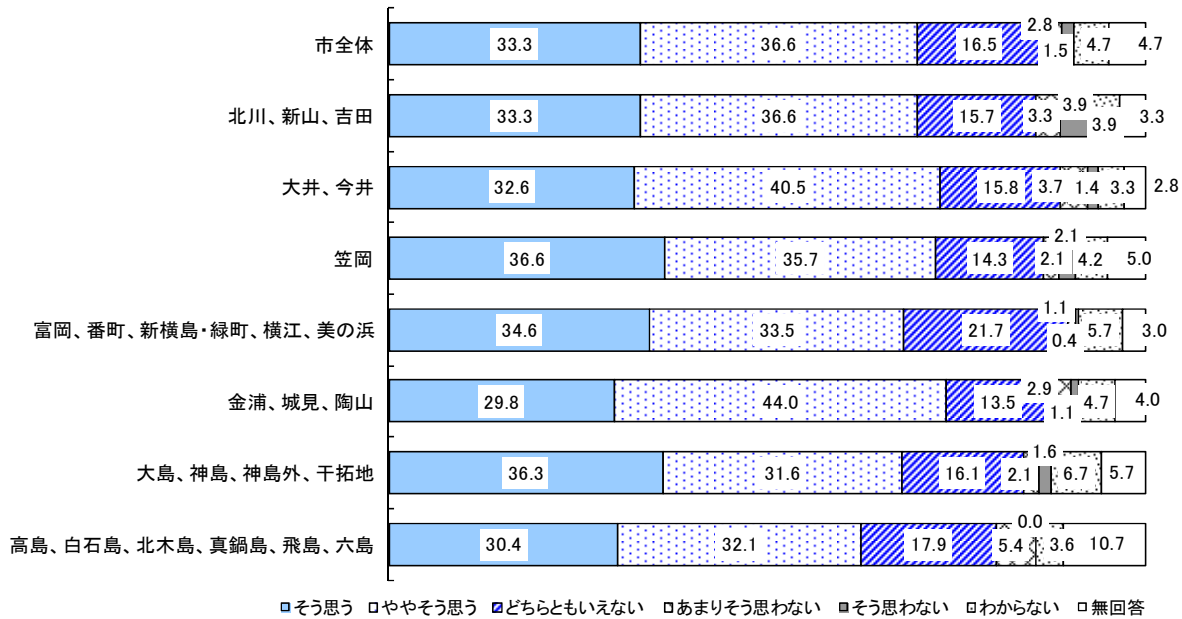
【年齢別】



年齢別にみると、「そう思う」と回答した割合は「70歳以上」が39.2%と最も高く、次いで「50～59歳」（36.3%）、「60～69歳」（35.6%）の順となっている。

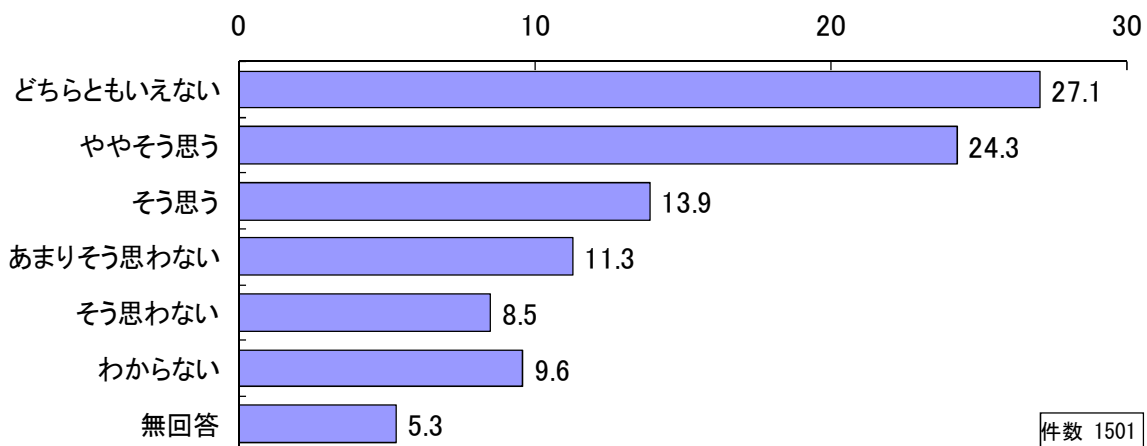
また、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合は「60～69歳」が77.6%と最も高くなっている。

【地区別】



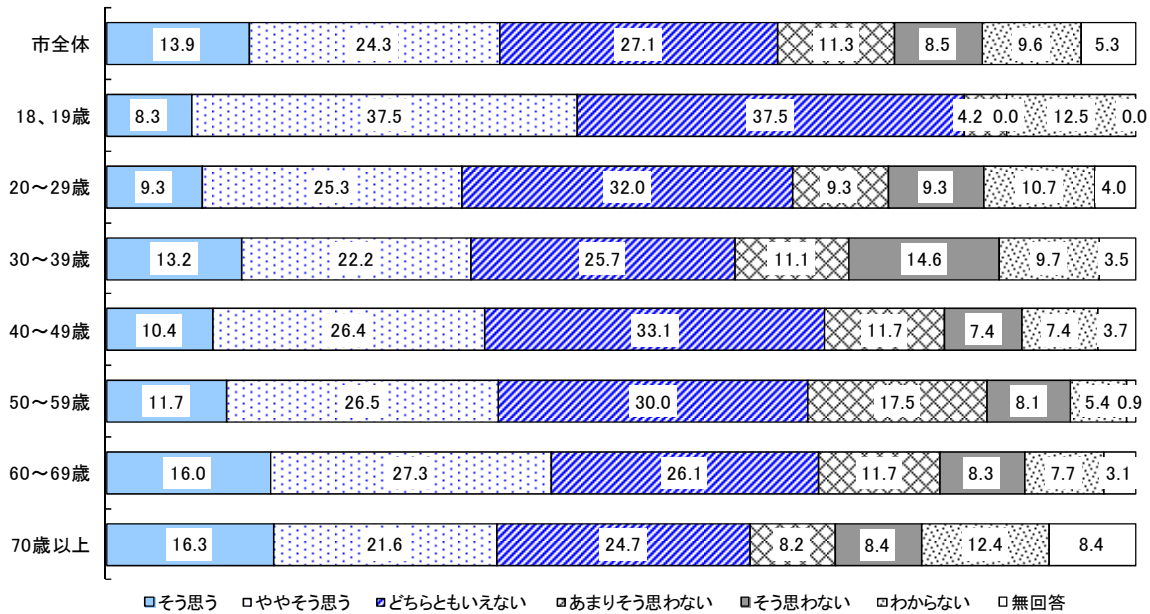
地区別にみると、「そう思う」と回答した割合は「笠岡」が36.6%と最も高くなっている。
また、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合は「金浦、城見、陶山」が73.8%と最も高くなっている。

(21) あなたは、お住まいの地域や職場で男女が対等に活躍できていると思いますか。



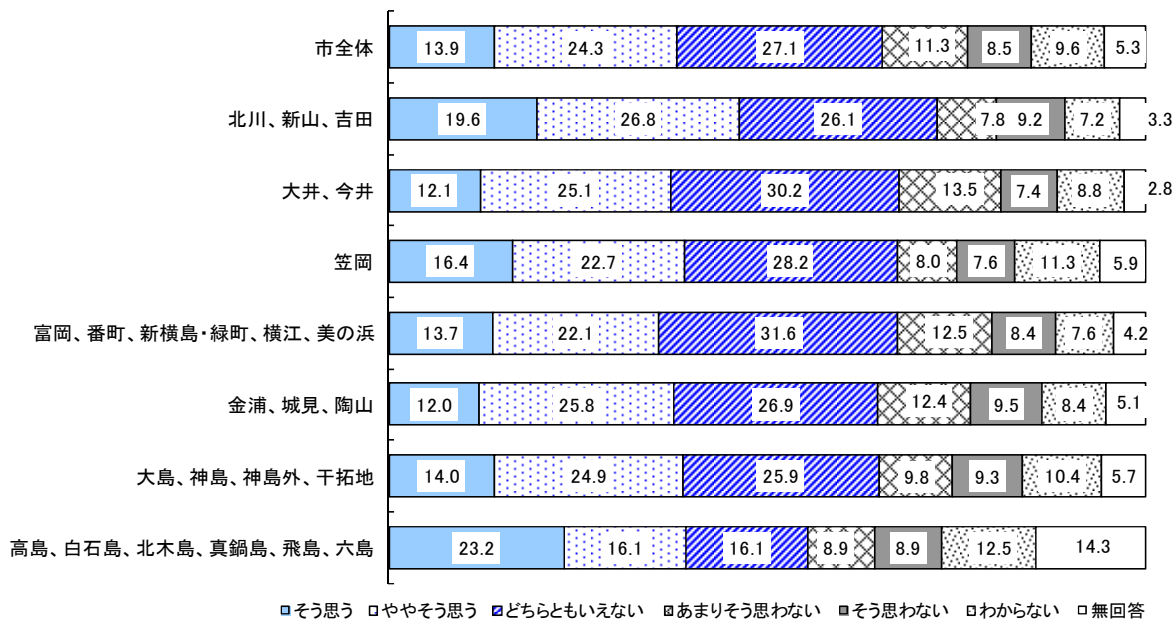
お住まいの地域や職場で男女が対等に活躍できていると思いますかについて、「どちらともいえない」と回答した割合が27.1%と最も高くなっている。
また、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合が38.2%、【思わない（「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせたもの）】と回答した割合が19.8%と、【思う】と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



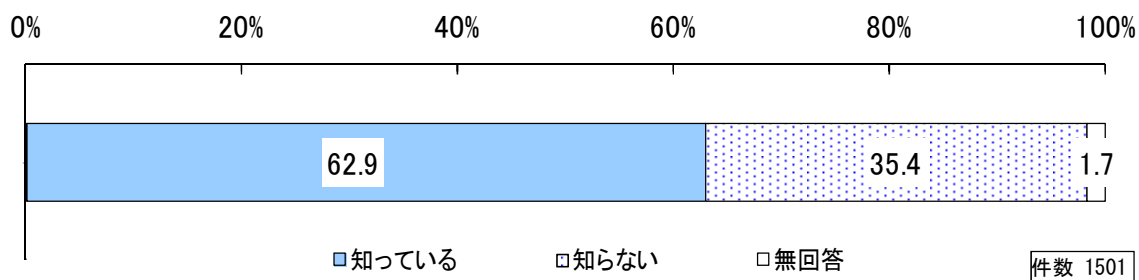
年齢別にみると、「そう思う」と回答した割合は「70歳以上」が16.3%と最も高く、次いで「60～69歳」（16.0%）、「30～39歳」（13.2%）の順となっている。
また、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合は、「18、19歳」が45.8%と最も高くなっている。

【地区別】



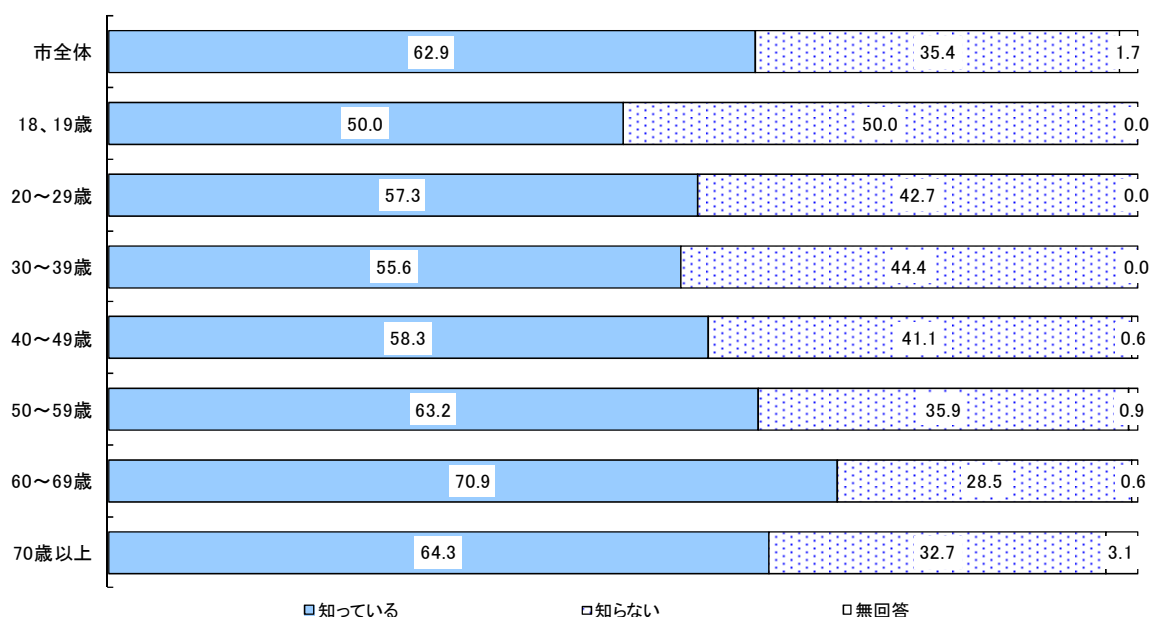
地区別にみると、「そう思う」と回答した割合は「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」が23.2%と最も高く、次いで「北川、新山、吉田」（19.6%）、「笠岡」（16.4%）の順となっている。
また、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合は、「北川、新山、吉田」が46.4%と最も高くなっている。

(22) あなたは、笠岡市が非核平和都市宣言をしていることを知っていますか。



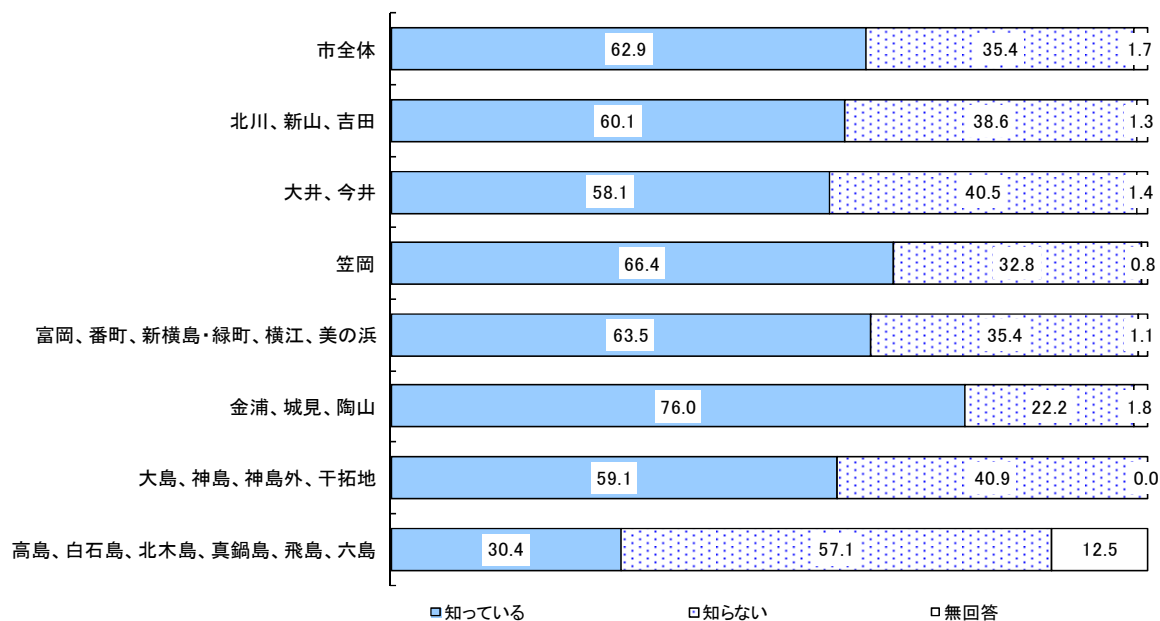
笠岡市が非核平和都市宣言をしていることを知っているかについて、「知っている」が62.9%、「知らない」が35.4%と、「知っている」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



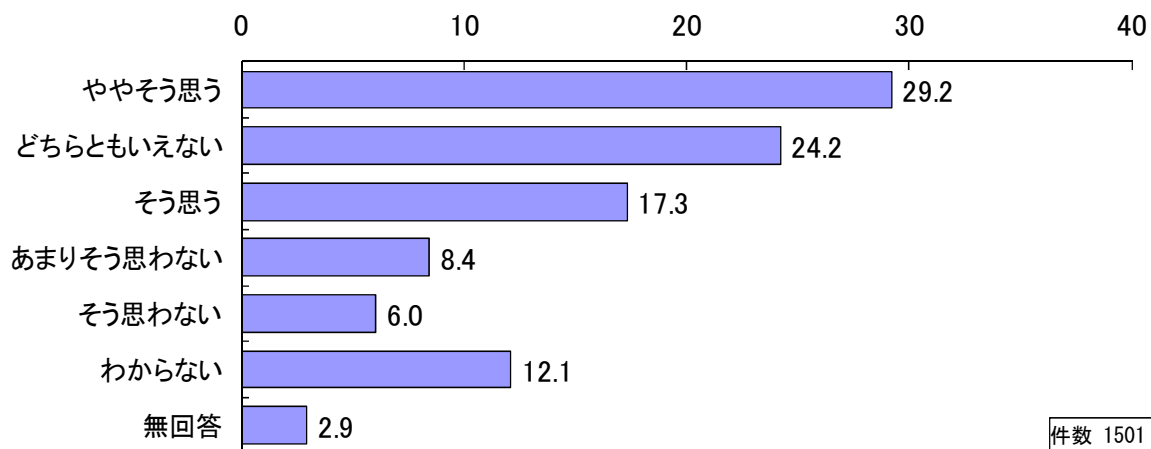
年齢別にみると、「知っている」と回答した割合は「60～69歳」が70.9%と最も高く、次いで「70歳以上」(64.3%)、「50～59歳」(63.2%)の順となっている。

【地区別】



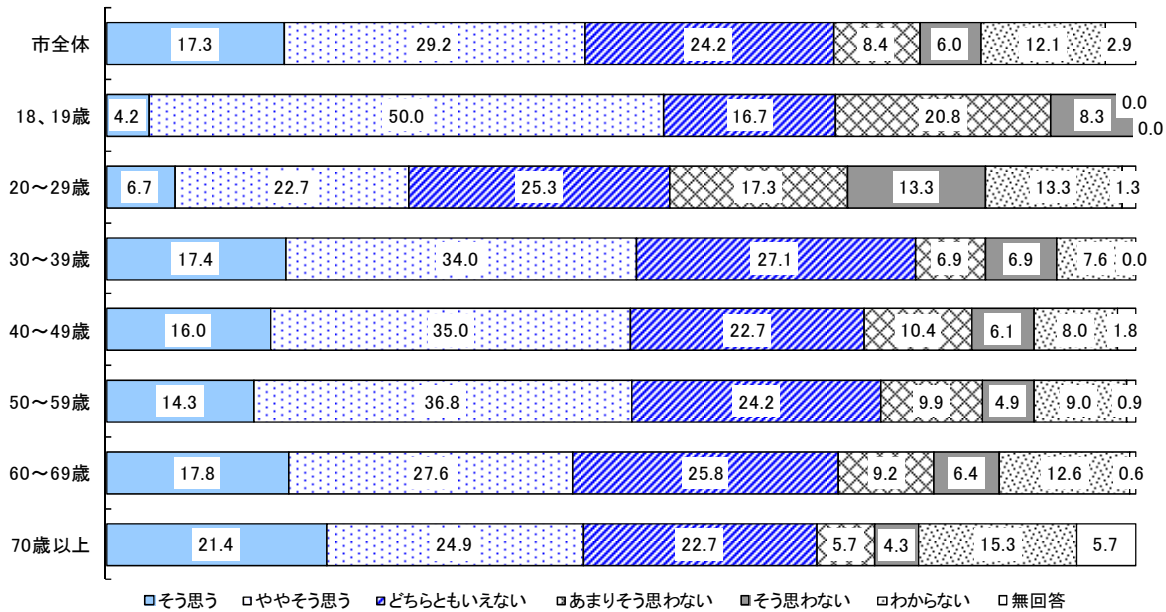
地区別にみると、「知っている」と回答した割合は「金浦、城見、陶山」が76.0%と最も高く、次いで「笠岡」（66.4%）、「富岡、番町、新横島・緑町、横江、美の浜」（63.5%）の順となっている。

(23) あなたは、笠岡市内で安心して子どもを産み育てることができると思いますか。



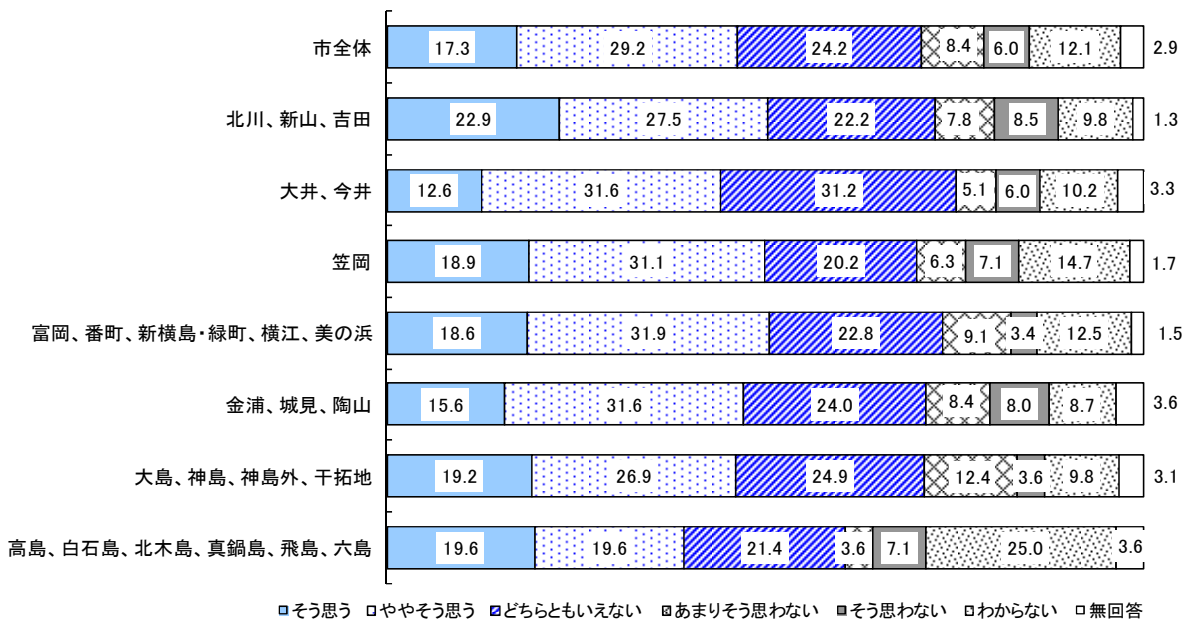
笠岡市内で安心して子どもを産み育てることができると思うかについて、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合が46.5%、【思わない（「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせたもの）】と回答した割合が14.4%と、【思う】と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



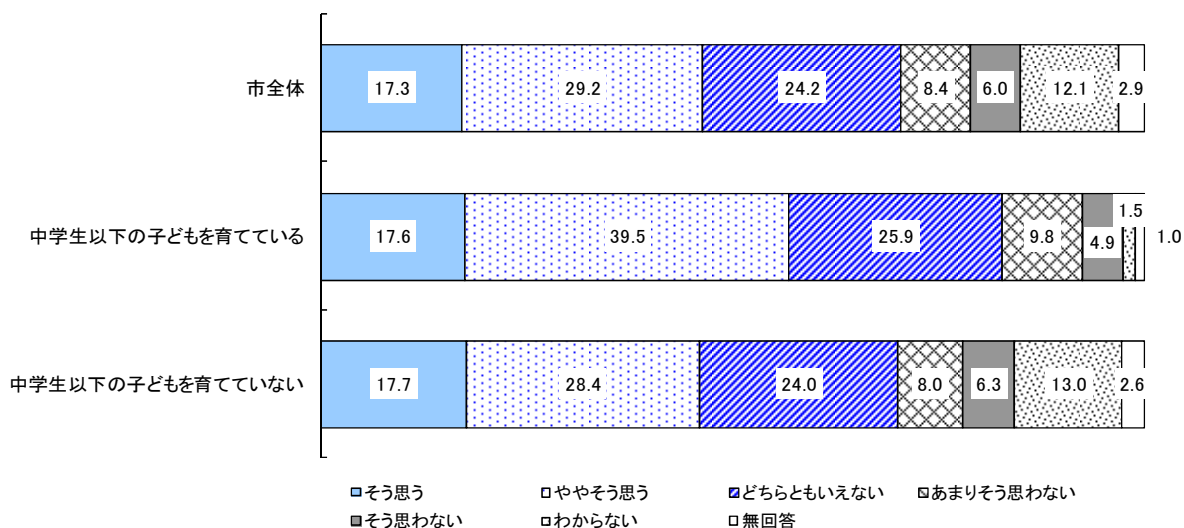
年齢別にみると、「そう思う」と回答した割合は「70歳以上」が21.4%と最も高く、次いで「60～69歳」（17.8%）、「30～39歳」（17.4%）の順となっている。
また、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合は「18、19歳」が54.2%と最も高くなっている。

【地区別】



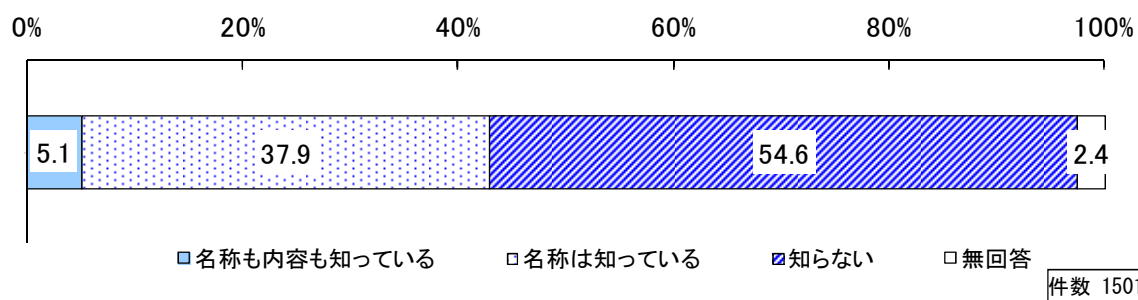
地区別にみると、「そう思う」と回答した割合は「北川、新山、吉田」が22.9%と最も高く、次いで「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」（19.6%）、「大島、神島、神島外、干拓地」（19.2%）の順となっている。
また、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合は「富岡、番町、新横島・緑町、横江、美の浜」が50.5%と最も高くなっている。

【中学生以下の子どもを産み育てていること別】



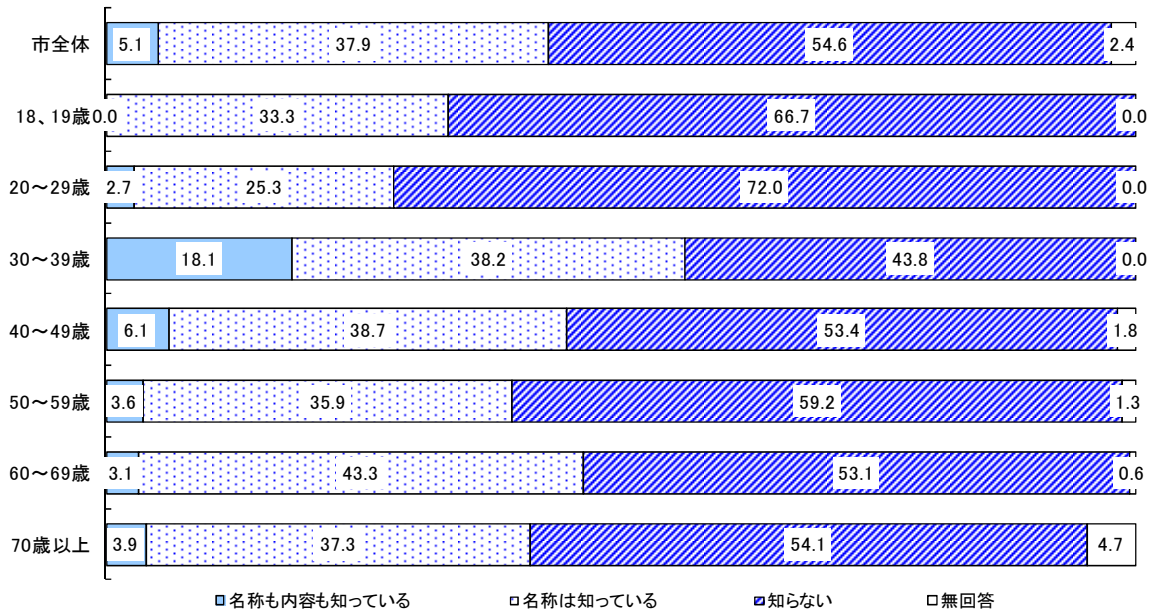
中学生以下の子どもを育てているか育てていないかで集計を行った。
 【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合は、「中学生以下の子どもを育てている」では57.1%と、「中学生以下の子どもを育てていない」の46.1%と比べて高くなっている。

(24) あなたは、「笠岡市子ども条例」を知っていますか。



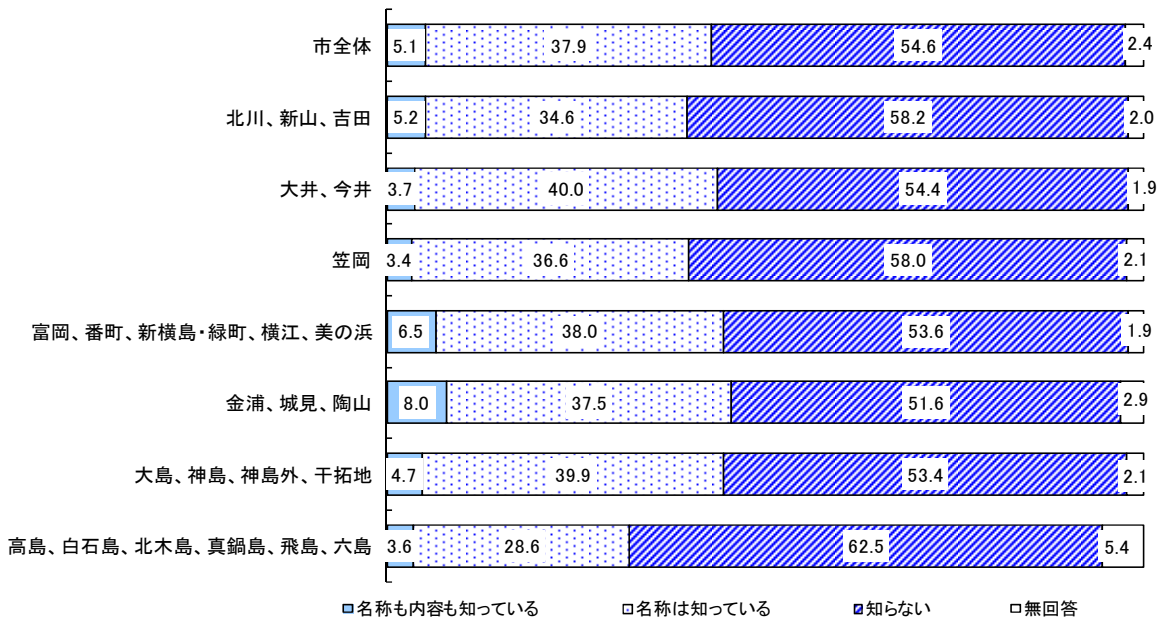
「笠岡市こども条例」を知っているかについて、【知っている（「名称も内容も知っている」「名称は知っている」を合わせたもの）】と回答した割合は43.0%、「知らない」と回答した割合は54.6%と、「知らない」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



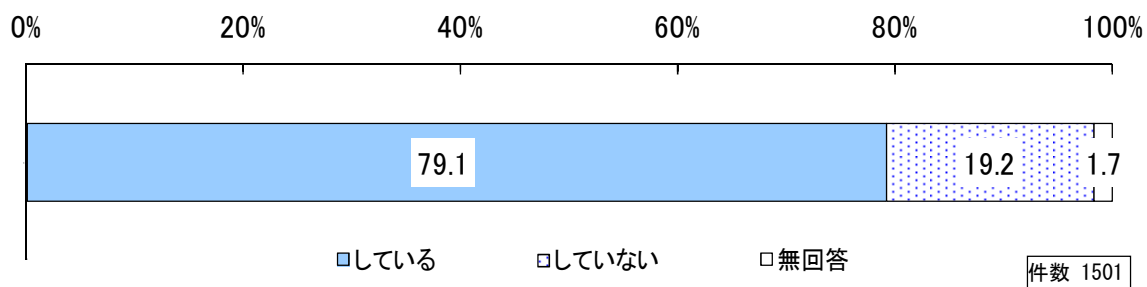
年齢別にみると、【知っている（「名称も内容も知っている」「名称は知っている」を合わせたもの）と回答した割合は「30～39歳」が56.3%と最も高くなっている。
また、「知らない」と回答した割合は「20～29歳」で72.0%と高くなっている。

【地区別】



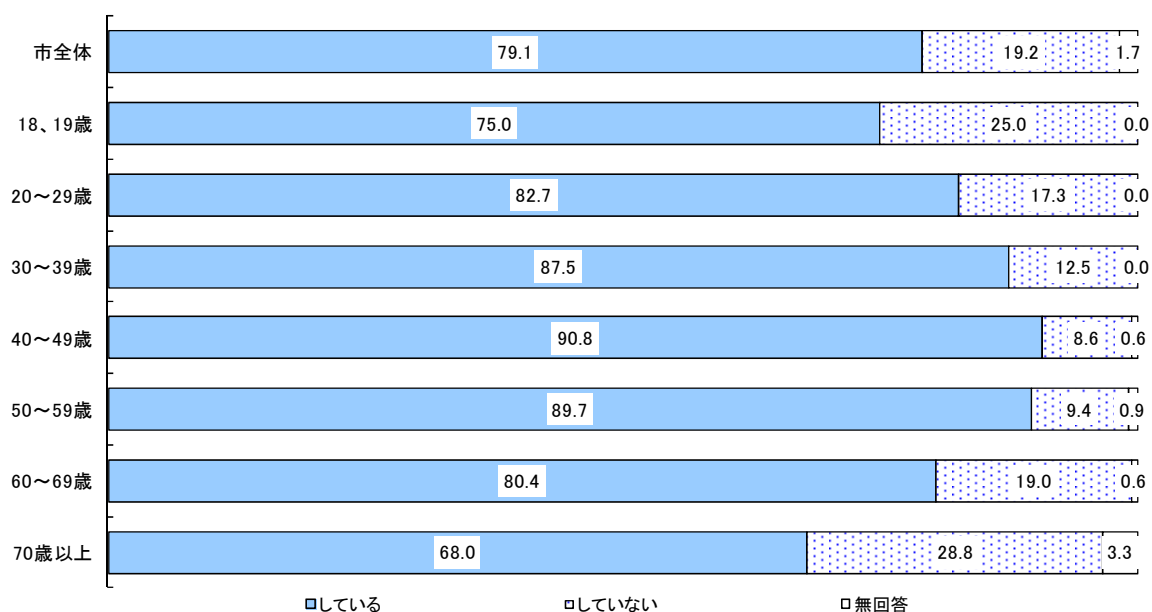
地区別にみると、【知っている（「名称も内容も知っている」「名称は知っている」を合わせたもの）と回答した割合は「金浦、城見、陶山」が45.5%と最も高くなっている。
また、「知らない」と回答した割合は「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」が62.5%と高くなっている。

(25) 家族と同居されていますか。



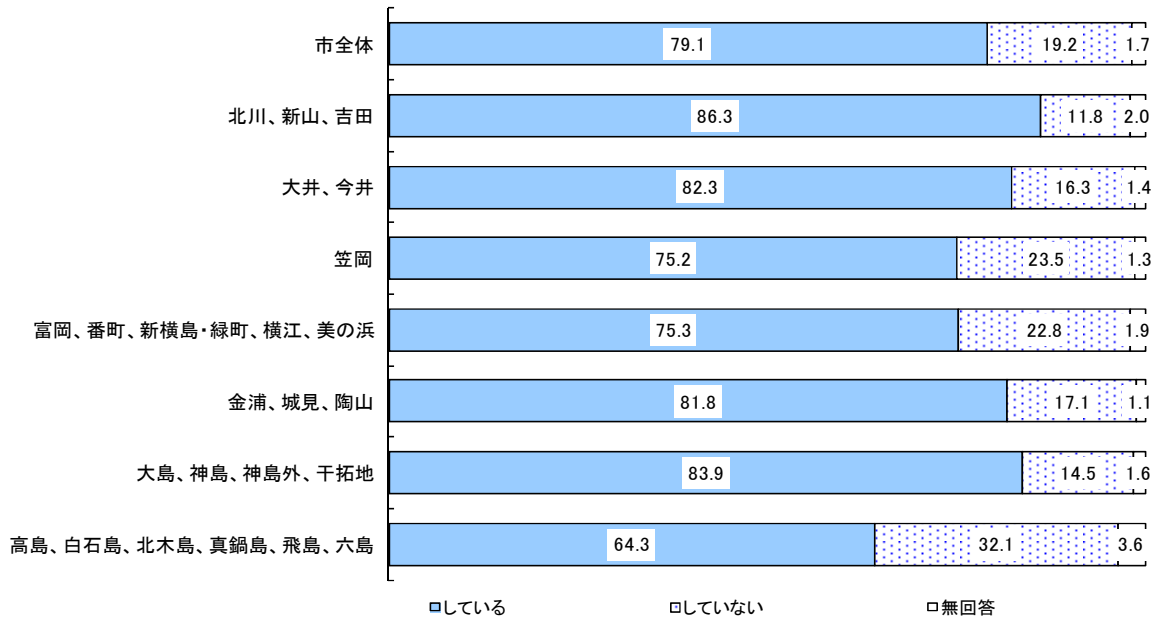
家族と同居されているかについて、「している」が79.1%、「していない」が19.2%と、「している」と回答した割合の方が高くなっている。

【年齢別】



年齢別にみると、「している」と回答した割合は「40～49歳」が90.8%と最も高く、次いで「50～59歳」（89.7%）、「30～39歳」（87.5%）の順となっている。
また、「していない」と回答した割合は「70～79歳」が28.8%と高くなっている。

【地区別】

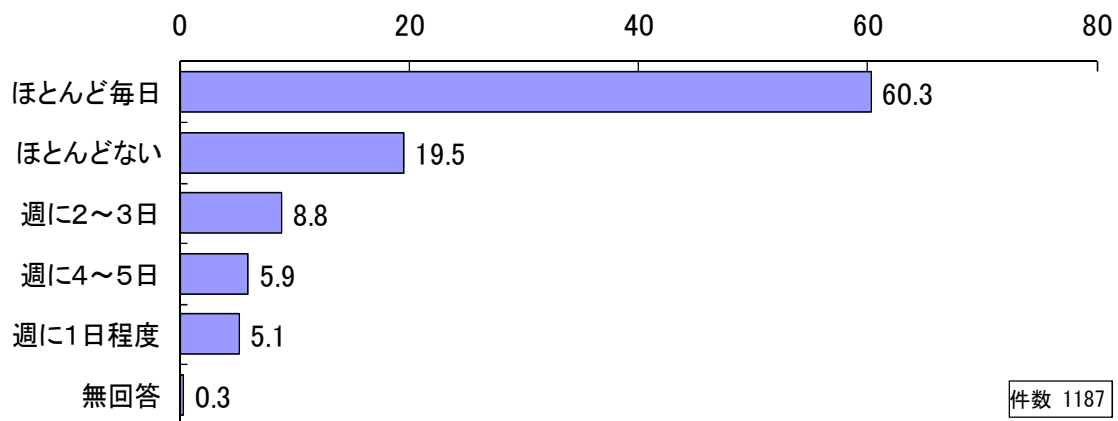


地区別にみると、「している」と回答した割合は「北川、新山、吉田」が86.3%と最も高く、次いで「大島、神島、神島外、干拓地」（83.9%）、「大井、今井」（82.3%）の順となっている。

また、「していない」と回答した割合は「富岡、番町、新横島・緑町、横江、美の浜」が32.1%と高くなっている。

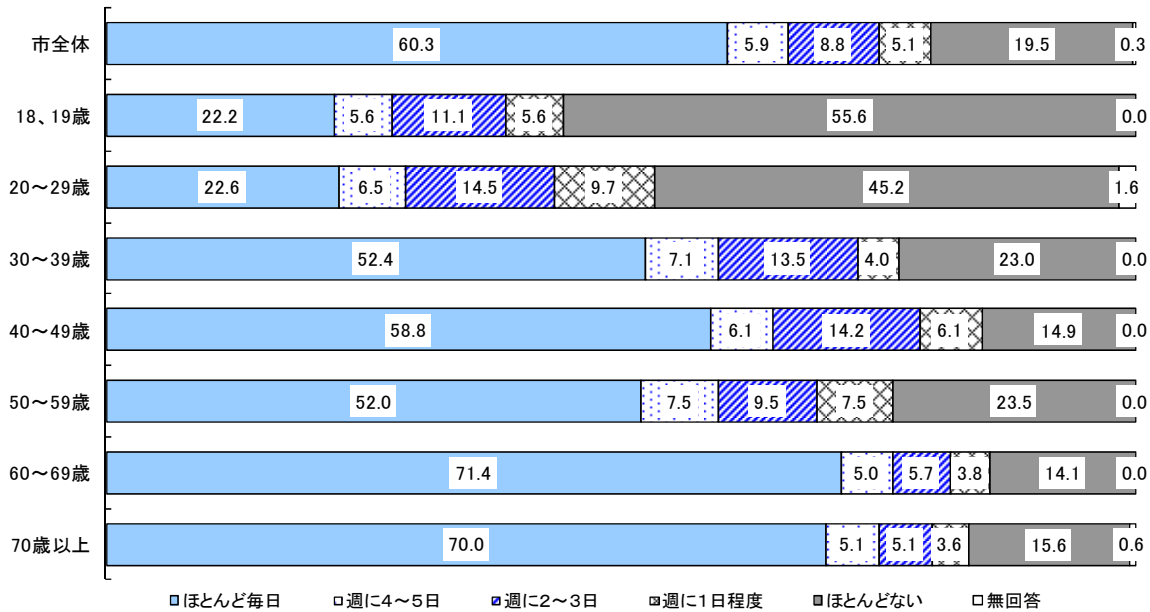
(25) で「1. している」を選んだ方に伺います。

(25-2) 朝食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか。



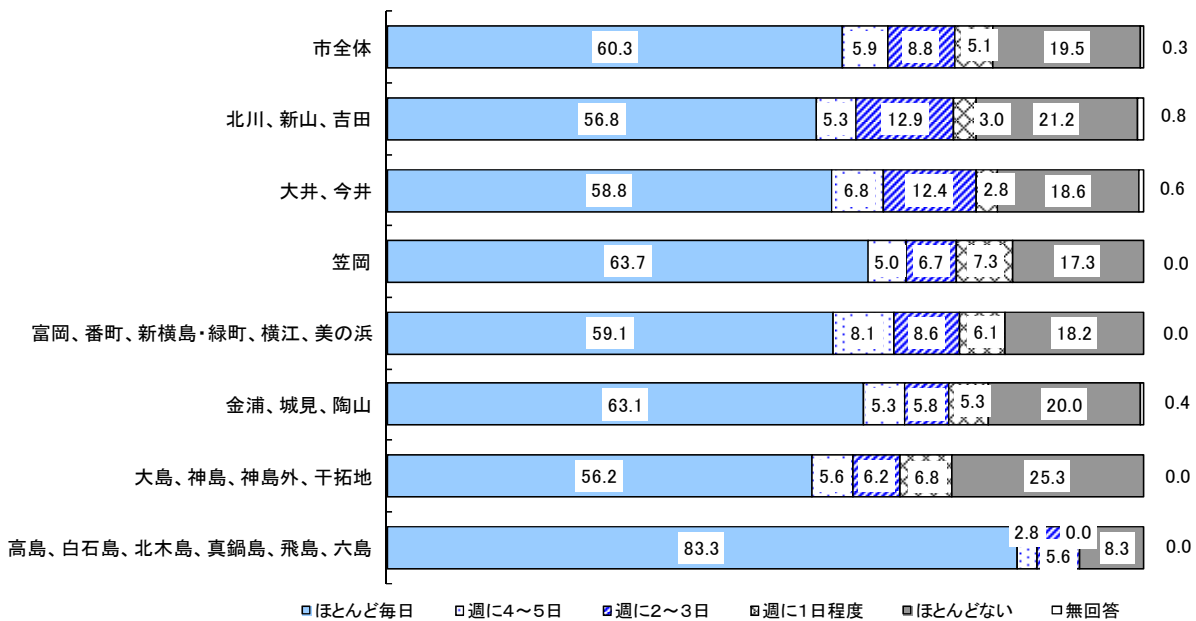
朝食を家族と一緒に食べることはどのくらいあるかについて、「ほとんど毎日」と回答した割合が60.3%と最も高く、次いで「ほとんどない」（19.5%）、「週に2～3日」（8.8%）、「週に4～5日」（5.9%）の順となっている。

【年齢別】



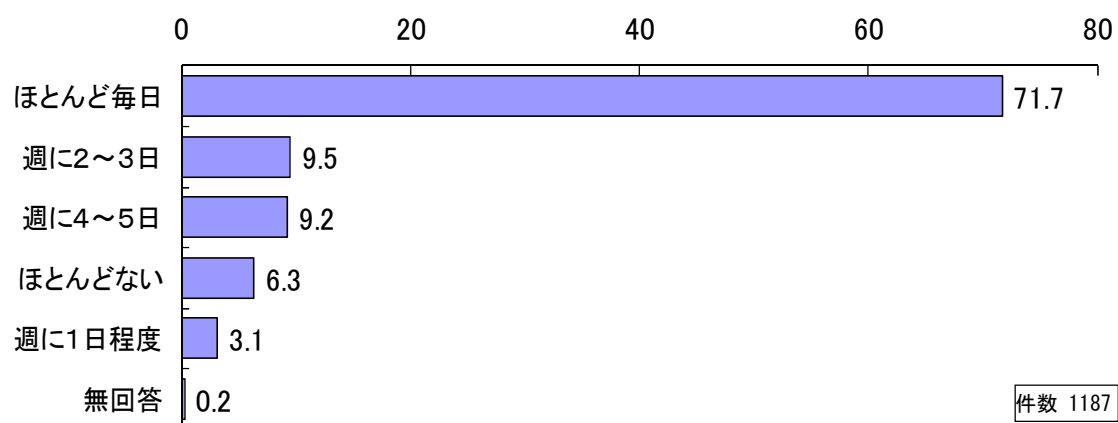
年齢別にみると、「ほとんど毎日」と回答した割合は「60～69歳」「70歳以上」が7割程度と高くなっている。
また、「ほとんどない」と回答した割合は「18、19歳」「20～29歳」が5割程度と高くなっている。

【地区別】



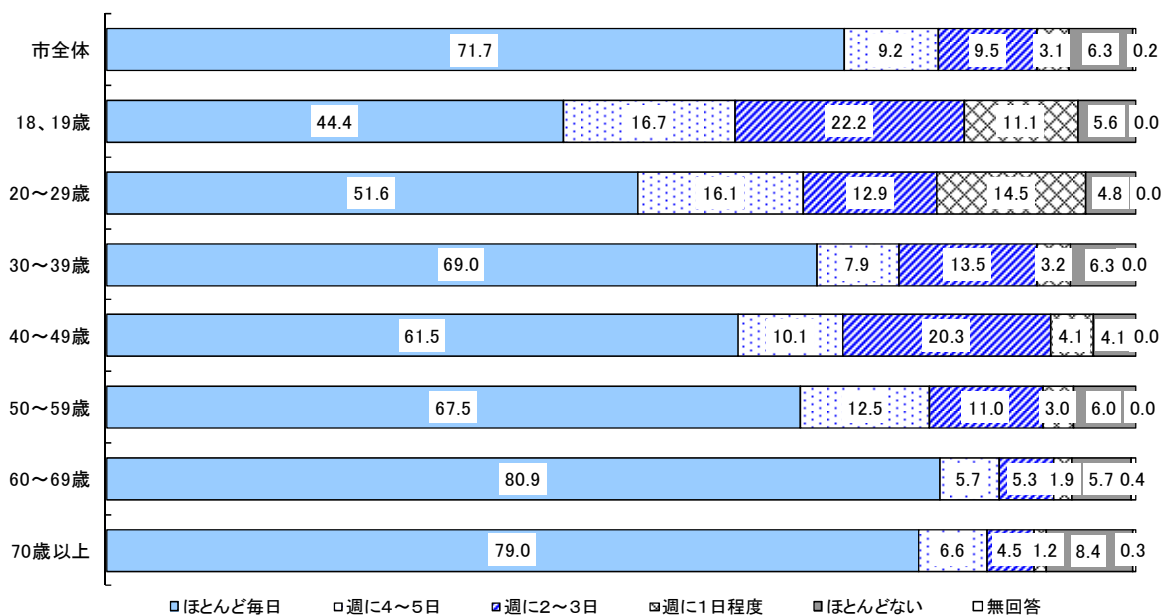
地区別にみると、「ほとんど毎日」と回答した割合は「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」が83.3%と最も高くなっている。
また、「ほとんどない」と回答した割合は「大島、神島、神島外、干拓地」が25.3%と高くなっている。

(25) で「1. している」を選んだ方に伺います。
 (25-3) 夕食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか。



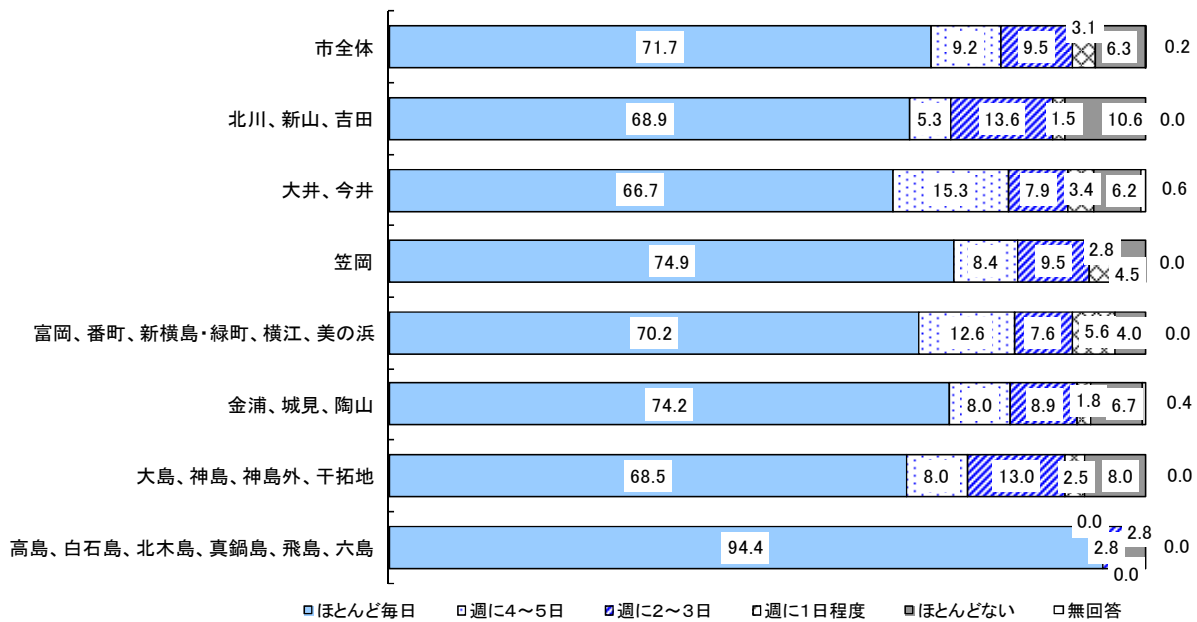
夕食を家族と一緒に食べることはどのくらいあるかについて、「ほとんど毎日」と回答した割合が71.7%と最も高く、次いで「週に2～3日」（9.5%）、「週に4～5日」（9.2%）、「ほとんどない」（6.3%）の順となっている。

【年齢別】



年齢別にみると、「ほとんど毎日」と回答した割合は「60～69歳」が80.9%と最も高く、「18、19歳」が44.4%と低くなっている。

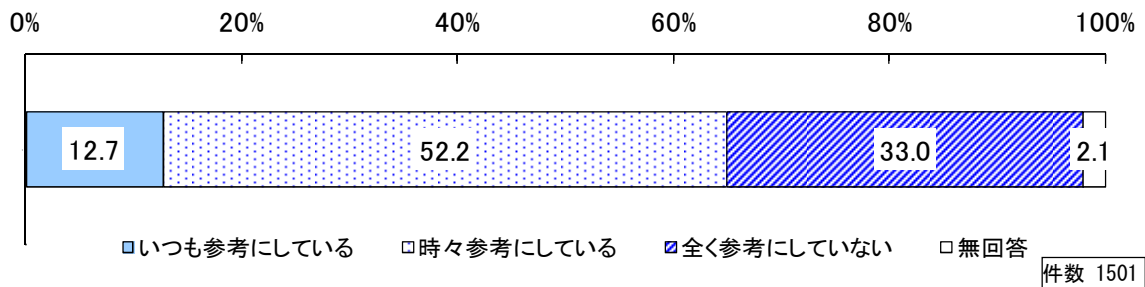
【地区別】



地区別にみると、「ほとんど毎日」と回答した割合は「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」が94.4%と最も高くなっている。

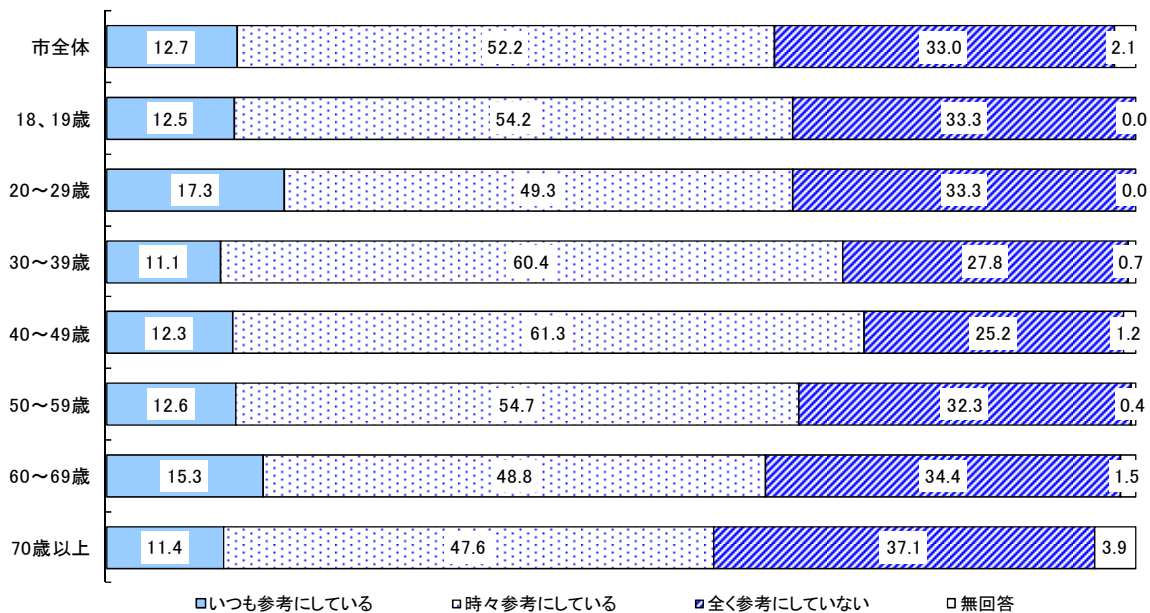
また、「ほとんどない」と回答した割合は「北川、新山、吉田」が10.6%と高くなっている。

(26) あなたは普段、外食や食品を購入する時に、「栄養成分表示」の「エネルギー（キロカロリー）表示」を参考にしていますか。



「栄養成分表示」の「エネルギー（キロカロリー）表示」を参考にしているかについて、【参考にしている（「いつも参考にしている」「時々参考にしている」を合わせたもの）】と回答した割合が64.9%、「全く参考にしていない」と回答した割合が33.0%と、【参考にしている】と回答した割合が高くなっている。

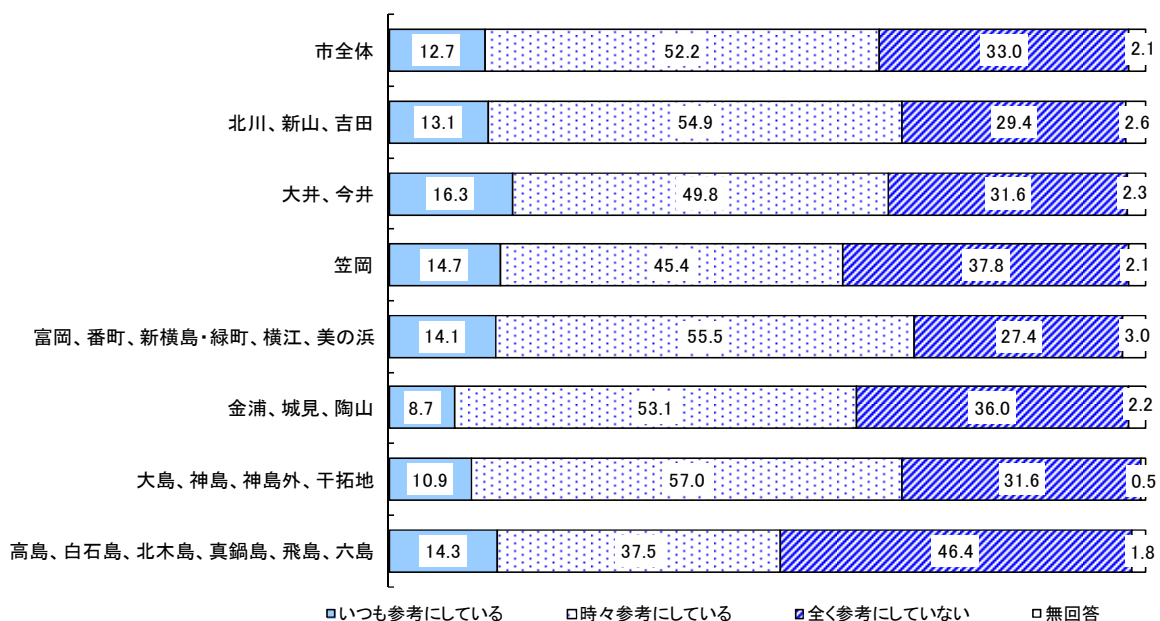
【年齢別】



年齢別にみると、【参考にしている（「いつも参考にしている」「時々参考にしている」を合わせたもの）】と回答した割合が「40～49歳」で73.6%と高くなっている。

また、「全く参考にしていない」と回答した割合は「70歳以上」で37.1%と高くなっている。

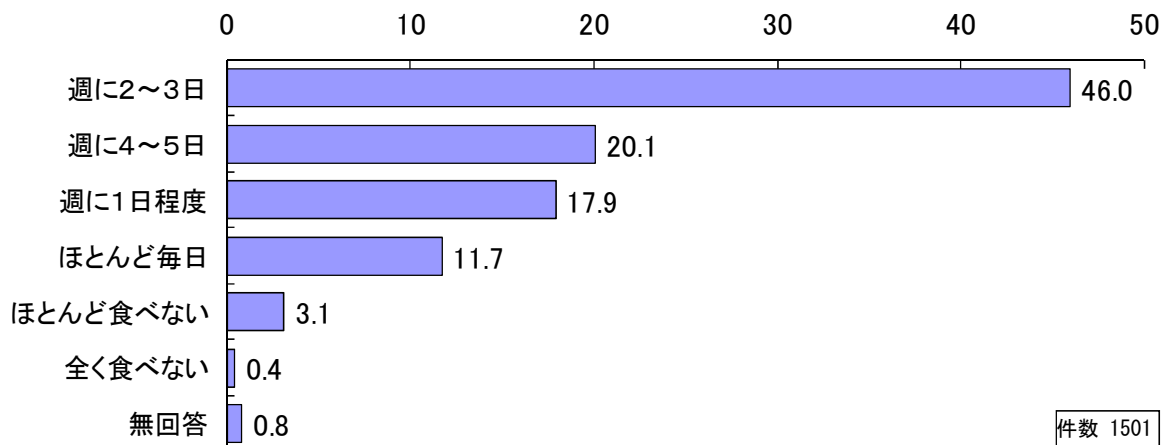
【地区別】



地区別にみると、【参考にしている（「いつも参考にしている」「時々参考にしている」を合わせたもの）】と回答した割合が「富岡、番町、新横島・緑町、横江、美の浜」で69.6%と最も高くなっている。

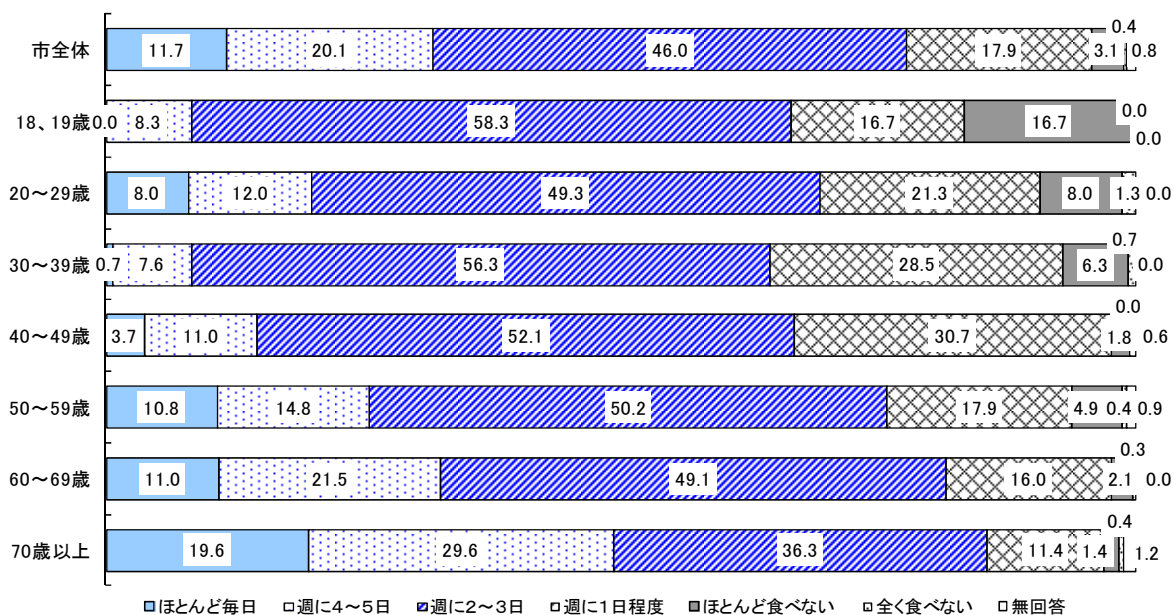
また、「全く参考にしていない」と回答した割合は「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で46.4%と高くなっている。

(27) あなたは、魚介類をどのくらい食べていますか。



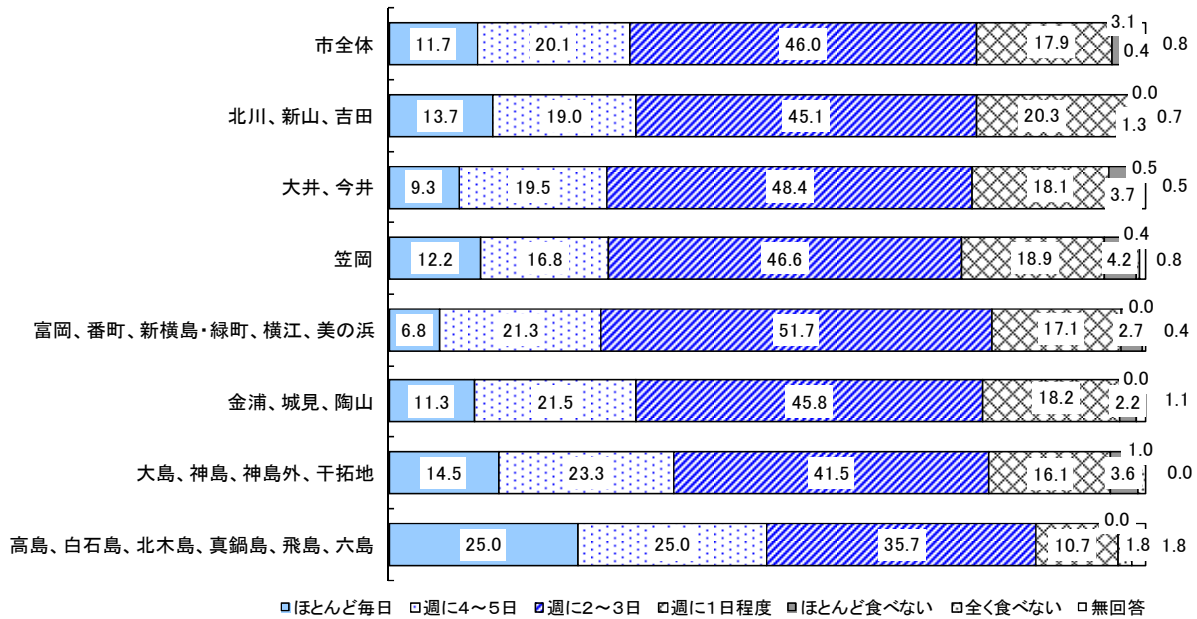
魚介類をどのくらい食べているかについて、「週に2〜3日」と回答した割合が46.0%と最も高く、次いで「週に4〜5日」（20.1%）、「週に1日程度」（17.9%）、「ほとんど毎日」（11.7%）の順となっている。

【年齢別】



年齢別にみると、「ほとんど毎日」と回答した割合は「70歳以上」が19.6%と高くなっている。また、【食べない（「全く食べない」「ほとんど食べない」を合わせたもの）】と回答した割合は「18, 19歳」が16.7%と高くなっている。

【地区別】

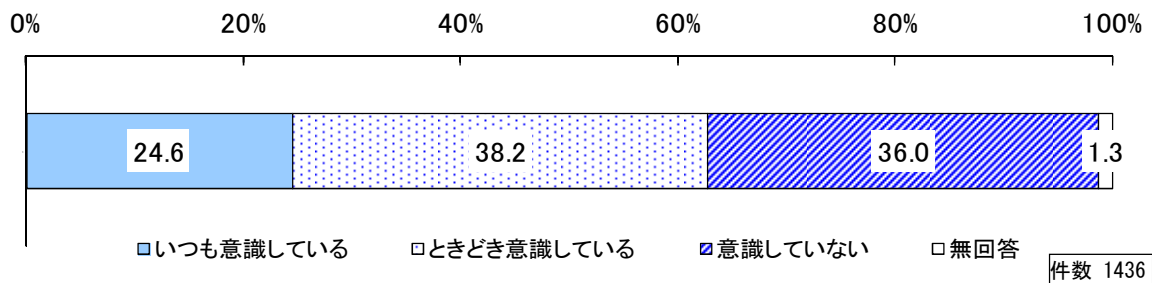


地区別にみると、「ほとんど毎日」と回答した割合は「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」が25.0%と最も高くなっている。

また、【食べない（「全く食べない」「ほとんど食べない」を合わせたもの）】と回答した割合は「笠岡」「大島、神島、神島外、干拓地」がともに4.6%と高くなっている。

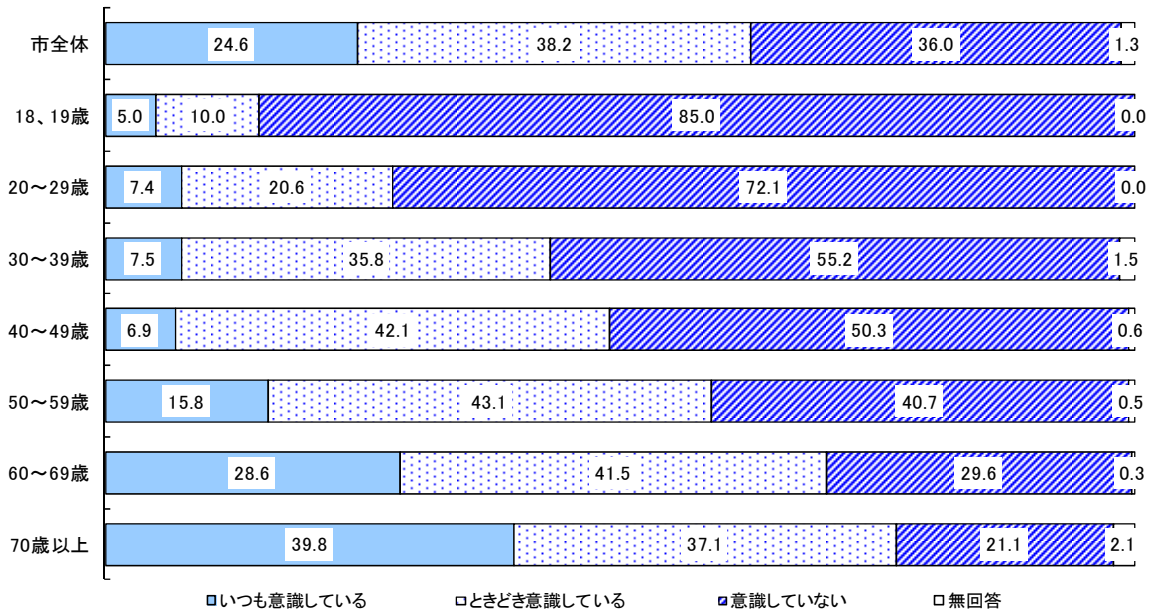
(27)で「1～4」を選んだ方に伺います。

(27-2) あなたが、魚介類を食べるときに「笠岡産」を意識していますか。



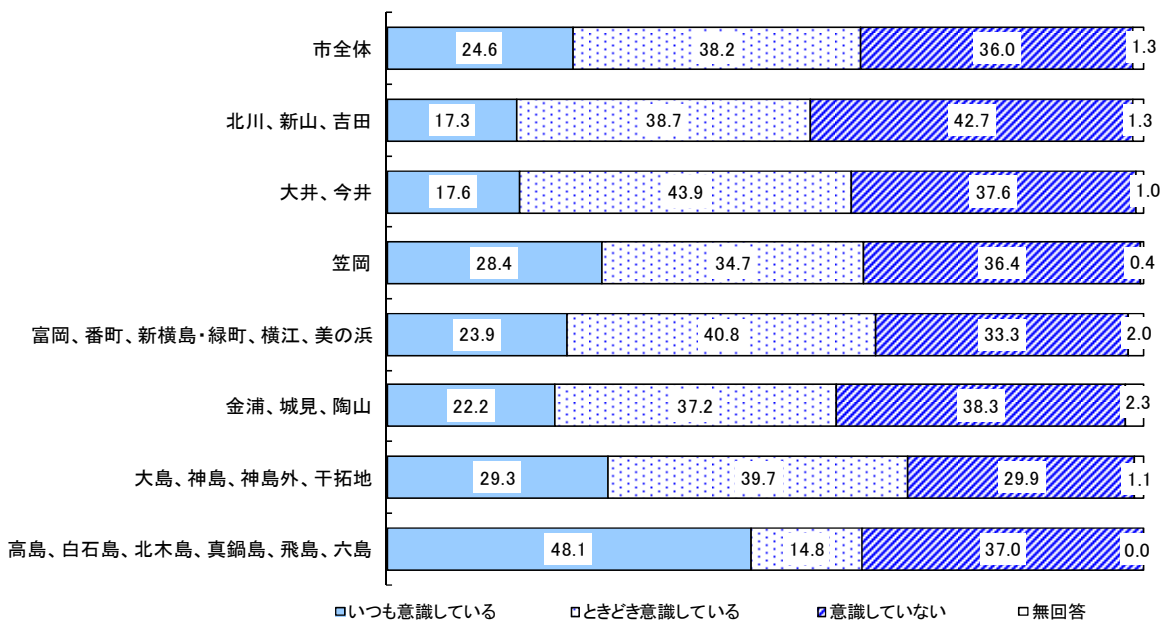
前の設問で魚介類を食べると回答した人で、魚介類を食べるときに「笠岡産」を意識しているかについて、【意識している（「いつも意識している」「ときどき意識している」を合わせたもの）】と回答した割合が62.8%、「意識していない」と回答した割合が36.0%と、【意識している】と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



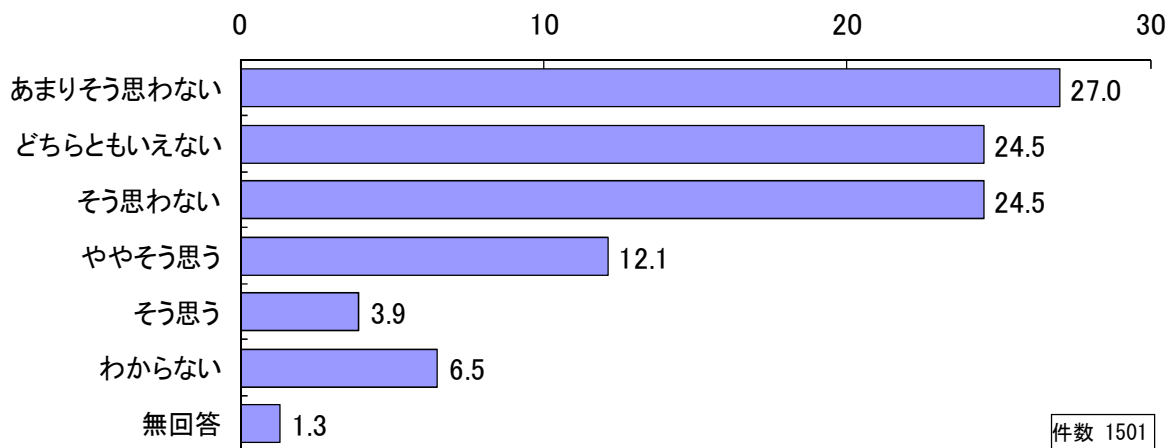
年齢別にみると、【意識している（「いつも意識している」「ときどき意識している」を合わせたもの）】と回答した割合は「70歳以上」が76.9%と最も高くなっている。
また、「意識していない」と回答した割合は「18、19歳」が85.0%と最も高くなっている。

【地区別】



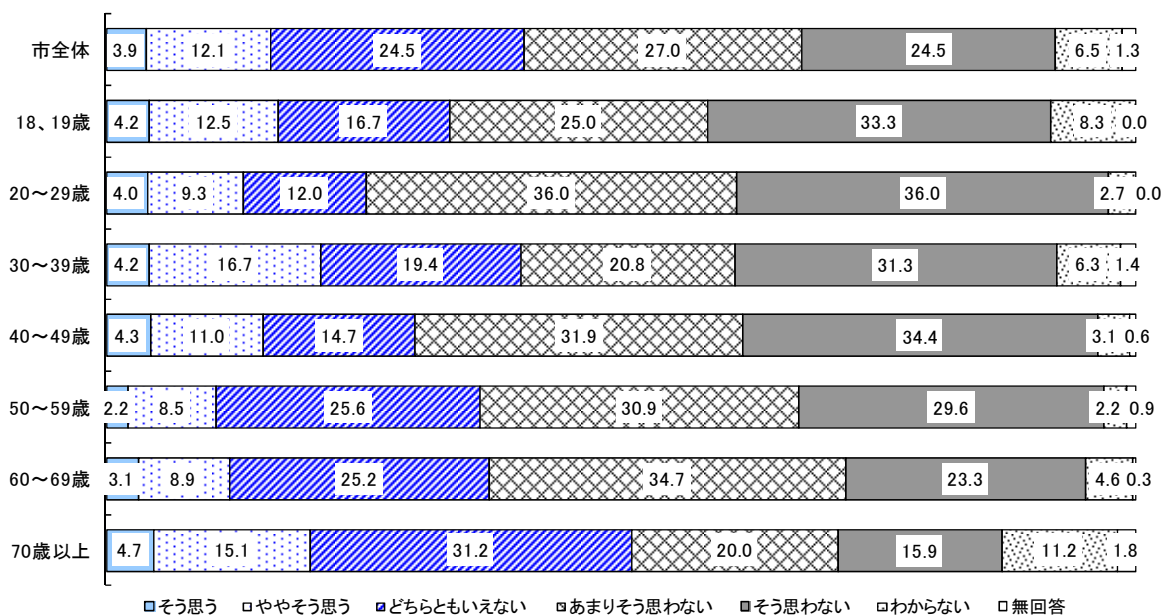
地区別にみると、【意識している（「いつも意識している」「ときどき意識している」を合わせたもの）】と回答した割合は「大島、神島、神島外、干拓地」が69.0%と最も高くなっている。
また、「意識していない」と回答した割合は「北川、新山、吉田」が42.7%と高くなっている。

(28) あなたは、笠岡市が観光客にとって魅力的だと思いますか。



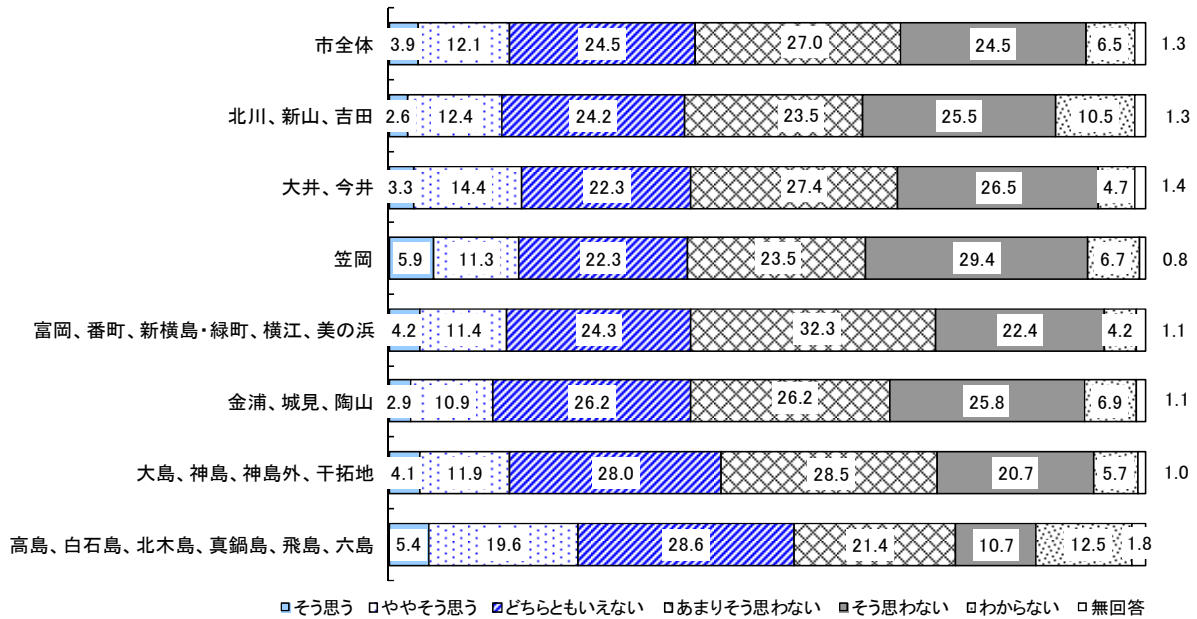
笠岡市が観光客にとって魅力的だと思うかについて、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】では16.0%、【思わない（「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせたもの）】では51.5%と、【思わない】と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



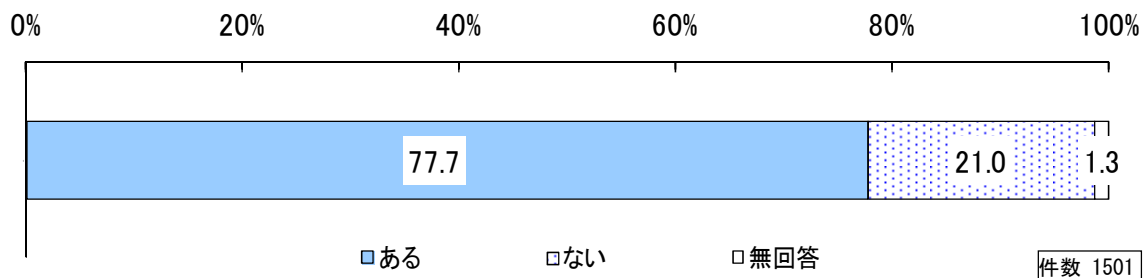
年齢別にみると、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合は「30～39歳」が20.9%と最も高くなっている。

【地区別】



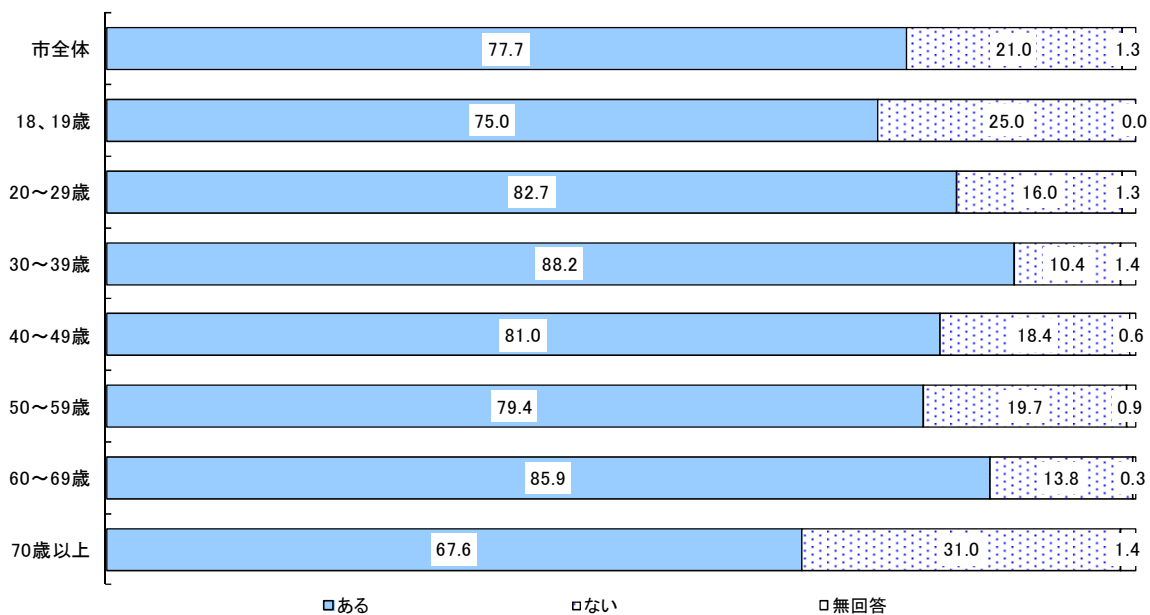
地区別にみると、【思う（「思う」「やや思う」を合わせたもの）】と回答した割合は「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」が25.0%と最も高くなっている。

(29) あなたは、道の駅「笠岡ベイファーム」を利用したことがありますか。



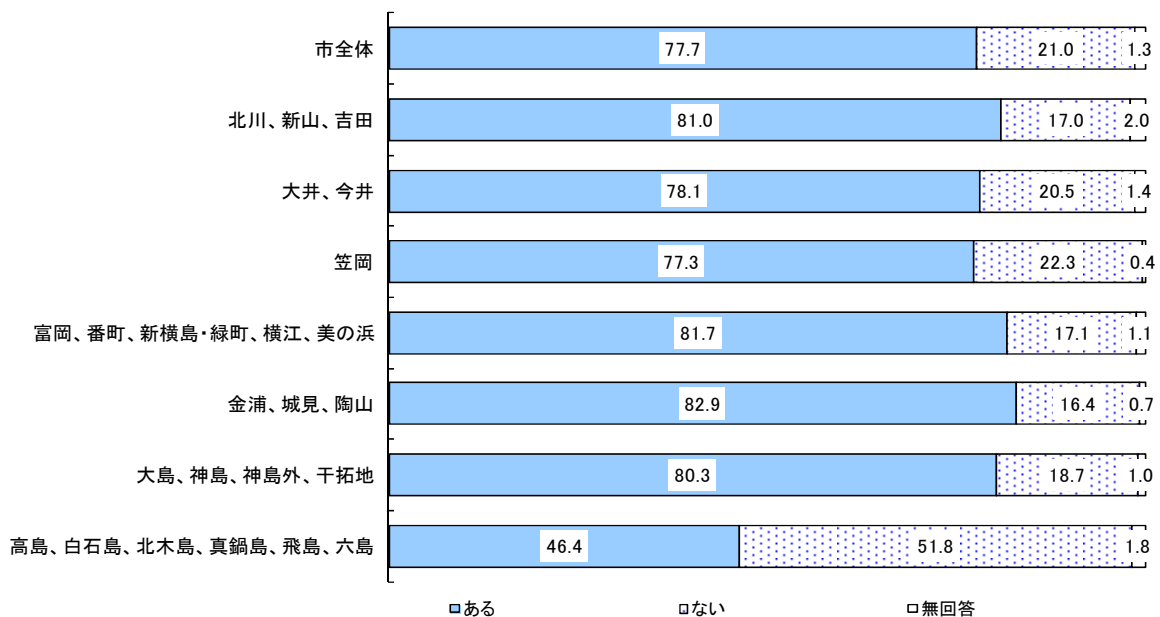
道の駅「笠岡ベイファーム」を利用したことの有無について、「ある」が77.7%、「ない」21.0%と、「ある」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



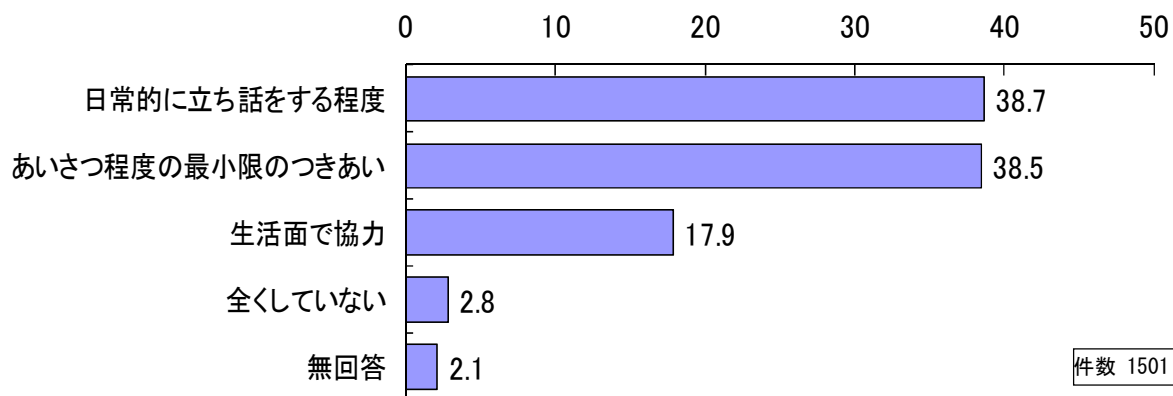
年齢別にみると、「ある」と回答した割合は「30～39歳」が88.2%と最も高く、次いで「60～69歳」（85.9%）、「20～29歳」（82.7%）の順となっている。

【地区別】



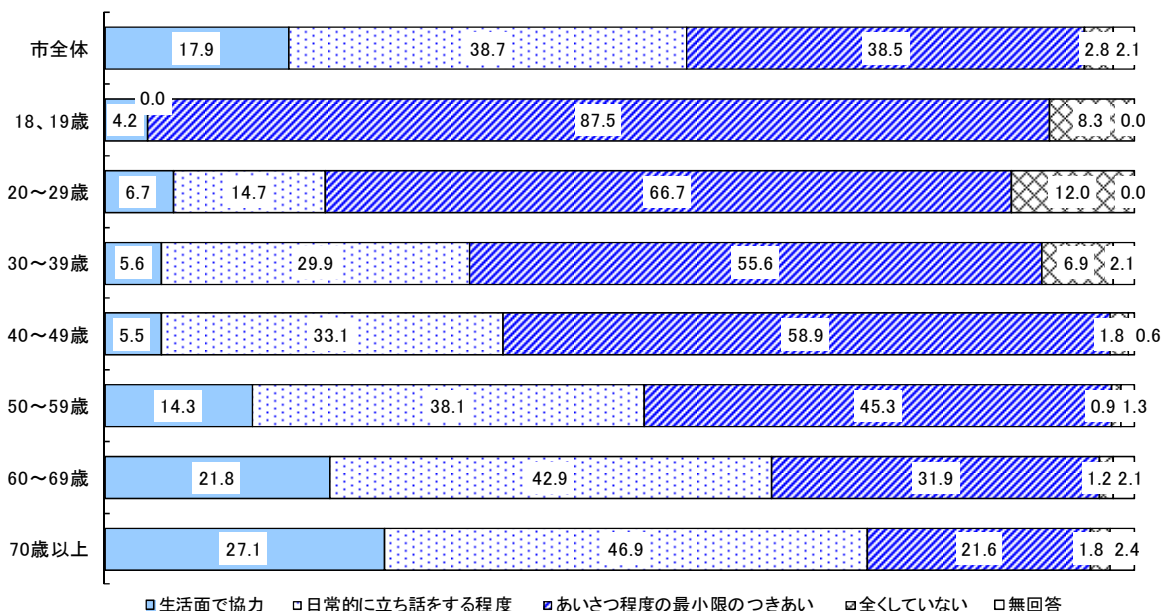
地区別にみると、「ある」と回答した割合は「金浦、城見、陶山」が82.9%と最も高く、次いで「富岡、番町、新横島・緑町、横江、美の浜」（81.7%）、「北川、新山、吉田」（81.0%）の順となっている。

(30) あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをしていますか。



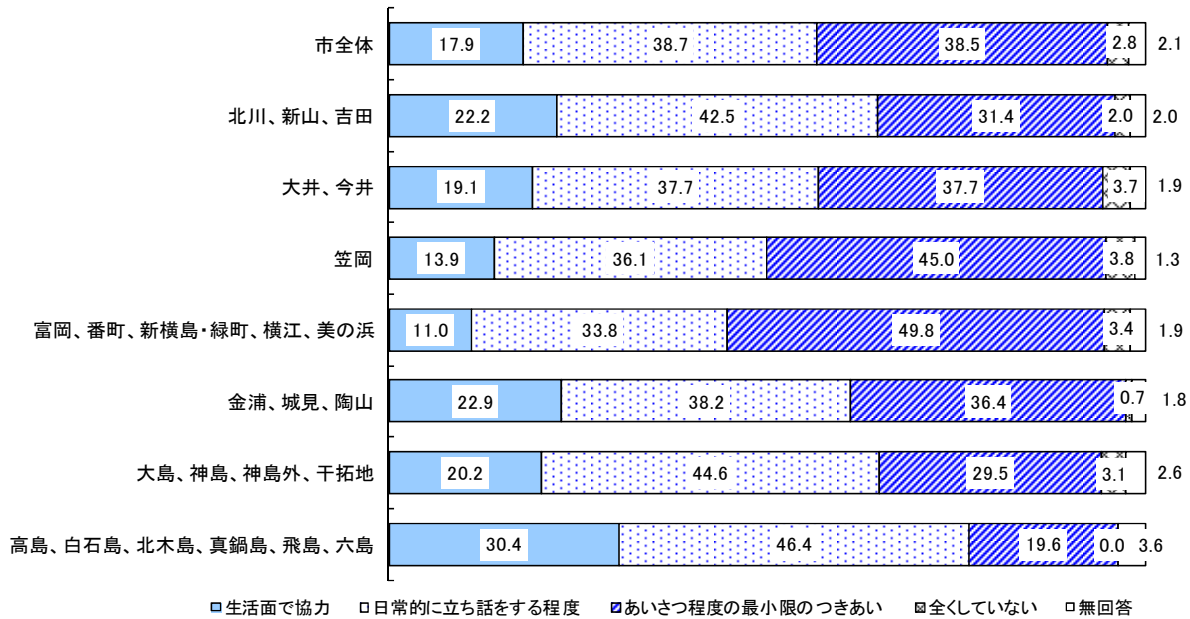
ご近所の方とどのようなおつきあいをしているかについて、「日常的に立ち話をする程度」と回答した割合が38.7%と最も高く、次いで「あいさつ程度の最小限のつきあい」（38.5%）、「生活面で協力」（17.9%）、「全くしていない」（2.8%）の順となっている。

【年齢別】



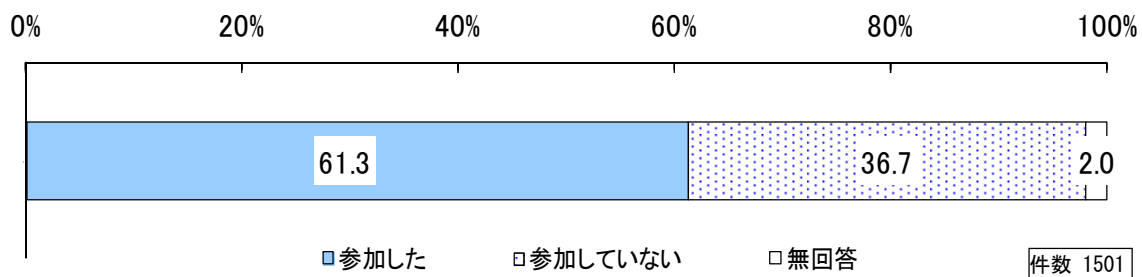
年齢別では、「18、19歳」「20～29歳」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」では「あいさつ程度の最小限のつきあい」と回答した割合が最も高く、「60～69歳」「70歳以上」では「日常的に立ち話をする程度」と回答した割合が最も高くなっている。

【地区別】



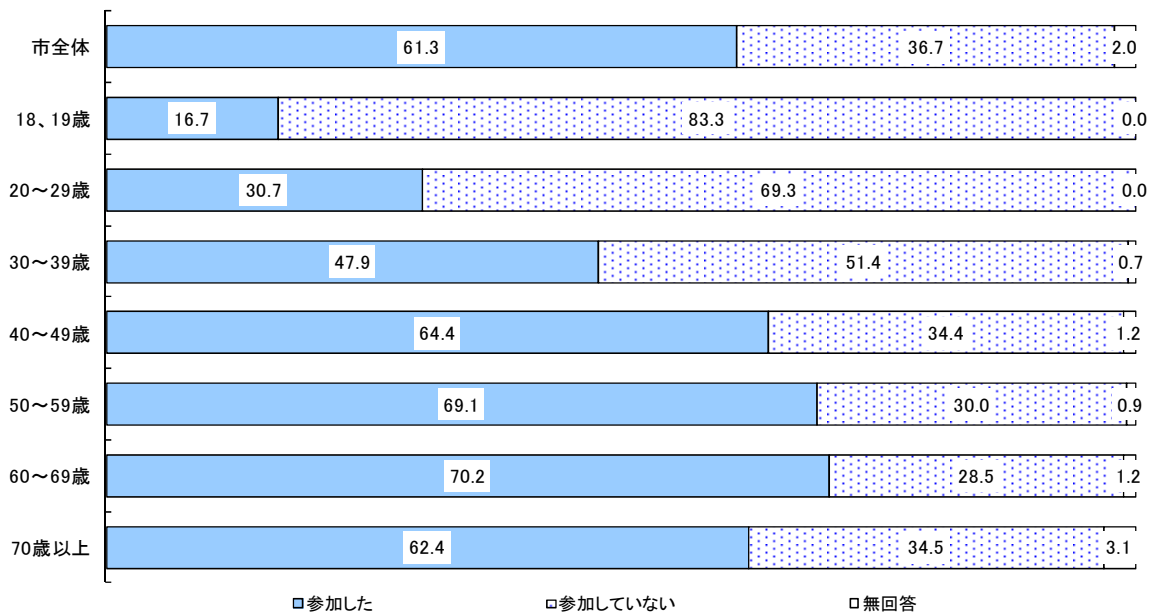
地区別では、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で「生活面で協力」、「日常的に立ち話をする程度」と回答した割合がともに高く、「富岡、番町、新横島・緑町、横江、美の浜」では「あいさつ程度の最小限のつきあい」と回答した割合が高くなっている。

(31) あなたは、最近一年間で自治会・町内会の活動や市民活動に参加しましたか。



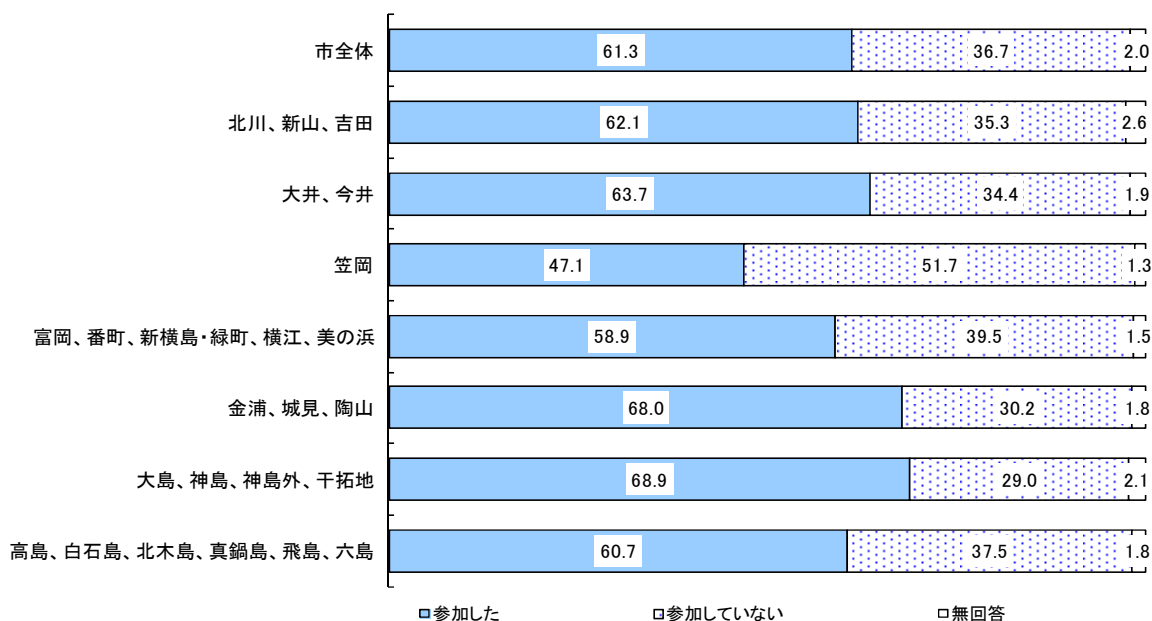
最近一年間で自治会・町内会の活動や市民活動に参加したかについて、「参加した」が61.3%、「参加していない」が36.7%と、「参加した」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



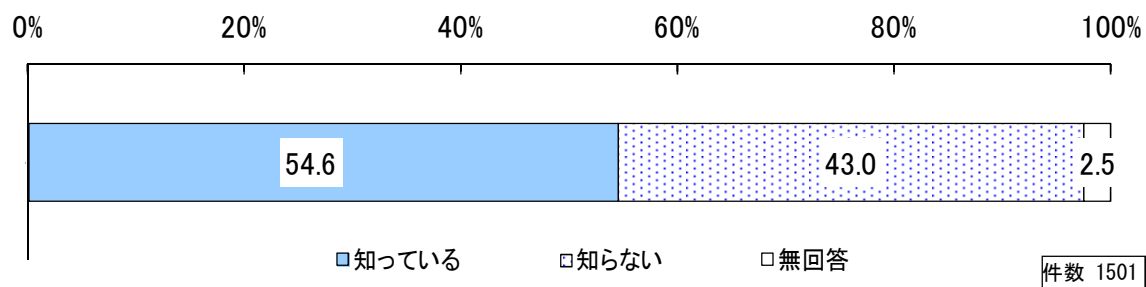
年齢別にみると、「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」「70歳以上」では「参加した」と回答した割合が6割以上と高くなっている。
また、「18、19歳」では「参加していない」と回答した割合が8割程度と高くなっている。

【地区別】



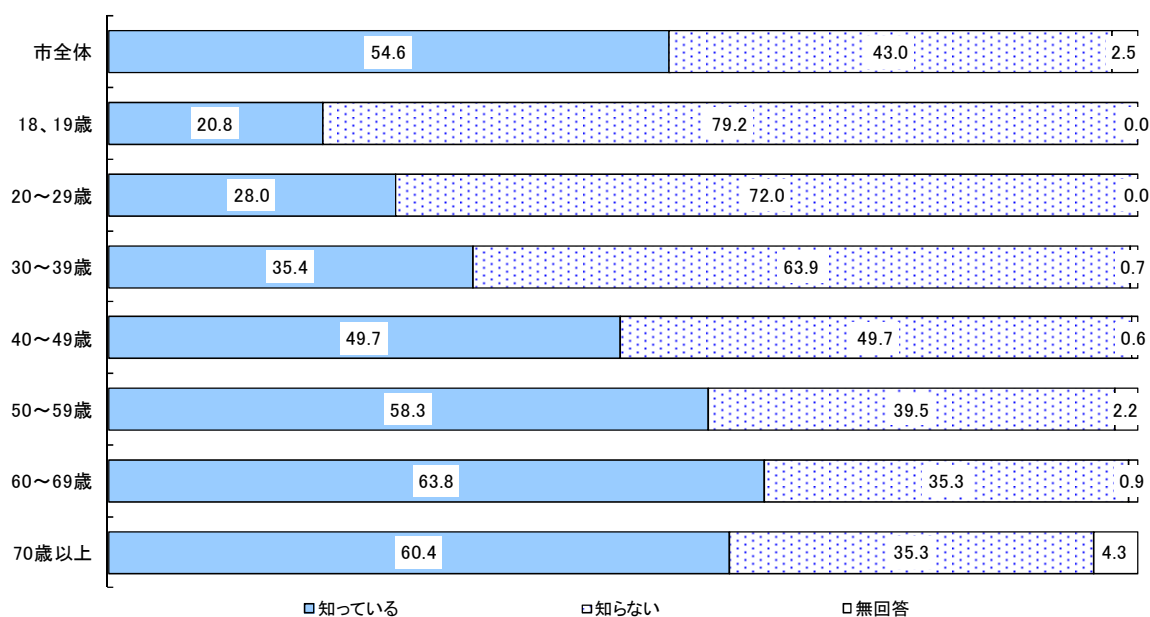
地区別にみると、「笠岡」を除く地域で「参加した」と回答した割合が6割程度と高くなっている。

(32) あなたは、まちづくり協議会の存在をご存じですか。



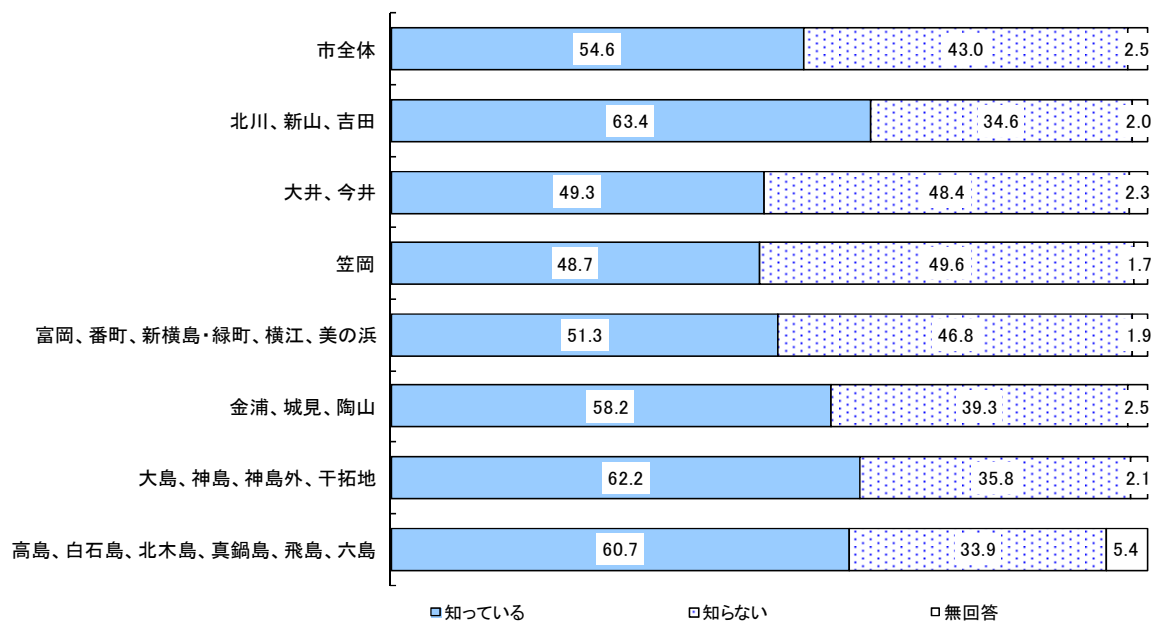
まちづくり協議会の存在の認知について、「知っている」が54.6%、「知らない」が43.0%と、「知っている」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



年齢別にみると、「知っている」と回答した割合が「60～69歳」で63.8%と高く、次いで「70歳以上」（60.4%）、「50～59歳」（58.3%）の順となっている。

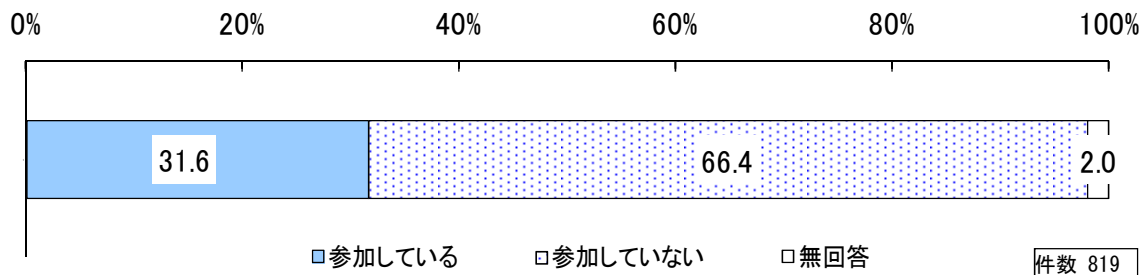
【地区別】



地区別では、「知っている」と回答した割合は「北川、新山、吉田」が63.4%と最も高く、次いで「大島、神島、神島外、干拓地」（62.2%）、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」（60.7%）の順となっている。

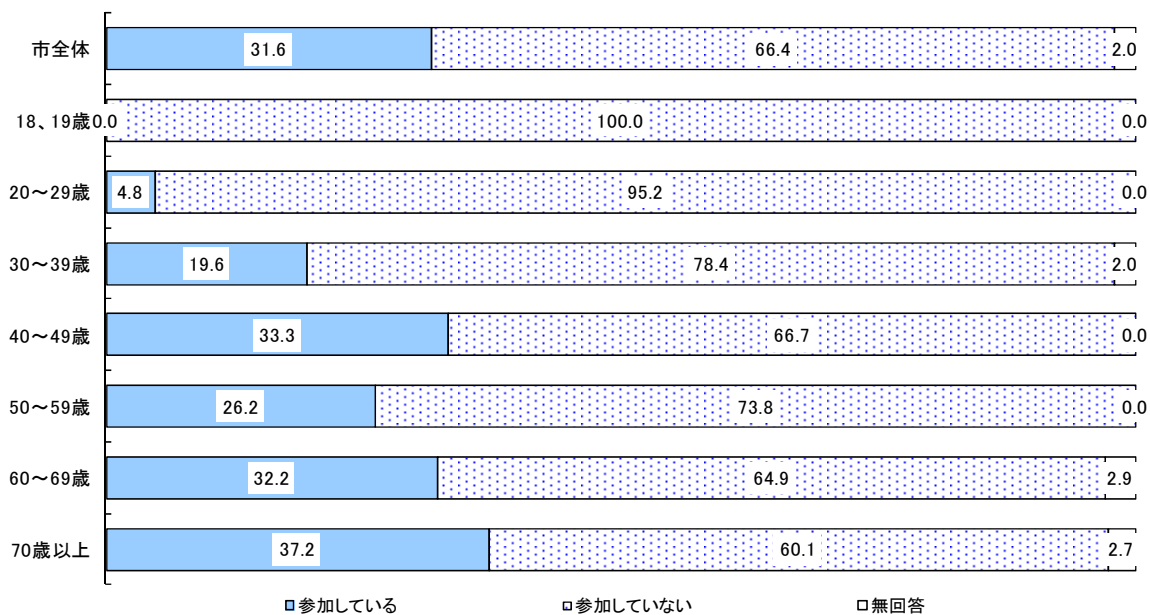
(32)で「1. 知っている」を選んだ方に伺います。

(32-2) 現在、あなたの地域のまちづくり協議会の活動に参加していますか。



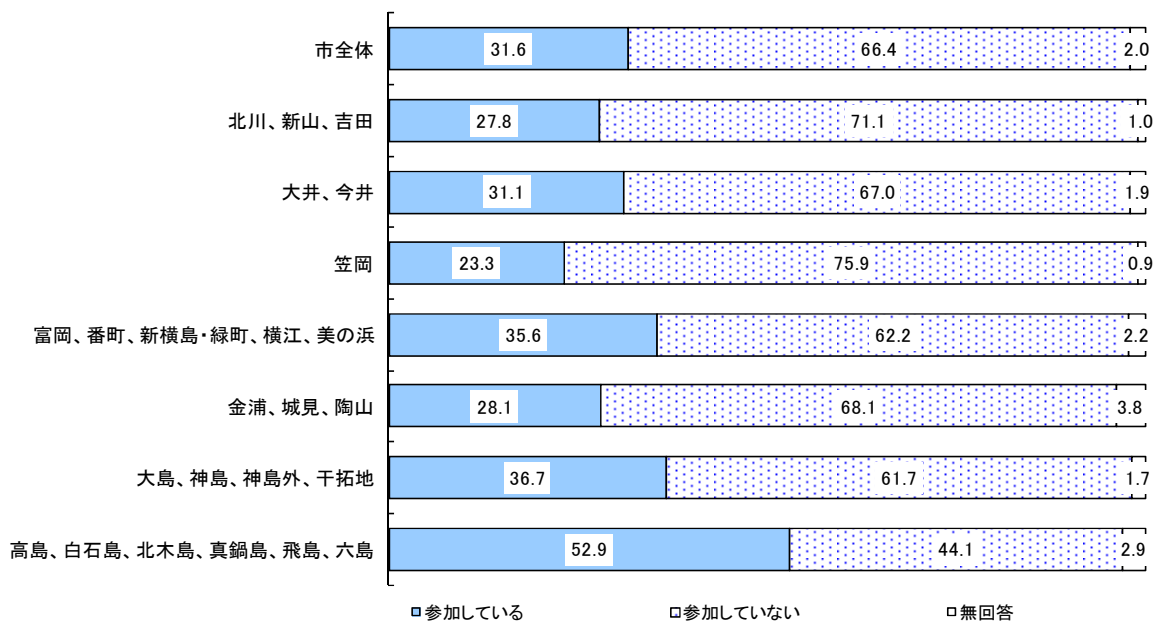
まちづくり協議会の活動に参加しているかについて、「参加している」と回答した割合が31.6%、「参加していない」と回答した割合が66.4%と、「参加していない」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



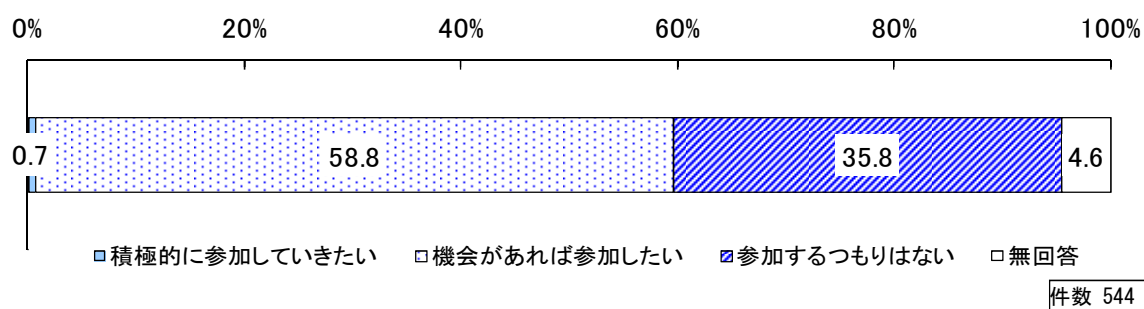
年齢別では、「参加している」と回答した割合は「70歳以上」が37.2%と最も高く、次いで「40～49歳」（33.3%）、「60～69歳」（32.2%）の順となっている。

【地区別】



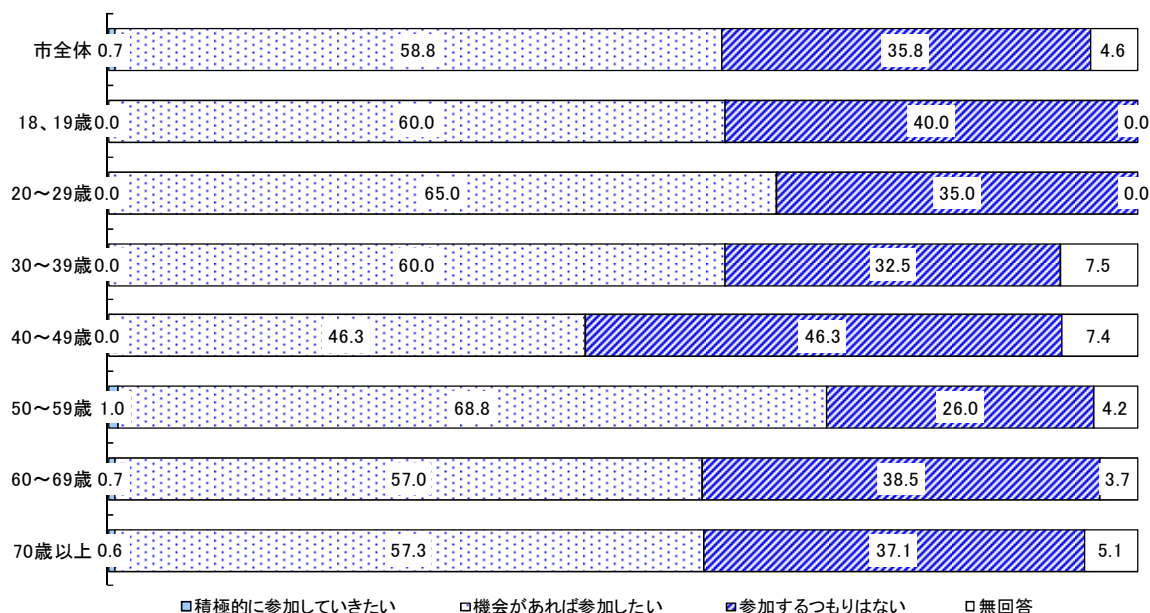
地区別にみると、「参加している」と回答した割合が「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で52.9%と最も高く、次いで「大島、神島、神島外、干拓地」（36.7%）、「富岡、番町、新横島、横江、美の浜」（35.6%）の順となっている。

(32-2)で「2. 参加していない」を選んだ方に伺います。
 (32-3) 今後、地域のまちづくり協議会の活動に参加しようと思いますか。



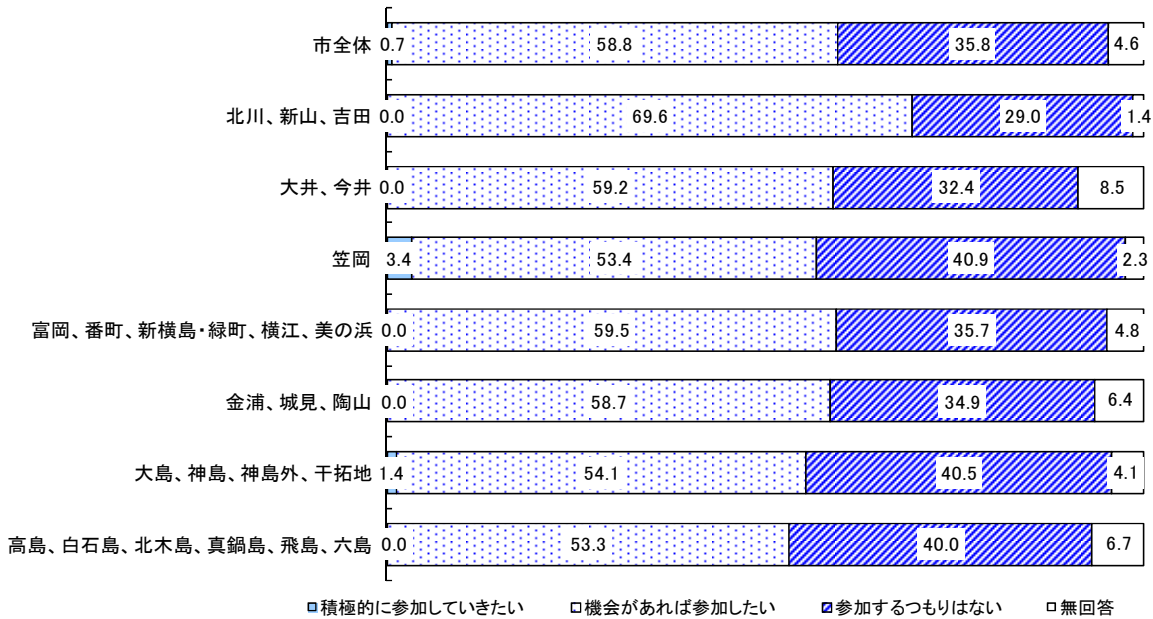
今後、地域のまちづくり協議会の活動に参加しようと思うかについて、【参加したい（「積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」を合わせたもの）】と回答した割合が59.5%、「参加するつもりはない」と回答した割合が35.8%と、【参加したい】と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



年齢別では、【参加したい（「積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」を合わせたもの）】と回答した割合は「50～59歳」が69.8%と最も高く、次いで「20～29歳」（65.0%）、「18、19歳」「30～39歳」（ともに60.0%）の順となっている。

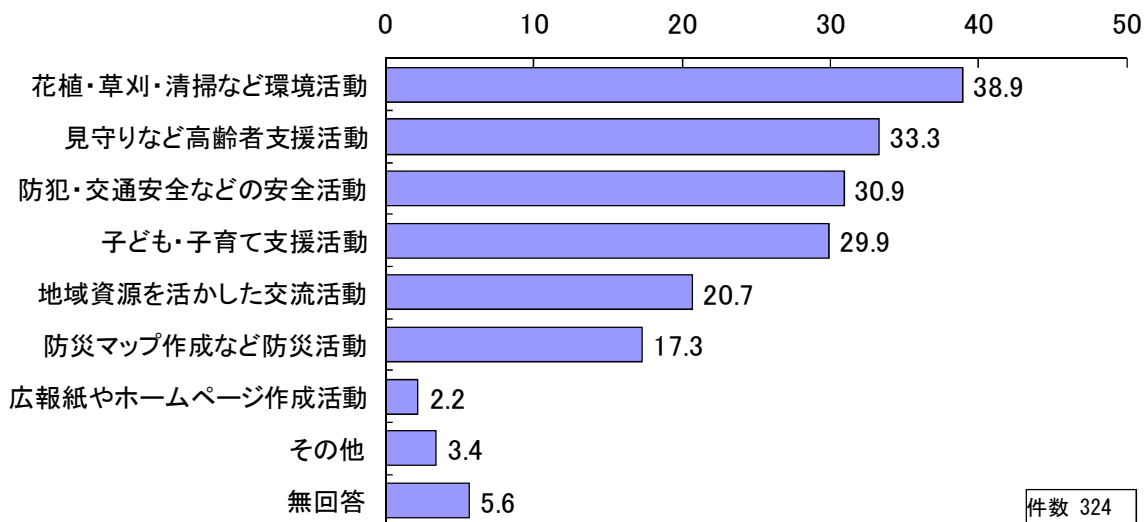
【地区別】



地区別にみると、【参加したい（「積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」を合わせたもの）】と回答した割合は「北川、新山、吉田」が69.6%と最も高く、次いで「富岡、番町、新横島、横江、美の浜」（59.5%）、「大井、今井」（59.2%）の順となっている。

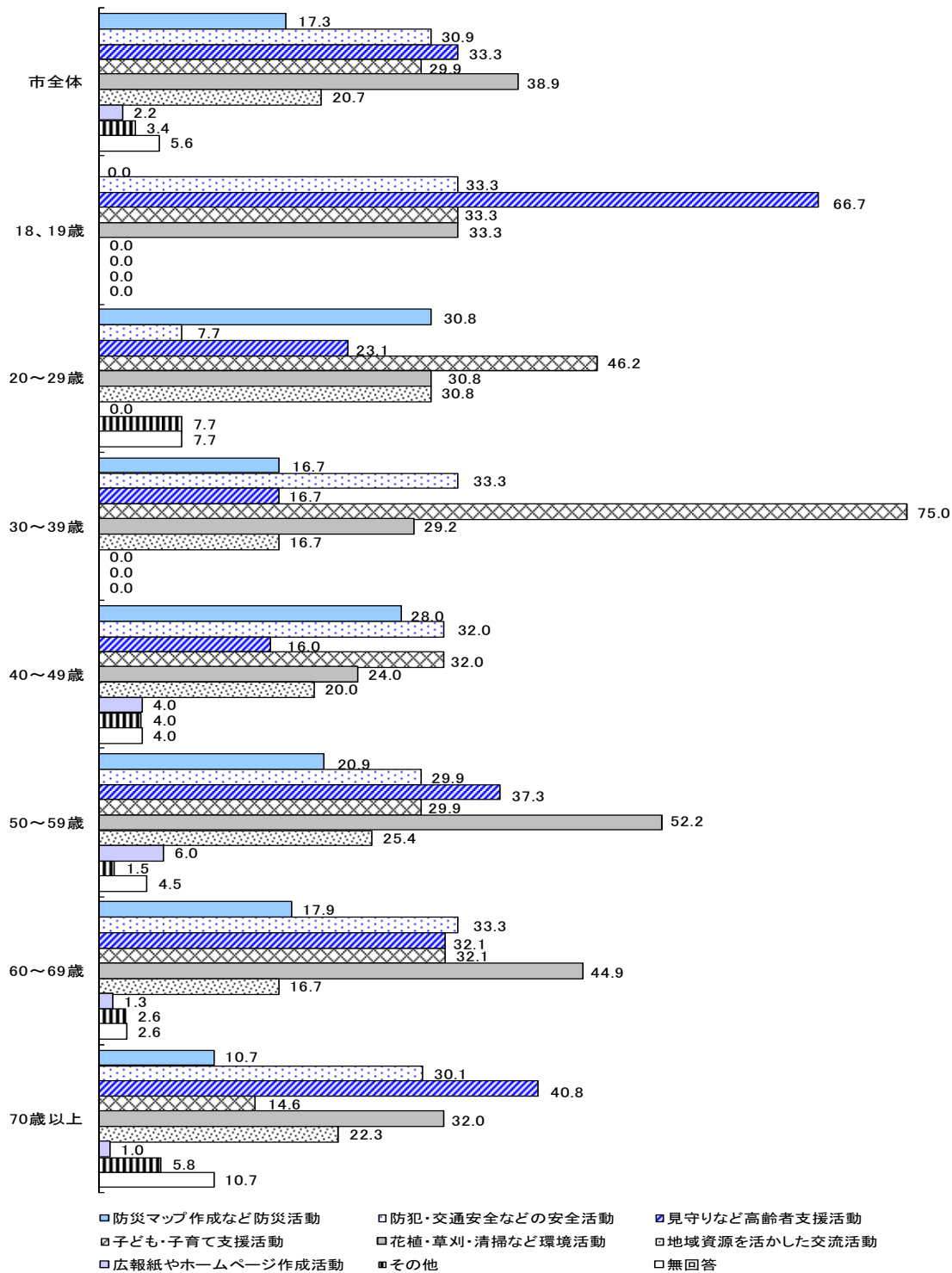
(32-3)で「1. 積極的に参加していきたい」「2. 機会があれば参加したい」を選んだ方に伺います。

(32-4) 今後、参加したい活動、取り組んでほしい活動は、具体的にどんな活動ですか。
該当する番号全てに○をつけてください。



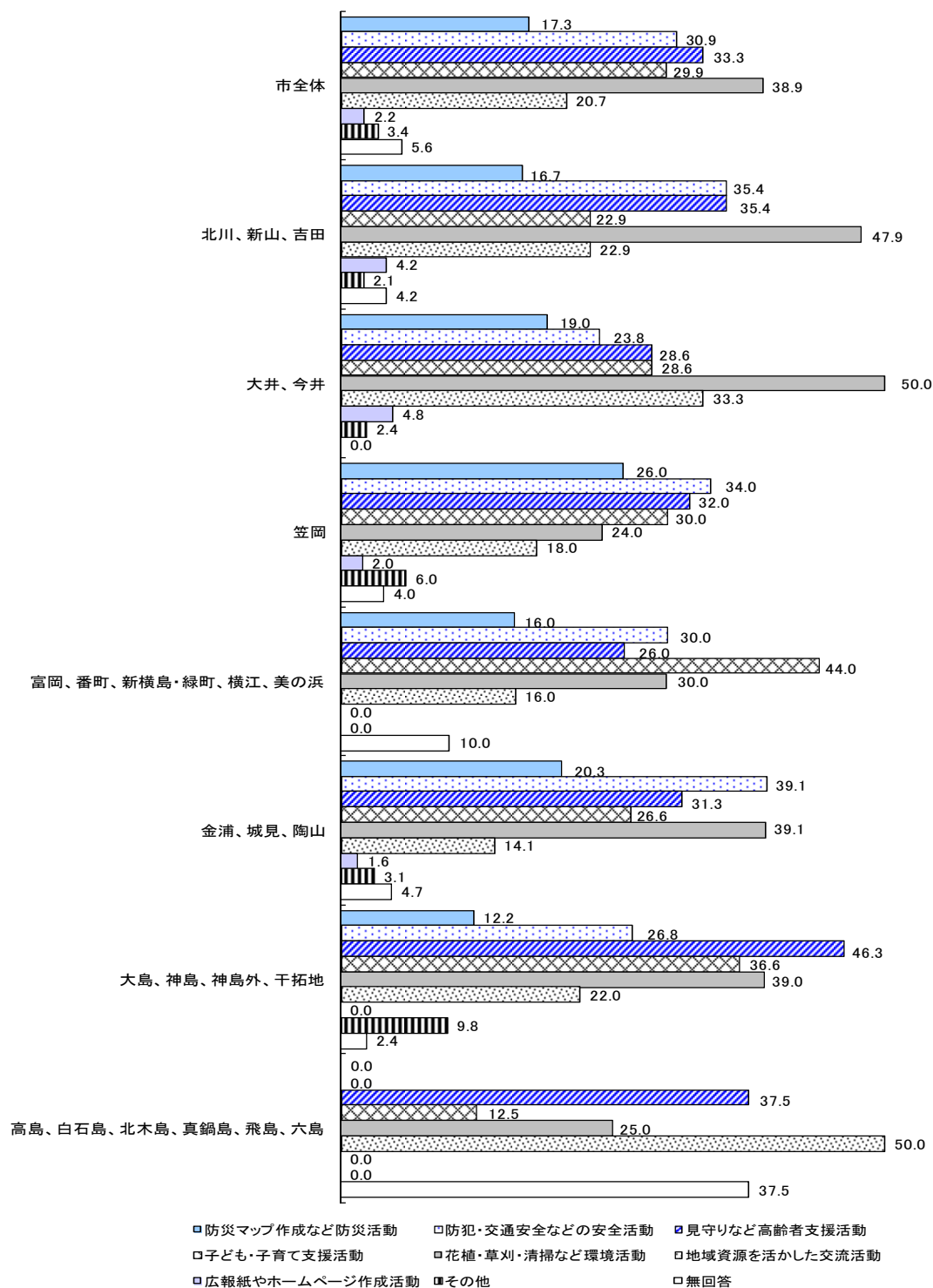
今後、参加したい活動、取り組んでほしい活動について、「花植、草刈、清掃など環境活動」と回答した割合が38.9%と最も高く、次いで「見守りなど高齢者支援活動」（33.3%）、「防犯・交通安全などの安全活動」（30.9%）の順となっている。

【年齢別】



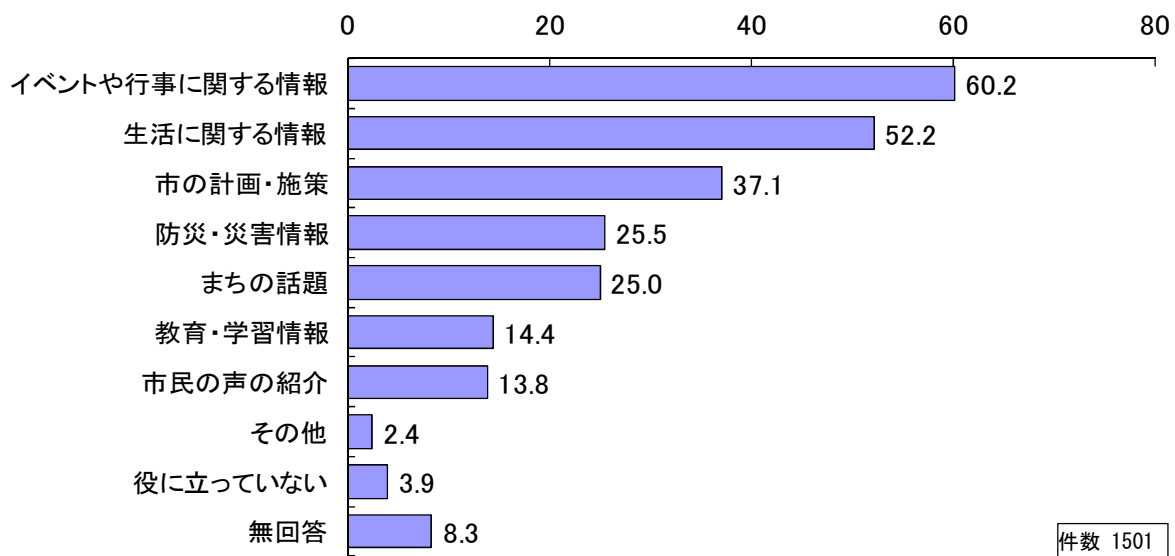
年齢別にみると、「18、19歳」では「見守りなど高齢者支援活動」と回答した割合が66.7%と他の年齢層に比べて高くなっている。また、「30～39歳」では「子ども・子育て支援活動」と回答した割合が75.0%と他の年齢層に比べて高くなっている。

【地区別】



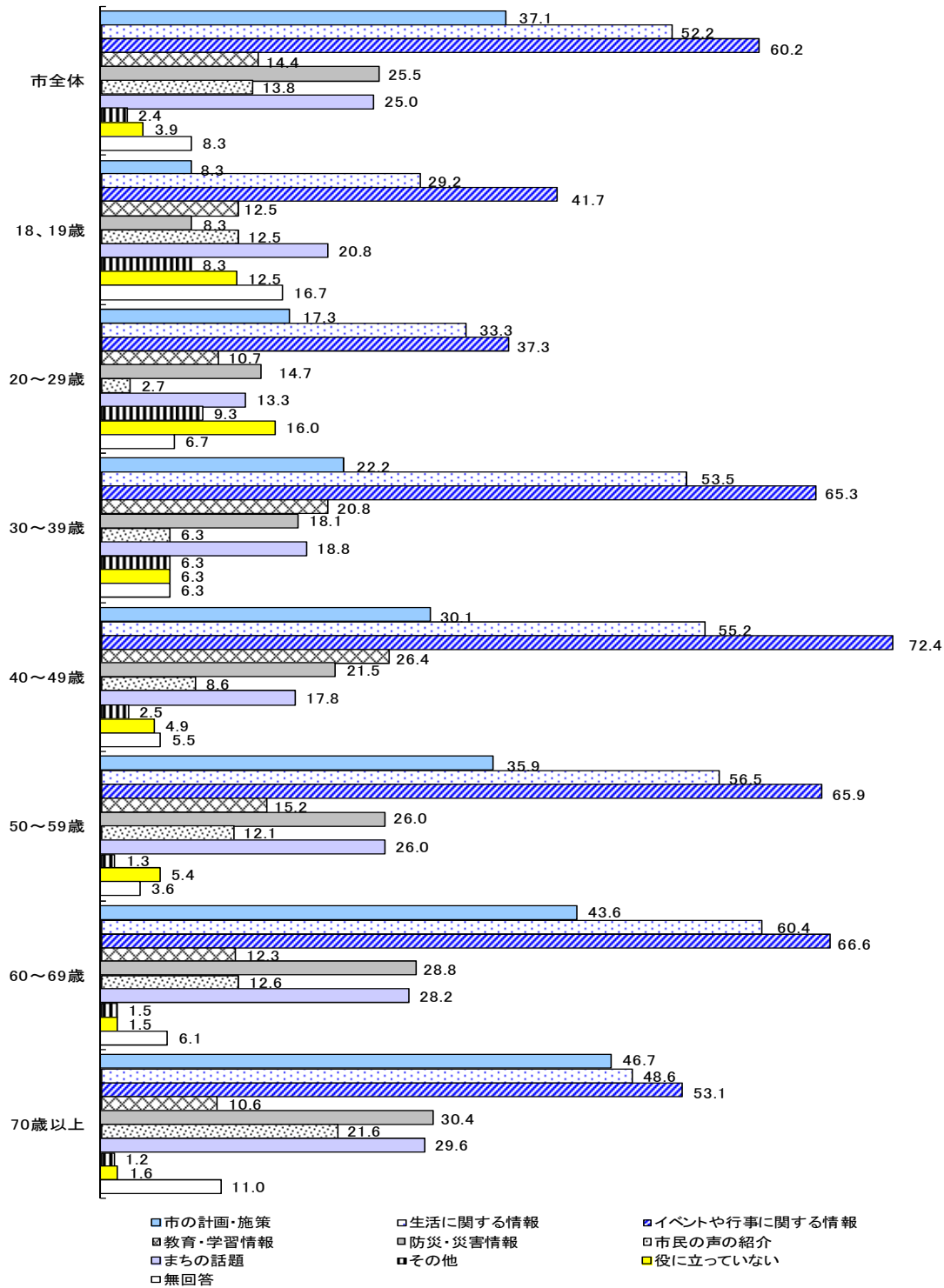
地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で「地域資源を活かした交流活動」と回答した割合が50.0%と他の地域に比べて高くなっている。

(33) 広報かさおか（笠岡市の広報紙）では、どのような情報が役に立っていますか。
 該当する番号全てに○をつけてください。



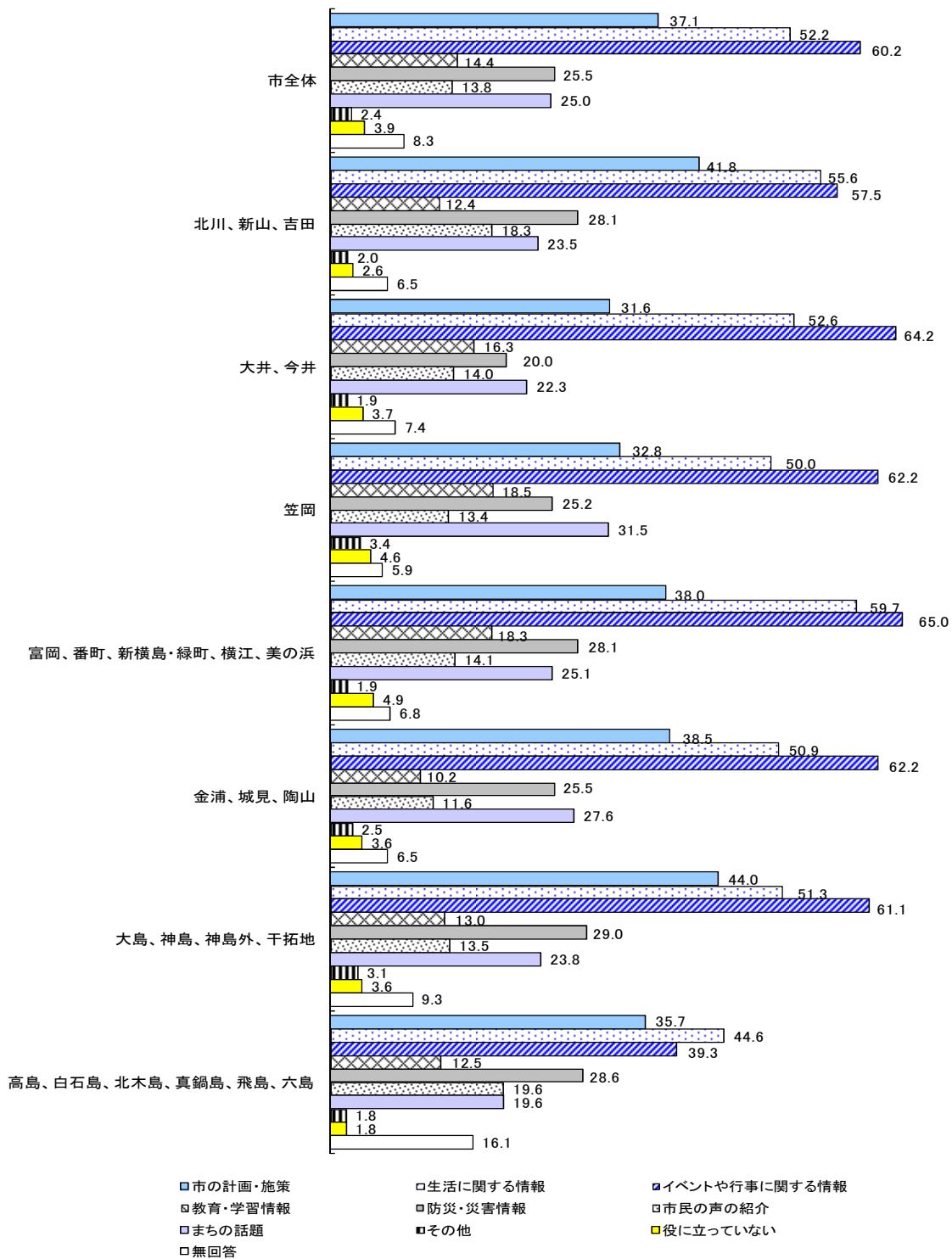
広報かさおか（笠岡市の広報紙）で役立っている情報について、「イベントや行事に関する情報」と回答した割合が60.2%と最も高く、次いで「生活に関する情報」（52.2%）、「市の計画・施策」（37.1%）、「防災・災害情報」（25.5%）の順となっている。

【年齢別】



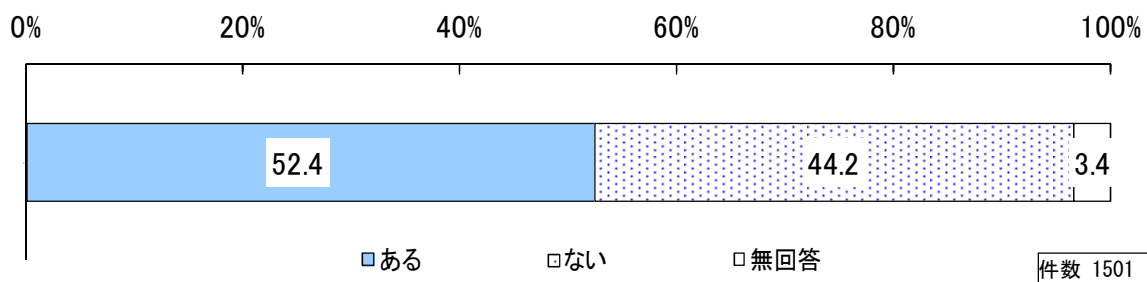
年齢別にみると、全ての年齢層で「イベントや行事に関する情報」と回答した割合が最も高くなっている。

【地区別】



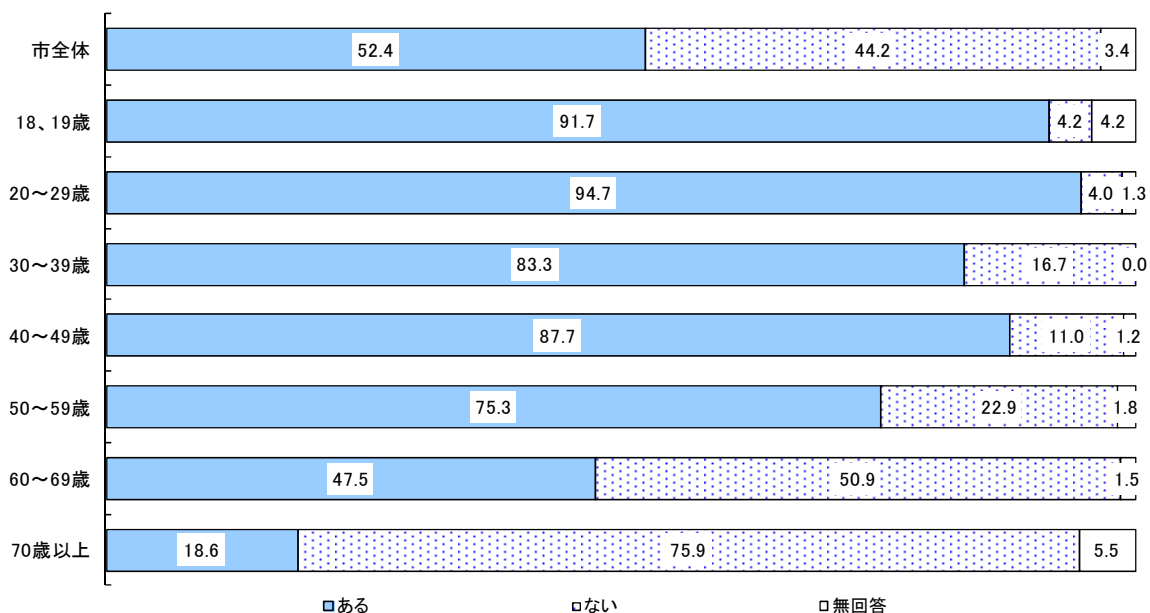
地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」では「イベントや行事に関する情報」と回答した割合よりも、「生活に関する情報」と回答した割合が高くなっている。

(34) あなたは、インターネットを利用できる環境にありますか。



インターネットを利用できる環境にあるかどうかについて、「ある」と回答した割合が52.4%、「ない」と回答した割合が44.2%と、「ある」と回答した割合が高くなっている。

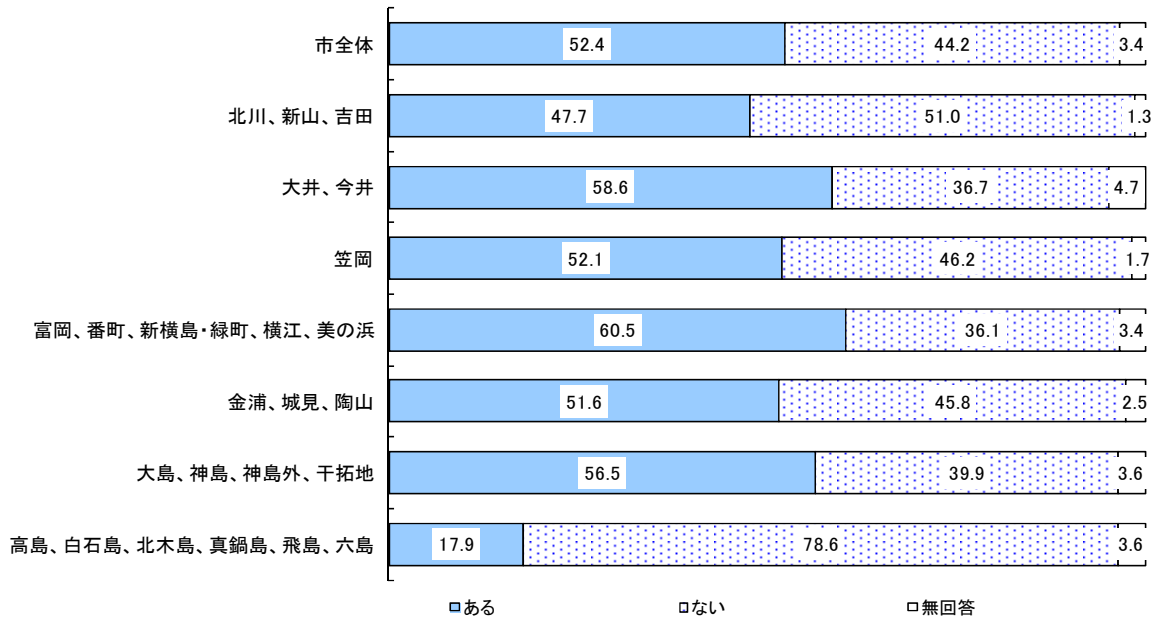
【年齢別】



年齢別では、「ある」と回答した割合は「20～29歳」が94.7%と最も高く、次いで「18、19歳」（91.7%）、「40～49歳」（87.7%）の順となっている。

また、「ない」と回答した割合は「70歳以上」が75.9%と高くなっている。

【地区別】



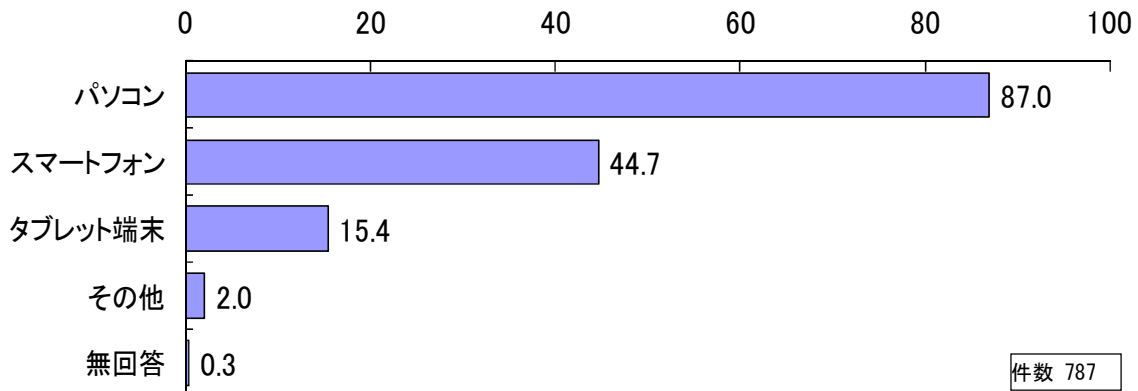
地区別にみると、「ある」と回答した割合が「富岡、番町、新横島、横江、美の浜」で60.5%と最も高く、次いで「大井、今井」（58.6%）、「大島、神島、神島外、干拓地」（56.5%）の順となっている。

また、「ない」と回答した割合は「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」が78.6%と高くなっている。

(34)で「1. ある」を選んだ方に伺います。

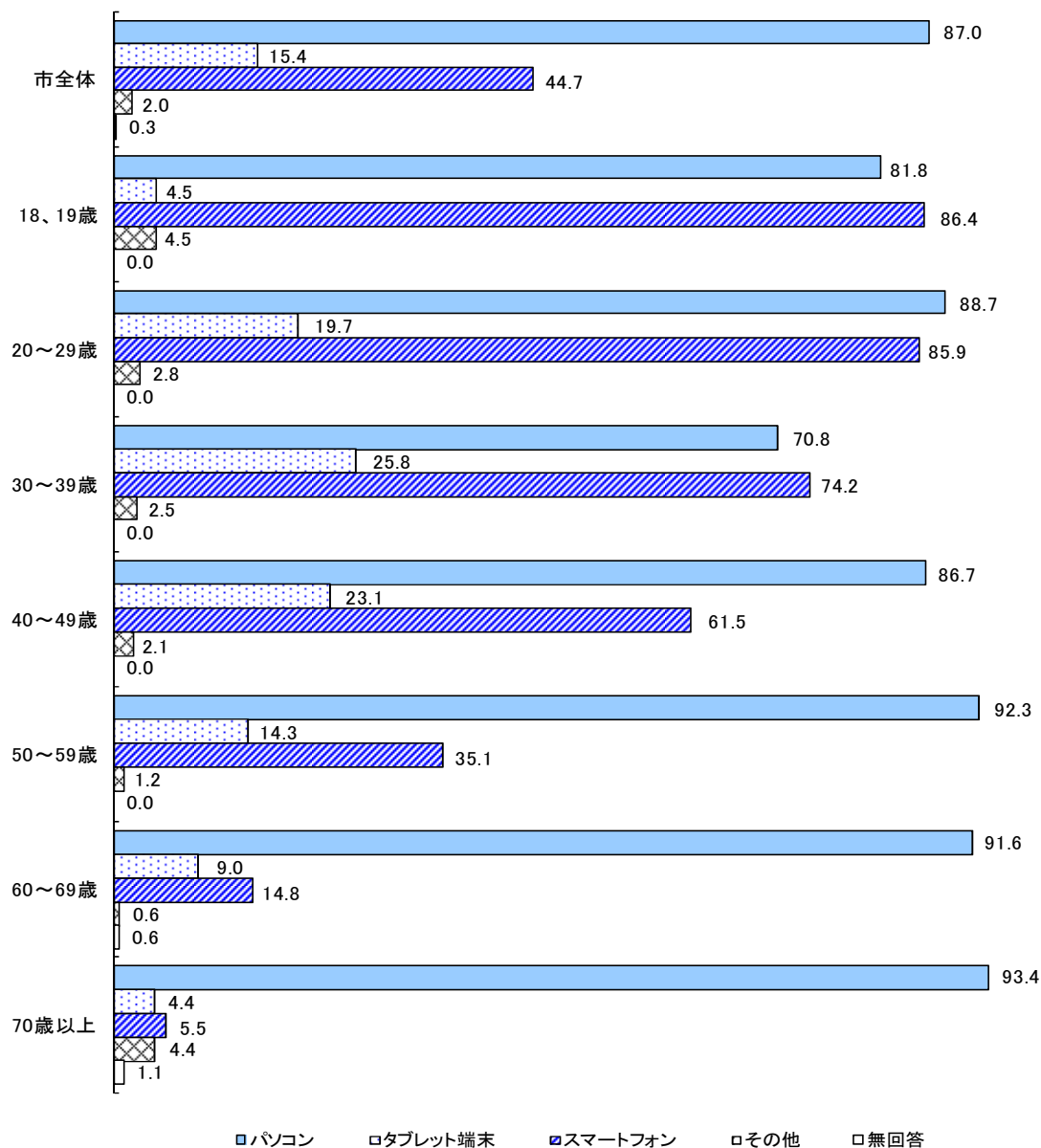
(34-2) インターネットを利用する時に使う機器は、どれですか。

該当する番号全てに○をつけてください。



前の設問でインターネットを利用できる環境にあると回答した人で、インターネットをする時に使う機器について、「パソコン」と回答した割合が87.0%と最も高く、次いで「スマートフォン」（44.7%）、「タブレット端末」（15.4%）の順となっている。

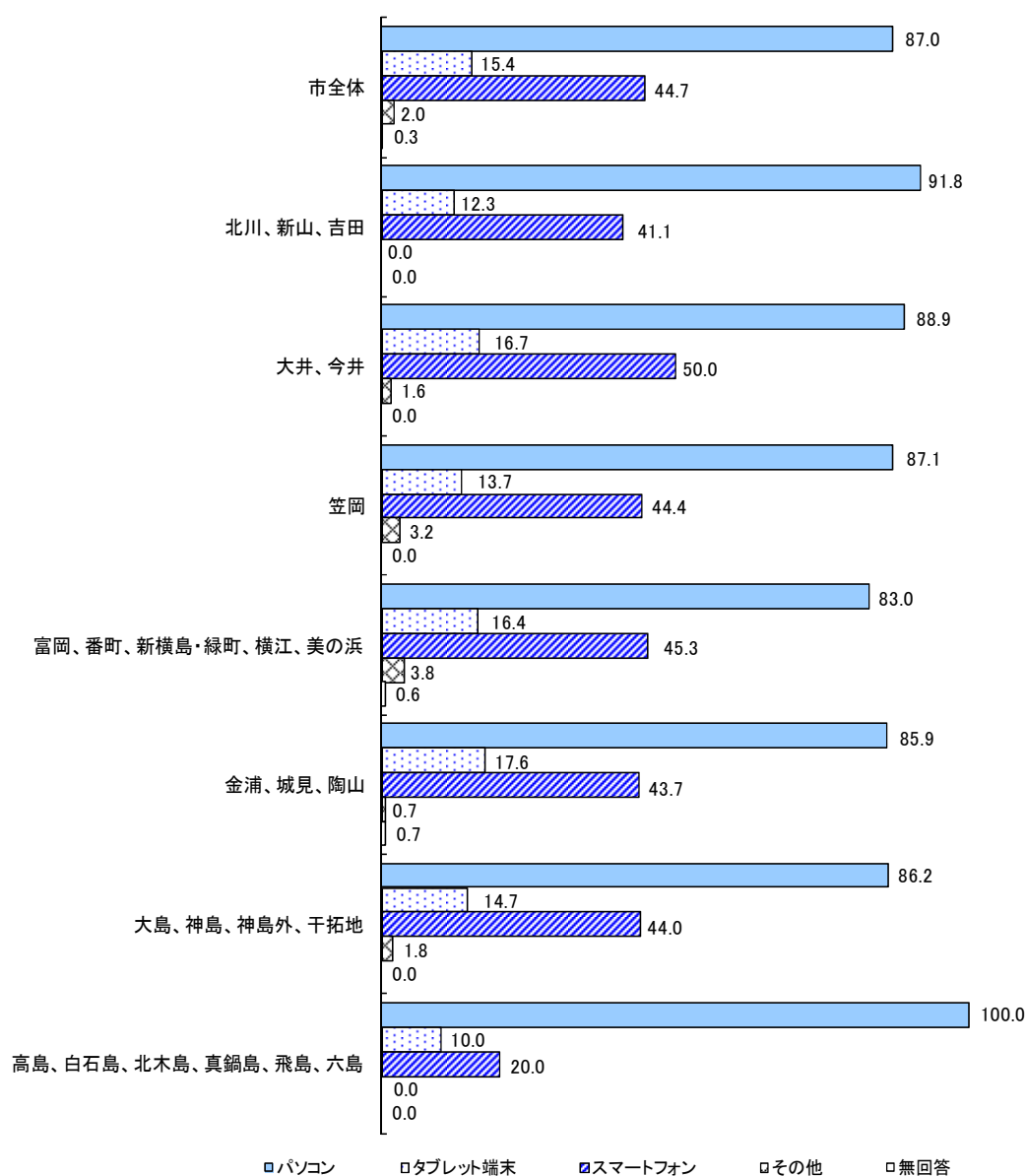
【年齢別】



年齢別にみると、「18、19歳」「30～39歳」を除く年齢層で「パソコン」と回答した割合が高くなっている。

また、「70歳以上」で「スマートフォン」と回答した割合が5.5%と他の年齢層に比べて低くなっている。

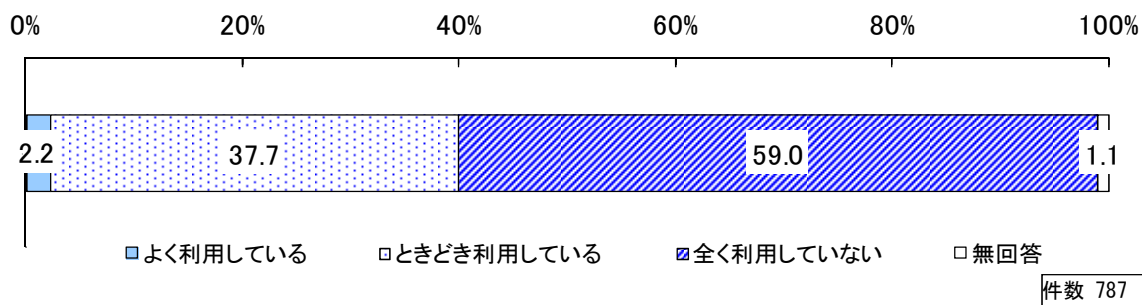
【地区別】



地区別にみると、全ての地域で「パソコン」と回答した割合が最も高くなっている。

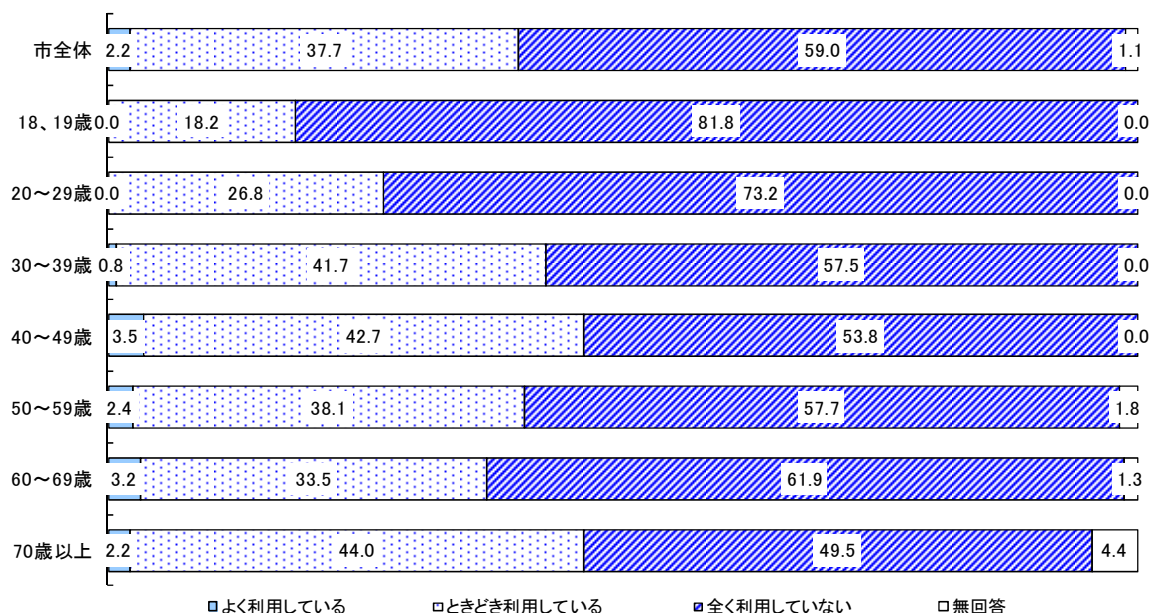
(34)で「1. ある」を選んだ方に伺います。

(34-3) あなたは、笠岡市のホームページをどの程度利用していますか。



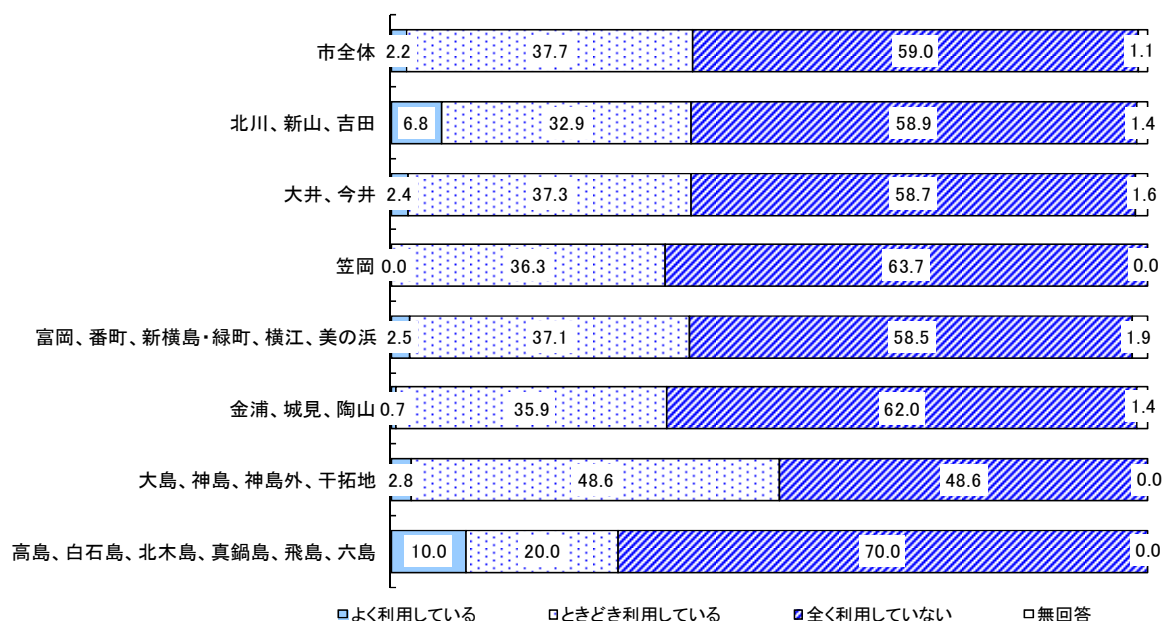
笠岡市のホームページをどの程度利用しているかについて、【利用している（「よく利用している」「ときどき利用している」を合わせたもの）】と回答した割合が39.9%、「全く利用していない」と回答した割合が59.0%と、「全く利用していない」と回答した割合の方が高くなっている。

【年齢別】



年齢別にみると、【利用している（「よく利用している」「ときどき利用している」を合わせたもの）】と回答した割合が「40～49歳」「70歳以上」でともに46.2%と最も高くなっている。また、「全く利用していない」と回答した割合は「18、19歳」が81.8%と高くなっている。

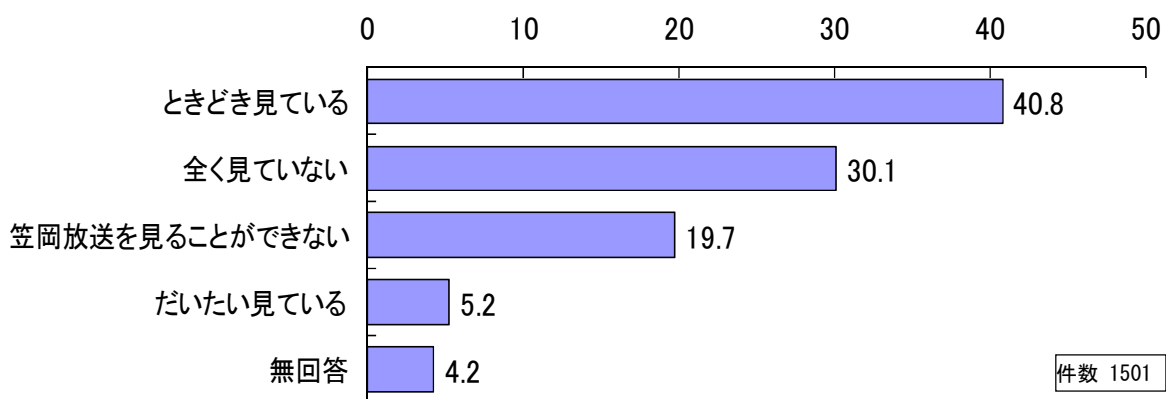
【地区別】



地区別にみると、【利用している（「よく利用している」「ときどき利用している」を合わせたもの）】と回答した割合は「大島、神島、神島外、干拓地」が51.4%と最も高く、次いで「北川、新山、吉田」「大井、今井」（ともに39.7%）の順となっている。

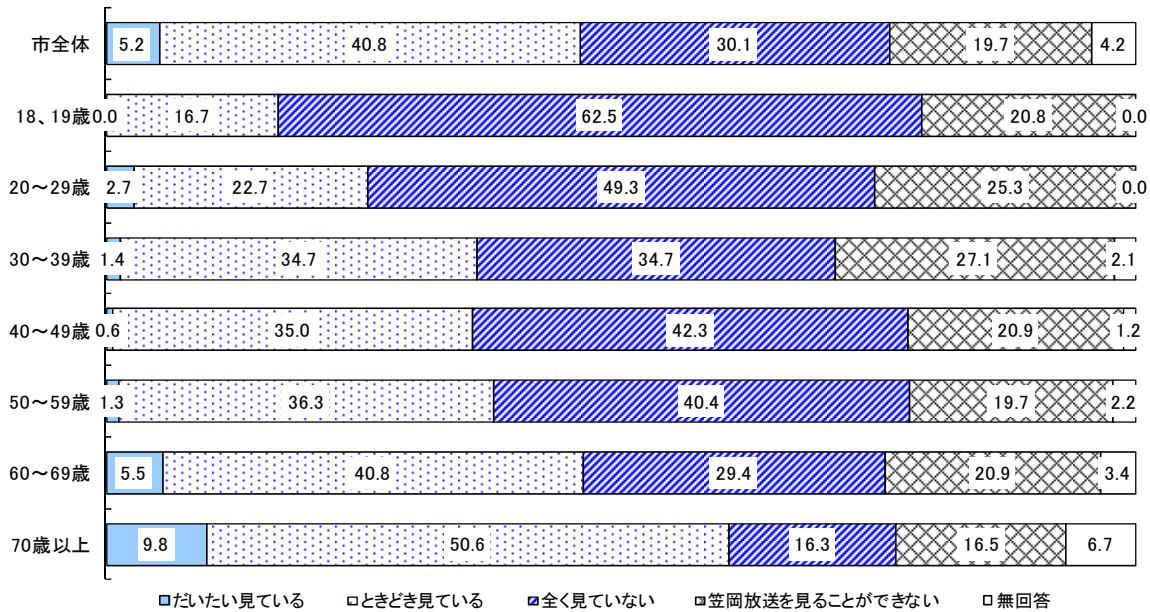
また、「全く利用していない」と回答した割合は「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」では70.0%と最も高くなっている。

(35) あなたは、笠岡放送で放送している行政番組「テレビ広報かさおか」をどの程度見ていますか。



笠岡放送で放送している行政番組「テレビ広報かさおか」をどの程度見ているかについて、「ときどき見ている」と回答した割合が40.8%と最も高く、次いで「全く見ていない」（30.1%）、「笠岡放送を見ることができない」（19.7%）、「だいたい見ている」（5.2%）の順となっている。

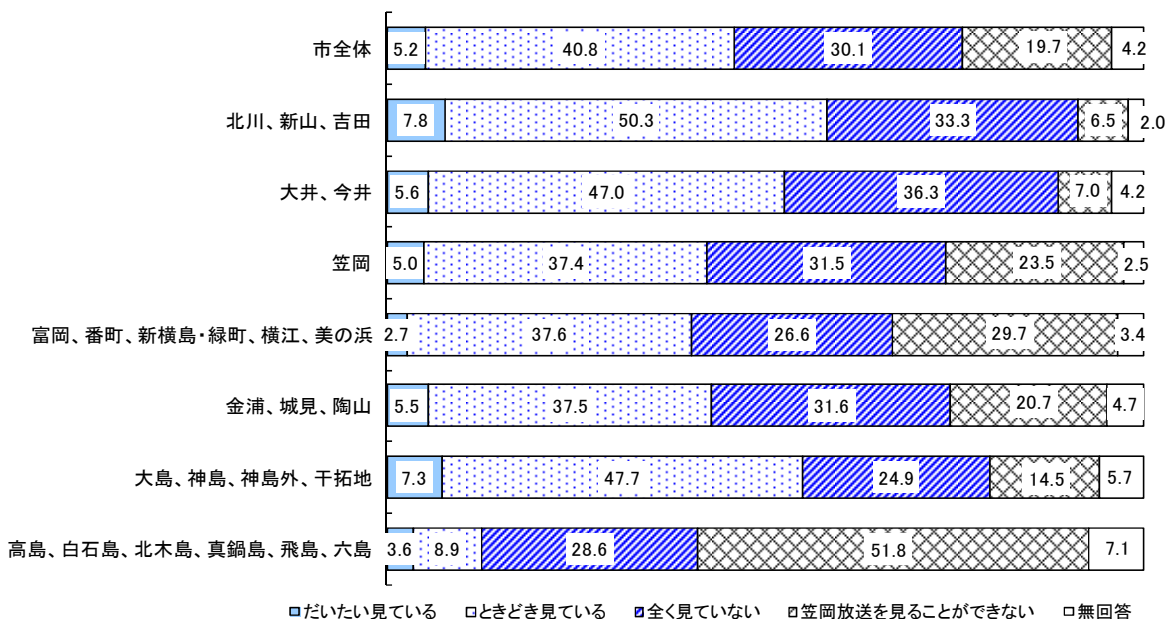
【年齢別】



年齢別にみると、「70歳以上」で【見ている（「だいたい見ている」「ときどき見ている」を合わせたもの）】と回答した割合が60.4%と最も高くなっている。

また「18、19歳」では「全く見ていない」と回答した割合は62.5%と高くなっている。

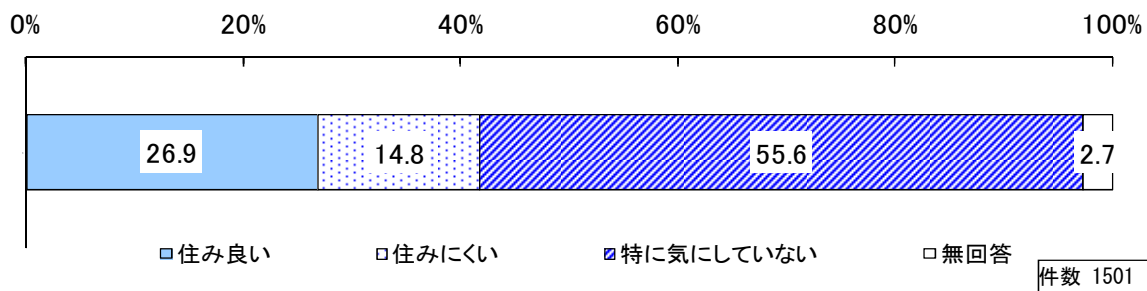
【地区別】



地区別にみると、「北川、新山、吉田」で【見ている（「だいたい見ている」「ときどき見ている」を合わせたもの）】と回答した割合が58.1%と最も高く、次いで「大島、神島、神島外、干拓地」（55.0%）、「大井、今井」（52.6%）の順となっている。

また、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」では「笠岡放送を見ることができない」と回答した割合が51.8%と最も高くなっている。

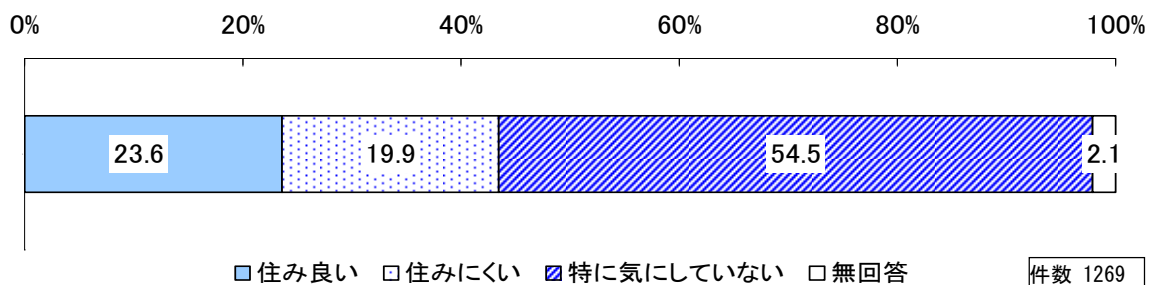
(36) あなたは、今の笠岡市の住み心地についてどう思いますか。



今の笠岡市の住み心地について、「特に気にしていない」と回答した割合が55.6%と最も高く、次いで「住み良い」（26.9%）、「住みにくい」（14.8%）の順となっている。

また、前回（平成24年調査結果）に比べ、「住みよい」と回答した割合が増え、「住みにくい」「特に気にしていない」と回答した割合が少なくなっている。

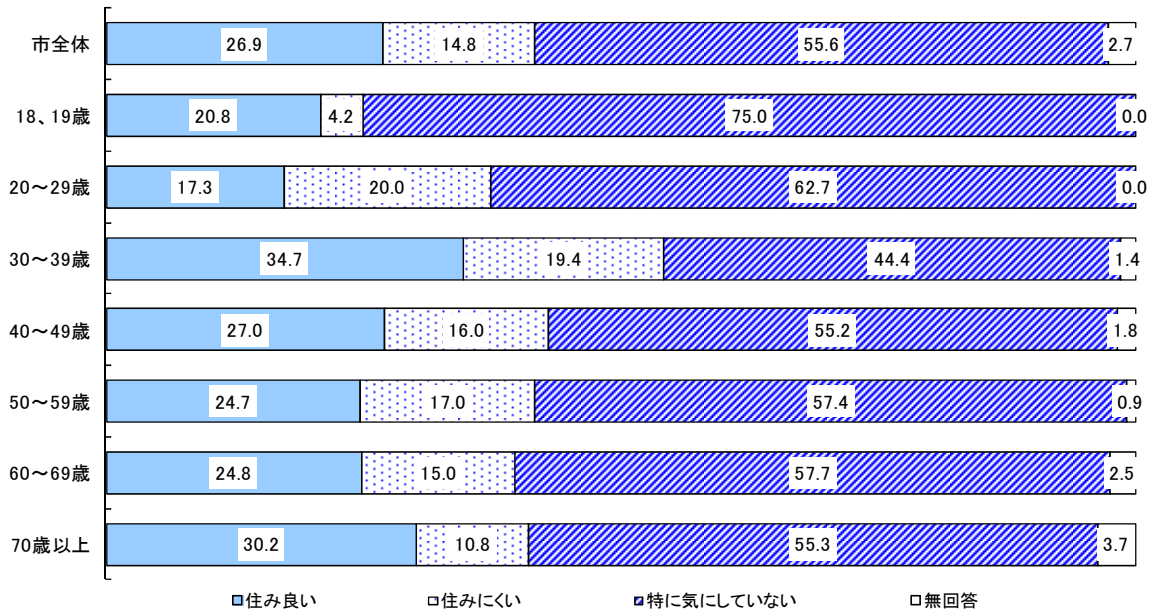
【前回（平成24年調査結果）】



今の笠岡市の住み心地について、「特に気にしていない」と回答した割合が54.5%と最も高く、次いで「住み良い」（23.6%）、「住みにくい」（19.9%）の順となっている。

また、前回（平成22年調査結果）に比べ、「住みよい」「住みにくい」と回答した割合が増え、「特に気にしていない」と回答した割合が少なくなっている。

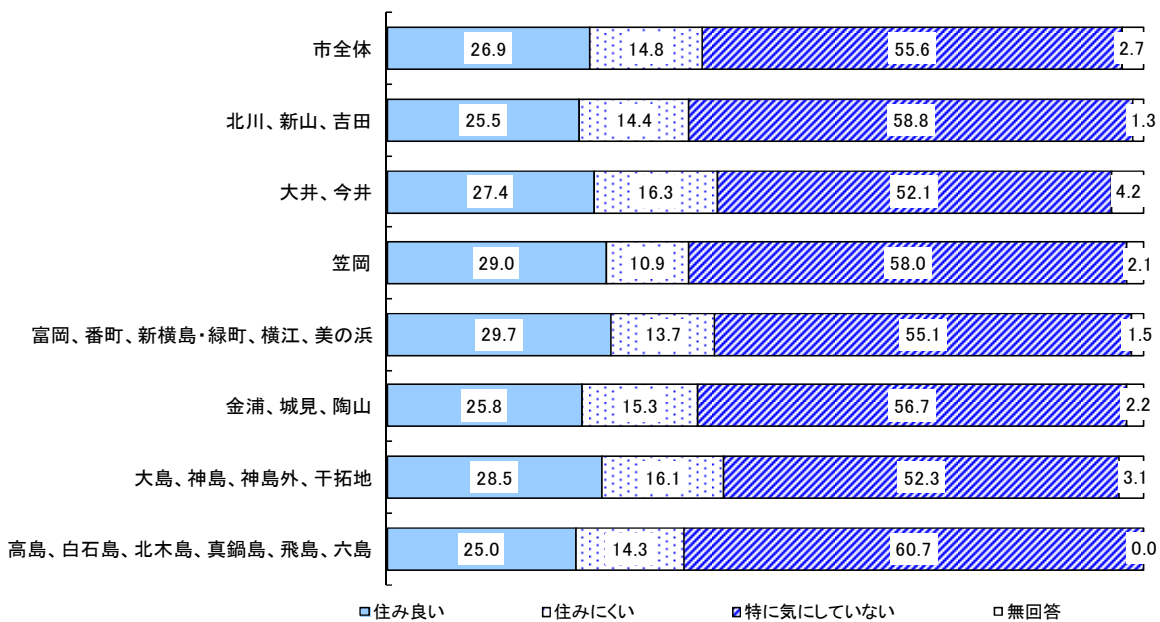
【年齢別】



年齢別にみると、「特に気にしていない」と回答した割合は「30～39歳」を除く年齢層で6割程度と高くなっている。

また、「18、19歳」で「住みにくい」と回答した割合が4.2%と低くなっている。

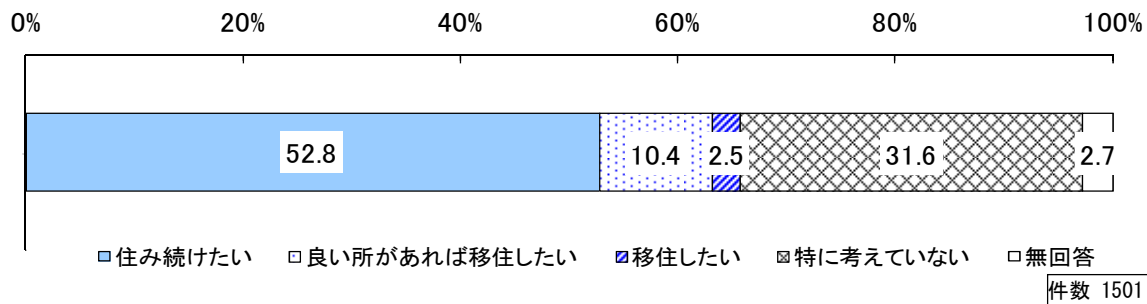
【地区別】



地区別にみると、「富岡、番町、新横島、横江、美の浜」で「住み良い」と回答した割合が29.7%と最も高く、次いで「笠岡」（29.0%）、「大島、神島、神島外、干拓地」（28.5%）の順となっている。

また、「大井、今井」で「住みにくい」と回答した割合が16.3%と他の地域と比べて高くなっている。

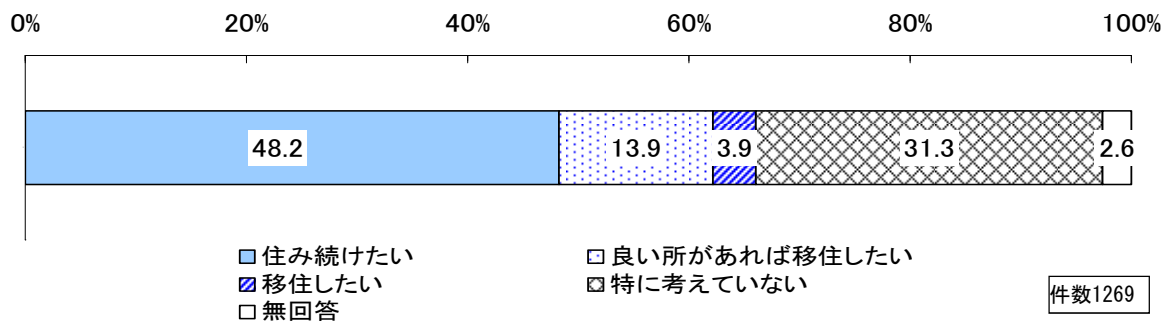
(37) あなたは、これからも笠岡市に住み続けたいですか。



これからも笠岡市に住み続けたいかについて、「住み続けたい」と回答した割合が52.8%と最も高く、次いで「特に考えていない」（31.6%）、「良い所があれば移住したい」（10.4%）、「移住したい」（2.5%）の順となっている。

また、前回（平成24年調査結果）と比較すると「住み続けたい」と回答した割合が増え、「良い所があれば移住したい」「移住したい」と回答した割合が少なくなっている。

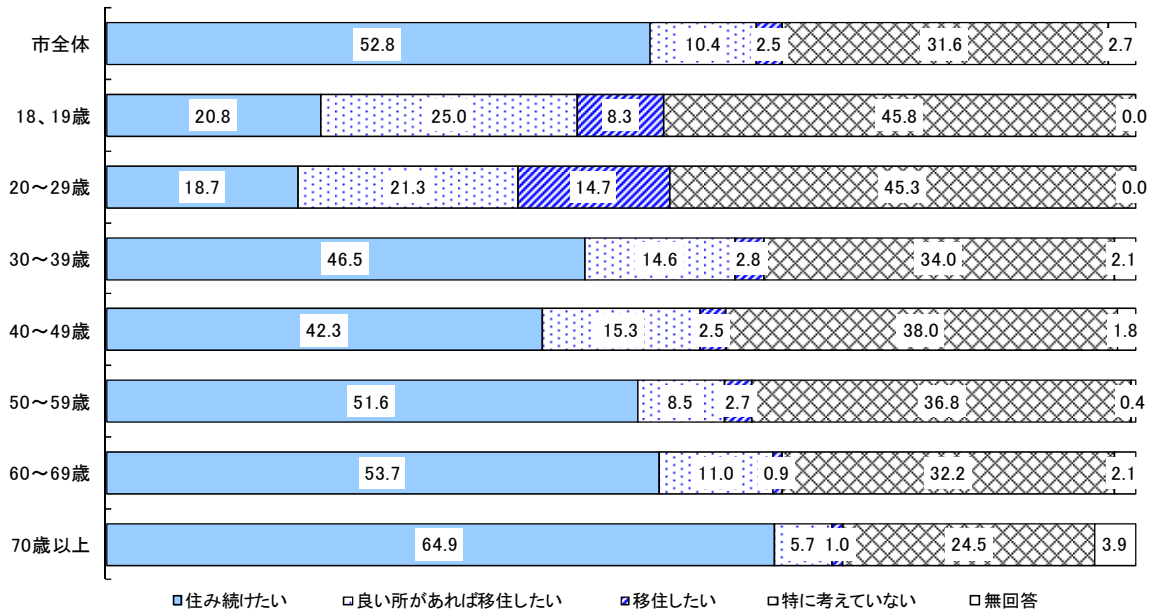
【前回（平成24年調査結果）】



これからも笠岡市に住み続けたいかについて、「住み続けたい」と回答した割合が48.2%と最も高く、次いで「特に考えていない」（31.3%）、「良い所があれば移住したい」（13.9%）、「移住したい」（3.9%）の順となっている。

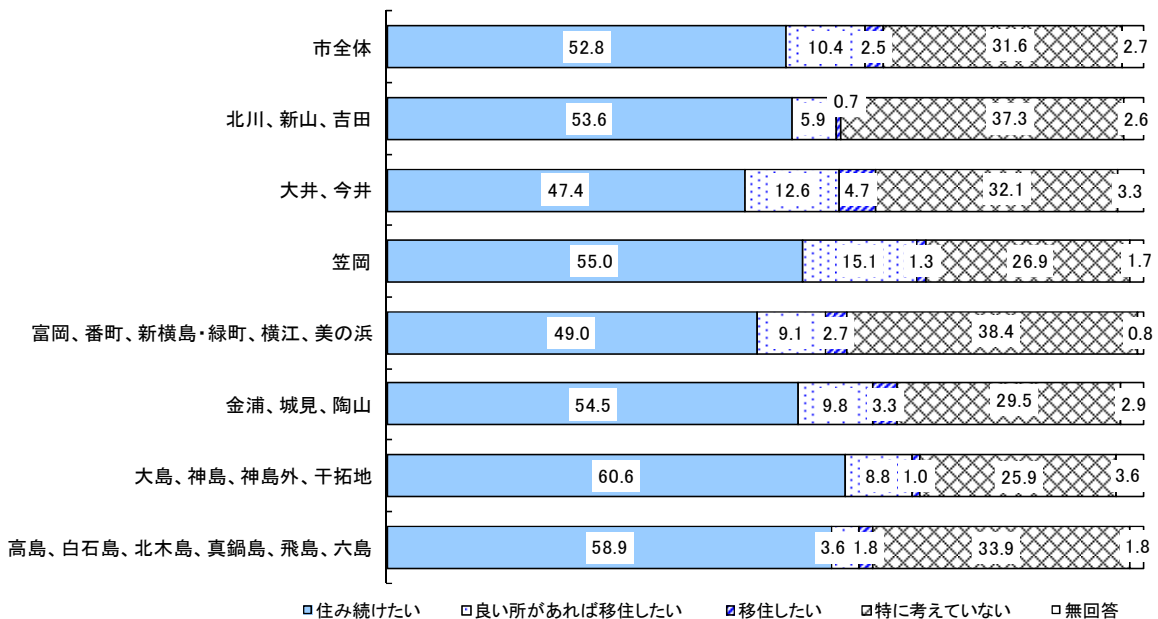
また、前回と比較すると「住み続けたい」と回答した割合が増え、「良い所があれば移住したい」と回答した割合が少なくなっている。

【年齢別】



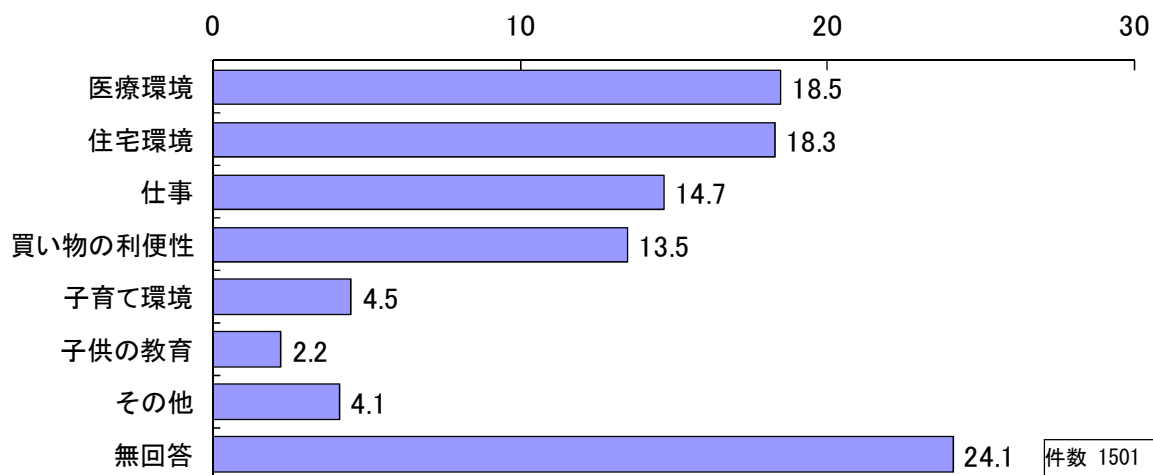
年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて、「住み続けたい」と回答した割合が高くなっている。

【地区別】



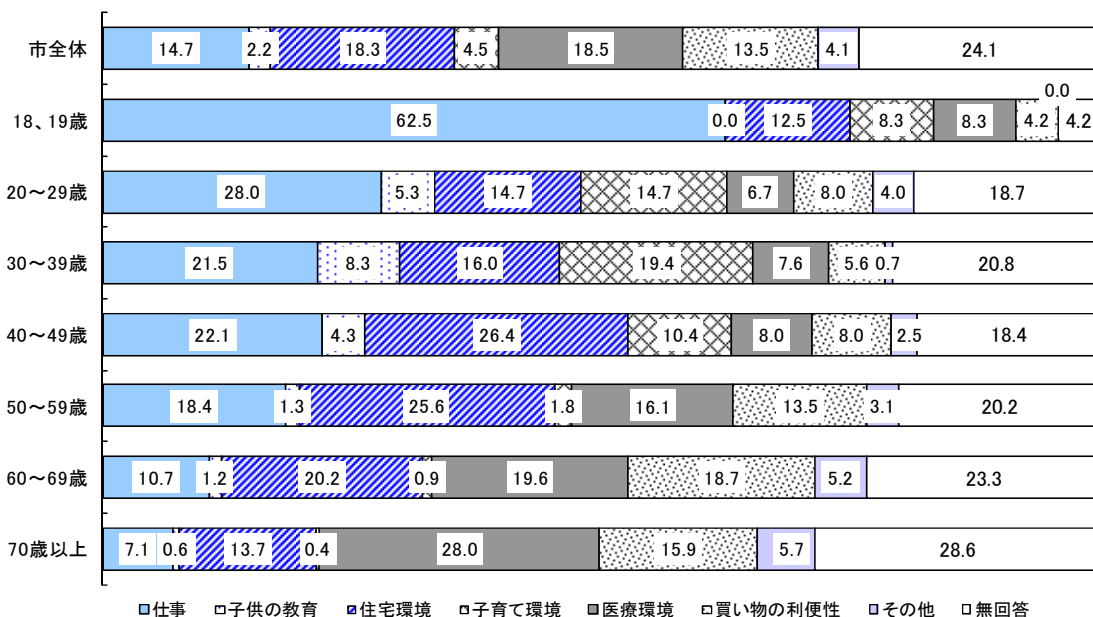
地区別にみると、「住み続けたい」と回答した割合は、「大島、神島、神島外、干拓地」で60.6%と最も高く、次いで「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」（58.9%）、「笠岡」（55.0%）の順となっている。

(38) あなたは住み続けるために、一番重視することは何ですか。



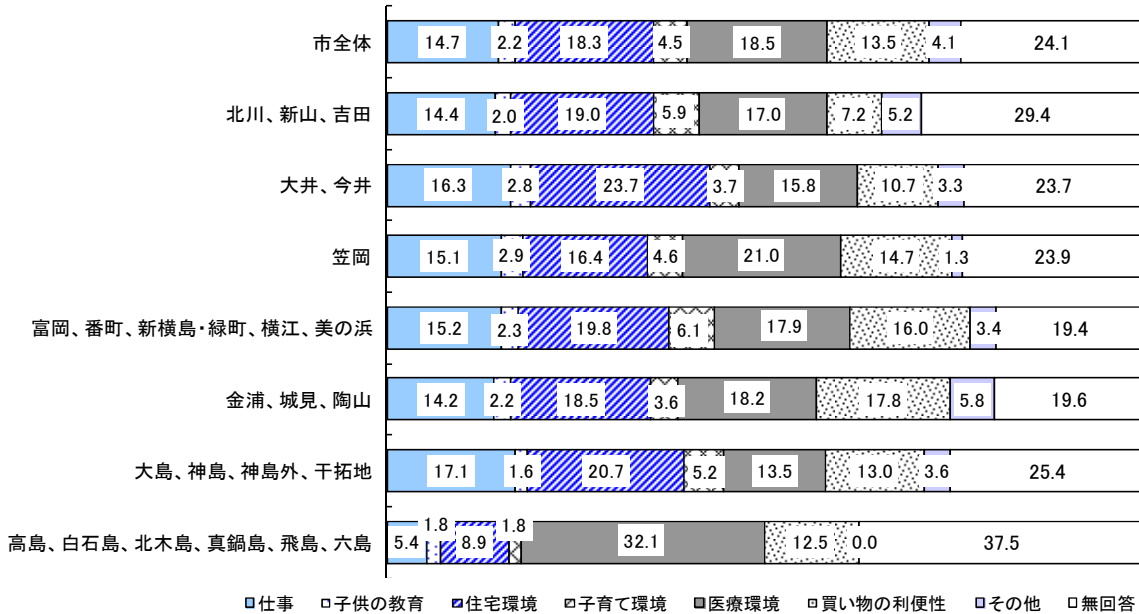
住み続けるために一番重視することについて、「医療環境」と回答した割合が18.5%と最も高く、次いで「住宅環境」（18.3%）、「仕事」（14.7%）、「買い物での利便性」（13.5%）の順となっている。

【年齢別】



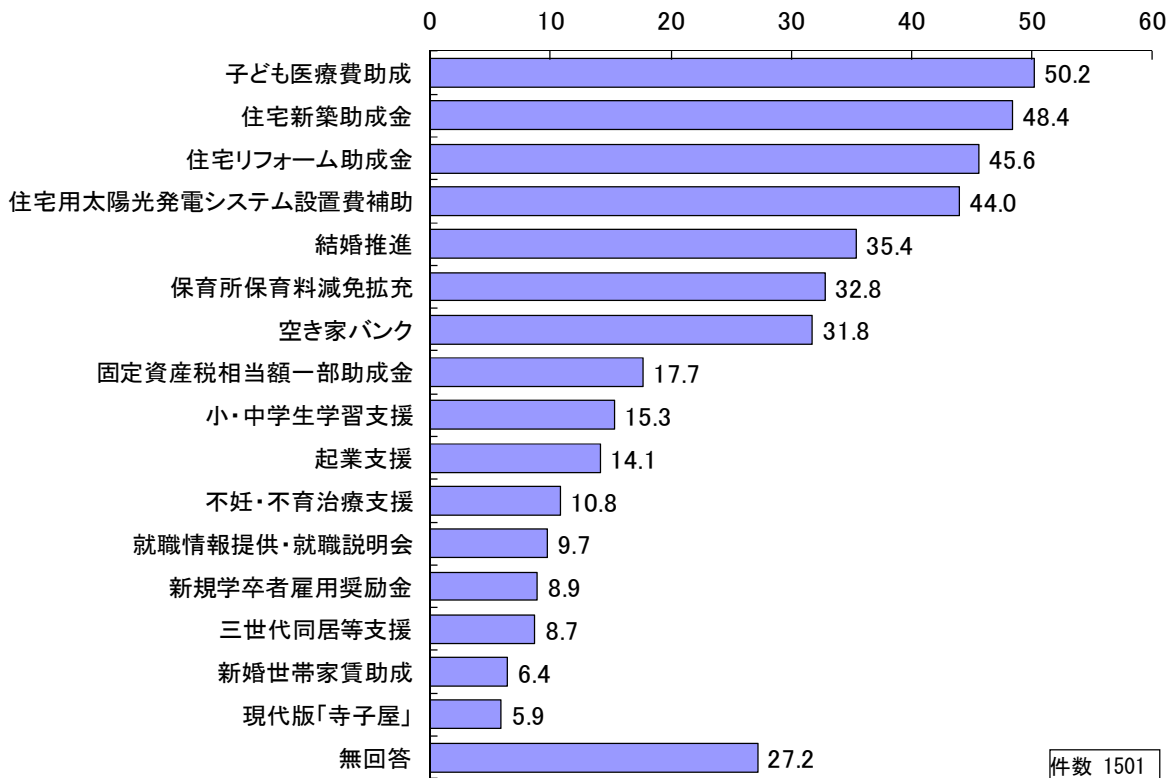
年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて、「医療環境」と回答した割合が高くなっている。また、「18、19歳」では「仕事」と回答した割合が62.5%と最も高くなっている。

【地区別】



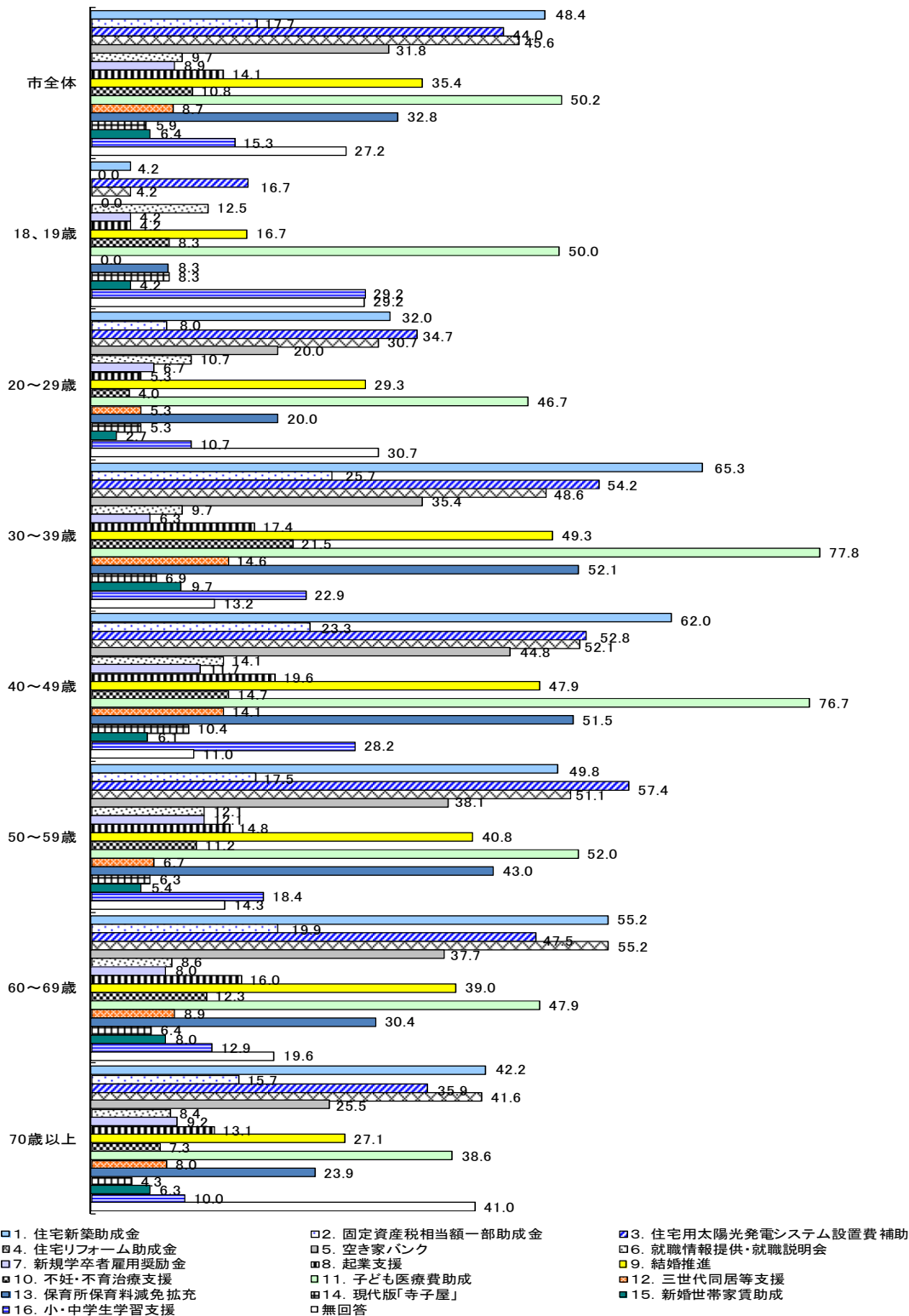
地区別にみると、「医療環境」と回答した割合は「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で32.1%と最も高くなっている。

(39-①) 知っている定住促進事業はどれですか。該当するもの全てに○をしてください。



知っている定住促進事業について、「子ども医療費補助」と回答した割合が50.2%と最も高く、次いで「住宅新築助成金」（48.4%）、「住宅リフォーム助成金」（45.6%）の順となっている。

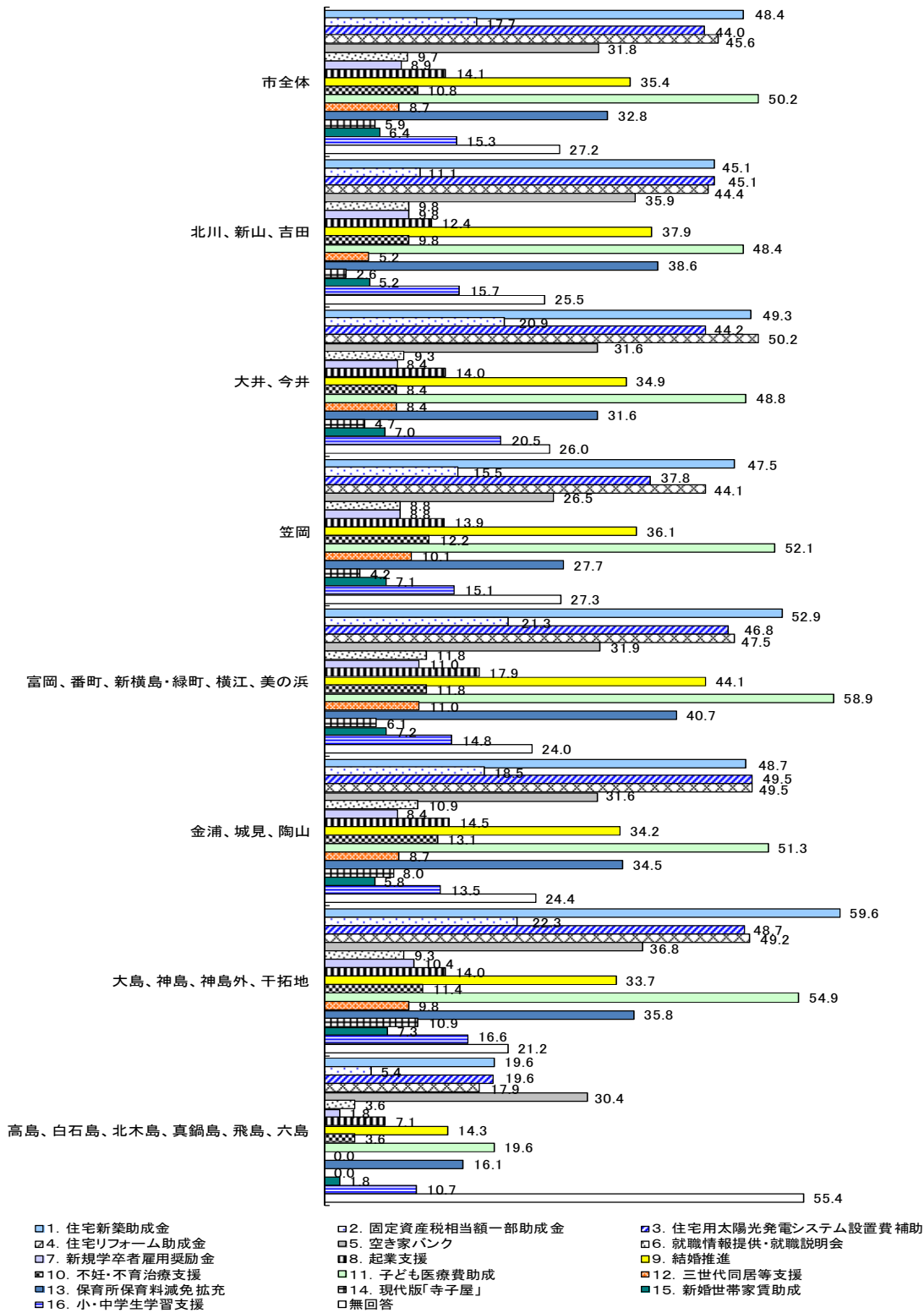
【年齢別】



年齢別にみると、「子ども医療費助成」と回答した割合は「30～39歳」「40～49歳」で高くなっている。

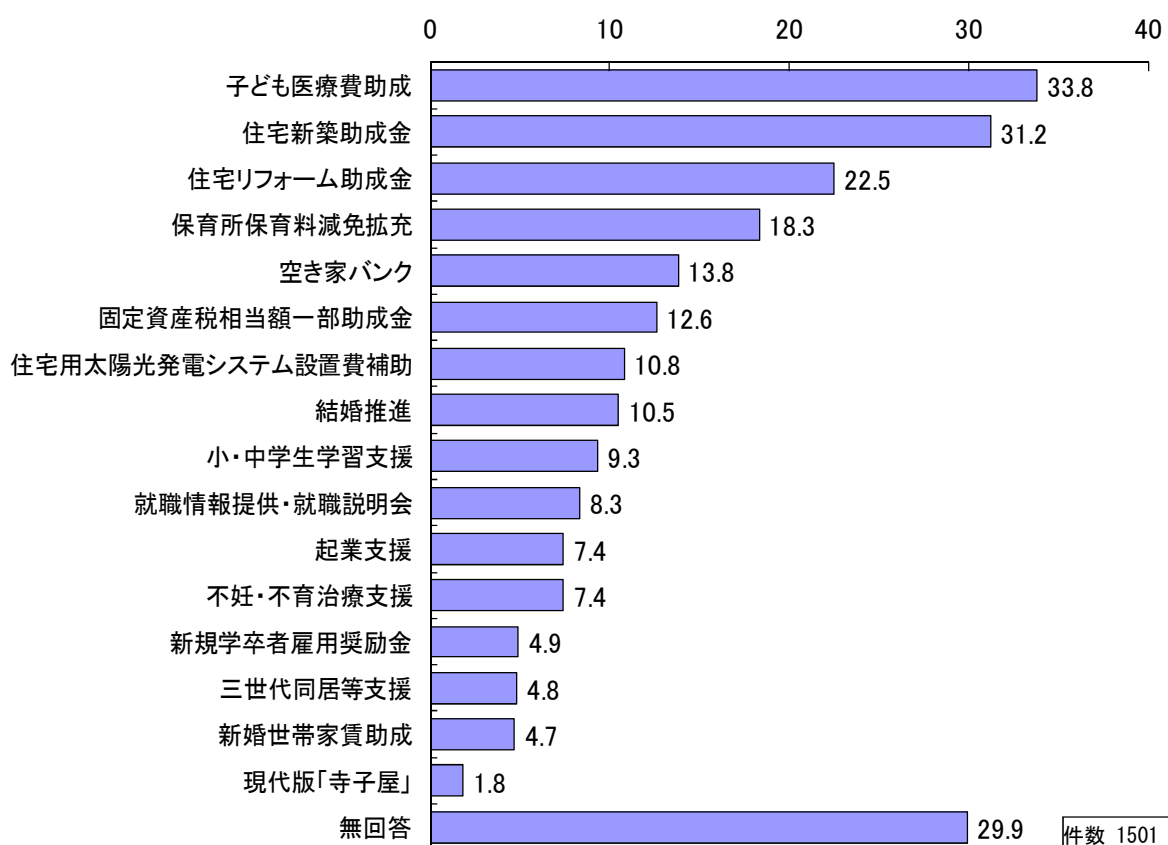
また「保育所保育料減免拡充」と回答した割合は「20～29歳」「30～39歳」で高くなっている。

【地区別】



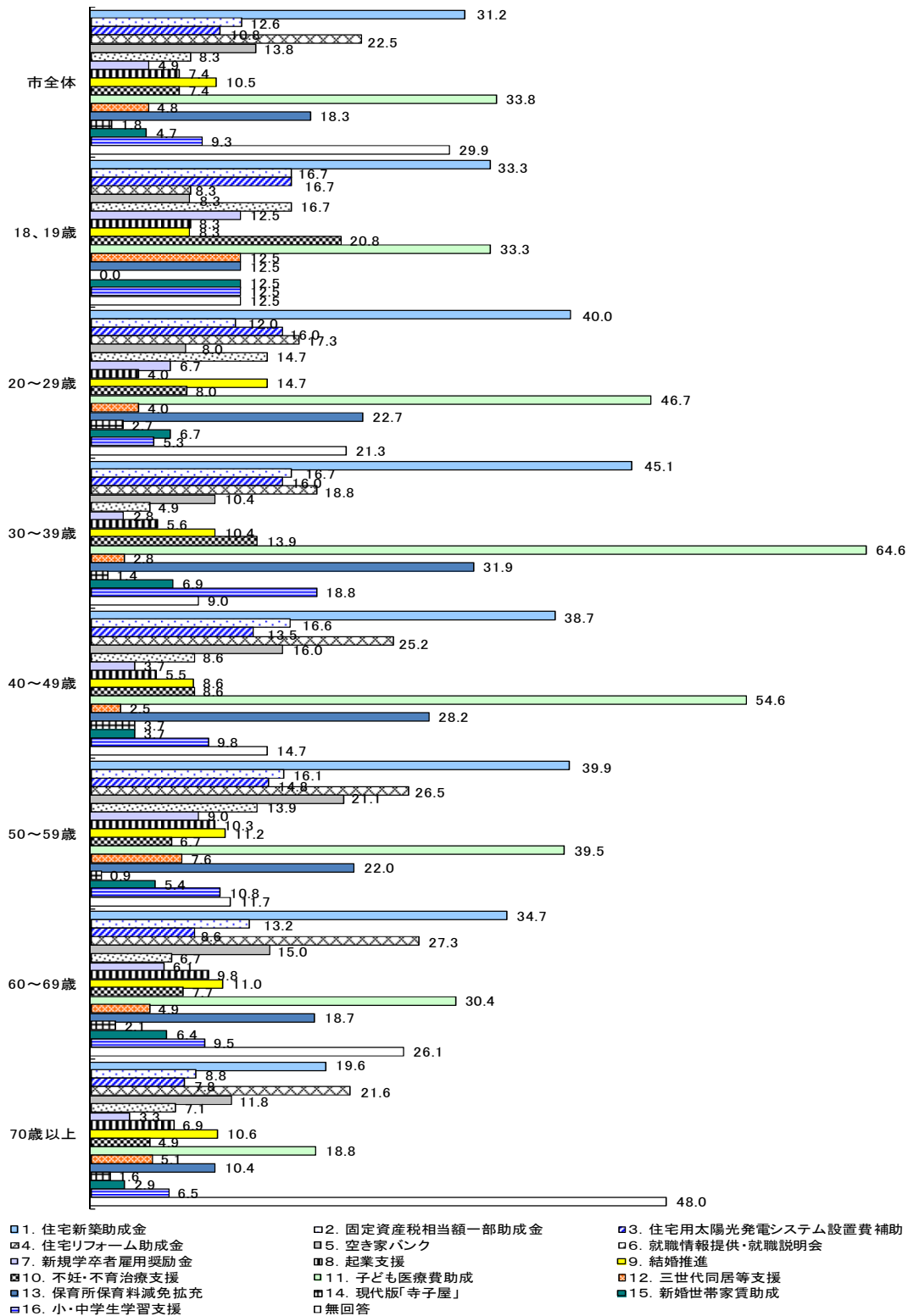
地区別にみると、「大島、神島、神島外、干拓地」で「住宅新築助成金」と回答した割合が59.6%と最も高くなっている。

(39-②) 効果的だと思う定住促進事業はどれですか。
 該当する事業を3つまで選んで○をしてください。



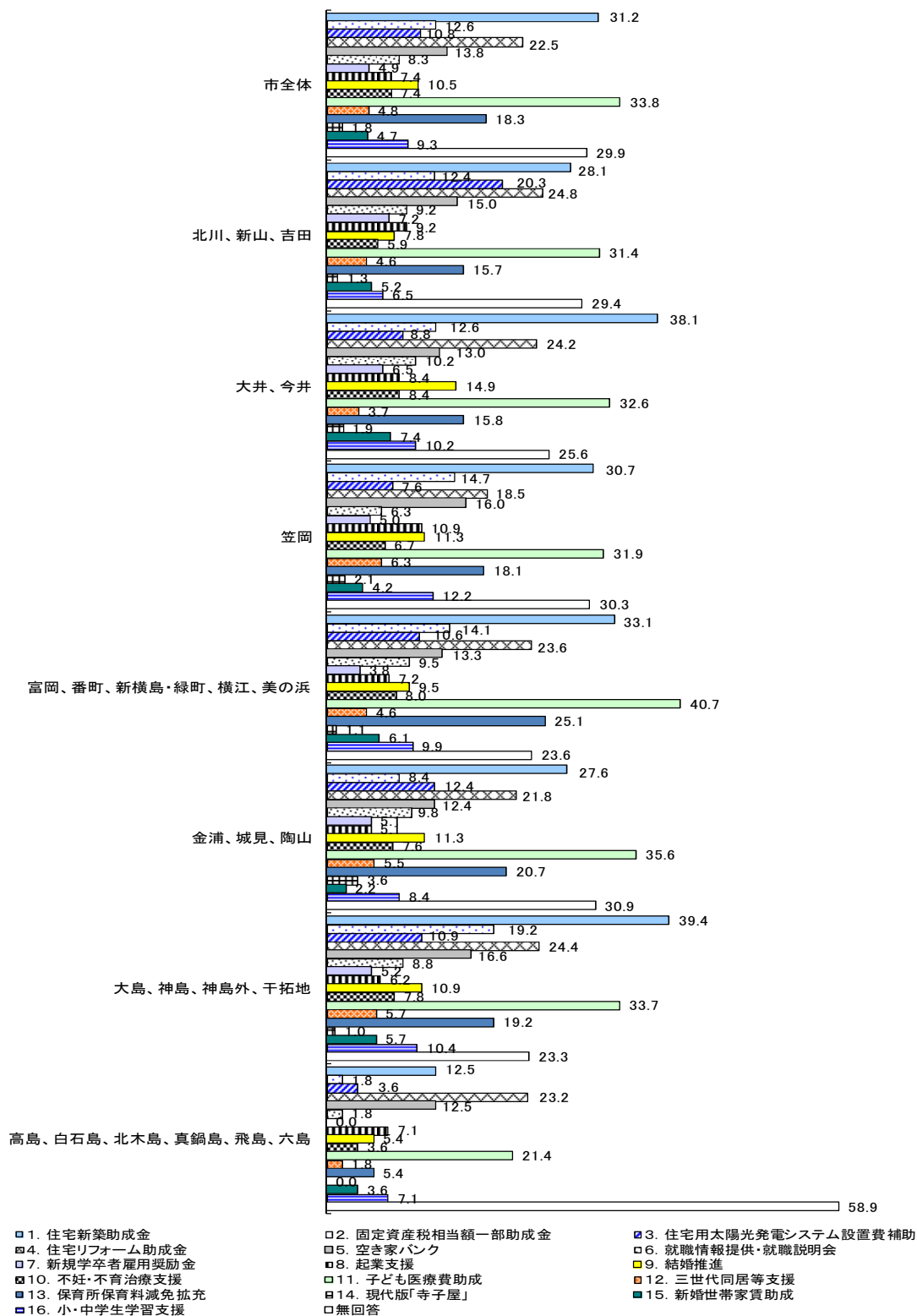
効果的だと思う定住促進事業について、「子ども医療費補助」と回答した割合が33.8%と最も高く、次いで「住宅新築助成金」（31.2%）、「住宅リフォーム助成金」（22.5%）、「保育所保育料減免拡充」（18.3%）、「空き家バンク」（13.8%）の順となっている。

【年齢別】



年齢別にみると、「子ども医療費助成」と回答した割合は「20～29歳」「30～39歳」「40～49歳」で高くなっている。

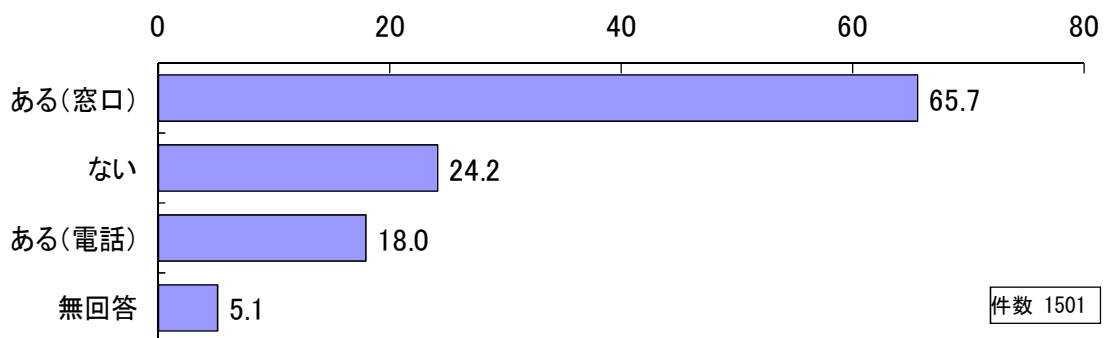
【地区別】



地区別にみると、「子ども医療費助成」と回答した割合は「富岡、番町、新横島・緑町、横江、美の浜」が40.7%と最も高くなっている。

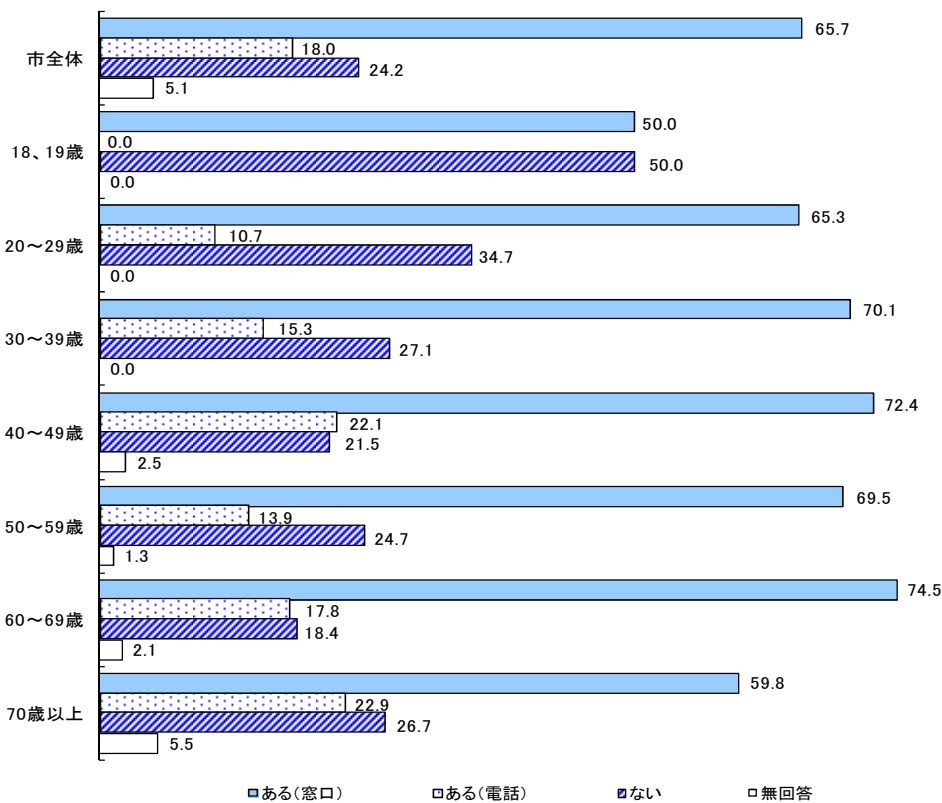
(40) あなたは、最近一年間で、市役所を利用したことがありますか。

該当するもの全てに○をしてください。



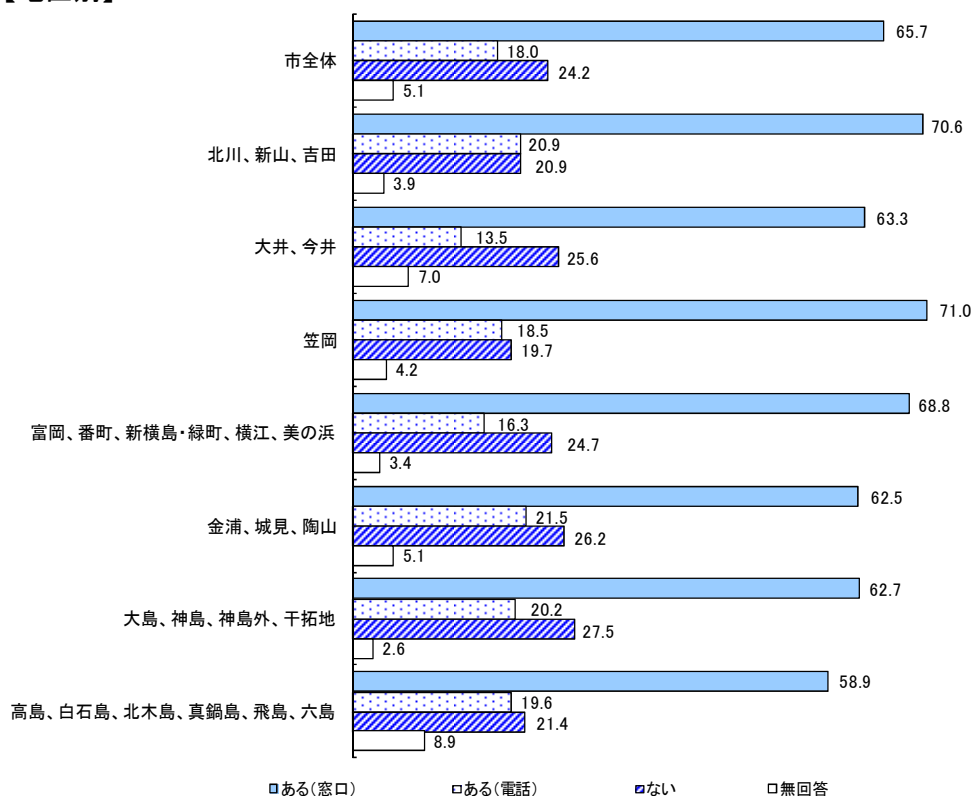
最近一年間で、市役所を利用したことの有無について、【ある「ある(窓口)」、「ある(電話)」を合わせたもの】が83.7%、「ない」が24.2%と、【ある】と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



年齢別にみると、「60～69歳」で「ある(窓口)」と回答した割合が74.5%と最も高く、次いで「40～49歳」(72.4%)、「30～39歳」(70.1%)の順となっている。

【地区別】

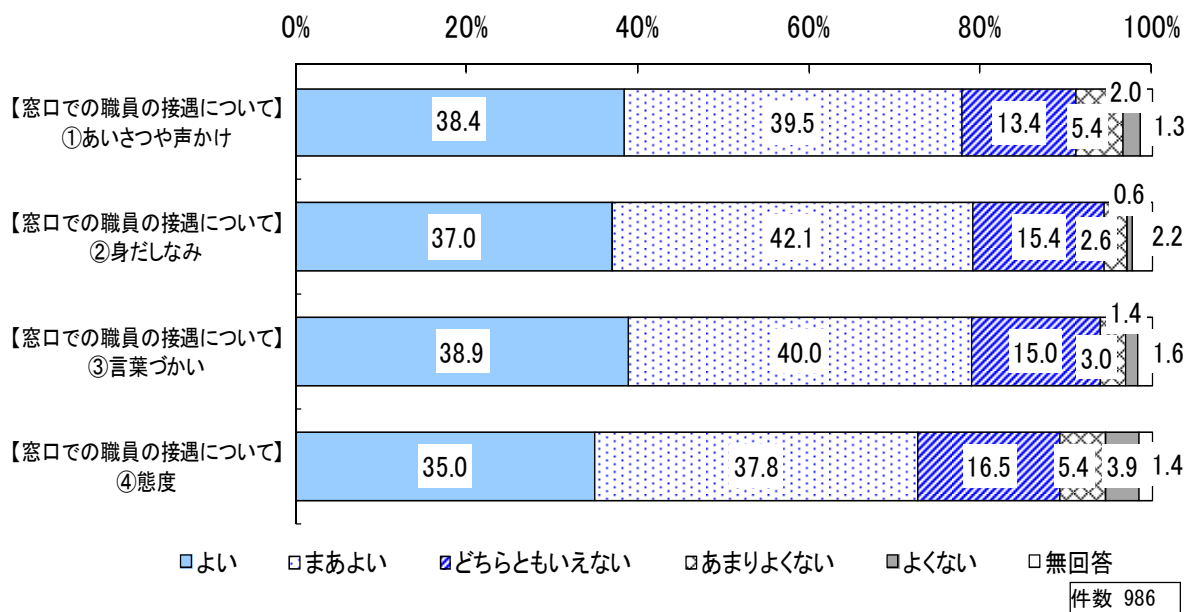


地区別にみると、「笠岡」で「ある（窓口）」と回答した割合が71.0%と高く、次いで「北川、新山、吉田」（70.6%）、「富岡、番町、新横島、横江、美の浜」（68.8%）の順となっている。

また、「大島、神島、神島外、干拓地」で「ない」と回答した割合が27.5%と最も高くなっている。

(40)で「1. ある（窓口）」を選んだ方に伺います。

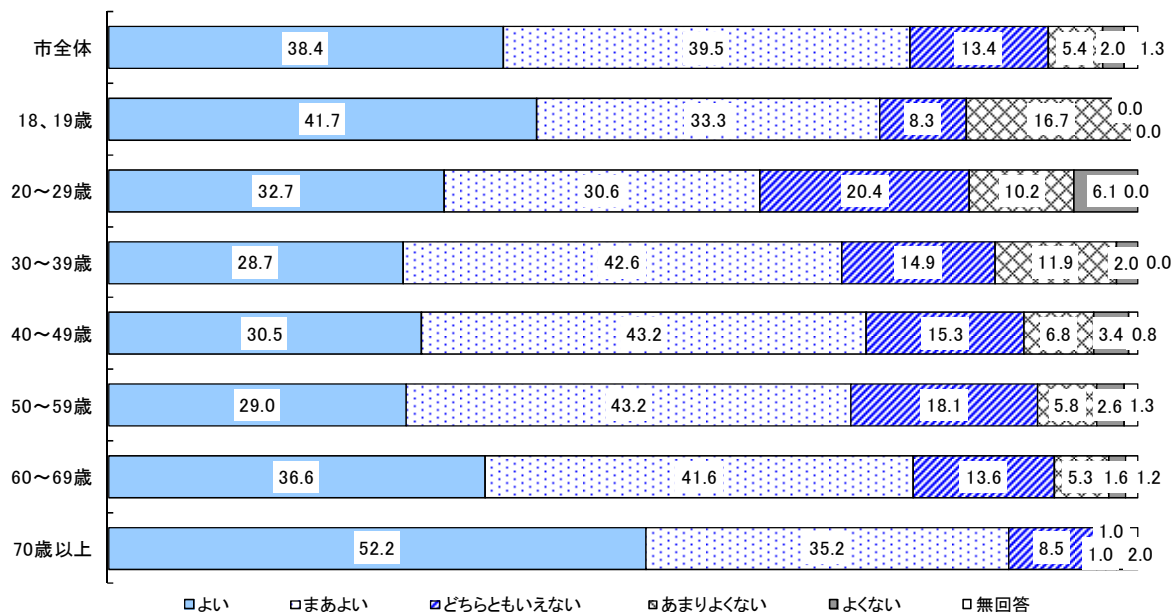
(40-2) 窓口での職員の接遇についてどのように感じましたか。



窓口での職員の接遇についてどのように感じたかについて、すべての項目において【よい（「よい」「まあよい」を合わせたもの）】と回答した割合が高くなっている。

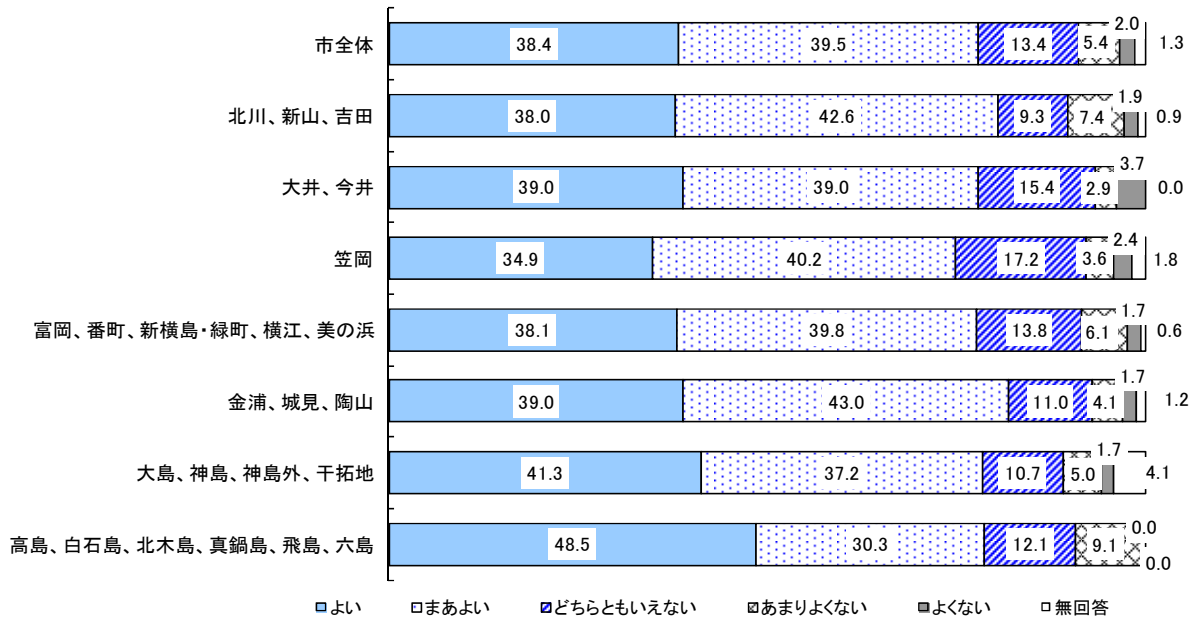
【① あいさつや声かけ】

【年齢別】



年齢別にみると、【よい（「よい」「まあよい」を合わせたもの）】と回答した割合は「70歳以上」が87.4%と最も高く、次いで「60～69歳」（78.2%）、「18、19歳」（75.0%）の順となっている。

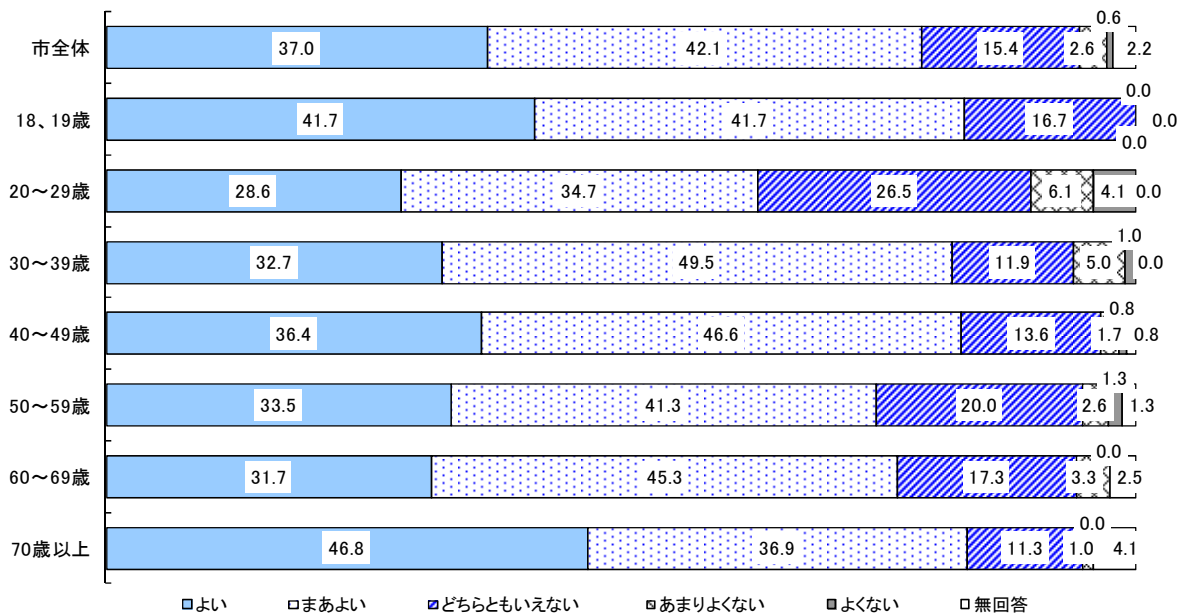
【地区別】



地区別にみると、【よい（「よい」「まあよい」を合わせたもの）】と回答した割合は「金浦、城見、陶山」が82.0%と最も高く、次いで「北川、新山、吉田」（80.6%）、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」（78.8%）の順となっている。

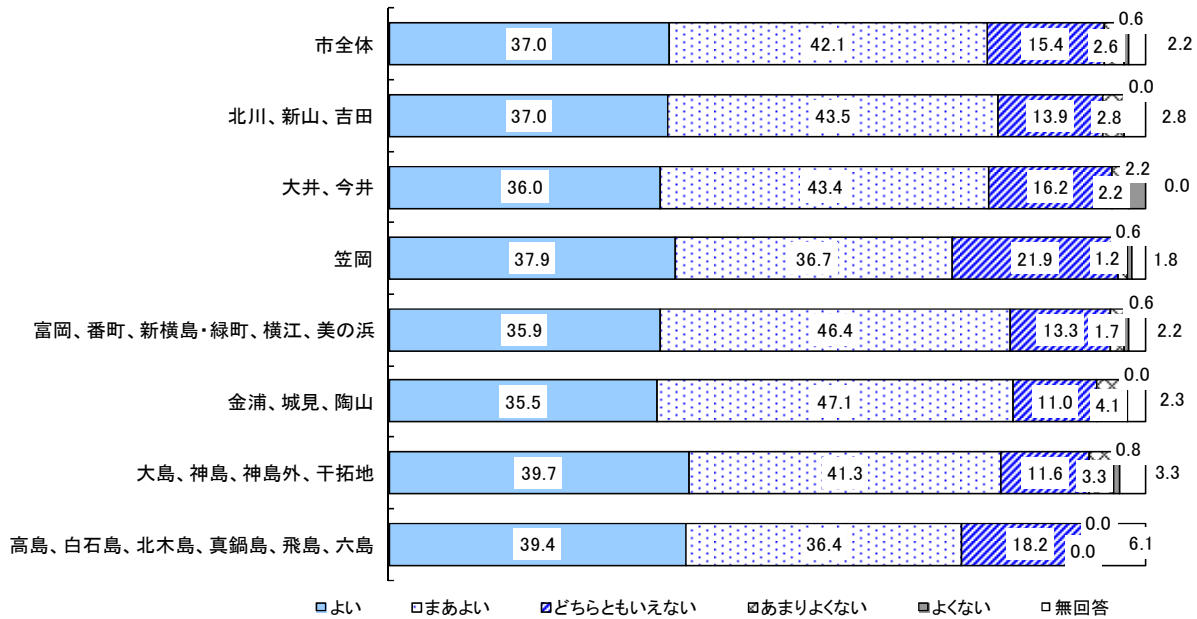
【② 身だしなみ】

【年齢別】



年齢別にみると、【よい（「よい」「まあよい」を合わせたもの）】と回答した割合は「70歳以上」が83.7%と最も高く、次いで「18、19歳」（83.4%）、「40～49歳」（83.0%）の順となっている。

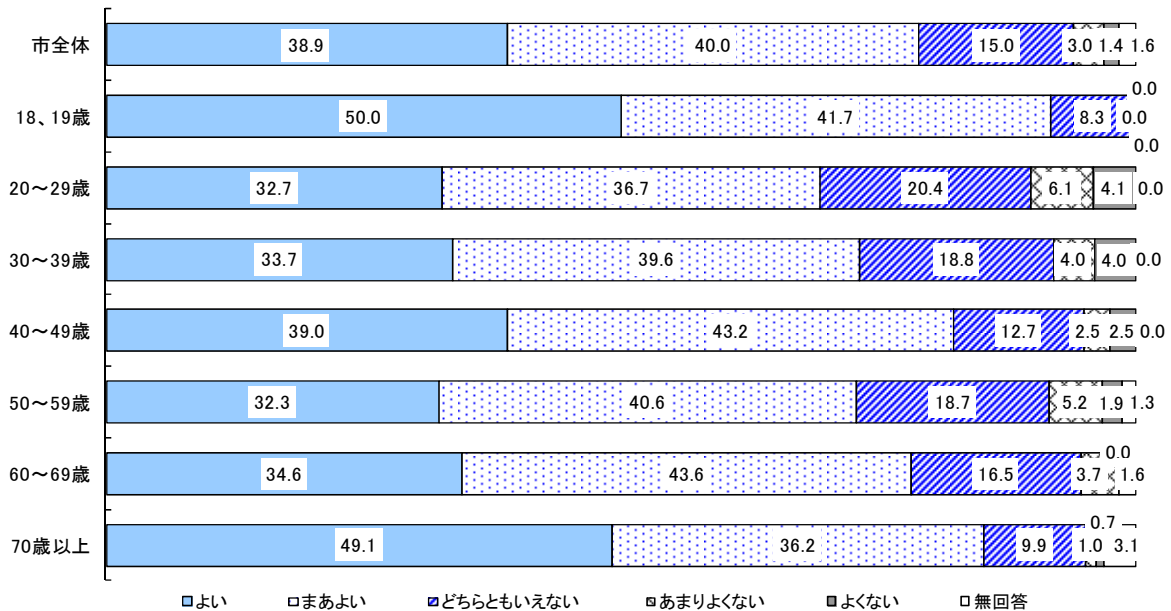
【地区別】



地区別にみると、【よい（「よい」「まあよい」を合わせたもの）】と回答した割合は「金浦、城見、陶山」が82.6%と最も高く、次いで「富岡、番町、新横島・緑町、横江、美の浜」（82.3%）「大島、神島、神島外、干拓地」（81.0%）の順となっている。

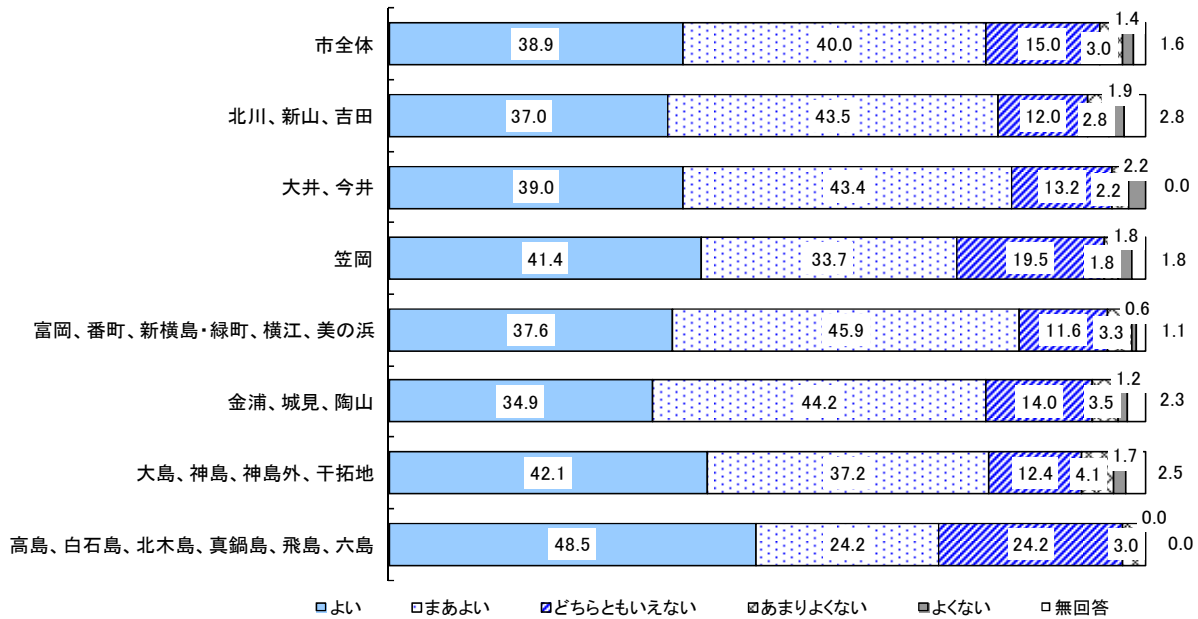
【③ 言葉づかい】

【年齢別】



年齢別にみると、【よい（「よい」「まあよい」を合わせたもの）】と回答した割合は「18、19歳」が91.7%と最も高く、次いで「70歳以上」（85.3%）、「40～49歳」（82.2%）の順となっている。

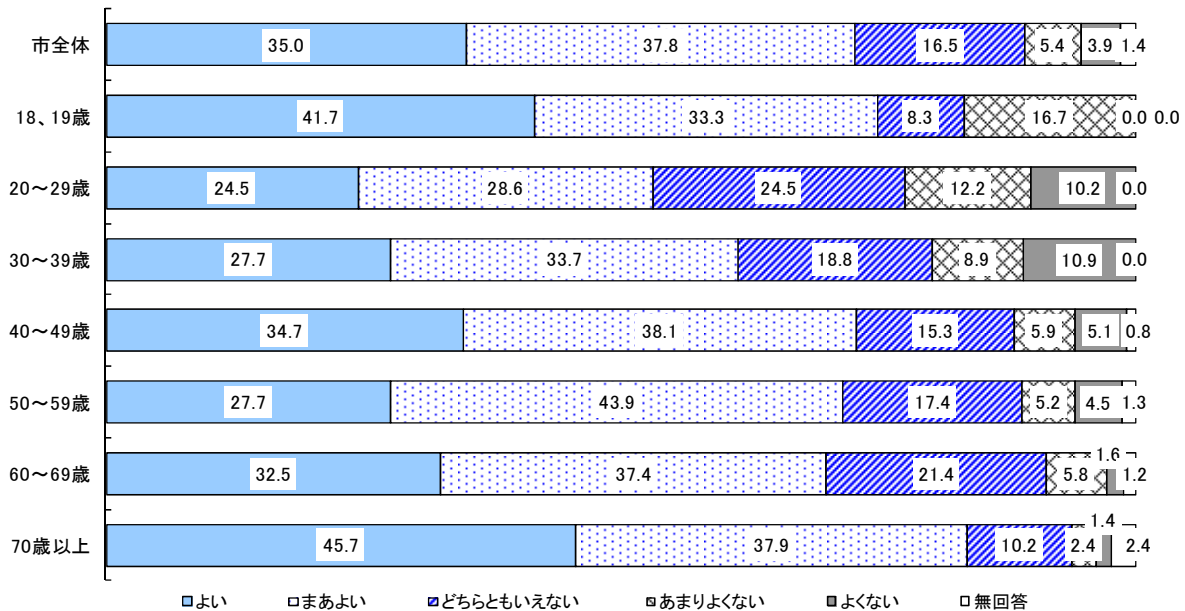
【地区別】



地区別にみると、【よい（「よい」「まあよい」を合わせたもの）】と回答した割合は「富岡、番町、新横島・緑町、横江、美の浜」が83.5%と最も高く、次いで「大井、今井」（82.4%）、「北川、新山、吉田」（80.5%）の順となっている。

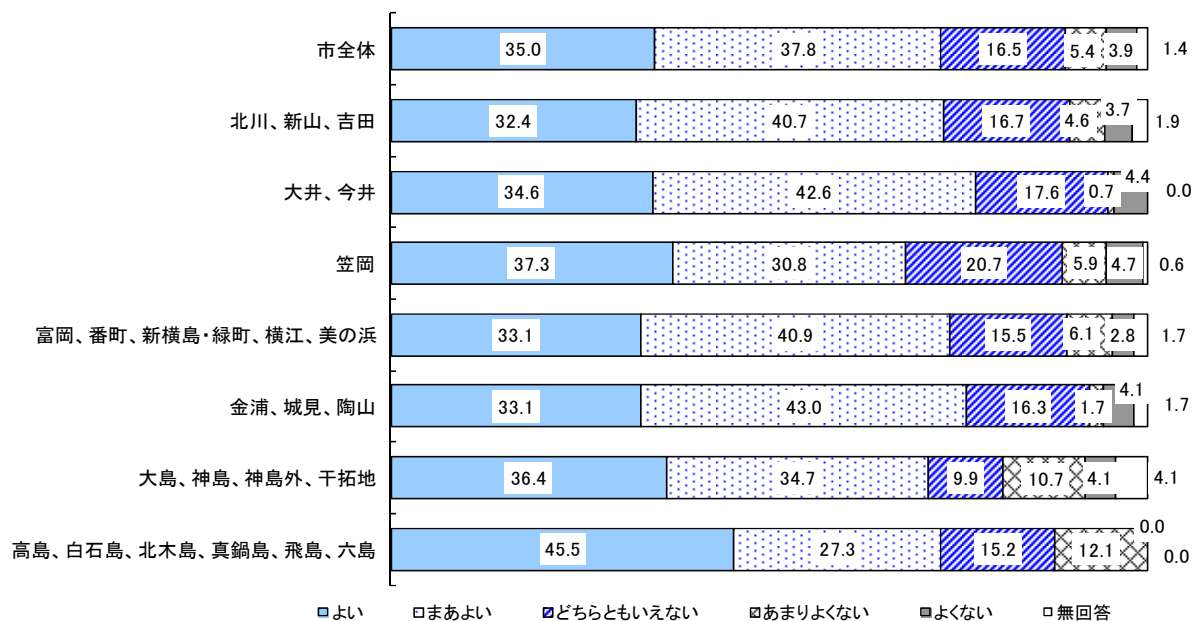
【④ 態度】

【年齢別】



年齢別にみると、【よい（「よい」「まあよい」を合わせたもの）】と回答した割合は「70歳以上」が83.6%と最も高く、次いで「18、19歳」（75.0%）、「40～49歳」（72.8%）の順となっている。

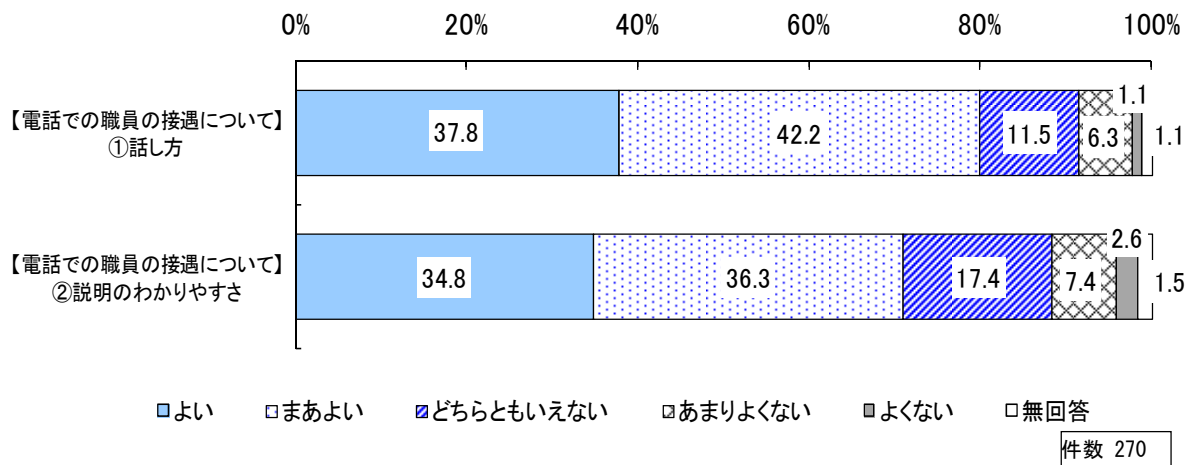
【地区別】



地区別にみると、【よい（「よい」「まあよい」を合わせたもの）】と回答した割合は「大井、今井」が77.2%と最も高く、次いで「金浦、城見、陶山」（76.1%）、「富岡、番町、新横島・緑町、横江、美の浜」（74.0%）の順となっている。

(40)で「2. ある（電話）」を選んだ方に伺います。

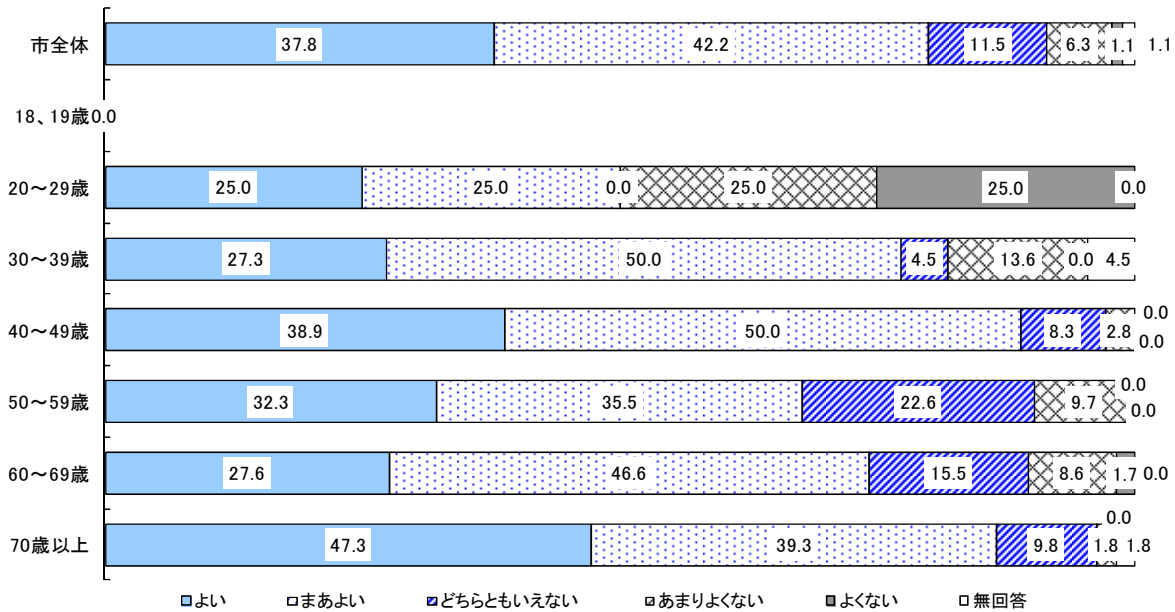
(40-3) 電話での職員の接遇についてどのように感じましたか。



電話での職員の接遇についてどのように感じたかについて、いずれの項目においても【よい（「よい」「まあよい」を合わせたもの）】と回答した割合が高くなっている。

【① 話し方】

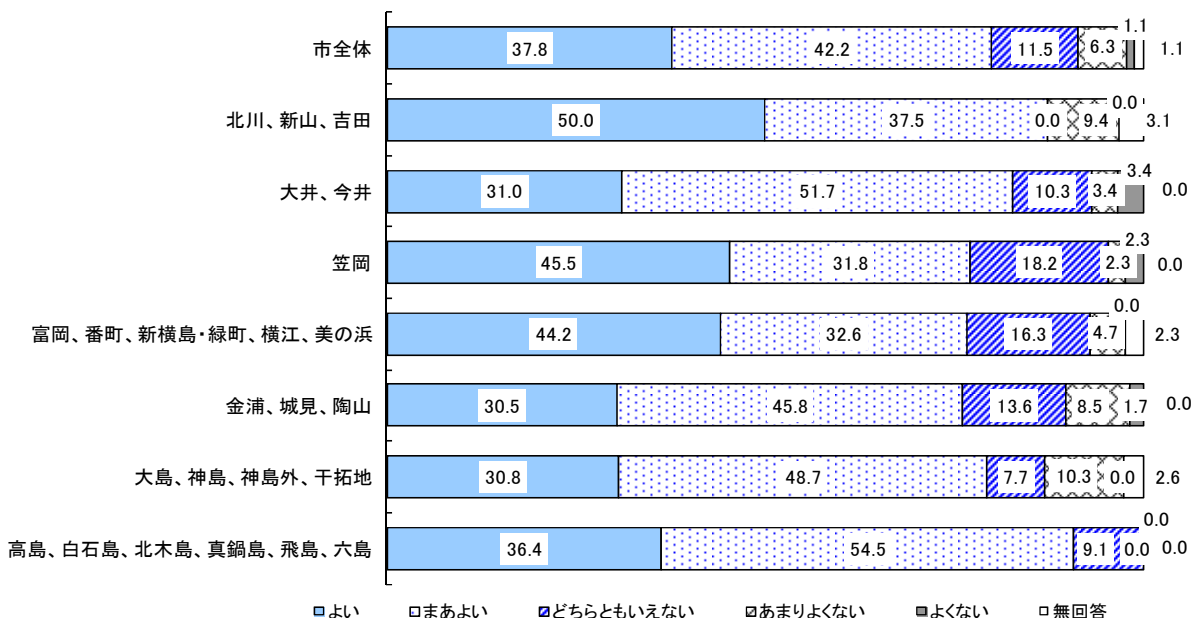
【年齢別】



年齢別にみると、【よい（「よい」「まあよい」を合わせたもの）】と回答した割合は「40～49歳」が88.9%と最も高く、次いで「70歳以上」（86.6%）、「30～39歳」（77.3%）の順となっている。

また、「20～29歳」では【よくない「あまりよくない」「よくない」を合わせたもの】と回答した割合は50.0%と最も高くなっている。

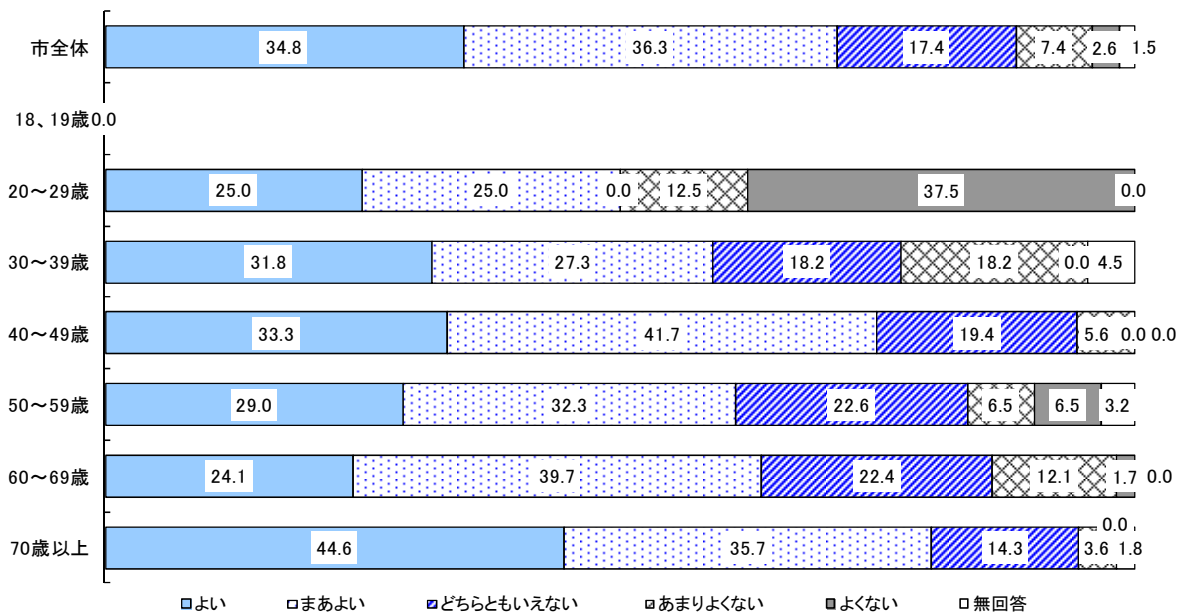
【地区別】



地区別にみると、【よい（「よい」「まあよい」を合わせたもの）】と回答した割合は「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」が90.9%と最も高く、次いで「北川、新山、吉田」（87.5%）、「大井、今井」（82.7%）の順となっている。

【② 説明のわかりやすさ】

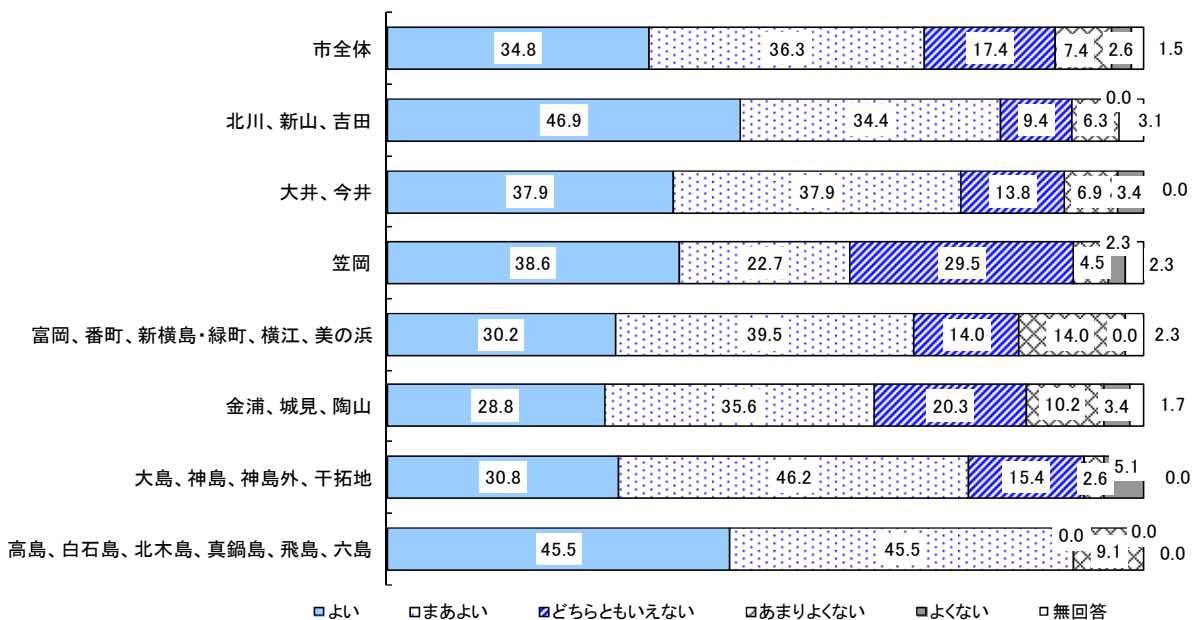
【年齢別】



年齢別にみると、【よい（「よい」「まあよい」を合わせたもの）】と回答した割合は「70歳以上」が80.3%と最も高く、次いで「40～49歳」（75.0%）、「60～69歳」（63.8%）の順となっている。

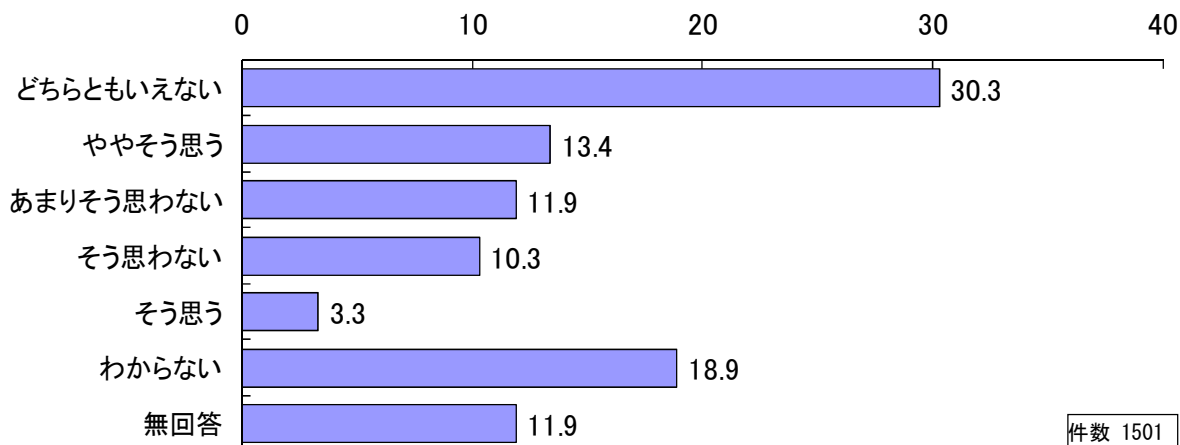
また、「20～29歳」では「よくない」と回答した割合が37.5%と最も高くなっている。

【地区別】



地区別にみると、【よい（「よい」「まあよい」を合わせたもの）】と回答した割合は「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」が91.0%と最も高く、次いで「北川、新山、吉田」（81.3%）、「大島、神島、神島外、干拓地」（77.0%）の順となっている。

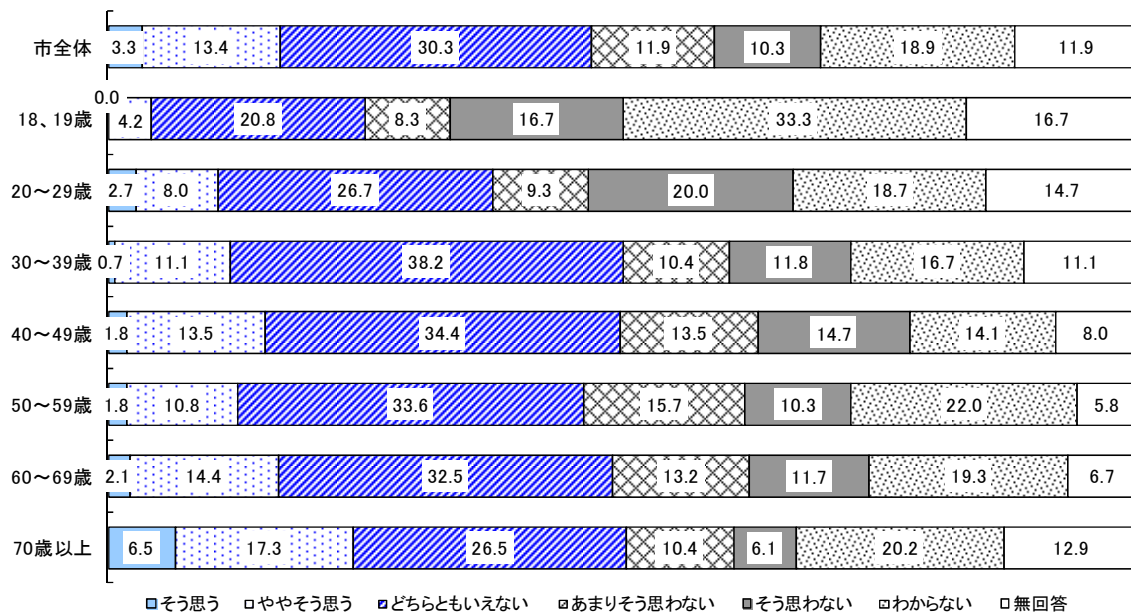
(41) あなたは、市民の意見や提案が市政に反映されていると思いますか。



市民の意見や提案が市政に反映されていると思うかについて、「どちらともいえない」と回答した割合が30.3%と最も高くなっている。

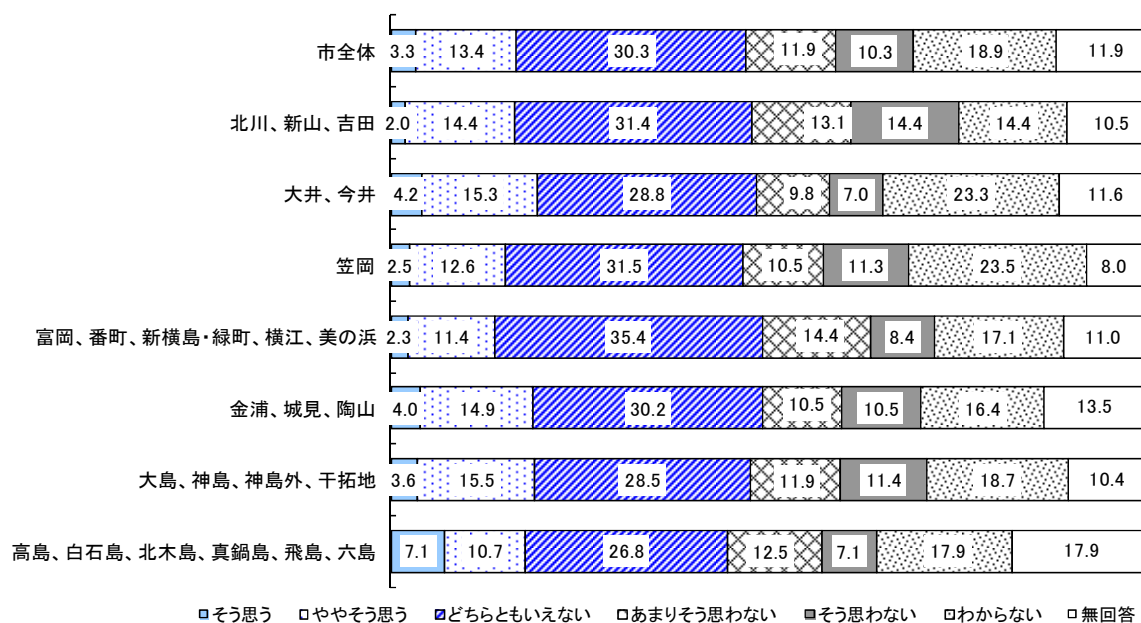
また、【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】では16.7%、【思わない（「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせたもの）】では22.2%と、【思わない】と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



年齢別にみると、「70歳以上」で【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合が23.8%と最も高く、次いで「60～69歳」（16.5%）、「40～49歳」（15.3%）の順となっている。

【地区別】

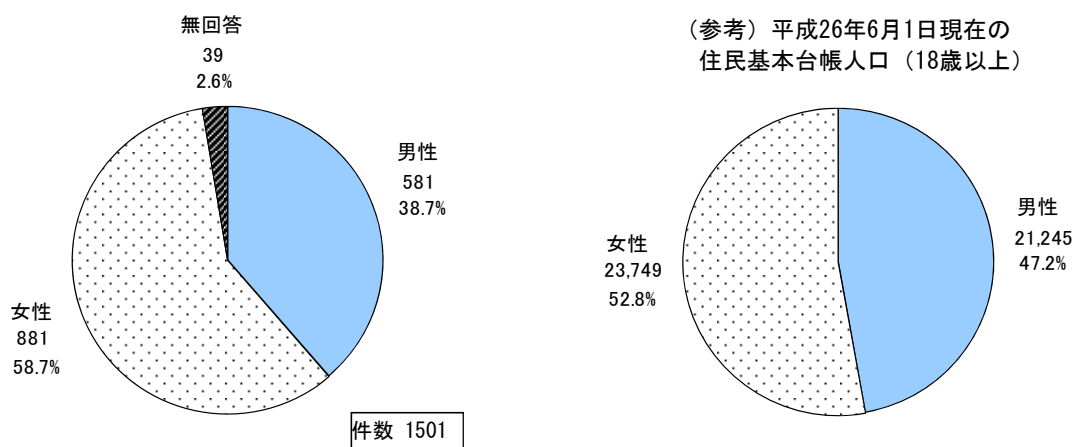


地区別にみると、「大井、今井」で【思う（「そう思う」「ややそう思う」を合わせたもの）】と回答した割合が19.5%と最も高くなっている。次いで「大島、神島、神島外、干拓地」（19.1%）、「金浦、城見、陶山」（18.9%）の順となっている。

V. 回答者の属性

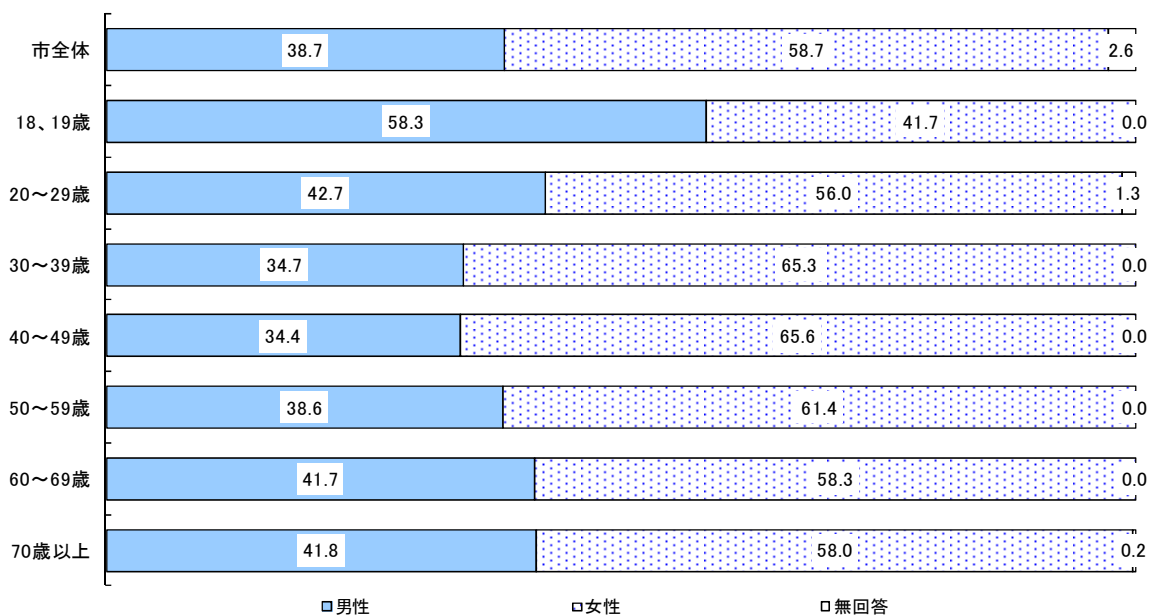
1 あなた自身のことについて

(1) 性別



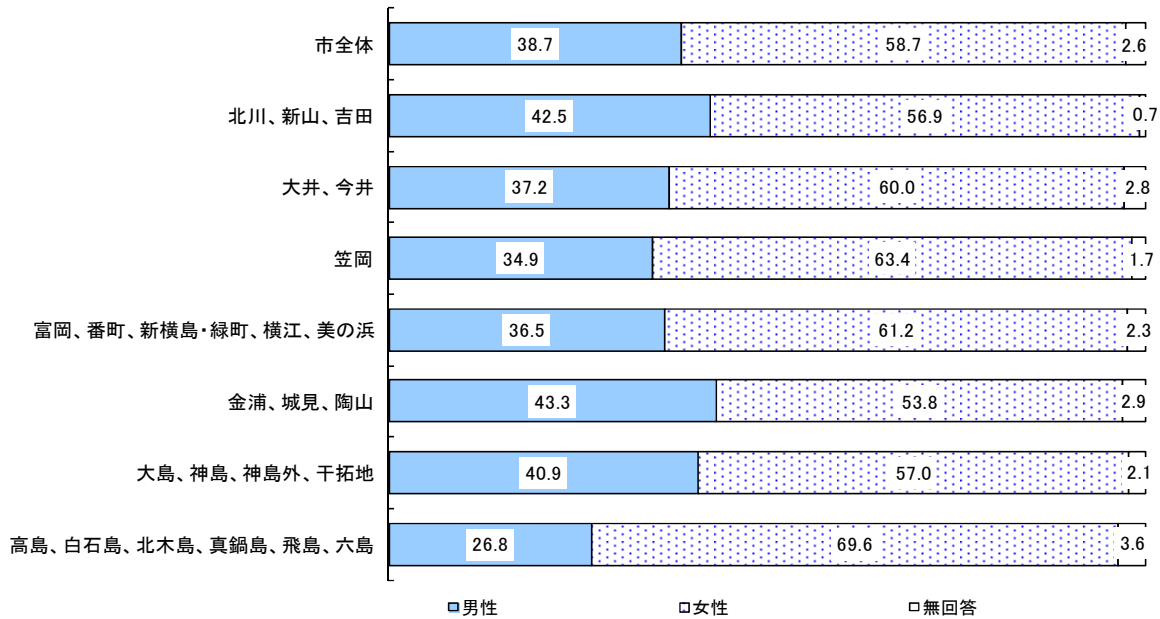
性別について、「男性」が38.7%、「女性」が58.7%と、「女性」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



年齢別にみると、「18、19歳」で「男性」と回答した割合が58.3%と高く、「40～49歳」で「女性」と回答した割合は65.6%と高くなっている。

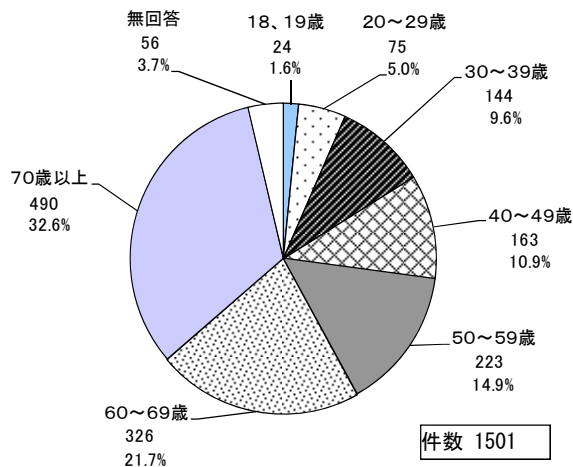
【地区別】



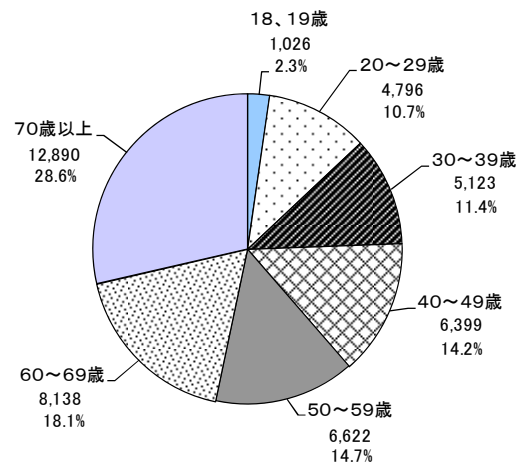
地区別にみると、「金浦、城見、陶山」で「男性」と回答した割合が43.3%と高くなっている。

(2) 年齢

(平成26年6月1日現在の満年齢でお答えください)

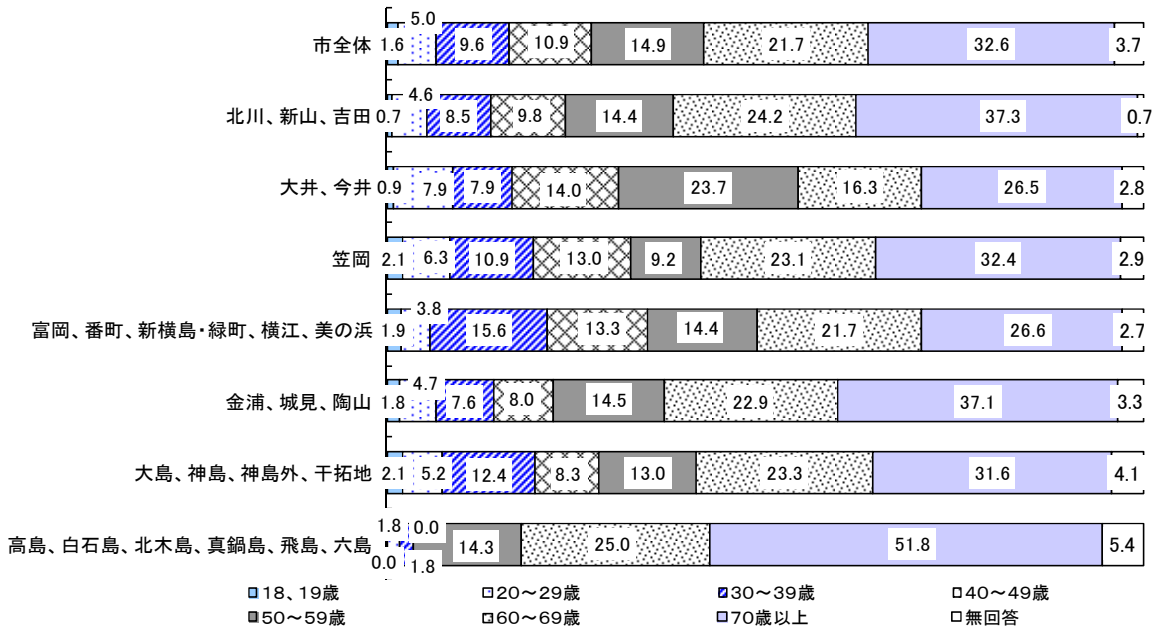


(参考) 平成26年6月1日現在の
住民基本台帳人口 (18歳以上)



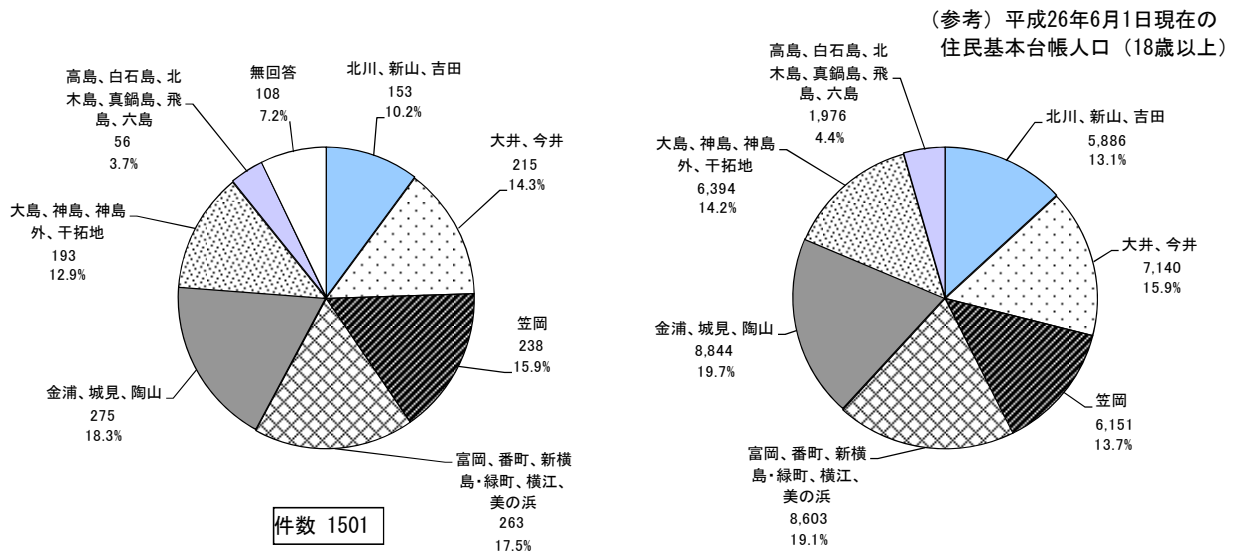
年齢について、「70歳以上」で32.6%と回答した割合が最も高く、次いで「60～69歳」(21.7%)、「50～59歳」(14.9%)、「40～49歳」(10.9%)、「30～39歳」(9.6%)の順となっている。

【地区別】



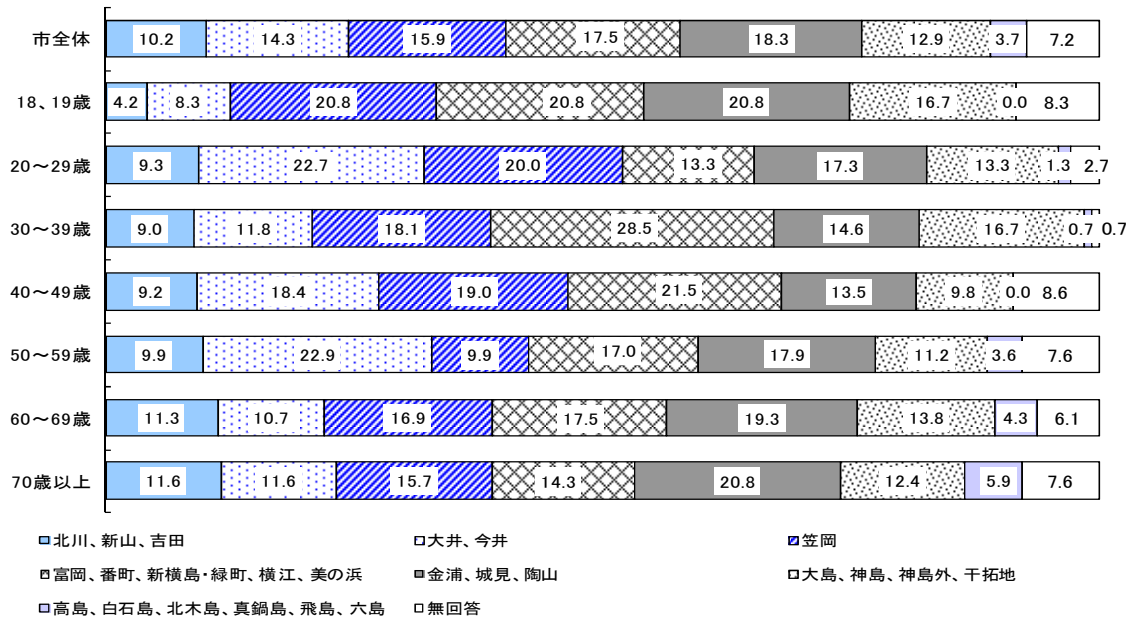
地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で「70歳以上」と回答した割合が51.8%と高く、「40歳以下」の数値が他の地区に比べて低くなっている。

(3) お住まいの地域について



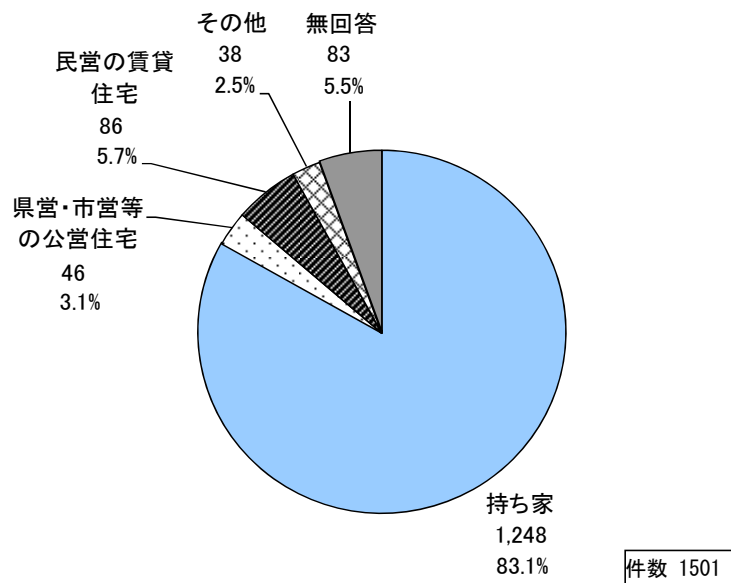
住まいの地域について、「金浦、城見、陶山」と回答した割合が18.3%と最も高く、次いで「富岡、番町、新横島、横江、美の浜」（17.5%）、「笠岡」（15.9%）、「大井、今井」（14.3%）、「大島、神島、神島外、干拓地」（12.9%）の順となっている。

【年齢別】



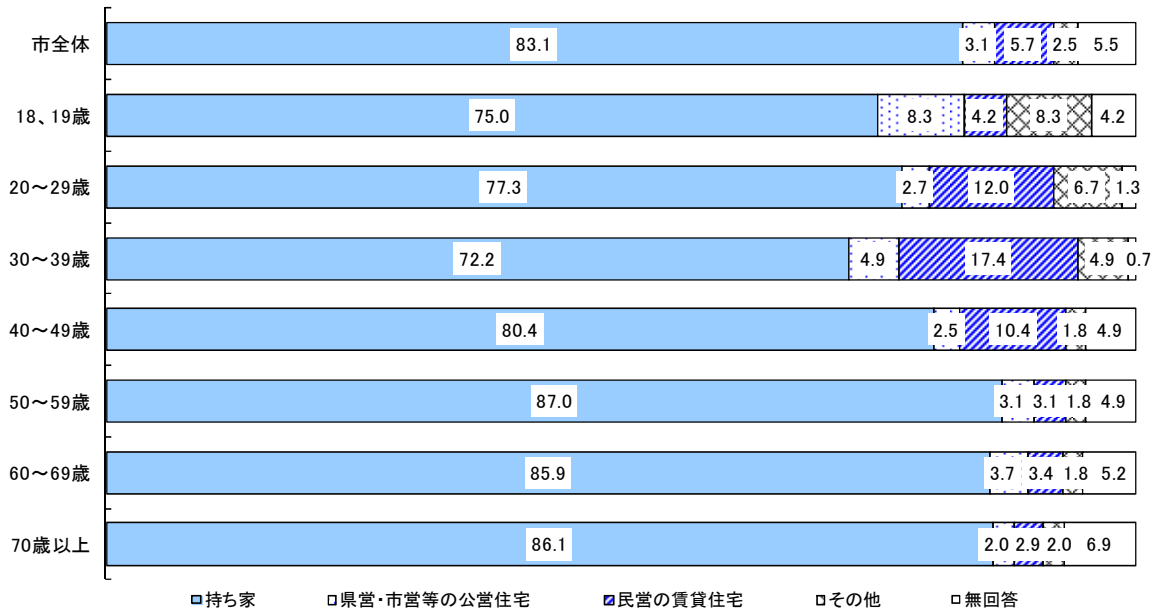
年齢別にみると、「18、19歳」で「笠岡」と回答した割合が20.8%と高く、「北山・新山・吉田」で4.2%と低くなっている。

(4) 現在お住まいの住居について



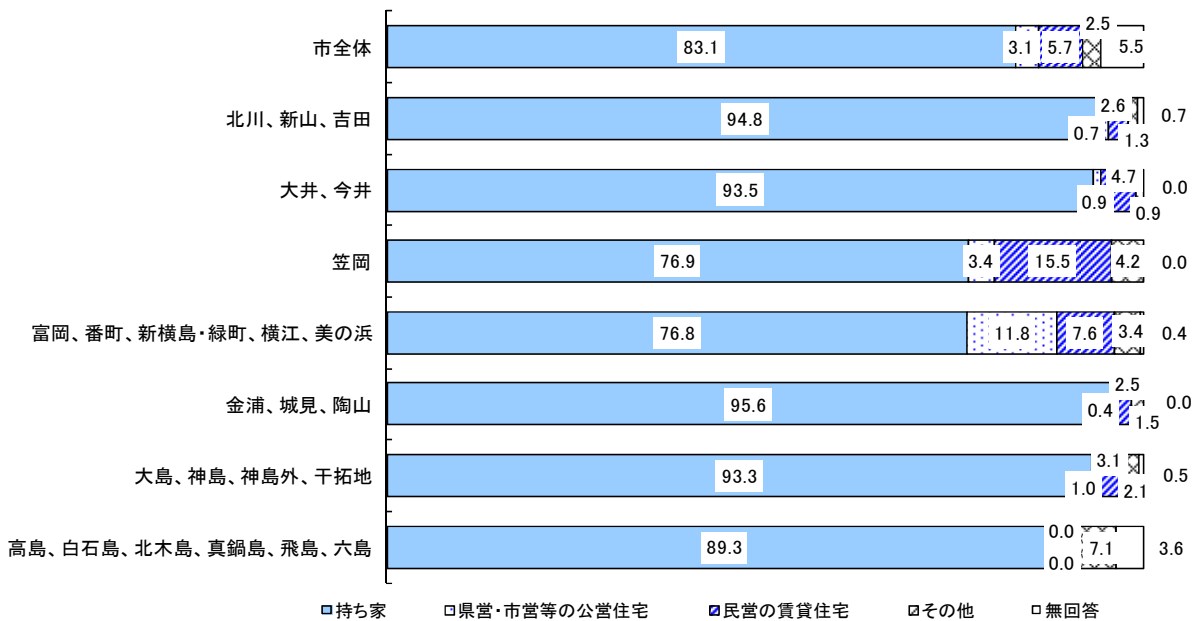
現在の住まいについて、「持ち家」と回答した割合が83.1%と最も高く、次いで「民営の賃貸住宅」（5.7%）、「県営・市営等の賃貸住宅」（3.1%）、「その他」（2.5%）の順となっている。

【年齢別】



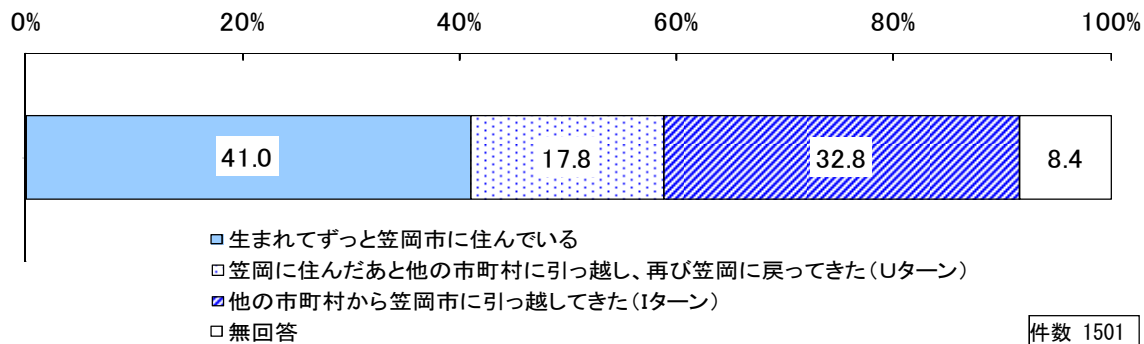
年齢別にみると、「30～39歳」では「持ち家」と回答した割合が72.2%と低く、「民営の賃貸住宅」と回答した割合が17.4%と高くなっている。

【地区別】



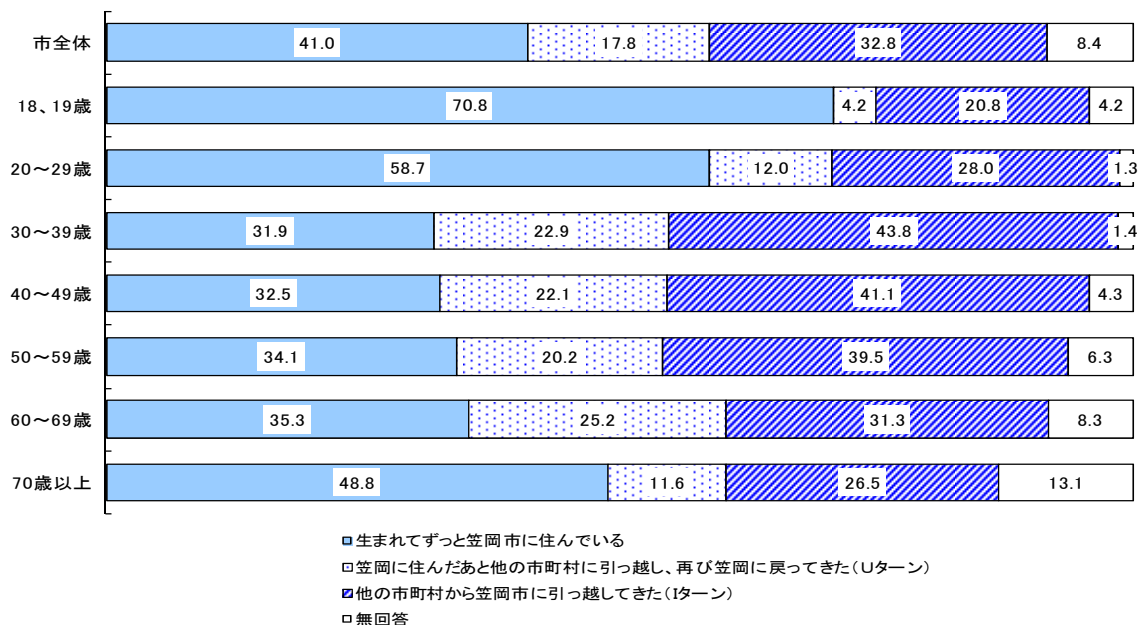
地区別にみると、「笠岡」「富岡、番町、新横島、横江、美の浜」で「持ち家」と回答した割合が8割程度と低く、「富岡、番町、新横島、横江、美の浜」では「県営・市営等の賃貸住宅」と回答した割合が11.8%と他の地区に比べて高くなっている。

(5) 笠岡市にお住まいの経緯について



笠岡市内に住んでいる経緯について、「生まれてずっと笠岡市に住んでいる」と回答した割合が41.0%と最も高く、次いで「他の市町村から笠岡市に引っ越してきた」(32.8%)、「笠岡に住んだあと他の市町村に引っ越し、再び笠岡に戻ってきた」(17.8%)の順となっている。

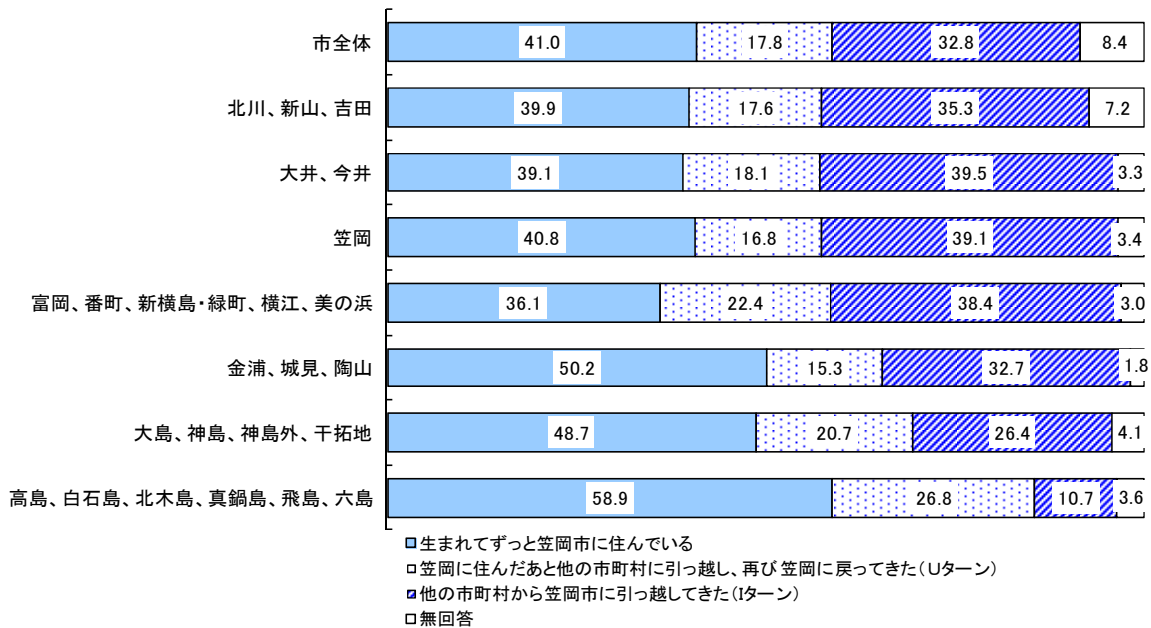
【年齢別】



年齢別にみると、「18、19歳」で「生まれてからずっと笠岡市に住んでいる」と回答した割合が70.8%と高くなっている。

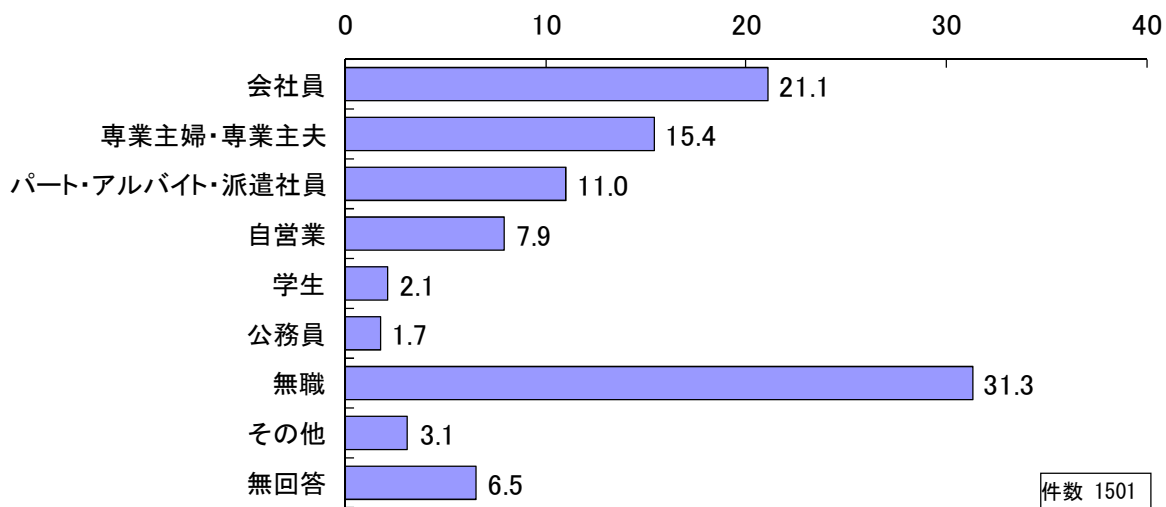
また、「30～39歳」では「他の市町村から笠岡市に引っ越してきた」と回答した割合が43.8%と高くなっている。

【地区別】



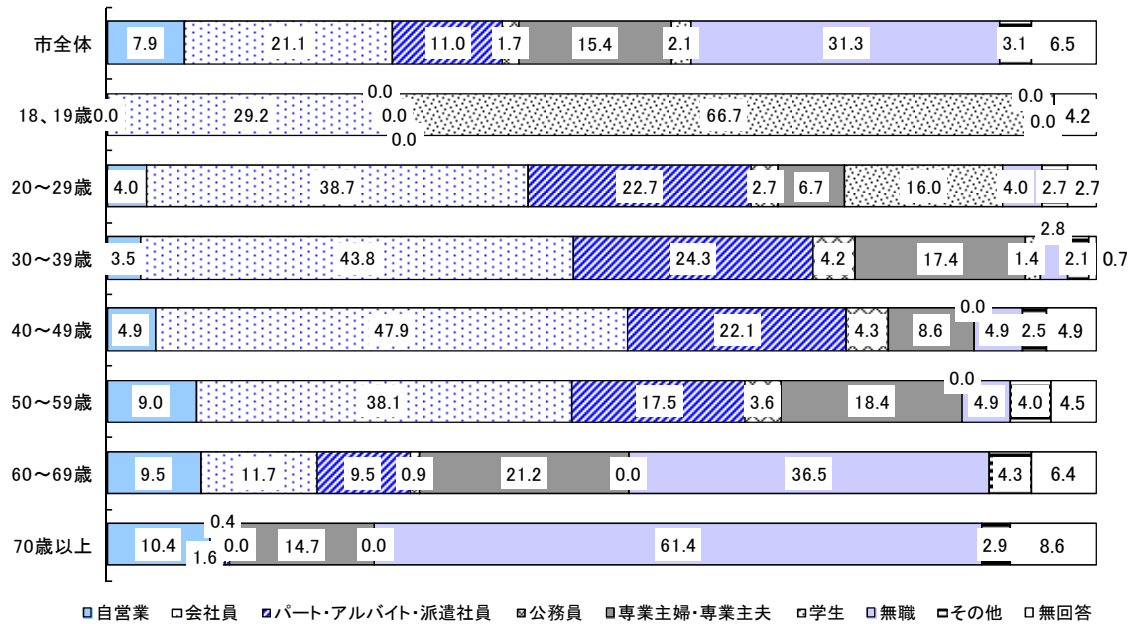
地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で「生まれてからずっと笠岡市に住んでいる」と回答した割合が58.9%と高く、「他の市町村から笠岡市に引っ越してきた」と回答した割合が10.7%と低くなっている。

(6) 職業について



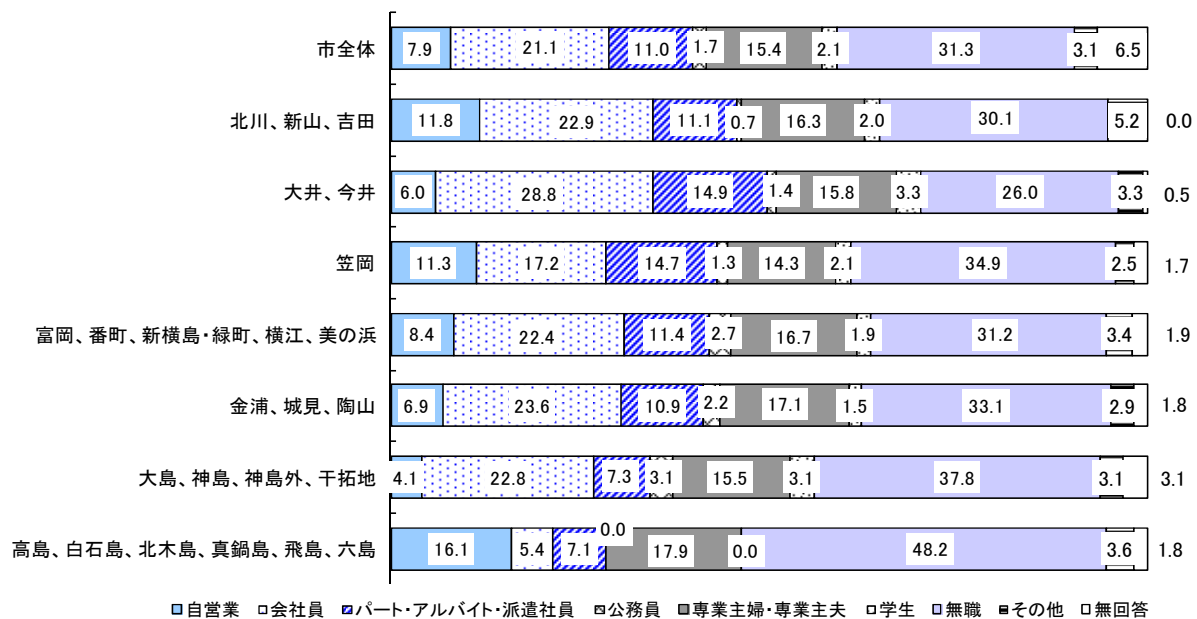
現在就いている職業について、「会社員」と回答した割合が21.1%と高く、次いで「専業主婦・専業主夫」(15.4%)、「パート・アルバイト・派遣社員」(11.0%)、「自営業」(7.9%)、「学生」(2.1%)、「公務員」(1.7%)の順となっている。
また、「無職」と回答した割合が31.3%と最も高くなっている。

【年齢別】



年齢別にみると、「18, 19歳」では「学生」、「20～29歳」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」では「会社員」、「60～69歳」「70歳以上」では「無職」と回答した割合がそれぞれ高くなっている。

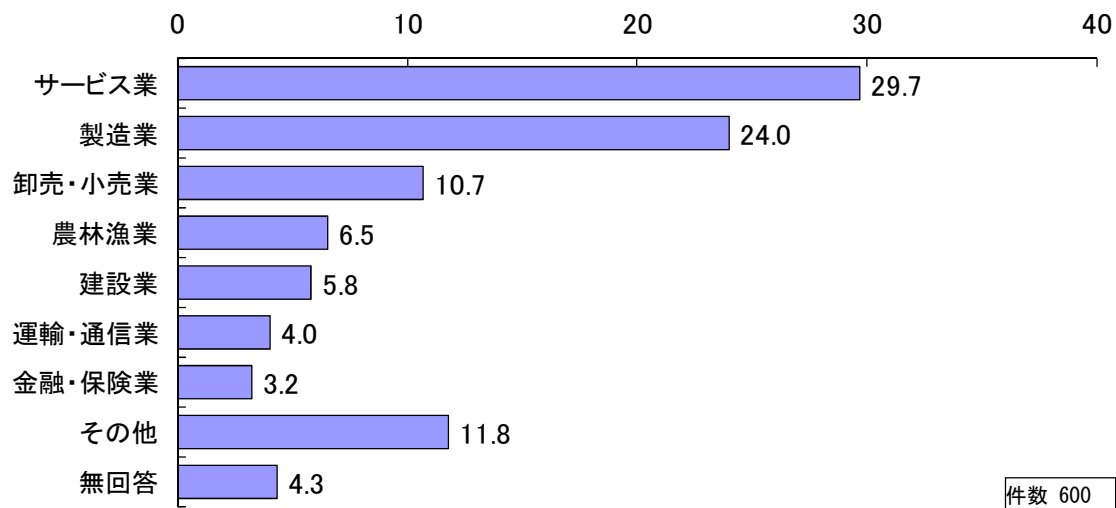
【地区別】



地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で「無職」と回答した割合が48.2%と最も高くなっている。

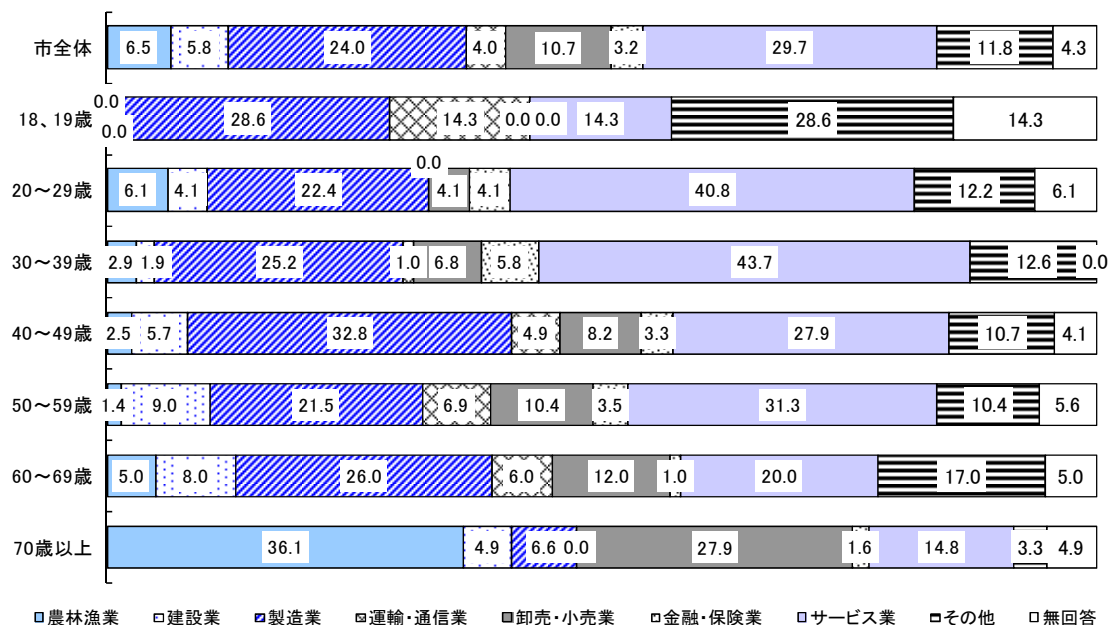
また、「大井、今井」では「会社員」と回答した割合が28.8%と他の地区に比べて高くなっている。

(7)【前の質問(6)の中で1～3と答えた方】業種について



前の設問で「会社員」「自営業」「パート・アルバイト・派遣社員」と回答した人の業種について、「サービス業」と回答した割合が29.7%と最も高く、次いで「製造業」(24.0%)、「卸売・小売業」(10.7%)、「農林漁業」(6.5%)、「建設業」(5.8%)の順となっている。

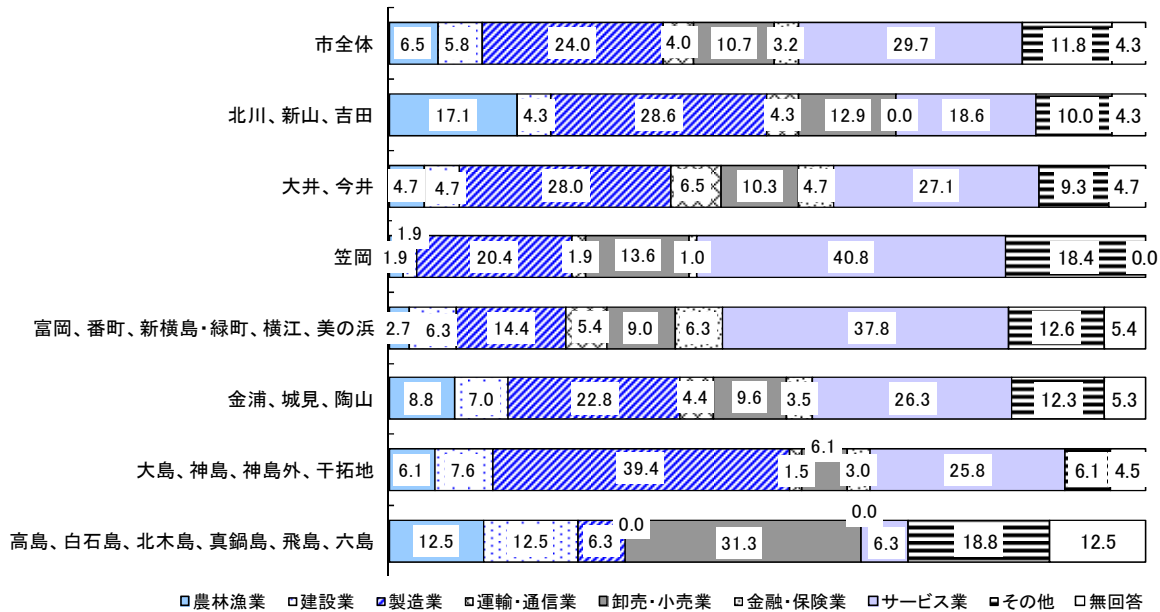
【年齢別】



年齢別にみると、「70歳以上」で「農林漁業」と回答した割合が36.1%と最も高くなっている。

また、「30～39歳」で「サービス業」と回答した割合が43.7%と高くなっている。

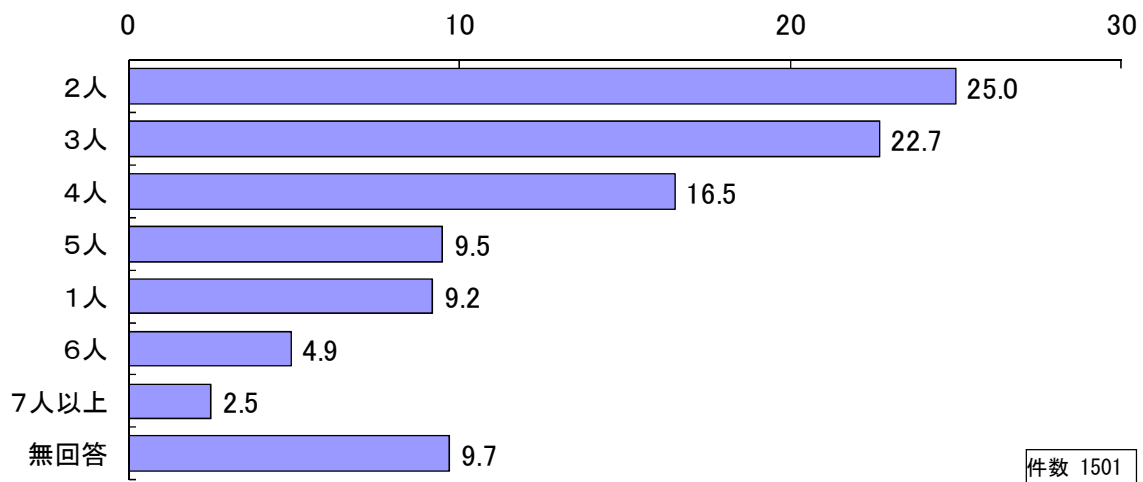
【地区別】



地区別にみると、「大島、神島、神島外、干拓地」で「製造業」と回答した割合が39.4%と高くなっている。

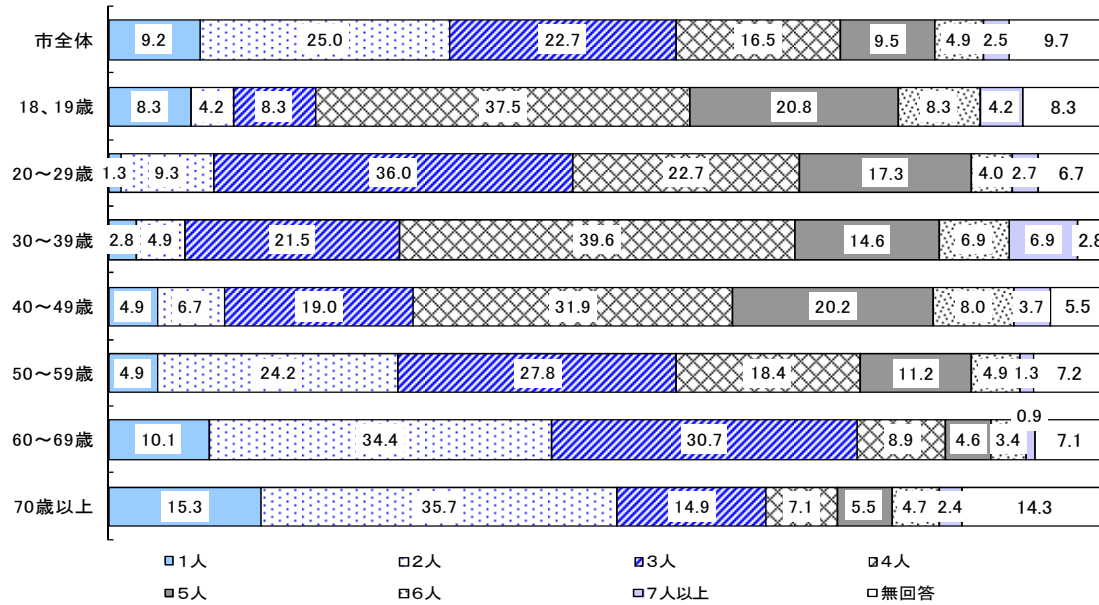
また、「笠岡」では「サービス業」（40.8%）と回答した割合が高くなっている。

(8) あなたを含む同居の家族は何人ですか。



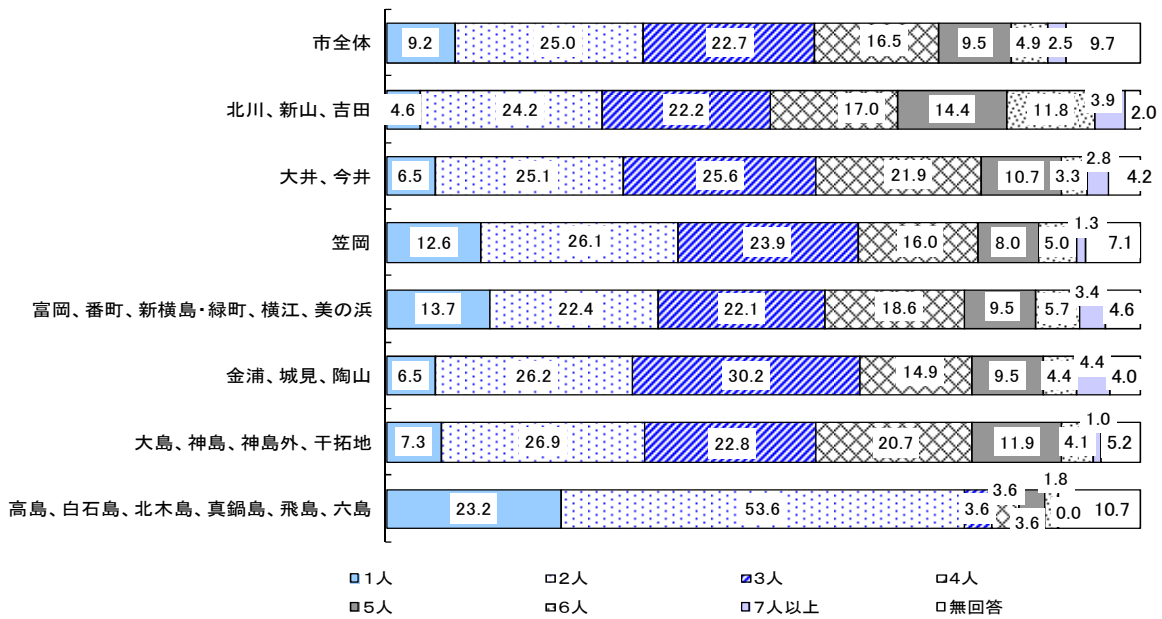
同居の家族の人数について、「2人」と回答した割合が25.0%と最も高く、次いで「3人」（22.7%）、「4人」（16.5%）、「5人」（9.5%）の順となっている。

【年齢別】



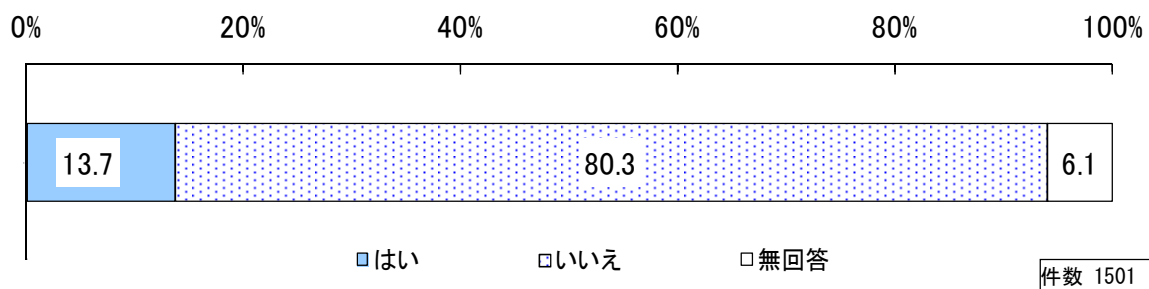
年齢別にみると、「70歳以上」で「2人」と回答した割合が35.7%と高くなっている。

【地区別】



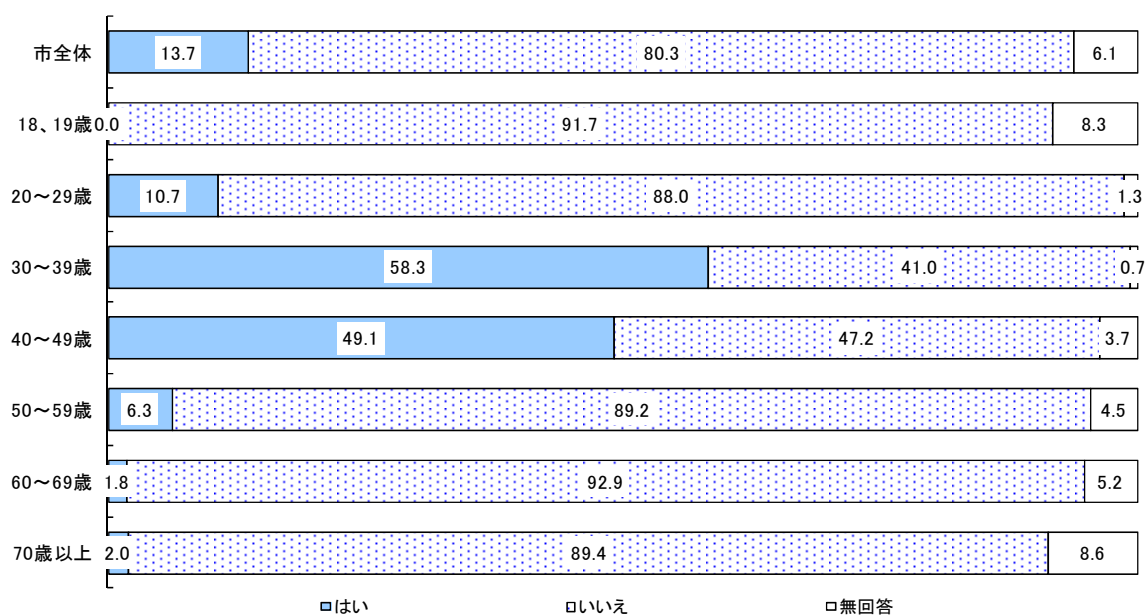
地区別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で「2人」と回答した割合が53.6%と高くなっている。

(9) あなたは、現在中学生以下の子供を育てていますか。



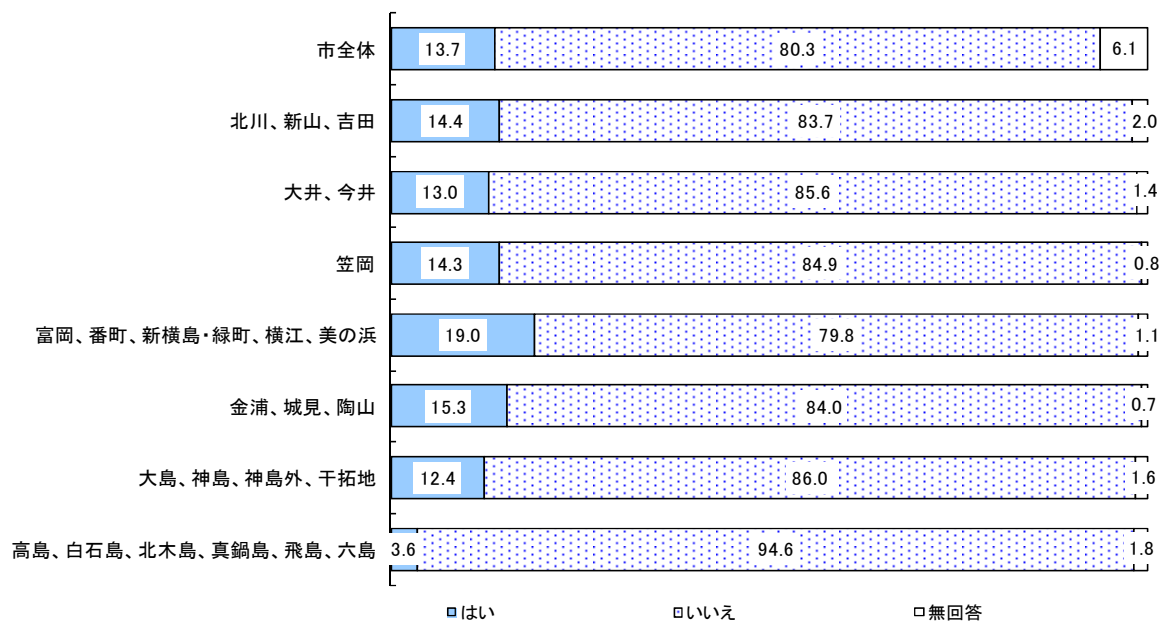
現在中学生以下の子供を育てているかについて、「はい」が13.7%、「いいえ」が80.3%と、「いいえ」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



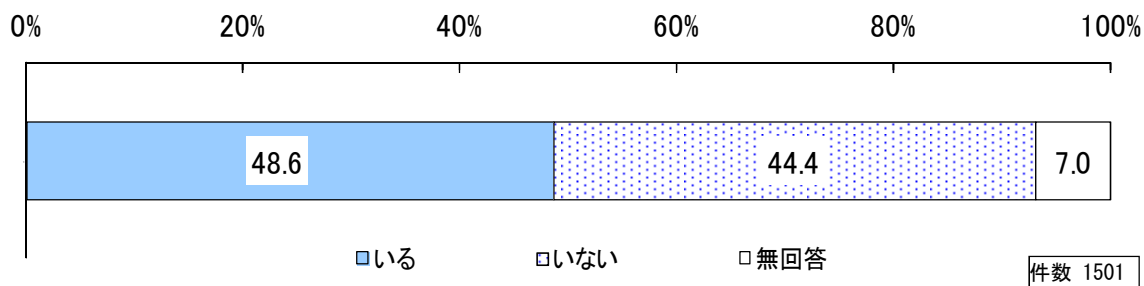
年齢別にみると、「はい」と回答した割合は「30～39歳」が58.3%と最も高く、次いで「40～49歳」（49.1%）、「20～29歳」（10.7%）の順となっている。

【地区別】



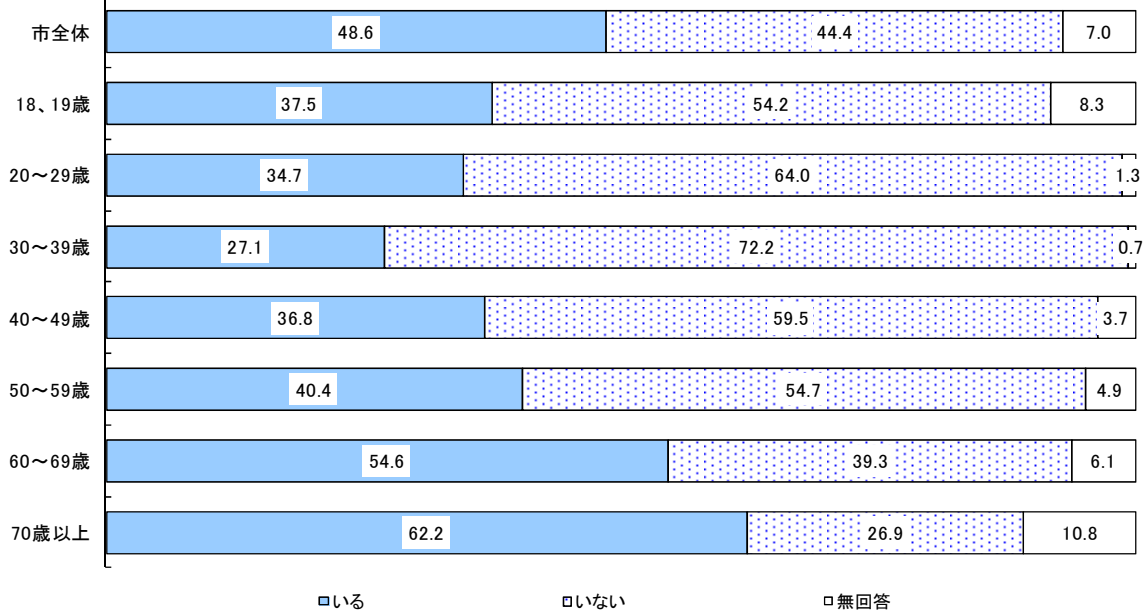
地区別では、「はい」と回答した割合は「富岡、番町、新横島、横江、美の浜」が19.0%と最も高く、次いで「金浦、城見、陶山」（15.3%）、「北川、新山、吉田」（14.4%）の順となっている。

(10) 同居の家族(あなた以外)に65歳以上の高齢者がいますか。



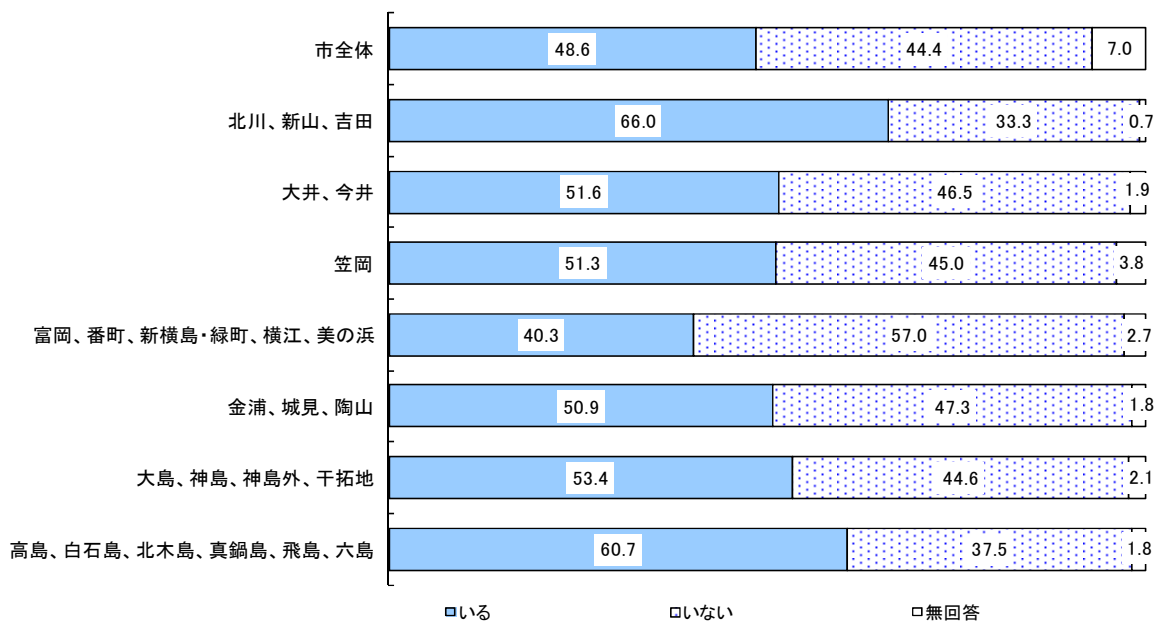
同居の家族に65歳以上の高齢者がいるかについて、「いる」が48.6%、「いない」が44.4%と、「いる」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



年齢別にみると、「いる」と回答した割合は「70歳以上」が62.2%と高く、次いで「60～69歳」（54.6%）、「50～59歳」（40.4%）の順となっている。

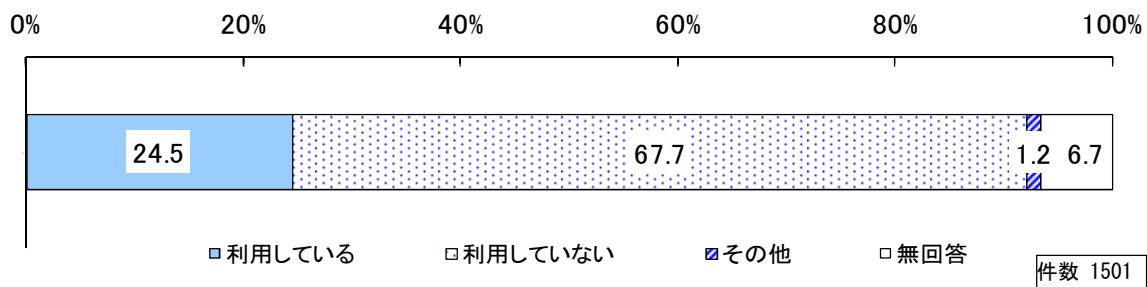
【地区別】



地区別では、「いる」と回答した割合は「北川、新山、吉田」が66.0%と最も高く、次いで「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」（60.7%）、「大島、神島、神島外、干拓地」（53.4%）の順となっている。

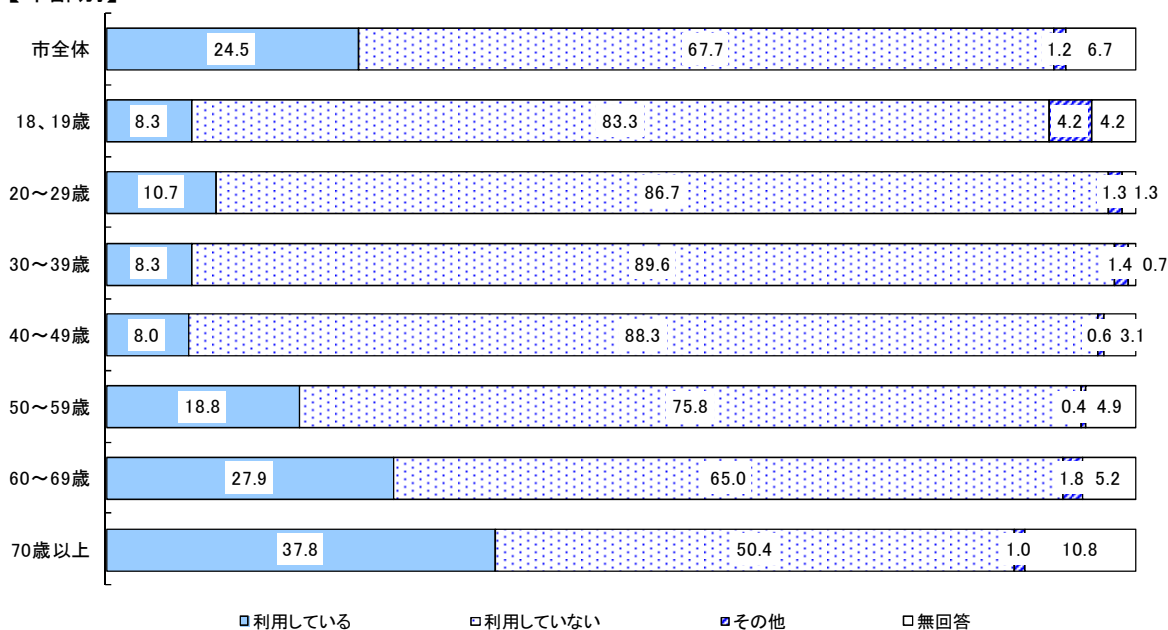
VI. ごみに関するアンケート

(1) あなたは、生ごみの減量化のために、「生ごみ処理容器」を利用していますか。



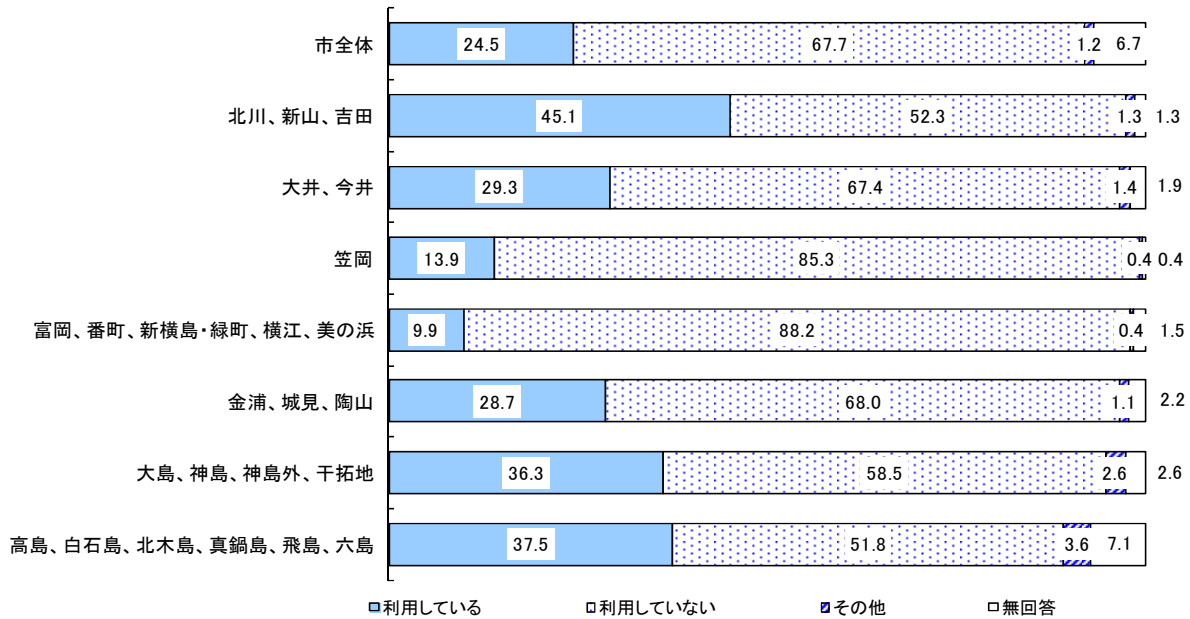
生ごみの減量化のために「生ごみ処理容器」を利用しているかについて、「利用している」が24.5%、「利用していない」が67.7%と、「利用していない」と回答した割合が高くなっている。

【年齢別】



年齢別にみると、「利用している」と回答した割合は「70歳以上」が37.8%と最も高く、次いで「60～69歳」(27.9%)、「50～59歳」(18.8%)の順となっている。

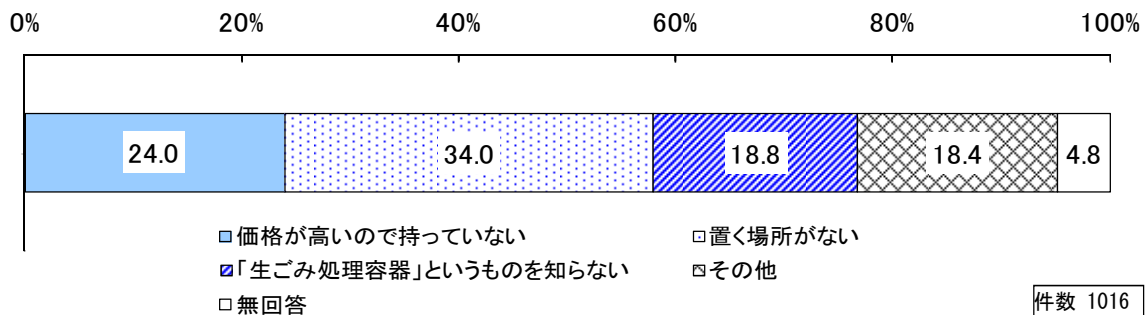
【地区別】



地区別では、「利用している」と回答した割合は「北川、新山、吉田」が45.1%と最も高く、次いで「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」(37.5%)、「大島、神島、神島外、干拓地」(36.3%)の順となっている。

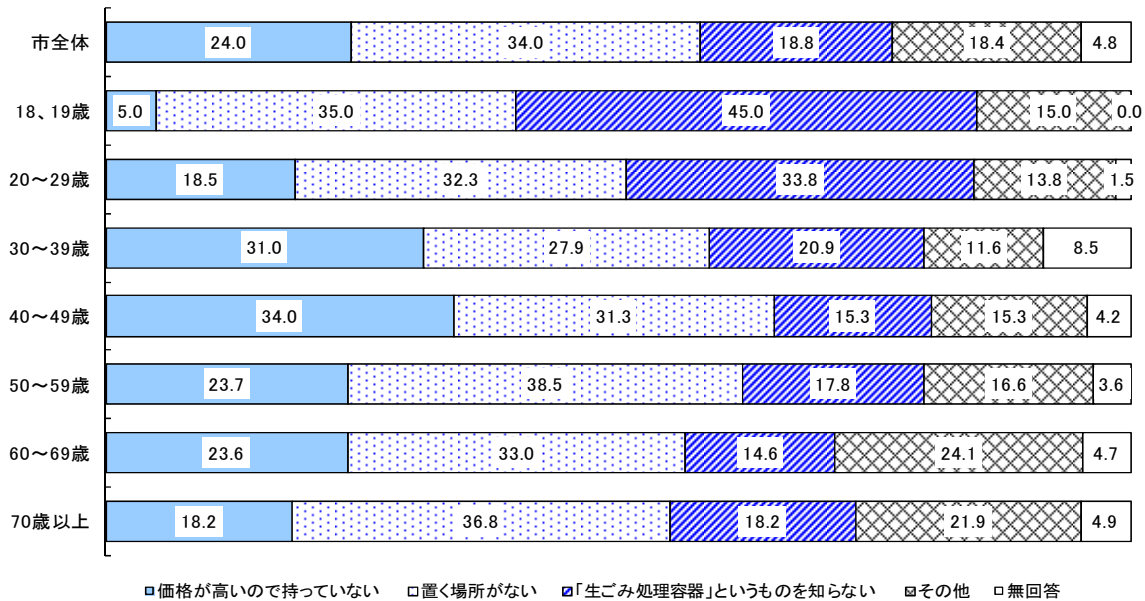
(1)で「2. 利用していない」と答えた方に伺います。

(1-2) 利用しない理由は何ですか。



前の設問で「生ごみ処理容器」を利用していないと回答した人の利用しない理由について、「置く場所がない」と回答した割合が34.0%と最も高く、次いで「価格が高いので持っていない」(24.0%)、「生ごみ処理容器というものを知らない」(18.8%)の順になっている。

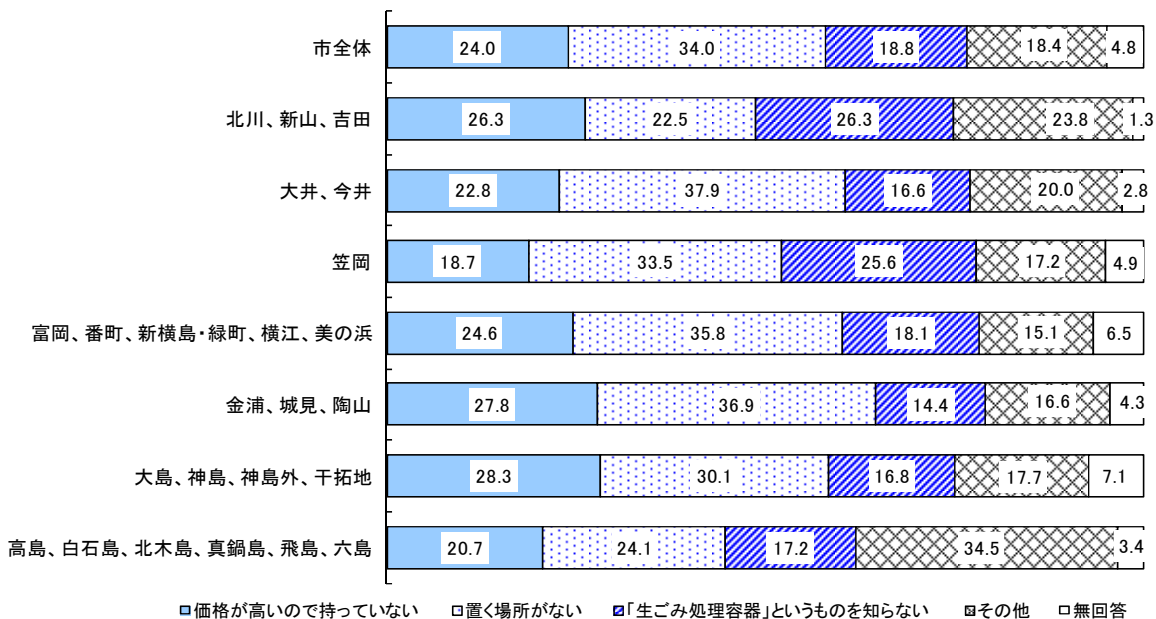
【年齢別】



年齢別にみると、「生ごみ処理容器というものを知らない」と回答した割合は「18、19歳」が45.0%と最も高くなっている。

また、「40～49歳」では「価格が高いので持っていない」と回答した割合が34.0%と最も高くなっている。

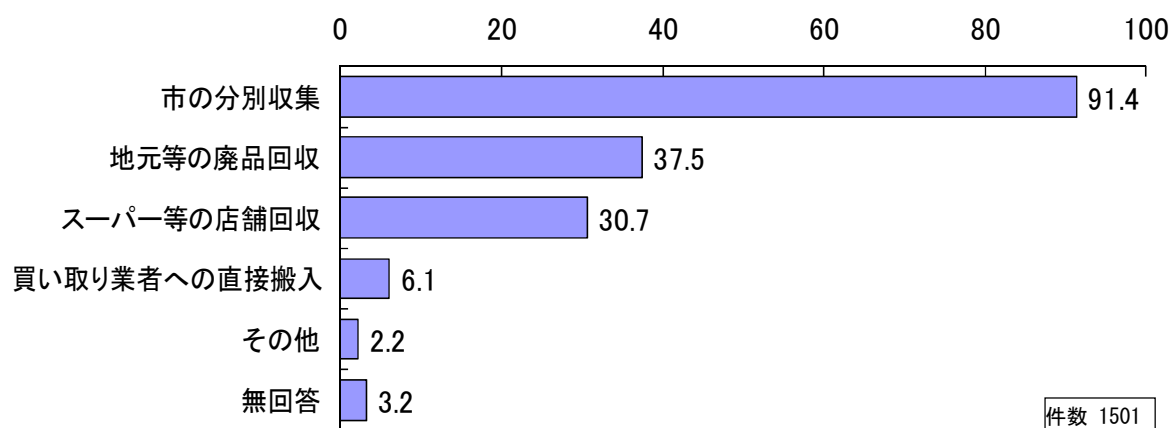
【地区別】



地区別でみると、「生ごみ処理容器というものを知らない」と回答した割合は「北川、新山、吉田」が26.3%と高くなっている。

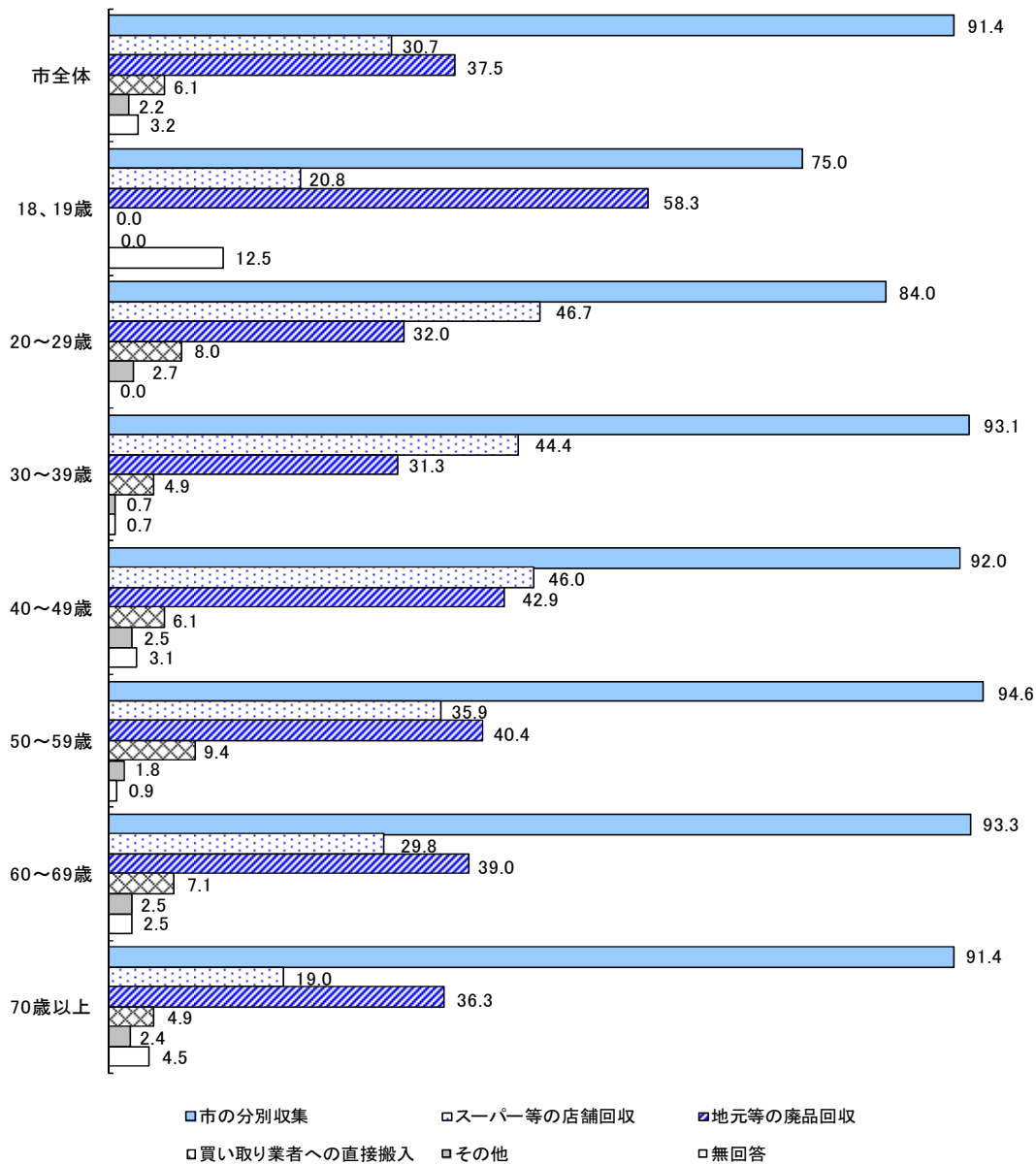
また、「価格が高いので持っていない」と回答した割合が「大島、神島、神島外、開拓地」で28.3%と高くなっている。

(2) あなたは、家の資源ごみをどのように出していますか。
該当する番号全てに○をつけてください。



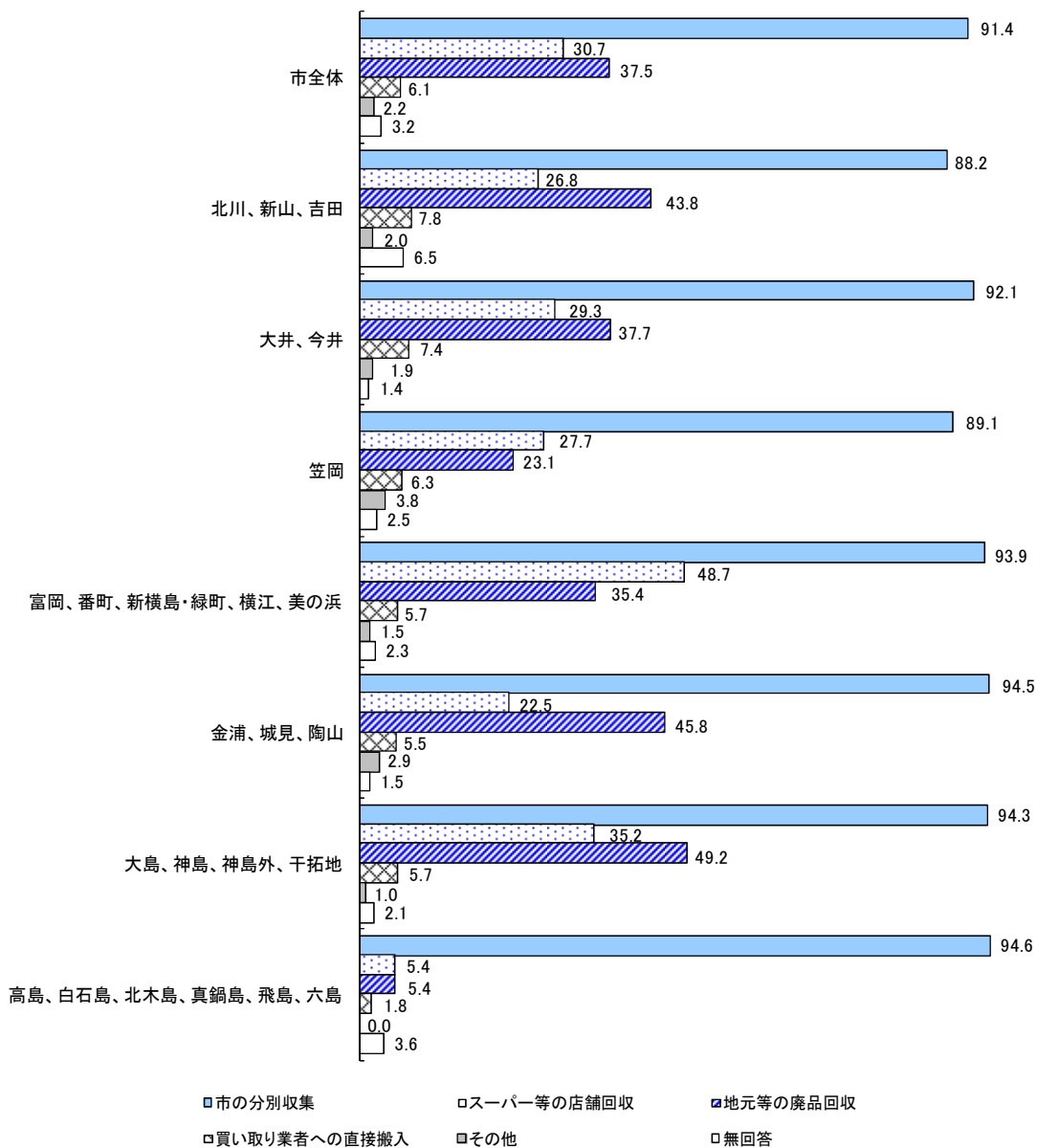
家の資源ごみをどのように出しているかについて、「市の分別収集」と回答した割合が91.4%と最も高く、次いで「地元等の廃品回収」（37.5%）、「スーパー等の店舗回収」（30.7%）、「買い取り業者への直接搬入」（6.1%）の順となっている。

【年齢別】



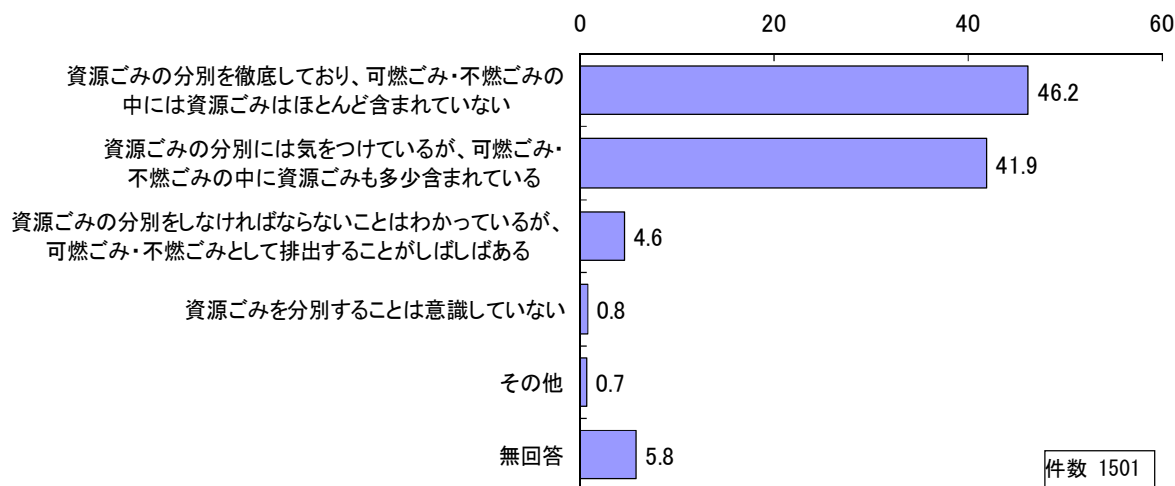
年齢別にみると、どの年齢層においても「市の分別収集」と回答した割合が高くなっている。
また、「20～29歳」「30～39歳」「40～49歳」で「スーパー等の店舗回収」と回答した割合が4割以上と高くなっている。

【地区別】



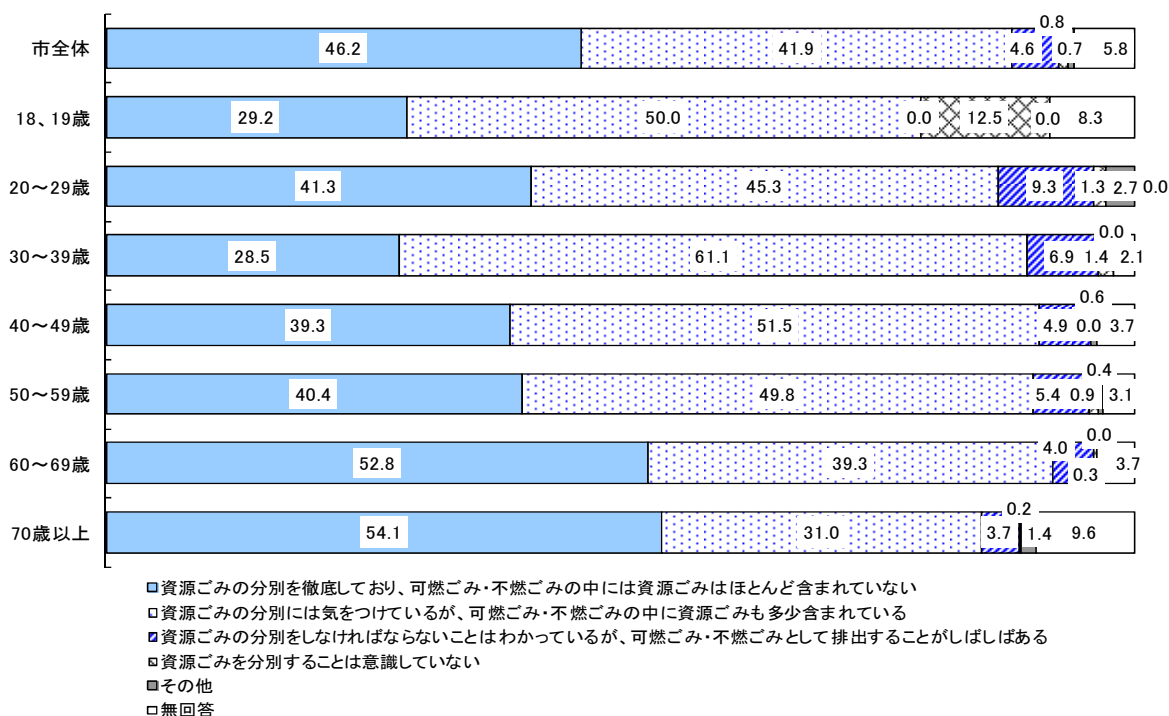
地区別にみると、どの地区においても「市の分別収集」と回答した割合が高くなっている。また、「富岡、番町、新横島・緑町、横江、美の浜」では「スーパー等の店舗回収」と回答した割合が48.7%と他の地区に比べて高くなっている。

(3) あなたは、資源ごみの分別について、どの程度取り組んでいますか。



資源ごみの分別についてどの程度取り組んでいるかについて、「資源ごみの分別を徹底しており、可燃ごみ・不燃ごみの中には資源ごみはほとんど含まれていない」と回答した割合が46.2%と最も高く、次いで「資源ごみの分別には気をつけているが、可燃ごみ・不燃ごみの中に資源ごみも多少含まれている」（41.9%）、「資源ごみの分別をしなければならないことはわかっているが、可燃ごみ・不燃ごみとして排出することがしばしばある」（4.6%）の順となっている。

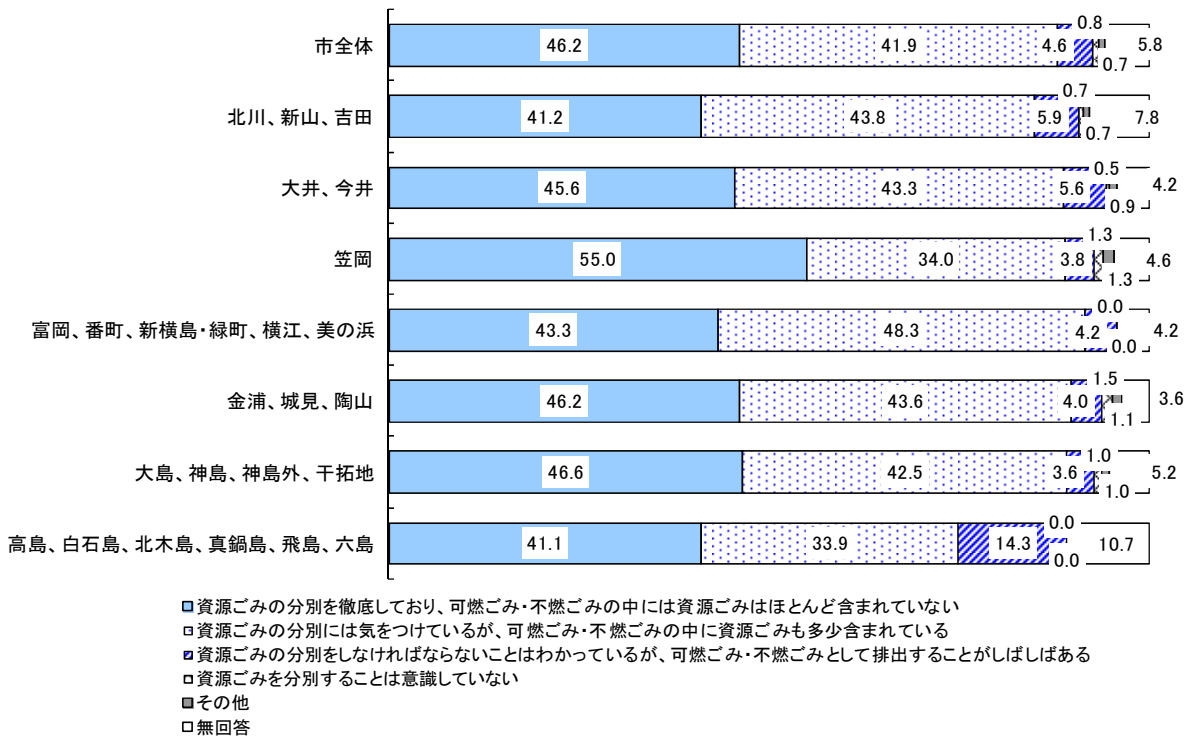
【年齢別】



年齢別にみると、「資源ごみの分別を徹底しており、可燃ごみ・不燃ごみの中には資源ごみはほとんど含まれていない」と回答した割合は「70歳以上」が54.1%と最も高くなっている。

また、「資源ごみの分別には気をつけているが、可燃ごみ・不燃ごみの中に資源ごみも多少含まれている」と回答した割合は「30～39歳」が61.1%と最も高くなっている。

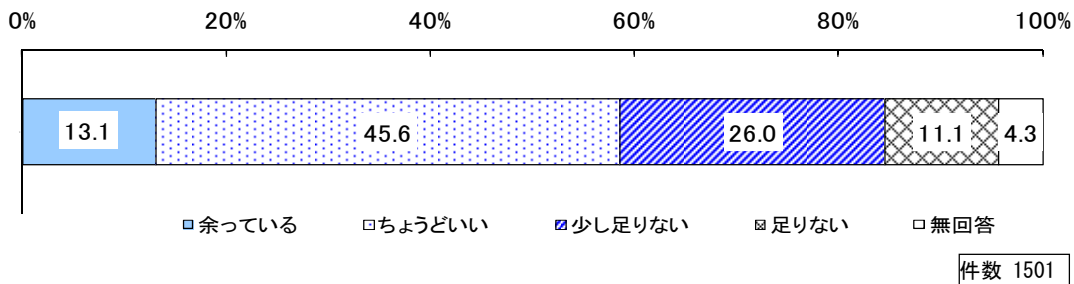
【地区別】



地区別にみると、「笠岡」で「資源ごみの分別を徹底しており、可燃ごみ・不燃ごみの中には資源ごみはほとんど含まれていない」と回答した割合が55.0%と最も高くなっている。

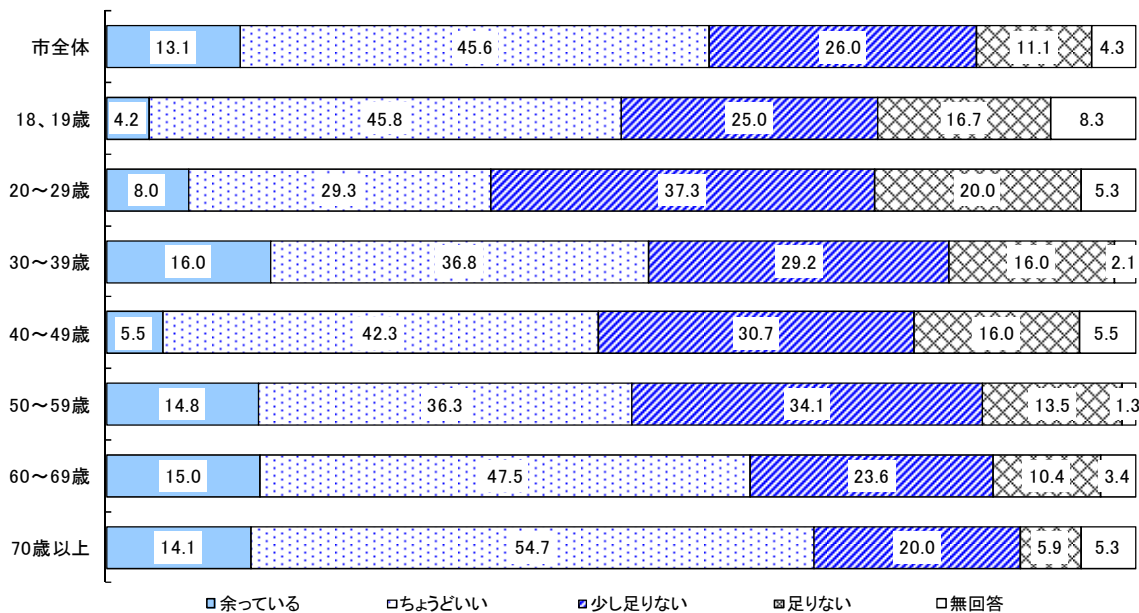
また、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で「資源ごみの分別をしなければならないことはわかっているが、可燃ごみ・不燃ごみとして排出することがしばしばある」と回答した割合が14.3%と他の地区と比べて高くなっている。

(4) あなたは現在、無料配付している指定ごみ袋の枚数についてどう思いますか。



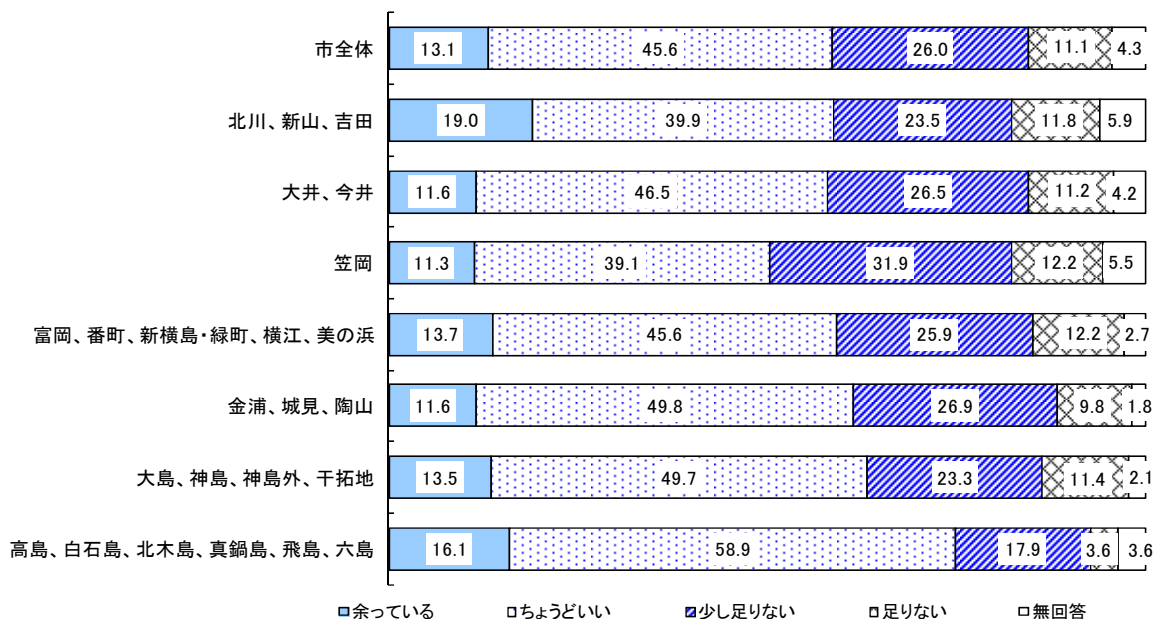
現在無料配布している指定ごみ袋の枚数について、「ちょうどいい」と回答した割合が45.6%と最も高く、次いで「少し足りない」（26.0%）、「余っている」（13.1%）、「足りない」（11.1%）の順となっている。

【年齢別】



年齢別にみると、「ちょうどいい」と回答した割合は「70歳以上」で54.7%と最も高く、次いで「60～69歳」（47.5%）、「18、19歳」（45.8%）の順となっている。
また、「足りない」と回答した割合が「20～29歳」で20.0%と最も高くなっている。

【地区別】



地区別では、「ちょうどいい」と回答した割合が「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」で58.9%と他の地区に比べて高くなっている。
また、「少し足りない」と回答した割合が「笠岡」で31.9%と最も高くなっている。